



CLS

Coupé / Shooting Brake

取扱説明書



Mercedes-Benz

マーク

この説明書には以下のマークがあります。

警告

警告ステッカーには、お客様や他の乗員などの健康または生命を危険にさらすおそれのある事項について記載されています。

環境に関する注意

環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供しています。

! 車両の損傷につながる危険を喚起する、機材の損傷に関する注意です。

i これらのマークは、お客様の助けになるような、便利な操作方法や詳細情報を示しています。


▶ このマークは、お客様に従っていただきたい説明を示しています。

▶ 連続しているマークは、いくつかの手順がある操作を示しています。

(▷ このマークは、項目についての詳細情報がある場所を示しています。ジ)

▷▷ このマークは次のページに続く警告または操作を示しています。

ディ この表記は、マルチファンクションディスプレイ/COMAND ディスプレイのメッセージを示しています。

 このマークは、デジタル版取扱説明書に情報があることを示しています。

車両のソフトウェア部品は © 2005 The FreeType Project <http://www.freetype.org> の著作権により保護されています。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

便利な機能の追加情報は COMAND Online の中の車両のデジタル版取扱説明書に記載されています。

お客様の車両の装備や名称はオプションや仕様により異なる場合があります。

この取扱説明書のイラストは主に左ハンドル車両のものを使用しています。右ハンドル車両では、車両の部品の配置や位置、そして操作方法が異なる場合がありますので、ご注意ください。

取扱説明書には 100 km/h を上回る車両速度での性能データおよび車両状況も記載されています。ただし、公道を走行するときは常に、その場所で適用される法定速度または制限速度を遵守してください。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

メルセデス・ベンツでは、デザインや装備の分野の変更を行なう権利を有しています。そのため、本取扱説明書の記述やイラストが異なることがあります。

以下のものは、車両の一部です。常に車両に搭載してください。

- デジタル版取扱説明書
- 取扱説明書
- 整備手帳
- 補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべての書類をお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

さくいん	4	各部の名称	31
デジタル版取扱説明書	23	安全性	43
はじめに	25	開閉	91
		シート、ステアリングおよびミラー ..	11
		ライトおよびフロントウインドウワイパー ..	11
		エアコンディショナー	127
		走行と停車	131
		マルチファンクションディスプレイと表示 ..	131
		Audio20/COMAND システム ..	207
		収納と機能	225
		メンテナンスおよび手入れ	239
		万ーのとき	249
		ホイールとタイヤ	273
		サービスデータ	301

あ

アクティブドライビングアシスタンスパッケージ	175
アクティブパーキングアシスト	
機能/注意事項	168
重要な安全上の注意	169
ディスプレイメッセージ	187
アクティブブラインドスポットアシスト	
機能/注意	175
設定/解除(マルチファンクションディスプレイ)	186
ディスプレイメッセージ	187
アクティブライトシステム	119
アクティブブレーンキーピングアシスト	
機能/注意	178
ディスプレイメッセージ	187
アシスト画面(マルチファンクションディスプレイ)	186
アダプティブハイビームアシスト・プラス	
機能/注意事項	120
ディスプレイメッセージ	187
アダプティブブレーキ	85
アダプティブブレーキライト	81
アテンションアシスト	
機能/注意	174
設定/解除	186
ディスプレイメッセージ	187
アドレス帳	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
安全	
子供を乗せるとき	60
安全システム	
チャイルドセーフティシート	60
アンチロック・ブレーキング・システム	
参照 ABS(アンチロック・ブレーキング・システム)	
アンビエントライト	
カラーの設定(マルチファンクションディスプレイ)	186
照度の設定(マルチファンクションディスプレイ)	186

い

イージーエントリー機能	
機能/注意事項	115
作動/解除	186
イグニッションロック	
参照 キーの位置	
イモビライザー	88
インジケーター	
参照 方向指示灯	
インテリジェントライトシステム	
オン/オフ	186
概要	119
ディスプレイメッセージ	187
ロービームヘッドライトの左側/右側通行の設定	186

う

ウィンタータイヤ	
ウィンタータイヤ	277
速度制限(マルチファンクションディスプレイ)	186
ウインドウ	
清掃	248
デフロスター	130
参照 サイドウインドウ	
ウインドウウォッシャー	
注意	309
補給	245
ウインドウウォッシャー液	
参照 ウインドウウォッシャー	
ウインドウバッグ	
機能	53
ウォッシャー液	
ディスプレイメッセージ	187
ウッドトリム(清掃の説明)	248
ウッドラゲッジルームフロアー(清掃の説明)	248
運転席	
概要	32
運転席ドア	
参照 ドア	
運転のヒント	
一般	148
オートマチックトランスミッション	140
下り坂の傾斜	148

新品のブレーキパッド/ライニング	149
スノーチェーン	277
冬季の走行	149
凍結した路面	149
凍結防止剤等が撒かれた路面でのブレーキ性能の制限	149
慣らし運転について注意事項	132
濡れた路面の走行	149
燃料	148
ハイドロブレーキング現象	149
ブレーキ	148
AMG セラミックブレーキ	149

え

エアコンディショナー

ウインドウの曇りを取る	130
エアコンディショナーのモード設定(送風)	130
オン/オフ	130
温度の設定	130
クライメートコントロール(後席独立調整)	129
コンビエンスオープニング/クロージング(内気循環モード)	130
システムの概要	128
重要な安全上の注意	128
送風口の調整	130
送風配分の選択	130
送風量の調整	130
ゾーン機能の設定/解除	130
内気循環モードの作動/解除	130
表示灯	130
フロントウインドウの霜を取る	130
余熱ヒーターのオン/オフ	130
リア操作パネル	129
リアデフォッガーの作動/解除	130
リアデフォッガーの不具合	130
AC モード	130
AC モードの不具合	130
AUTO モード	130

エアコンディショナーシステム

参照 エアコンディショナー

エアバッグ

ウインドウバッグ	53
概要	50
格納場所	51
サイドバッグ	52
作動	54
重要な安全上の注意点	50
助手席エアバッグオフ表示灯	45
ニーバッグ	52
フロントエアバッグ(運転席、助手席)	52
ペルビスバッグ	53

エマージェンシーキー

運転席ドアの解錠	99
機能/注意	94
車両の施錠	99
挿入	95
取外し	94

エンジン

エンジン番号	303
オーバーヒート	245
キーレスゴースイッチ操作によるエンジン始動	137
警告灯(エンジン診断)	196
けん引始動(車両)	269
作動不良	139
始動時のトラブル	139
ジャンプスタート	263
停止	147
ディスプレイメッセージ	193
ECO スタートストップ機能	138

エンジンオイル

エンジンオイル量の点検	241
オイルグレードについての注意	307
温度(マルチファンクションディスプレイ)	186
充填容量	308
定期交換	243
ディスプレイメッセージ	187
補給	242
油量および消費についての注意	241
レベルゲージを使用してオイル量を点検する	242

エンジン自動始動(ECO スタートストップ機能)

エンジン自動始動(ECO スタートストップ機能)	139
--------------------------	-----

エンジン自動停止(ECO スタート ストップ機能)	139
エンジンジャンプスタート 参照 ジャンプスタート(エンジン)	
エンジンの始動 キー操作	137
エンジンの電子制御部品 故障(誤作動)	139

お

オイル

参照 エンジンオイル

応急用スペアタイヤ

サービスデータ	299
収納	297
収納場所	296
重要な安全上の注意	295
全体的な注意事項	296
取り外し	296

オートマチックトランスミッション

アクセルペダルのポジション ..	140
運転のヒント	140
エマージェンシーモード	140
エンジンの始動	136
オートマチック走行モード	140
概要	139
ギアシフト操作	140
キックダウン	140
シフトポジション	140
シフトポジション表示	139
ステアリングパドルシフト	140
セレクターレバー	139
走行モード選択スイッチ	140
走行モード表示	140
ディスプレイメッセージ	187
ドライブポジションの選択	140
トラブル(不具合)	140
トランスミッションポジション 表示(ダレクトセレクトレ バー)	140
ニュートラルの選択	140
パーキングポジションPの選 択	140
パーキングポジションPの選 択(AMG車)	139

パーキングポジションの自動選 択	140
発進	137
マニュアルギアシフト	140
マニュアル走行モード(AMG 車両)	141
マニュアル走行モード(AMG スポーツパッケージ装備車 両)	141
リバースギアの選択	140
DIRECT SELECT レバー	140

オートマチックトランスミッシ ョンのエマージェンシーモード	140
オートマチックヘッドライトモ ード	118

オートライト

ディスプレイメッセージ	187
-------------------	-----

オーバーヘッドコントロールユ ニット	40
オドメーター	186

音楽ファイル

デジタル版取扱説明書をご覧 ください	208
-----------------------------	-----

音声認識機能

参照 別冊取扱説明書

温度

エンジンオイル(マルチファン クションディスプレイ)	186
外気温度	184
設定(エアコン)	130
冷却水	184
冷却水(マルチファンクシ ョンディスプレイ)	186

か

外気温度計	184
解錠	

車内から(セントラルロック ングスイッチ)	99
非常時の解錠	99

懐中電灯	250
------------	-----

ガソリン	304
------------	-----

カップホルダー

重要な安全上の注意	237
センターコンソール	237
リア	237

可変スピードリミッター			
可変機能	151		
可変機能の解除	153		
機能/注意	151		
現在の速度を記憶する	152		
重要な安全上の注意	151		
選択	152		
参照 スピードリミッター			
LIM 表示灯	151		
環境保護			
全体的な注意事項	25		
冠水路の走行(オンロード)	149		
寒冷時の走行			
重要な安全上の注意	277		
スノーチェーン	277		
滑りやすい路面	149		
き			
ギアまたはセレクターレバー(清掃の説明)	248		
キー			
位置(エンジンスイッチ)	134		
エマージェンシーキー	94		
エンジンの始動	137		
概要	92		
重要な安全上の注意	92		
設定変更	94		
セントラルロックによる施錠/ 解錠	92		
ディスプレイメッセージ	187		
電池交換	95		
電池点検	95		
不具合(異常)	97		
紛失	97		
キーの位置			
キー	134		
キーレスゴースイッチ	134		
キーレスゴー			
エンジン始動	137		
解錠	93		
キーレスゴースイッチ	134		
キーレスゴースイッチの取り外し	136		
施錠	93		
ディスプレイメッセージ	187		
キックダウン			
運転のヒント	140		
			マニュアル走行モード 142
救急セット	251		
給油			
給油のしかた	143		
重要な安全上の注意	142		
燃料計	34		
参照 燃料			
緊急			
事故後の自動措置	59		
緊急時点灯機能	122		
<			
クリアスイッチ	214		
クルーズコントロール			
解除	151		
機能/注意	149		
クルーズコントロールレバー	150		
現在の速度を記憶および維持する	151		
作動条件	151		
重要な安全上の注意	150		
選択	150, 151		
走行装備	149		
速度の設定	151		
ディスプレイメッセージ	187		
LIM 表示灯	150		
グローブボックス	227		
クロストラフィックアシスト付き BAS プラス(ブレーキアシスト・ プラス)			
重要な安全上の注意	86		
け			
警告灯/表示灯			
一般的な注意	196		
エンジン診断	196		
各部の名称	35		
シートベルト	197		
車間距離警告	205		
乗員保護装置	203		
スポーツハンドリングモード	202		
燃料残量	196		
ブレーキ	198		
冷却水	204		
ABS	199		
ESP®	201		

ESP®オフ	202
LIM(可変スピードリミッター)	151
LIM(クルーズコントロール) ..	150
LIM(ディストロニック・プラス)	155
警告灯と表示灯	
助手席エアバッグオフ	45
計測(レースタイマー)	186
携帯電話	
周波数	302
接続する (Bluetooth® インターフェイス)	217
送信出力(最大)	302
取り付け	302
認証する	219
認証を解除する	221
別の携帯電話を接続する	221
メニュー(マルチファンクションディスプレイ)	186
警報	
オフにする(ATA)	88
機能のオン/オフを切り替える(ATA)	88
ATA(盗難防止警報システム) ...	88
軽油	306
けん引	
けん引フックの取り付け	267
けん引フックの取り外し	268
重要な安全上の注意	266
フロントおよびリアが接地した状態で	268
リアをつり上げて	268
けん引始動	
エンジンエマージェンシースタート	269
重要な安全上の注意	266
けん引フック	251
けん引防止	
オフにする	89
解除	89
機能	89
待機状態	89
言語の設定	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208

こ

高圧式スプレーガンの使用	248
コートフック	230
コーナリングライト	
機能/注意	119
ディスプレイメッセージ	187
故障	
参照 けん引	
参照 パンクしたタイヤ	
故障メッセージ	
参照 ディスプレイメッセージ	
故障メッセージを表示させる	
参照 ディスプレイメッセージ	
子供	
乗員保護装置	60
小物入れ	
アームレスト(下)	227
運転席および助手席シート下部	227
カップホルダー	237
グローブボックス	227
後席	227
重要な安全上の注意	227
センターコンソール	227
ディスプレイメッセージ	187
メガネホルダー	227
ラゲッジネット	227
コラプシブル応急用スペアタイヤ	
空気注入	297
参照 応急用スペアタイヤ	
コントローラー	213
コンビニエンスオープニング/クロージング(内気循環モード)	130
コンビニエンスボックス	233
コンビネーションスイッチ	119

さ

サービス	
参照 メンテナンスインジケーター	
サービスセンター	
参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場	
サービスデータ	
応急用スペアタイヤ	299
タイヤ/ホイール	286
容量	303

サービスプロダクト			
燃料	303	警告灯(機能)	50
ブレーキ液	308	後席中央	49
AdBlue®専用添加剤	307	シートベルト調整の作動/停止 (マルチファンクションディスプレイ)	186
サイドウインドウ		重要な安全上の注意点	46
開閉(すべて)	106	高さ調整	48
開閉(フロント)	106	正しい着用方法	47
重要な安全上の注意	105	着用	48
不具合(異常)	107	手入れ	248
リセット	106	シートベルトテンショナー	
サイドバッグ	52	作動	54
サスペンション		事故	
モードセットアップ画面(マルチファンクションディスプレイ)	186	事故後の自動措置	59
サスペンションの制御		時刻の設定	
AIR マティックサスペンション	166	デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
サマータイヤ	277	事故のとき	59
サンバイザー	238	自宅住所	
		デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
		室内センサー	
		解除	90
		機能	89
		待機状態	89
		指定サービス工場	
		参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場	
		始動(エンジン)	136
		シフトインジケーター(マルチファンクションディスプレイ)	186
		シフトポジション表示	140
		シフトポジション表示(DIRECT SELECT レバー)	140
		車外ライト	
		設定オプション	118
		参照 ライト	
		車間距離警告信号(警告灯)	205
		車高	
		AIR マティックサスペンション	165
		遮光フィルム	238
		車載工具	251
		車台ナンバープレート	
		参照 ビークルプレート	
		車台番号	
		参照 VIN	
し			
シート			
運転席のシートポジション	112		
シートバックレストのディスプレイメッセージ	196		
シートヒーターのトラブル	115		
シートヒーターを使用する	114		
シートベンチレーターの使用	114		
重要な安全上の注意	113		
調整(電動式)	114		
電動ランバーサポートを調整する	114		
バックレスト(後席)を倒す/起こす	229		
表面の手入れ	248		
ヘッドレストの調整	114		
マルチコントロールシートバック	114		
メモリー機能(設定の記憶)	115		
ランバーサポートの調整	114		
シートベルト			
運転席および助手席シートベルト	49		
解除	49		
概要	46		
警告灯	197		

ジャッキ	
収納場所	251
使用方法	282
車内ライト	
消灯遅延機能(マルチファンク ションディスプレイ)	186
車両	
運搬	268
解錠(キー)	92
各種の設定	186
けん引	266
ジャッキアップ	282
ジャッキダウン	286
車両が動き出さないよう固定す る	282
車両データ	310
施錠(キー)	92
装備	26
正しい使用	28
駐車	148
ディスプレイメッセージ	195
データ取得	28
電子制御部品	302
発進	137
非常時の解錠	99
非常時の施錠	99
車両データ	310
車両を運搬する	268
ジャンプスタート(エンジン)	263
住所の入力	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
周波数	
携帯電話	302
無線機	302
乗員安全性	
子供を乗せるとき	60
事故後の自動措置	59
重要な安全上の注意点	44
PRE-SAFE®(予見的乗員保護 システム)	57
乗員の安全性	
ペットを乗せるとき	77
乗員保護装置	
概要	44
警告灯	203
警告灯(機能)	45
ディスプレイメッセージ	191
消灯遅延機能	
車外ライト(マルチファンク ションディスプレイ)	186
車内ライト	186
照度コントローラ(メーターパネル 照明)	34
助手席エアバッグオフ	
トラブル(故障)	68
表示灯	45
伸縮式ベルト(イージーバック フィックスキット)	235
診断機の接続部	27
す	
スイッチおよびコントローラー ..	213
スタートストップ機能	
参照 ECO スタートストップ機能	
ステアリング	
安全のために	115
スイッチ(マルチファンクショ ンディスプレイ)	185
スイッチの概要	36
ステアリングヒーター	115
調整(電動)	115
パドルシフト	140
メモリー機能(シート位置の記 憶)	115
ステアリング(清掃の説明)	248
ステアリング(ディスプレイメッ セージ)	196
ステアリングアシストおよびス トップ&ゴーパイロット(ディス トニック・プラス)	
設定/解除	186
ディスプレイメッセージ	187
ステアリングヒーター	
作動/解除	115
ストップウォッチ(レースタイ マー)	186
スノーチェーン	277
スピードメーター	
セグメント表示	184
表示単位の設定	186
メーターパネル内	34
参照 メーターパネル	
スピードリミッター	
スノータイヤ	153

ディスプレイメッセージ	187
スペアタイヤ	
収納	297
スポーツハンドリングモード	
警告灯	202
作動 / 解除(AMG 車)	83
スライディングルーフ	
開閉	108
重要な安全上の注意	107
不具合(誤作動)	110
リセット	109
レインクローズ機能	109
スルーローディング	227

せ

清掃	
ドアミラー方向指示灯	248
セーフティネット	
重要な安全上の注意	232
装着	232
施錠	
参照 セントラルロックシステム	
施錠(ドア)	
車内から(セントラルロック グスイッチ)	99
非常時の施錠	99
施錠確認シグナル音(マルチファン クッションディスプレイ)	186
設定	
初期化(マルチファンクション ディスプレイ)	186
マルチファンクションディス プレイ	186
設定変更(キー)	94
セットアップ画面(マルチファンク ションディスプレイ)	186
センサー(日常の手入れ)	248
洗車(手入れ)	247
センターコンソール	
下部	38
下部(AMG 車)	39
上部	37
セントラルロックシステム	
車速感応ドアロック(マルチ ファンクションディスプレ イ)	186
施錠/解錠(キー使用)	92

セントラルロック

参照 セントラルロックシステム

そ

走行安全システム

EBD(エレクトロニック・ブ レーキパワー・ディストリ ビューション)	85
---	----

走行安全装備

アダプティブブレーキ	85
アダプティブブレーキライト ..	81
概要	77
重要な安全上の注意点	77
ABS(アンチロック・ブレーキ ング・システム)	78
BAS(ブレーキアシスト)	78
BAS プラス(飛び出し検知機能 付ブレーキアシスト・ブラ ス)	79
ESP®(エレクトロニック・ス タビリティ・プログラム)	81
ETS/4ETS(エレクトロニッ クトラクションシステム)	81
PRE-SAFE® ブレーキ	85

走行距離記録

走行システム

ステアリングアシストおよびス トップ&ゴーパイロット付ディ ストロニック・プラス	161
--	-----

走行時の注意

冠水路の走行(オンロード)	149
濡れた路面	148

走行装備

アクティブドライビングアシス タンスパッケージ	175
アクティブパーキングアシス ト	168
アクティブブラインドスポット アシスト	175
アクティブブレーキキーピングア シスト	178
アテンションアシスト	174
可変スピードリミッター	151
クルーズコントロール	149
ディストロニック・プラス ..	153
ディスプレイメッセージ	187
パークトロニック	167

ホールド機能	163	タイヤの取り付け	281
リアビューカメラ	170	タイヤの取り外し	284
レーススタート(AMG車)	164	タイヤのトレッド	276
360° カメラシステム	171	耐用年数	276
AIR マテックサスペンション	165	ディスプレイメッセージ	194
AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション	166	点検	275
走行モード		ホイールとタイヤの組み合わせ	288
オートマチック	140	保管	281
セットアップ画面(マルチファンクションディスプレイ)	186	参照 パンクしたタイヤ	
表示	139	MOExtended タイヤ	276
表示(ダレクトセレクトレバー)	140	タイヤ空気圧	
マニュアル	140	指定	277
マニュアル(AMG車両)	141	達している(タイヤフィット) ..	257
マニュアル(AMGスポーツパッケージ装備車両)	141	達しない(タイヤフィット)	256
走行モード選択スイッチ	140	ディスプレイメッセージ	194
走行モード選択ダイヤル	140	タイヤ空気圧警告システム	
操作		再起動	279
デジタル版取扱説明書	23	重要な安全上の注意	279
操作安全性		全体的な注意事項	279
重要な安全上の注意	26	タイヤの取り付け	
操作システム		ジャッキアップ	282
参照 マルチファンクションディスプレイ		ジャッキダウン	286
送風	130	車両が動き出さないよう固定する	282
送風配分の設定	130	車両の準備	281
送風量の設定	130	車輪の装着	285
ゾーン機能		車輪の取り外し	284
オン/オフ	130	タイヤフィット	254
速度制限の設定		タコメーター	184
参照 可変スピードリミッター		ダッシュボード	
速度の制御		参照 メーターパネル	
参照 クルーズコントロール		タンク	
		参照 燃料タンク	
た			
タイヤ		ち	
応急用スペアタイヤ	295	チャイルドセーフティシート	
回転方向	281	後ろ向き乗員保護装置	67
交換	280	自動検知	64
重要な安全上の注意	274	純正	72
新品の車輪の取り付け	285	助手席に装着	66
タイヤサイズ(データ)	286	適切な位置	69
タイヤの交換	280	テザーアンカー	62
		トラブル(故障)	68
		前向き乗員保護補助装置	67
		ISOFIX	61

チャイルドブルーロック
 重要な安全上の注意 75
 リアサイドウィンドウ 77
 リアドア 76

駐車
 重要な安全上の注意 146
 助手席側ドアミラーの位置 115
 リアビューカメラ 170
 参照 パークトロック
 参照 駐車

著作権 29

て

停止表示板 250

ディストロニック・プラス
 解除 158
 機能/注意 153
 作動 156
 作動条件 156
 指定最低距離の設定 158
 重要な安全上の注意 154
 選択する 155
 ディスプレイメッセージ 187
 マルチファンクションディスプレイの表示 158

ディスプレイ(日常の手入れ) 248

ディスプレイメッセージ
 安全装備 188
 エンジン 193
 キー 187
 キーレスゴー 187
 車両 195
 全体的な注意事項 187
 走行装備 187
 タイヤ 194
 非表示(マルチファンクションディスプレイ) 187
 メンテナンスインジケーター .. 246
 呼び出し(マルチファンクションディスプレイ) 187
 ライト 187

デイトムドライビングライト
 ディスプレイメッセージ 187
 点灯/消灯(マルチファンクションディスプレイ) 186

手入れ
 ウィンドウ 248

ウッドトリム 248
 ウッドラゲッジルームフロア .. 248
 カーペット 248
 ギア/セクターレバー 248
 高圧式スプレーガン 248
 シート表皮 248
 シートベルト 248
 自動洗車機 247
 車外ライト 248
 車内 248
 センサー 248
 洗車 248
 注意 246
 ディスプレイ 248
 塗装面 248
 トリム部品 248
 プラスチックトリム 248
 ホイール 248
 マットペイント 248
 マフラー 248
 リアビューカメラ 248
 ルーフライニング 248
 ワイパーブレード 248

データ

参照 サービスデータ

テールゲート
 開度の設定 103
 開閉(車外から) 101
 開閉(車外から自動) 101
 開閉(車内から自動) 103
 重要な安全上の注意 100
 ディスプレイメッセージ 195
 非常時の解錠 104
 開いたときの寸法 310

テールランプ

ディスプレイメッセージ 187

テザーアンカー 62

デジタルスピードメーター 186

デジタル版取扱説明書

概要 23
 ヘルプ 23

テレビ

操作(マルチファンクションディスプレイ) 186
 参照 別冊の取扱説明書

電球の交換

一般的な注意事項 122

電源ソケット			
アームレスト下側	237		
センターコンソール	237		
全体的な注意	237		
トランク	237		
ラゲッジルーム	237		
リア	237		
電子制御部品			
注意	302		
電池(キー)			
交換	95		
点検	95		
電動ブラインド			
リアウインドウ	237		
電話			
携帯電話から接続を確立する ..	220		
携帯電話間の切り替え	221		
携帯電話の接続(全般的な情報)	217		
携帯電話の認証(接続)	219		
携帯電話の認証の解除(切断) ..	221		
携帯電話を自動的に再接続する	221		
着信を受ける	186, 222		
通話の拒否	222		
通話の拒否/終了	186		
通話を終える	222		
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208		
電話帳からの番号	186		
電話の使用	222		
電話番号を入力する	222		
発信する	222		
メニュー(マルチファンクションディスプレイ)	186		
リダイヤル	186		
電話帳			
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208		
電話番号			
入力する	222		
と			
ドア			
オートマチックロック(マルチファンクションディスプレイ)	186		
車速感応ドアロック(スイッチ)	99		
重要な安全上の注意	98		
セントラルロックによる施錠/解錠(キー使用)	92		
操作パネル	41		
ディスプレイメッセージ	187		
非常時の解錠	99		
非常時の施錠	99		
開く(車内から)	99		
ドアミラー			
格納/展開(自動)	115		
格納/展開(電動)	115		
施錠時の格納(マルチファンクションディスプレイ)	186		
調整	115		
防眩(自動)	115		
メモリー機能(設定の記憶)	115		
リセット	115		
リバースポジションの記憶	115		
ドアロック			
車速感応	99		
盗難防止			
イモビライザー	88		
けん引防止機能	89		
室内センサー	89		
ATA(盗難防止警報システム) ..	88		
読書灯	122		
塗装面(日常の手入れ)	248		
トランク			
開閉(車外からの自動)	101		
開閉(車外からの手動)	101		
開閉(車内からの自動)	103		
重要な安全上の注意	100		
非常時の解錠	104		
トランクの積載量(最大)	310		
トランクフロアボード下の収納スペース	236		
トランクリッド			
ディスプレイメッセージ	187		
開いたときの寸法	310		
トランスミッション			
参照 オートマチックトランスミッション			
取扱説明書			
車両装備	26		
トリップコンピューター(マルチファンクションディスプレイ) ..	186		

トリップメーター			
初期化(マルチファンクションディスプレイ)	186		
呼び出し	186		
トリム部品(清掃の説明)	248		
な			
内気循環モードの作動および解除	130		
ナビ			
メニューの表示/非表示	215		
ナビゲーション			
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208		
メニュー(マルチファンクションディスプレイ)	186		
参照 別冊の取扱説明書			
慣らし運転	132		
に			
ニーバッグ	52		
荷物固定用リング	230		
荷物の積み方	226		
ね			
燃費(マルチファンクションディスプレイ)	186		
燃料			
運転のヒント	148		
給油	142		
グレード(ガソリン)	304		
重要な安全上の注意	303		
消費に関する情報	306		
走行可能距離の表示	186		
タンク容量/予備燃料	304		
添加剤	305		
燃料計	34		
燃料消費の表示	186		
品質(ディーゼル)	306		
平均燃費	186		
問題があるとき	146		
AMG 車	305		
燃料および油脂			
ウォッシュャー液	309		
エンジンオイル	307		
重要な安全上の注意	303		
冷却水(エンジン)	308		
燃料キャップ			
参照 燃料給油口フラップ			
燃料給油口フラップ			
非常時の解錠	144		
開く	144		
燃料残量			
警告灯	196		
走行可能距離の呼び出し(マルチファンクションディスプレイ)	186		
ディスプレイメッセージ	187		
燃料タンク			
不具合	146		
容量	304		
燃料容量			
燃料計	34		
は			
パーキング			
パーキングブレーキ	147		
パーキングアシスト			
参照 パークトロニック			
パーキングブレーキ			
機能/注意	147		
ディスプレイメッセージ	187		
パーキングヘルプ			
アクティブパーキングアシスト	168		
参照 ドアミラー			
参照 パークトロニック			
パーキングランプ			
ディスプレイメッセージ	187		
点灯/消灯	118		
パークトロニック			
インジケーター	168		
解除/作動	168		
機能/注意	167		
重要な安全上の注意	167		
センサーの感知範囲	168		
走行装備	167		
不具合(故障)	168		
ハイウェイモード	120		
灰皿	237		
ハイドロプレーニング現象	149		

ハイビームヘッドライト	
アダプティブハイビームアシスト・プラスのオン/オフの切り替え	121
アダプティブハイビームアシストプラス	120
ディスプレイメッセージ	187
点灯/消灯	119
バックランプ(ディスプレイメッセージ)	187
発進(オートマチックトランスミッション)	137
発進する	
全体的な注意事項	137
バッテリー(車両)	
ジャンプスタート	263
充電	261
重要な安全上の注意事項	258
電圧	311
容量	311
パドルシフト	140
パニティミラー(サンバイザー内)	238
パワーウィンドウ	
参照 サイドウィンドウ	
バンク	
参照 応急用スペアタイヤ	
バンクしたタイヤ	
車両の準備	253
タイヤフィット	254
MOExtended タイヤ	253
番号	
ダイヤルする	222
ひ	
ビークルプレート	302
ヒーター	
参照 エアコンディショナー	
非常時の解錠	
運転席ドア	99
車両	99
テールゲート	104
燃料給油口フラップ	144
非常時の車両の施錠	99
非常点滅灯	118
日付/時刻形式の設定	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
ビデオ	
デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
ビデオ (DVD)	186
ヒューズ	
エンジンルーム内のヒューズボックス	270
交換の前に	270
重要な安全上の注意	269
トランク内のヒューズボックスの位置	271
配置表	270
ラゲッジルーム内のヒューズボックス	271
ヒューズ配置表(車載工具)	251
表示灯	
参照 警告灯/表示灯	
ヒルスタートアシスト	138
ふ	
フォグランプ(強化機能)	120
フューエルリザーブ	
参照 燃料	
ブラインドスポットアシスト	
参照 アクティブブラインドスポットアシスト	
プラスチックトリム(清掃の説明)	248
ブレーキ	
運転のヒント	148
強化ブレーキシステム	149
警告灯	198
重要な安全上の注意	148
ディスプレイメッセージ	188
パーキングブレーキ	147
ブレーキ液(注意)	308
ホールド機能	163
ABS	78
BAS	78
BAS プラス(飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)	79
ブレーキアシスト	
参照 BAS(ブレーキアシスト)	

ブレーキ液			ホイールボルトの締め付けトルク	286
注意	308		方向指示灯	
ディスプレイメッセージ	191		ディスプレイメッセージ	187
ブレーキ液量	246		点灯/消灯	119
ブレーキランプ			放送局の選択	
アダプティブ	81		ラジオ	224
ディスプレイメッセージ	187		ホールド機能	
フロアマット	238		解除	164
フロントフォグランプ			機能/注意	163
ディスプレイメッセージ	187		作動	164
フロントワイパー			補充	
不具合	125		AMG 車についての注意	305
へ			ボックス(トランク)	233
ヘッドバッグ			ボトルホルダー	237
ディスプレイメッセージ	192		ボンネット	
ヘッドライト			重要な安全上の注意	240
ウォッシャー(注記)	309		ディスプレイメッセージ	195
くもり	118		閉じる	241
参照 オートマチックヘッドライトモード			開く	240
ヘッドレスト			ま	
調整	114		マットペイント(日常の手入れ)	248
調整(リア)	114		マフラー(手入れ)	248
参照 NECK PRO アクティブヘッドレスト			マルチコントロールシートバック	114
参照 NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト			マルチファンクションステアリング	
ペットを乗せるとき	77		概要	36
ベルト			マルチファンクションディスプレイの操作	185
参照 シートベルト			マルチファンクションディスプレイ	
ほ			安全に関する重要事項	184
ホイール			オーディオメニュー	186
交換/ローテーション	280		機能/注意	184
締め付けトルク	286		基本画面	186
重要な安全上の注意	274		コンフォートサブメニュー	186
清掃	248		サブメーター	186
清掃(警告の注意)	281		車両サブメニュー	186
タイヤの交換	280		設定初期化サブメニュー	186
点検	275		操作	185
ホイールサイズ/タイヤサイズ	286		ディストロニック・プラス	158
保管	281		ディスプレイメッセージ	187
ホイールとタイヤの組み合わせ			テレビの操作	186
参照 タイヤ			点検メッセージの表示	246
			トリップメニュー	186

ナビゲーションメニュー	186
ビデオ DVD の操作	186
メーターパネルサブメニュー ..	186
メッセージの記憶	187
メニューの概要	186
メンテナンスメニュー	186
ライトサブメニュー	186
レースタイマー	186
AMG メニュー	186

み

ミラー

参照 ドアミラーまたはルームミラー
参照 バニティミラー (サンバイザー内)
参照 ルームミラー

む

無線機

周波数	302
送信出力(最大)	302
取り付け	302

め

メーターパネル

各部の名称	34
警告灯/表示灯	35

メーターパネル照明

メガネホルダー

メッセージ

参照 ディスプレイメッセージ

メッセージの記憶(マルチファンク
ションディスプレイ)

メディアインターフェース

参照 別冊取扱説明書

メモリーカード(オーディオ)

メモリー機能

メルセデス・ベンツ・インテリ
ジェントドライブ

アクティブパーキングアシ スト	168
アクティブブラインドスポット アシスト	175
アクティブレーンキーピングア シスト	178
アテンションアシスト	174

クルーズコントロール	149
ステアリングアシストおよびス トップ&ゴーパイロット付ディ ストロニック・プラス	161
全般的な注意事項	149
ディストロニック・プラス	153
パーキングアシストリアビュー カメラ	170
パークトロニック	167
360° カメラシステム	171
PRE-SAFE®(予見的乗員保護 システム)	57
PRE-SAFE®プラス(予期乗員 保護措置プラス)	58

メルセデス・ベンツ指定サービス

工場

メルセデス・ベンツ純正部品

メンテナンス

参照 メンテナンスインジケーター

メンテナンスインジケーター

注意	246
特別な点検が必要なとき	246
メンテナンスインジケーターの リセット	246
メンテナンスメッセージ	246
メンテナンスメッセージの非表 示	246
メンテナンスメッセージの表 示	246

メンテナンスメニュー(マルチファンク
ションディスプレイ)

よ

余熱ヒーター(エアコンディショ
ナー)

予備(燃料タンク)

参照 燃料

ら

ライセンスランプ(ディスプレイ
メッセージ)

ライター

ライト

アクティブライトシステム	119
アダプティブハイビームアシ ストプラス	120

アンビエントライトのカラーの設定(マルチファンクションディスプレイ)	186	ラゲッジルームのフロア 収納スペース	236
アンビエントライトの照度の設定(マルチファンクションディスプレイ)	186	開く/閉じる	236
インテリジェントライトシステムのオン/オフ	186	ラジオ 概要	223
コーナリングライト	119	切り替える	223
車外ライト消灯遅延機能の作動/解除(マルチファンクションディスプレイ)	186	交通情報	224
車内ライト消灯遅延機能の作動/解除	186	周波数バンドの設定	224
車幅灯	118	放送局の選択	186
ディスプレイ/スイッチの照度設定(マルチファンクションディスプレイ))	186	参照 別冊の取扱説明書	
デイトタイムドライビングライトの点灯/消灯(マルチファンクションディスプレイ)	186	ラジオモード デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
パーキングランプ	118	ラップタイム(レースタイマー) ..	186
ハイウェイモード	120	ランバーサポート 調整	114
ハイビームヘッドライト	119	電動ランバーサポートの調整 ..	114
非常点滅灯	118	ランプ 参照 警告灯/表示灯	
フォグランプ(強化機能)	120		
ヘッドライトのオートモード ..	118		
ヘッドライトのパッシング ...	119		
方向指示灯	119		
ランプスイッチ	118		
リアフォグランプ	118		
ロービームヘッドライト	118		
ロケイターライティングのオン/オフの切り替え(マルチファンクションディスプレイ)	186		
ライトセンサ	187		
ラゲッジネット	227		
ラゲッジホルダー(イージーバックフィックスキット)	235		
ラゲッジルーム	226		
ラゲッジルームカバー 機能/注意	231		
重要な安全上の注意事項	231		
取付け / 取外し	231		
取り付けおよび取り外し	231		
ラゲッジルームの拡大	228		
		り	
		リアウインドウの電動ブラインド	237
		リアシート ディスプレイメッセージ	196
		リアシート(バックレストを倒す/起こす)	228
		リアデフォグガー 機能のオン/オフ	130
		トラブル(故障)	130
		リアビューカメラ オン/オフ	171
		機能/注意	170
		清掃の説明	248
		リアフォグランプ ディスプレイメッセージ	187
		点灯/消灯	118
		リアワイパー オン/オフの切り替え	123
		ワイパーブレードの交換	124
		リターンスイッチ	213
		リバースギア(セレクターレバー)	139
		リバース機能 サイドウインドウ	105
		スライディングルーフ	108

トランクリッド/テールゲート	100
る	
ルート(ナビゲーション) 参照 ルート案内 (ナビゲーション)	
ルート案内 デジタル版取扱説明書をご覧ください	208
ルート案内(ナビゲーション)	186
ルーフの積載量(最大)	310
ルーフライニングとカーペット (清掃の説明)	248
ルーフラック	237
ルームミラー 防眩(自動)	115
防眩(手動)	115
ルームライト アンビエントライトのカラーの 設定(マルチファンクション ディスプレイ)	186
アンビエントライトの照度の設 定(マルチファンクションディ スプレイ)	186
概要	122
緊急時点灯機能	122
自動点灯	122
手動点灯	122
ディスプレイ/スイッチの照度 設定(マルチファンクション ディスプレイ)	186
読書灯	122
れ	
冷却水(エンジン) 温度(マルチファンクション ディスプレイ)	186
温度計	184
警告灯	204
重要な安全上の注意	308
定期交換	245
ディスプレイメッセージ	193
補給	244
量の点検	243
冷房 参照 エアコンディショナー	

レインクローズ機能(スライ ディングルーフ)	109
レーススタート(AMG 車両)	164
レースタイマー(マルチファンク ションディスプレイ)	186
レーンキーピングアシスト 設定 / 解除	186
設定/解除(マルチファンクショ ンディスプレイ)	186

ろ

ロービームヘッドライト ディスプレイメッセージ	187
点灯/消灯	118
左側/右側通行の設定	186
ロケイターライティング(マルチ ファンクションディスプレイ)	186

わ

ワークショップ 参照 メルセデス・ベンツ指定 サービス工場	
ワイパー リアワイパー	123
ワイパーの操作	123
ワイパーブレードの交換	123
ワイパーブレード 交換	123
交換(フロントウィンドウ)	123
交換(リアウィンドウ)	124
重要な安全上の注意	123
清掃	248
輪止め	282

英字

4ETS 参照 ETS/4ETS (エレクトロ ニックトラクションシステム)	
4MATIC(オフロードシステム) ..	167
4MATIC (フルタイム 4 輪駆 動)	167
12V ソケット 参照 電源ソケット	
360° カメラシステム 機能/注意	171

ABS(アンチロック・ブレーキ グ・システム)	
機能/注意	78
警告灯	199
重要な安全上の注意	78
ディスプレイメッセージ	188
AC モードのオン/オフ	130
AdBlue®	
サービスインジケーター	246
充填容量	307
重要な安全上の注意	307
AdBlue® サービスインジケ ーター	246
ADS(アダプティブ・ダンピン グ・システム)	166
AIR マティックサスペンション	
機能/注意	165
AMG RIDE CONTROL スポ ーツサスペンション	166
AMG メニュー(マルチファン クションディスプレイ)	186
ATA(盗難防止警報システム)	
機能	88
警報の解除	88
作動/解除	88
Audio 20	
機能	209
構成部品	209
コントローラー	213
ディスプレイ	211
BAS(ブレーキアシスト)	78
BAS プラス(飛び出し検知機能付 ブレーキアシスト・プラス)	
機能/注意事項	79
BlueTEC(AdBlue®)	307
Bluetooth®	
携帯電話	217
携帯電話の検索	218
デジタル版取扱説明書をご覧 ください	208
パスコードの入力	219
他の携帯電話との接続	221
CD	
デジタル版取扱説明書をご覧 ください	208
CD プレーヤー/CD チェン ジャー(マルチファンクシ ョンディスプレイ)	186
COMAND Online	
ディスプレイ	211
COMAND コントロールパ ネル	212
COMAND システム	
機能	209
構成部品	209
DIRECT SELECT レバー	
オートマチックトランスミ ッション	140
DVD ビデオ	
操作(マルチファンクシ ョンディスプレイ)	186
デジタル版取扱説明書をご覧 ください	208
EASY-PACK コンビニエ ンスボックス	233
EASY-PACK フィックス キット	
構成部品/収納	234
ローディングレールへのア タッチメントの差し込み	234
EASY-PACK ラゲッジル ーム収納システム	234
EBD(エレクトロニック・ ブレーキパワー・ディス トリビューション)	
機能/注意	85
ディスプレイメッセージ	190
ECO スタートストップ 機能	
一般的な注意	138
エンジン自動始動	139
エンジン自動停止	139
概要	138
作動/解除	139
重要な安全上の注意	138
ECO ディスプレイ	
機能 / 注意事項	148
ESP	
参照 ESP®(エレクトロ ニック・スタビリティ・ プログラム)	
ESP®(エレクトロニック・ スタビリティ・プログラ ム)	
機能/注意	81
警告灯	201
作動/解除(AMG 車)	83
作動/解除(AMG 車を除く)	186

重要な安全上の注意	81	ディスプレイメッセージ	187
全体的な注意事項	81	SD メモリーカード	
ディスプレイメッセージ	188	デジタル版取扱説明書をご覧ください	
特性	82	ださい	208
AMG メニュー(マルチファンク クションディスプレイ)	186	SRS (乗員保護補助装置)	
ETS/4ETS	81	参照 乗員保護装置	
ETS/4ETS(エレクトロニックト ラクションシステム)	81	USB 機器の接続	
Google™ ローカル検索		デジタル版取扱説明書をご覧ください	
デジタル版取扱説明書をご覧ください		ださい	208
ださい	208	VIN	302
iPod			
デジタル版取扱説明書をご覧ください			
ださい	208		
ISOFIX 対応チャイルドセーフ ティシート	61		
LIM 表示灯			
可変スピードリミッター	151		
クルーズコントロール	150		
ディストロニック・プラス ...	155		
M+S タイヤ	277		
MOExtended タイヤ	253		
MP3			
操作	186		
デジタル版取扱説明書をご覧ください			
ださい	208		
参照 別冊の取扱説明書			
NECK PRO アクティブヘッドレ スト			
作動	56		
作動のリセット	56		
NECK PRO ラグジュアリーヘッ ドレスト			
作動	56		
作動時のリセット	57		
重要な安全上の注意事項	56		
PRE-SAFE® プラス(予期乗員保 護プラス)			
操作	58		
PRE-SAFE®(予見的乗員保護シ ステム)			
機能の仕方	57		
ディスプレイメッセージ	187		
PRE-SAFE® ブレーキ			
機能/注意	85		
警告灯	205		
設定/解除	186		

はじめに

印刷版取扱説明書には、車両の安全操作に関する情報が記載されています。デジタル版取扱説明書には、車両に装備されている追加機能および装備について記載されています。車両の機能および Audio 20/COMAND システムの機能については、デジタル版取扱説明書に記載されています。Audio 20/COMAND システムを使用してデジタル版取扱説明書を呼び出すことができます。

i デジタル版取扱説明書のご利用にあたり、お客様には一切費用はかかりません。デジタル版取扱説明書はインターネットに接続せずに作動します。

デジタル版取扱説明書の項目にアクセスするためには、3つの方法があります。

• イメージ検索

イメージ検索により、車両を"システム上"で調べることができます。車外イメージあるいは車内イメージのいずれかから開始し、デジタル版取扱説明書に記載されているさまざまな項目にアクセスすることができます。車両の項目にアクセスするためには、"車内"の画像を選択します。

• キーワード検索

キーワード検索は、文字入力によりキーワードの検索ができます。さらなる情報は、デジタル版取扱説明書の"Audio 20"/"COMAND システム"の"文字入力"にあります。





• 目次

目次の個別項目を選択できます。

i 安全上の理由のため、走行中はデジタル版取扱説明書は作動しません。

操作

デジタル版取扱説明書の呼び出し

- ▶ センターコンソールの  スイッチを押します。
車両に関連した概要が開きます。
- ▶ ダイヤルをまわすか 、スライドして 、メニュー項目の"取扱説明書"を選択します。
- ▶ 警告および安全上の注意事項に関するメッセージを確認します 。
デジタル版取扱説明書の基本メニューが開きます。

デジタル版取扱説明書の操作




全体的な注意事項









コントローラーの操作に関する情報に従ってください (▶ 213 ページ)。

コンテンツページ

イメージ検索、キーワード検索、または目次を使用してコンテンツページにアクセスすることができます。



- ▶ 前/後にスクロールする：コントローラーをまわします 。
- ▶ 全画面/アニメーションで表示する：コントローラーを左  ① にスライドします 。

- ▶ **情報メッセージを選択する/ブックマークを保存する**：コントローラーを右 ② にスライドします 。
- ▶ **リンクを選択する**：コントローラーを下 ③ にスライドします 。
- ▶ **コンテンツページを終了する**： マーク ④ を選択します。
- ▶ **デジタル版取扱説明書の基本メニューを呼び出す**： マーク ⑤ を選択します。
- ▶ **センターコンソールのスイッチを使用して、機能を Audio 20/COMAND システムに切り替える**：、、 または  スイッチを押します。選択されたメニューが開きます。デジタル版取扱説明書はバックグラウンドで開いたままになります。

環境保護

全体的な注意事項

🌀 環境に関する注意

Daimlerは、包括的な環境保護の一つとして対策を明確にしています。

それは、地球上で少しずつ使われ、自然と人間双方の要求に注意を促す、我々の存在の源となる自然資源のためです。

環境的に配慮のある方法で車両を操作することも、環境を保護する一助になります。

燃費やエンジン回転、トランスミッション、ブレーキ、タイヤの摩耗具合は、以下の要因に左右されます。

- お客様の車両の使用状況
- お客様の個人的な運転スタイル

お客様は、いずれの要因にも影響を及ぼしています。以下のことにご注意ください。

使用状況

- 短距離の走行は燃料消費を増やす原因となります。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。
- 不要な重量物は積載しないでください。
- 必要でないときは、ルーフラックを取り外してください。
- 定期的な車両の整備は、環境保護に貢献します。整備の間隔を守ってください。
- 点検整備は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

個人的な運転スタイル

- エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- 車両を停止したままのエンジン暖機は行なわないでください。
- 注意して運転し、前方の車両との適切な距離を保持してください。
- 頻繁な、または急な加速やブレーキ操作は避けてください。

- 適切なタイミングでギアを変え、それぞれのギアの使用は、エンジン最高回転数の $\frac{2}{3}$ までにとどめてください。
- 渋滞しているときは、エンジンを停止してください。
- 車両の燃費に注意してください。

メルセデス・ベンツ純正部品

🌀 環境

Daimler AGでは、新品同様の品質を持つ、リサイクルしたアッセンブリーやパーツも供給しています。新品と同様の保証が適用されます。

! 以下の部位の周辺には、エアバッグやシートベルトテンショナー、また乗員保護装置のコントロールユニットやセンサー類が取り付けられています。

- ドア
- ドアピラー
- サイドシル
- シート
- ダッシュボード
- メーターパネル
- センターコンソール

これらの部位にオーディオなどのアクセサリーを取り付けしないでください。修理や板金作業を行なわないでください。乗員保護装置の作動効果が損なわれるおそれがあります。

アクセサリーを装着するときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない安全性に関わる部品、タイヤおよびホイール、ならびにアクセサリーなどを使用した場合は、車両の走行安全性を損なうおそれがあります。ブレーキシステムなどの安全に関連したシステムが故障するおそれがあります。メルセデス・ベ

ンツ純正部品または同等の品質の部品のみを使用してください。タイヤやホイール、アクセサリーなどは必ず、車両用に明確に承認された製品のみを使用してください。

メルセデス・ベンツでは、純正部品や交換部品、アクセサリーに対して、それらの信頼性や安全性、適合性が明確に車両に適しているかをテストしています。継続的な市場調査に関わらず、メルセデス・ベンツはすべての部品を入手できるわけではありません。そのため、公的に承認されている、またはテストセンターによって独自に承認されている場合でも、メルセデス・ベンツ車でのそのような部品の使用については、メルセデス・ベンツは責任を負いかねます。

メルセデス・ベンツ純正部品を注文するときは、常に車台番号 (VIN) (▶ 302 ページ) を確認する必要があります。

取扱説明書

車両の装備

車両のすべての標準およびオプション装備については、別冊の補足版をご覧ください。

装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書と整備手帳は重要な書類です。車内に保管してください。

操作安全性

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

⚠ 警告

排気システムの熱くなった部品に触れた場合は、葉、草または小枝のような可燃性の物質が発火するおそれがあります。火災の危険性があります。

オフロードまたは舗装されていない道路を走行するときは、車両の下側を定期的に点検してください。特に、挟まった植物や他の可燃物を取り除いてください。損傷している場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

電子部品、ソフトウェア配線への改造は、それらの機能およびその他のネットワークでつながっている構成部品の機能を損なうことがあります。特に、安全にかかわるシステムに影響が生じるおそれがあります。結果として、車両の機能が適切に作動しないあるいは走行安全性が危険にさらされることがあります。けがや事故の危険が高まります。

また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。電気装備および電子機器に関するすべての作業および改造はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべて行ってください。

車両の電子制御部品に変更を行なった場合は、一般使用許可は無効になります。

■ 以下のときは、車両が損傷することがあります：

- 高い縁石や舗装されていない道路で車両が立ち往生した
- 縁石や道路のくぼみなどの障害物の上を速すぎる速度で走行した
- 重量のある障害物がボディ下部やシャーシの部品にぶつかった

このような状況では、目に見える損傷はなくても、ボディ、ボディ下部、シャー

シ部品、ホイール、タイヤが損傷しているおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあり、事故の場合には、設計されている負荷に耐えることができなくなるおそれがあります。

ボディ下部のパネルが損傷しているときは、葉、草または小枝のような可燃性の素材がボディ下部とボディ下部パネルの間に堆積することがあります。これらの素材が排気システムの高温の部品に触れた場合は、発火するおそれがあります。そのような場合には、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場 で点検および修理を受けてください。走行している場合に、走行安全性が損なわれていると感じた場合は、道路や交通状況に注意しながらすみやかに移動し、停車してください。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

診断器接続部

診断器接続部は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場 で診断機器のみを接続するように想定されています。

警告

機器を診断機の接続部に接続すると、車両システムの操作に影響を与える場合があります。車両の走行安全性が損なわれることがあります。事故の危険性があります。

いかなる機器も車両の診断機の接続部に接続しないでください。

警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

! エンジンが停止しているときに診断機の接続部の装備品を使用すると、スターターバッテリーが放電することがあります。

診断機器を診断器接続部に接続すると、例えば排出ガスモニター情報のリセットにつながります。これにより、次の主要な点検の際の排出ガス試験の要件に適合しなくなる場合があります。

日常点検および検査

お客様自身の責任において日常点検と定期検査を行なうことが法律で定められています。それぞれの検査手順についての詳細情報は、整備手帳をご覧ください。

オートマチックトランスミッションの操作

全体的な注意事項

適切にご使用いただくために、オートマチックトランスミッションを使用する前に、特徴や操作に関連する事項についての理解を深めてください。

"走行および駐車"の指示もご覧ください。(p. 139 ページ)。

オートマチックトランスミッションの特徴

クリーブ現象

エンジンがかかっている状態でトランスミッションがトランスミッションポジションDまたはRのときは、駆動輪に動力が伝達されています。その結果、アクセルペダルを踏んでいなくても、車両が動き出します。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場

メルセデス・ベンツ指定サービス工場は、車両に必要な作業を適切に行なうため、専門的な知識、ツールおよび資格を有しています。これは特に安全に関する作業を行なう際に適応されます。

整備手帳にある注意事項に従ってください。

以下の作業については、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

- 安全に関する作業
- 整備およびメンテナンス作業
- 修理作業
- 改造、取り付け、交換
- 電子部品の作業

メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。

正しく使用するために

警告ステッカーをはがすと、お客様や他の方々々が危険を認識できないことがあります。警告ステッカーをはがさないでください。

車両を運転しているときは以下の情報に従ってください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 本説明書のサービスデータ

- 道路交通法
- 自動車に関する法律と安全基準

車両に記憶されているデータ

車両の多くの電子部品は、データメモリーを持っています。

これらのデータメモリーは、以下に関する技術情報を一時的または恒常的に保存します：

- 車両の作動状態
- 発生した事象
- 故障

一般的に、この技術情報は構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態について記録します。

例えば、以下を含みます：

- フルードレベルなどのシステム構成部品の作動条件
- 車輪回転数/速度、動きの減速度、横方向の加速度、アクセルペダルの位置などの車両の状況メッセージおよび個別の構成部品
- ライト、ブレーキなどの重要なシステム構成部品の故障および異常
- エアバッグの作動、スタビリティコントロールシステムの介入などの特殊な走行状態での車両の反応および作動条件
- 外気温度などの外気条件

このデータはあくまで技術的な特性のみであり、以下で使用されます：

- 故障や不具合の検知および改良の支援
- 事故後などの車両機能の解析
- 車両機能の最適化

データを使用して、車両の動きをたどることはできません。

お客様の車両が整備を受けたときは、この技術情報が発生事象データメモリーお

よび故障データメモリーから読み出されます。

例えば以下の整備が含まれます：

- 修理整備
- 整備処理
- 保証作業
- 品質保証

この情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場の認定された従業員（メーカーを含む）が特別な診断機を使用して読み出します。必要に応じて、より詳細な情報を取得します。

故障が解決されたあと、情報は故障メモリーから消去されるか、絶えず上書きされます。

車両を操作する場合、その他の情報と併せて（必要に応じて、該当機関に相談し）、この技術データから個人を特定することができる場合があります。

以下の例が含まれます：

- 事故レポート
- 車両への損傷
- 目撃者証言

お客様と合意したその他の追加機能によっても、特定の車両データを車両から取得することができます。追加機能は、非常時の車両位置などを含んでいます。

著作権の情報

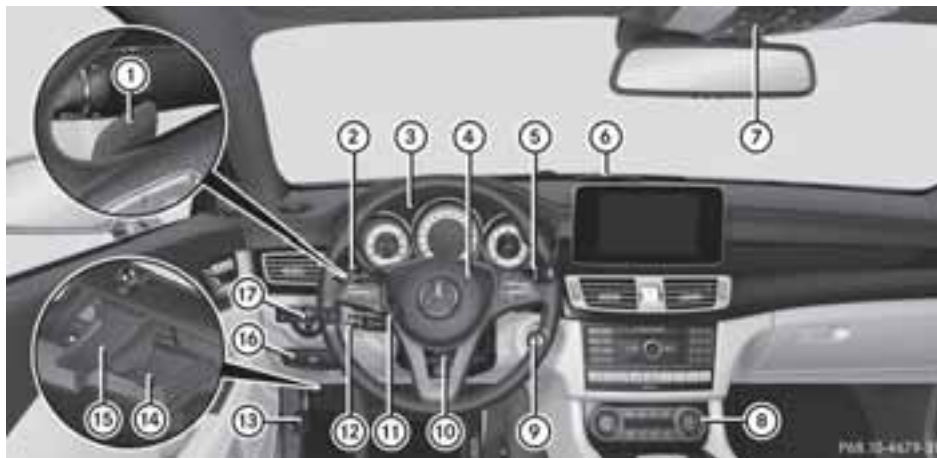
全体的な注意事項

車両およびその電子部品に使用されているフリーおよびオープンソースのソフトウェアのライセンスに関する情報は、下記のウェブサイトから入手できます：



<http://www.mercedes-benz.com/opensource>

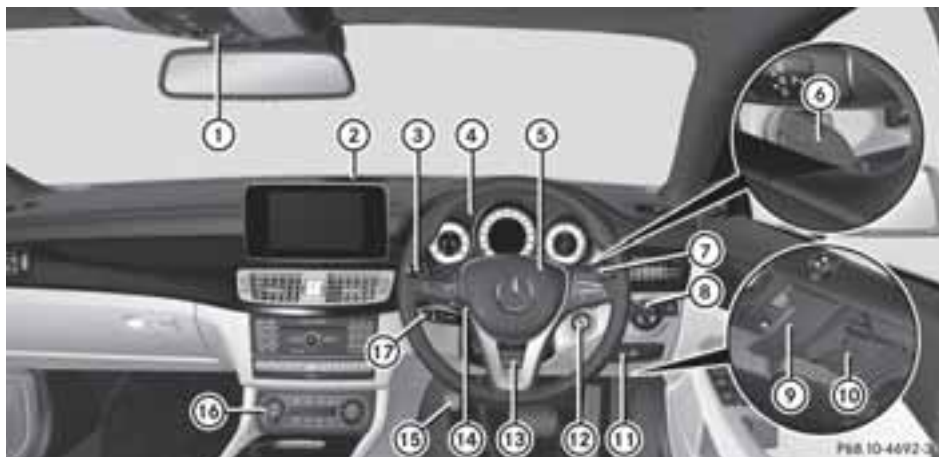
運転席	32
メーターパネル	34
マルチファンクションステアリング	36
センターコンソール	37
オーバーヘッドコントロールパネル	40
ドアコントロールパネル	41

運転席



機能	ページ
① ステアリングギアシフトパドル	
② コンビネーションスイッチ	119
③ メーターパネル	34
④ ホーン	
⑤ DIRECT SELECT レバー	140
⑥ パークトロニックの警告表示	167
⑦ オーバーヘッドコントロールパネル	40
⑧ クライメートコントロール	128

機能	ページ
⑨ エンジンスイッチ キーレスゴースイッチ	134 134
⑩ 手動式ステアリング調整	115
⑪ 電動式ステアリング調整 ステアリングヒーター	115 115
⑫ クルーズコントロールレバー	150
⑬ パーキングブレーキ	
⑭ 診断器接続部	27
⑮ ボンネットを開く	240
⑯ パーキングブレーキの解除	
⑰ ライトスイッチ	118



機能	ページ
① オーバーヘッドコントロールパネル	40
② パークトロボットの警告表示	167
③ コンビネーションスイッチ	119
④ メーターパネル	34
⑤ ホーン	
⑥ ステアリングギアシフトパドル	
⑦ DIRECT SELECT レバー	140
⑧ ライトスイッチ	118
⑨ ボンネットを開く	240

機能	ページ
⑩ 診断器接続部	27
⑪ パーキングブレーキの解除	
⑫ エンジンスイッチ キーレスゴースイッチ	134 134
⑬ 手動式ステアリング調整	
⑭ 電動式ステアリング調整 ステアリングヒーター	 
⑮ パーキングブレーキ	
⑯ クライメートコントロール	128
⑰ クルーズコントロールレバー	150

メーターパネル

ディスプレイ



PS4-33-3476-31

機能	ページ
① セグメント付きスピードメーター	
② 外気温度表示付きマルチファンクションディスプレイ	
③ タコメーター	

機能	ページ
④ 冷却水温度	
⑤ 燃料レベルおよび燃料給油口フラップ位置のインジケータ	

燃料給油口フラップ位置のインジケータ ：燃料給油口キャップは右側にあります。

i マルチファンクションディスプレイ経由でメーターパネル照明を設定します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

警告および表示灯



PS4.33-3477-31

機能	ページ
① ESP®	201
スポーツハンドリングモード (AMG 車両)	202
② 距離警告	205
③ ESP®解除	201
④ 方向指示灯	
⑤ 特定の車両のみ：ブレーキ (黄色)	198
⑥ ブレーキ (赤色)	198
⑦ ABS	199
⑧ 乗員保護装置	44
⑨ エンジン診断	
⑩ このランプには機能はありません	

機能	ページ
⑪ シートベルト	197
⑫ ディーゼルエンジン：予熱	
ESP® (AMG 車両)	202
⑬ 冷却水	204
⑭ ハイビームヘッドライト	
⑮ ロービームヘッドライト	
⑯ 車幅灯	
⑰ リアフォグランプ	
⑱ 予備燃料	

マルチファンクションステアリング



機能	ページ
① マルチファンクションディスプレイ	
② COMAND ディスプレイ	
③ 音声認識機能の作動（別冊の取扱説明書をご覧ください） ミュート 音量の調整 通話の拒否、または終了 電話帳/発信履歴の終了 発信、または受話 発信履歴への切り替え	

機能	ページ
④ メニューの選択 サブメニューの選択またはリストのスクロール 選択の確定 ディスプレイメッセージの非表示 戻る 音声認識機能の停止（別冊の取扱説明書をご覧ください）。	

センターコンソール

センターコンソール、上部

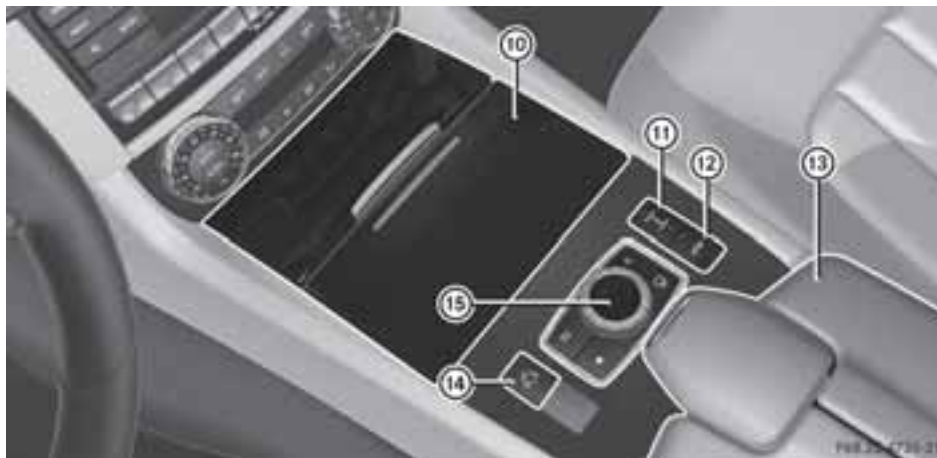


P.8 20-4736-21


	機能	ページ
①	COMAND システム	
②	シートヒーター	114
③	シートベンチレーター	
④	パークトロニック	167
⑤	ECO スタートストップ機能	
⑥	助手席エアバッグオフ表示灯	64

	機能	ページ
⑦	非常点滅灯	118
⑧	電動ブラインド (リアウインドウ) (CLS Coupé)	
	リアシートのヘッドレストを下げる (CLS Shooting Brake)	

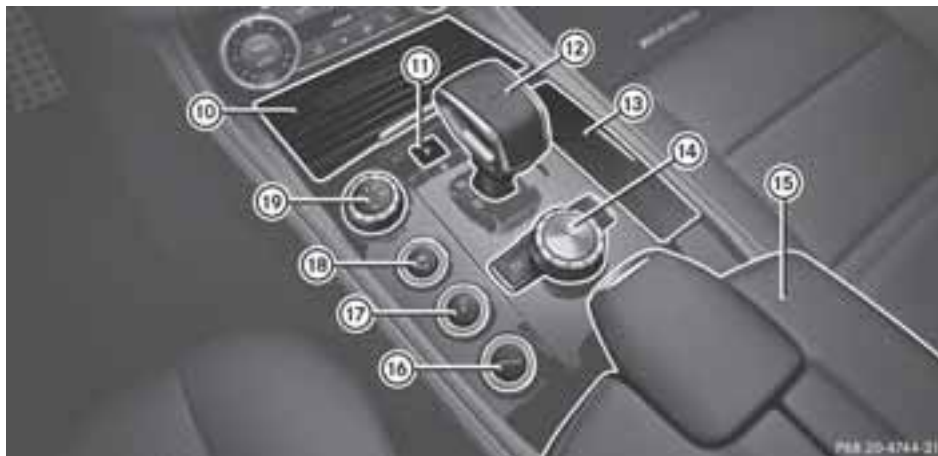
センターコンソール、下部



	機能	ページ
⑩	小物入れ 灰皿 ライター 電源ソケット カップホルダー	227 237 237 237 237
⑪	 サスペンション設定の調整	166
⑫	 車高の設定	165

	機能	ページ
⑬	メディアインターフェース付き小物入れ	227
⑭	 走行モードの選択	140
⑮	COMAND コントローラー：別冊の取扱説明書をご覧ください	

センターコンソール、下部 (AMG 車両)











	機能	ページ
⑩	カップホルダー	
⑪	パーキングポジション P に入れる	147
⑫	セレクターレバー	139
⑬	灰皿 ライター 電源ソケット	
⑭	COMAND コントロー ラー	







	機能	ページ
⑮	メディアインターフェー ス付き小物入れ	
⑯	サスペンション設定 の呼び出し/記憶	
⑰	サスペンション制御 の調整	
⑱	ESP®	83
⑲	走行モードの選択	

オーバーヘッドコントロールパネル



PEZ.00-3000-31

	機能	ページ
①	 リアルームライトの点灯/消灯の切り替え 	
②	 ルームライト自動コントロールの設定/解除の切り替え 	
③	 右側読書灯の点灯/消灯の切り替え 	
④	 けん引防止機能の解除 89	
⑤	 スライディンググループの開閉 108	

	機能	ページ
⑥	ルームミラー 	
⑦	 室内センサーの解除 89	
⑧	 左側読書灯の点灯/消灯の切り替え 	
⑨	 フロントルームライトの点灯/消灯の切り替え 	

ドアコントロールパネル



	機能	ページ
①	<input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 シート、ドアミラーおよびステアリング設定の記憶	
②	シートの電動調整	
③	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 車両の解錠/施錠	
④	ドアを開く	
⑤	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ドアミラーの電動調整および格納/展開	
⑥	<input type="checkbox"/> サイドウィンドウの開閉	
⑦	<input type="checkbox"/> 後席サイドウィンドウのチャイルドブルーロックの設定/解除	
⑧	<input type="checkbox"/> トランクリッド/テールゲートの開閉	103

役に立つ情報	44
乗員の安全性	44
子供を乗せるとき	60
ペットを乗せるとき	77
走行安全システム	77
盗難防止	88

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

乗員の安全性

乗員保護装置をご使用になる前に

乗員保護装置は、事故の際に乗員が車内部品にぶつかる危険性を低減します。乗員保護装置は、事故の際に乗員が受ける衝撃を低減することもできます。

乗員保護装置には以下が含まれます。

- ・シートベルトシステム
 - ・エアバッグ
 - ・チャイルドセーフティシート
 - ・チャイルドセーフティシート固定装置
- 乗員保護装置の構成部品は、相互に関連して作動します。すべての乗員が以下の条件を満たしている場合に限り、乗員保護装置の保護機能が働きます。
- ・シートベルトを正しく着用している (▷ 47 ページ)
 - ・シートやヘッドレストが正しく調整されている (▷ 113 ページ)

運転者として、ステアリングが適切に調整されていることも確認してください。正しい運転席シートの位置に関する情報に従ってください(▷ 112 ページ)。

さらに、作動する場合にエアバッグが正しく膨らむようにしなければなりません (▷ 50 ページ)。

エアバッグは正しく着用しているシートベルトの補助を行なうものです。エアバッグは事故の際の追加的な安全装置として乗員の保護レベルを高めます。例えば、事故の際にシートベルトによる保護機能をエアバッグの作動によって高めることができない場合は、エアバッグは作動しません。また、事故の際、その状況下において保護機能が発揮できるエアバッグのみが展開します。ただし、シートベルトとエアバッグは外側から車両に入り込んだ物に対する保護は通常行ないません。

乗員保護装置の作動方法に関する情報は、「シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動」にあります (▷ 54 ページ)。

車両に乗車している子供、ならびにチャイルドセーフティシートに関するさらなる情報は、「子供を乗せるとき」をご覧ください (▷ 60 ページ)。

重要な安全上の注意事項

警告



改造が行なわれた後は、乗員保護装置が正しく機能しなくなることがあります。例えば、事故のときに作動しなかったり、または予期せず作動することにより、乗員保護装置が意図した保護機能を発揮しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

乗員保護装置の部品を改造しないでください。また、配線、電子部品やソフトウェアを決して改造しないでください。

障害のある方に合わせてエアバッグシステムを改造する必要がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

乗員保護装置警告灯

乗員保護装置の機能は、イグニッションがオンになった後、そしてエンジンがかかっている間は定期的に点検されます。そのため、不具合を適時検知することができます。

メーターパネルの乗員保護装置警告灯  は、イグニッションをオンにしたときに点灯します。エンジンが始動した後、数秒以内に消灯します。乗員保護装置の構成部品は、作動準備が整っています。乗員保護装置警告灯  が以下の場合には、不具合が発生しています：

- イグニッションをオンにした後に点灯しない
- エンジンがかかって数秒後に消灯しない
- エンジンがかかっている間に再度点灯する

警告

乗員保護装置が故障している場合は、車両の減速度が大きい事故の際に、乗員保護装置の構成部品が不意に作動したり、またはまったく作動しないことがあります。これは、たとえばシートベルトテンショナーあるいはエアバッグに影響を与えることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で乗員保護装置の点検を受けて修理してください。

助手席エアバッグオフ表示灯



助手席エアバッグオフ表示灯 ①は、助手席助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムの一部です。

点灯したままの助手席エアバッグオフ表示灯は、助手席エアバッグが無効になっていることを示しています。

助手席にいる人によって、助手席エアバッグは無効または有効のいずれかになります。以下のポイントをご覧ください。走行前および走行中のいずれのときも、これを常に確認しなければなりません。

- **チャイルドセーフティシートの子供：** 助手席エアバッグが有効または無効かどうかは、取り付けられているチャイルドセーフティシートおよび子供の年齢および体格によって異なります。そのため、「子供を乗せるとき」(▷ 60 ページ)にある注意事項に必ず従ってください。そこには、助手席シートの後ろ向き、および前向きチャイルドセーフティシートについての情報もあります。
- **他のすべての乗員：** 助手席エアバッグオフ表示灯が消灯していなければなりません。「シートベルト」(▷ 46 ページ) および「エアバッグ」(▷ 50 ページ)についての注意事項に従っていることを確認してください。そこには、適切なシート位置についての情報もあります。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムについての情報に従ってください (p. 64 ページ)。

シートベルト

はじめに

正しく装着されたシートベルトは、衝突あるいは車両が横転したときに乗員の動きを抑えるもっとも効果的な手段です。これにより、乗員が車内の部品にぶつかったり、車両から投げ出されることを防ぎます。シートベルトを着用することで、乗員と作動するエアバッグの距離を最適に保つこともできます。

シートベルトシステムは以下で構成されています。

- シートベルト
- フロントシートベルト用およびリアの外側シートベルト用シートベルトテンショナー
- フロントシートベルトおよびリアの外側シートベルト用のベルトフォースリミッター

シートベルトが急に、あるいは激しくシートベルトの引き出し口から引き出されると、リトラクターがロックされます。シートベルトはそれ以上引き出すことはできません。

ベルトテンショナーは、衝突が起これると、乗員の身体にぴったり合うようにシートベルトを締めます。しかし、シートバックレストの方向に乗員を引き戻すことはしません。

しかし、ベルトテンショナーは、正しくないシート位置を正しくしたり、着用の仕方が正しくないシートベルトの取回しを正しくすることはありません。

シートベルトにベルトフォースリミッターも装備されていて作動した場合は、

シートベルトによって乗員にかかる力は低減されます。

フロントシートのベルトフォースリミッターは、減速力の一部となるフロントエアバッグと連動しています。これにより、事故の際に乗員が受ける衝撃が緩和されます。

! 助手席に乗車していない場合は、助手席シートベルトのプレートバックルに差し込まないでください。衝突の際にシートベルトテンショナーが作動することがあります。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

正しく装着されないと、シートベルトは意図された保護機能を果たすことができません。間違ったシートベルトの装着は、たとえば事故のとき、ブレーキを掛けた時や急な方向転換のときに、けがの危険を増やします。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

すべての乗員が適切に着席して、シートベルトを正しく着用していることを確認してください。

⚠ 警告

バックレストをほぼ垂直の位置に動かしていない場合は、シートベルトは意図された保護レベルを発揮しません。ブレーキ時または事故の場合に、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがを負うおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。バックレストがほぼ垂直の位置にあり、シートベルトのショルダー部分が肩の中央にかかっていることを常に確認してください。

⚠ 警告

身長が約 150 cm 未満の乗員は、追加の適切な乗員保護装置を使用しないとシー

トベルトを正しく装着できません。正しく装着されないと、シートベルトは意図された保護機能を果たすことができません。間違ったシートベルトの装着は、たとえば事故のとき、ブレーキを掛けた時や急な方向転換のときに、けがの危険を増やします。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。そのため身長約 150 cm 未満の乗員は、必ず適切な乗員保護装置を使用してください。

年齢が 12 歳以下で、身長が 150 cm 以下の子供が乗車する場合：

- 子供は常に、メルセデス・ベンツの車両に適したチャイルドセーフティシートに固定してください。チャイルドセーフティシートは子供の年齢、体重および体格に適応していません。
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に加えて、本取扱説明書の"子供を乗せるとき"の説明および安全上の注意事項 (▷ 60 ページ) に常に従ってください。

警告

以下の場合、シートベルトは意図された保護機能を発揮しないことがあります：

- 損傷している、改造されている、極端に汚れている、漂白されている、または着色されている
- シートベルトのバックルが損傷している、または極端に汚れている
- シートベルトテンショナー、ベルトアンカーまたはリトラクターが改造されている

事故が起こった際には目には見えない場合でも、たとえばガラスの破片によってシートベルトに損傷していることがあります。改造または損傷したシートベルトは事故のときなどに裂けたり、または作動しないおそれがあります。改造されたシートベルトテンショナーは不意に作動

したり、または必要なときに作動しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。シートベルト、シートベルトテンショナー、ベルトアンカーまたはリトラクターを改造しないでください。シートベルトが損傷していない、擦り切れていない、そして汚れていないことを確認してください。事故後はただちに、シートベルトをメルセデス・ベンツ指定サービス工場点検してください。

お客様の車両用にメルセデス・ベンツにより特別に承認されたシートベルトのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。このような改造はいかなるものも、車両の一般使用許可を無効にするおそれがあります。

シートベルトの正しい使用方法

シートベルトの安全上の注意事項に従ってください (▷ 46 ページ)。

走行を開始する前に、すべての乗員はシートベルトを正しく着用する必要があります。車両が動いている間も、すべての乗員は、シートベルトを正しく着用するようにしてください。

シートベルトを着用するときは、必ず以下を確認してください。

- シートベルトのプレートが必ずそのシートのベルトバックルに差し込まれている。
- シートベルトが乗員の身体に密着している。
冬用コートなどの厚手の衣類の着用は避ける。
- シートベルトにねじれがない。
そのときにのみ、発生した力をベルト周囲に分散させることができます。
- ベルトの肩部分が常に肩の中心にかかっている。

シートベルトの肩部分が首に接触していたり、腕の下を通ってはいけません。可能であれば、シートベルトを適切な高さに調整します。

- 腰ベルトができるだけ締め、低い位置で腰部部分にかかっている。

腰ベルトは常に腰骨にかかるように、そして腹部にかからないようにしなければなりません。これは特に妊娠中の女性にあてはまります。必要な場合は腰ベルトを腰骨に押し下げ、ベルトの肩部分を使用して強く引きます。

- 鋭利な、先の尖った、または壊れやすい物の上にシートベルトがかかっている。

ペン、キー、めがねなどのようなものが衣服に入っている場合は、それらを適切な場所に収納してください。

- シートベルトは、必ず1人の乗員のみが使用してください。

乳児や子供を他の車両乗員の膝の上に座らせて走行しないでください。事故の際に、車両乗員とシートベルトの間でつぶされるおそれがあります。

- シートベルトがいずれかの車両乗員により使用されている場合は、そのシートベルトで物を固定しないでください。

シートベルトは、乗員を固定して抑えるためのものです。物、手荷物または積載物を固定するためには常に、「積載のガイドライン」に従ってください（▷ 226 ページ）。

シートベルトの着用および調整

シートベルトについての安全上の注意事項（▷ 46 ページ）、およびシートベルトの正しい使用についての情報（▷ 47 ページ）に注意してください。

乗員が中央リアシートのシートベルトを着用している場合は、中央リアシートのシートベルトについての情報にも注意してください（▷ 49 ページ）。



- ▶ シート（▷ 112 ページ）を調整します。シートバックレストはほぼ垂直の位置になければなりません。
- ▶ ベルトの引き出し口 ③ からシートベルトをゆっくりと引き出して、ベルトのプレート ② をベルトバックル ① に固定します。運転席および助手席のシートベルトは自動的に締め付けられることがあります。「シートベルト調整」をご覧ください（▷ 49 ページ）。
- ▶ 必要な場合は、肩ベルトを上方に引いて、シートベルトを身体に密着させます。



シートベルトの肩部分は、常に肩の中央を通ってかかっている必要があります。必要な場合は、ベルトの引き出し口を調整します。

- ▶ **上げる**：ベルトの引き出し口を上方にスライドします。
ベルトの引き出し口はさまざまな位置でロックできます。
- ▶ **下げる**：ベルトの引き出し口のリリース④を持ち、ベルトガイドを下方にスライドします。
- ▶ 希望の位置でベルトの引き出し口のリリース④を放し、ベルトの引き出し口がロックされていることを確認します。



- ▶ ロック解除スイッチ①を押して、シートベルトのプレート②をしっかり持ち、ベルト引き出し口③の方に戻します。

中央リアシートのシートベルト (CLS Shooting Brake)

左側リアシートバックレストを前方に倒した後、元の位置に起こしたときは、中央リアシートのシートベルトがロックすることがあります。ロックすると、シートベルトが引き出せなくなります。

- ▶ **後席中央シートベルトを解除する**：バックレストのベルトの引き出し口でシートベルトを約 20 mm 引き出し、再度放します。
シートベルトが巻き取られ、ロックが解除されます。

シートベルトの解除

! シートベルトが完全に巻き取られていることを確認してください。ベルトが完全に収納されていないと、シートベルトやプレートがドアに挟まれたりシート機構に引っかかることがあります。その結果、ドアやドアトリムパネル、シートベルトを損傷するおそれがあります。損傷したシートベルトは保護機能を果たすことができなくなるため、必ず新品と交換してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

シートベルトの調整

シートベルト調整は、PRE-SAFE®コンビニエンス機能の一部です。この機能は、運転席および助手席のシートベルトを乗員の上半身に適合させます。


以下のときに、シートベルトを少し引き込みます。


- シートベルトのプレートがベルトバックルに差し込まれている、そして
- イグニッションがオンである


車両乗員とシートベルトの間たるみを検知した場合は、シートベルト調整は特定の締め付け力を加えます。調整している間は、シートベルトを強くつかまないでください。

シートベルト調整は、マルチファンクションディスプレイで設定/解除できます (▷ 186 ページ)。

運転席および助手席乗員のシートベルト警告

メーターパネルのシートベルト警告灯  は、すべての車両乗員がシートベルトを着用しなければならないことを促します。点灯し続けるか、または点滅します。さらに、警告音が鳴ることがあります。

運転者と助手席乗員がシートベルトを着用したときは、シートベルト警告灯  が消灯し、警告音が停止します。

i シートベルト警告灯  に関するさらなる情報は、「メーターパネルの警告および表示灯、シートベルト」(p. 197 ページ)をご覧ください。

エアバッグ

はじめに

エアバッグの取り付け位置は、AIRBAGのマークで示されています。

エアバッグは正しく着用しているシートベルトの補助を行なうものです。シートベルトの代わりになるものではありません。エアバッグは、適用される事故の状況で補助的な保護を行ないます。

事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します (p. 54 ページ)。

ただし、現在装備されているどのシステムも、けがや致死を完全になくすことはできません。

エアバッグは高速で展開するため、エアバッグを原因とするけがの危険性を完全に排除することもできません。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

正しいシート位置から外れている場合、エアバッグは本来の保護機能を発揮できず、作動によりさらに負傷の原因となるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。危険な状態を防ぐために、すべての乗員は以下の項目について確認してください。

- シートベルトを正しく着用していること (妊娠中の女性を含む)
 - 正しい位置に座り、エアバッグからできるだけ離れていること
 - 以下の注意事項を遵守すること
- エアバッグと乗員との間に何も物が置かれていないことを必ず確認してください。
- 走行を開始する前にシートを正しく調整してください。必ずシートが垂直に近い位置であることを確認してください。ヘッドレストの中央は、ほぼ目の高さで頭部をサポートしていなければなりません。
 - 運転席および助手席シートをできるだけ後方に動かします。運転席シートの位置は、車両を安全に運転できるものでなければなりません。
 - ステアリングは外側のみを握ってください。それにより、エアバッグを十分に作動させることができます。
 - 運転中は、常にバックレストにもたれかかるようにしてください。前方に倒れたり、ドアまたはサイドウィンドウに寄りかからないでください。さもないと、エアバッグの作動範囲内に入る可能性があります。
 - 両足は、常にシート前方のフロアに置いてください。ダッシュボードの上に足をのせないでください。さもないと、エアバッグの作動範囲内に入る可能性があります。
 - 身長が 150 cm 以下の人は適切な乗員保護装置に常に固定してください。こ

の身長に満たない場合、シートベルトを正しく着用することができません。

お子様を車両に乗せて走行する場合、以下の注意事項にも注意してください。

- 年齢 12 歳 未満で 150 cm 未満の子供は、適切なチャイルドセーフティシートに固定し、安全を確保してください。
- チャイルドセーフティシートはリアシートに装着してください。
- 助手席エアバッグが無効になっており、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合に限り、子供を助手席シートに固定してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合は、助手席エアバッグは無効になっています。(p 45 ページ)
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に加えて、"子供を乗せるとき"(p 60 ページ)、および"助手席のチャイルドセーフティシート"(p 66 ページ)の説明および安全上の注意事項に常に従ってください。

車内に置いている物がエアバッグの正常な機能を妨げる場合があります。 運転を開始する前に、エアバッグが作動する際の速度により生じる危険を防ぐために、以下のことを確認してください。

- 乗員とエアバッグとの間に、人、動物、物が無い。
- シート、ドア、B ピラーの間に物が無い。
- コートハンガーなどの固い物がグリップハンドルまたはコートフックにかかっていない。
- カップホルダーなどのアクセサリーがドア、サイドウインドウ、リアサイドトリムやサイドウォールなどの、エア

バッグの作動範囲内に取り付けられていない。

- 衣服のポケットに重い物やとがった物を入れていない。このような物は適切な場所に収納してください。

⚠ 警告

エアバッグのカバーを改造したり、ステッカーのような物をそれらに貼付している場合は、エアバッグが正しく機能しなくなるおそれがあります。けがの危険性が高まります。

エアバッグのカバーを改造したり、それらに物を貼付しないでください。

⚠ 警告

エアバッグを制御するセンサーがドアの内部にあります。ドアまたはドアパネル、ならびに損傷したドアに改造または作業が正しく行われていないと、センサーの機能が損なわれることがあります。したがって、エアバッグは正しく機能しなくなることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。けがをするおそれが高まります。

ドアまたはドアの部品を改造しないでください。ドアまたはドアパネルの作業は常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

エアバッグと装着位置

エアバッグ	取り付け位置
運転席エアバッグ	ステアリングパッド部
助手席エアバッグ	グローブボックス上部のダッシュボード
運転席二エアバッグ	ステアリングコラム下部のダッシュボードカバー

エアバッグ	取り付け位置
サイドバッグ	運転席 / 助手席 シートのバックレ ストの外側クッ ションおよびリア シートの外側部分
ペルビスバッグ	運転席および助手 席の外側クッショ ン、下部
ウインドウバッグ	A ピラー側方から C ピラーのルーフ フレーム

フロントエアバッグ



運転席エアバッグ ① は、ステアリング前面で作動します。助手席エアバッグ ② は、グローブボックスの前面および上部で作動します。

作動するときは、フロントエアバッグは前席乗員の頭部や胸部の補助的な保護を行ないます。

助手席エアバッグオフ表示灯の常時点灯は、助手席エアバッグが無効になっていることを示しています (p 45 ページ)。

運転席ニーバッグ



運転席ニーバッグ ① は、ステアリングコラムの下で作動します。運転席ニーバッグは、フロントエアバッグと一緒に作動します。

運転席ニーバッグは、運転者の大腿部、膝および下腿の補助的な保護を行ないます。

サイドバッグ

⚠ 警告

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティーシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。



例：Coupé

フロントサイドバッグ①およびリアサイドバッグ②は、シートバックレストの外側クッション脇で作動します。

作動するときは、サイドバッグは胸部の補助的な保護を行ないます。ただし、以下の保護は行ないません：

- 頭部
- 頸部
- 腕部

側面衝突の際は、サイドバッグは衝撃が発生した側で作動します。

ペルビスバッグ

⚠ 警告

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティーシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。



ペルビスバッグ①は、外側シートクッション側方下部で作動します。

作動したときは、ペルビスバッグは衝撃が発生した車両の側の車両乗員の保護レベルを高めます。

ペルビスバッグは、衝撃が発生した側で作動します。

① ペルビスバッグは、特定の国でのみ作動します。

ウィンドウバッグ



例：Coupé

ウィンドウバッグ①はルーフレーム側面に内蔵され、AピラーからCピラーまでのエリアで展開します。

作動すると、ウィンドウバッグは頭部に対する保護レベルを向上させます。ただし、胸部または腕部は保護しません。

側面衝突の際、ウィンドウバッグは衝撃が発生した側で作動します。

シートベルトによる乗員保護機能が高めるとシステムが判断した場合は、ウイン

ドゥバッグは他の事故状況下で作動する場合があります (▷ 54 ページ)。

シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エアバッグの作動後は、エアバッグの部品が熱くなっています。けがの危険性があります。

エアバッグの部品に触れないでください。できるだけすみやかに、作動したエアバッグをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。


⚠ 警告

作動した火薬式シートベルトテンショナーは作動しなくなり、意図した保護機能を発揮できなくなります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

したがって、作動した火薬式シートベルトテンショナーは、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

事故後は車両をメルセデス・ベンツ指定サービス工場までけん引することを、メルセデス・ベンツは推奨します。特にシートベルトテンショナーが作動したり、エアバッグが展開した場合は、このことを考慮してください。

PRE-SAFE®で使用されている電気モーターは、危険な状況でシートベルトの締め付けを行いません。この作動は何回でも行なわれます。

シートベルトテンショナーが作動したり、エアバッグが展開したりするときは、作動音が聞こえ、少量の粉末が放出されることもあります。SRS 警告灯  が点灯します。

衝撃音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。一般に、放出される粉末は健康に害はありませんが、ぜんそくや肺疾患のある方は、この粉末により一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。もし安全であるなら、呼吸障害を防止するため、すぐに車両から離れるか、窓を開けてください。

操作

衝突の初期段階の間、乗員保護装置のコントロールユニットは、車両の減速度または加速度に関する以下のような重要な物理的データの評価を行いません。

- 時間
- 方向
- 強さ

このデータの評価に基づいて、乗員保護装置のコントロールユニットは正面衝突または追突の際にシートベルトテンショナーを作動させます。

シートベルトテンショナーは、以下の場合のみ作動します。

- イグニッションがオンである
- 乗員保護装置の構成部品が作動可能である。"SRS 警告灯"をご覧ください。(▷ 45 ページ)
- シートベルトのプレートがフロントシートのそれぞれのベルトバックルに固定されている

後席のシートベルトテンショナーは、シートベルトの固定状態とは独立して作動します。

乗員保護装置のコントロールユニットが特定の正面衝突など、非常に重大な事故を検知すると、乗員保護装置の追加構成部品が相互に関係なく作動します。

- フロントエアバッグと運転席ニーバッグ
- ウィンドウバッグ：作動することでシートベルトの乗員保護機能を高めるとシステムが判断したとき。

助手席シートの乗員によって、助手席エアバッグは有効または無効のいずれかになります。助手席エアバッグオフ表示灯が消灯している場合にのみ、事故の際に助手席エアバッグが作動します。助手席エアバッグオフ表示灯（▶ 45 ページ）に関する情報に従ってください。

お客様の車両には 2 段階式の運転席エアバッグが装備されています。最初の作動段階では、けがの危険性を減少させるために十分な火薬ガスで運転席エアバッグが充填されます。数ミリ秒以内に第 2 段階の作動基準に達すると、フロントエアバッグは最大限に膨らみます。

シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動規定値は、車両のさまざまなポイントでの車両の減速度または加速度の評価に基づいて判断されます。この処理は事前に実行されます。作動/展開決定処理は、衝突の初期段階に適切なタイミングで行なわれる必要があります。

車両の減速度や加速度、衝撃の方向は、基本的に以下の要素によって決まります。

- 衝突時の衝撃エネルギーの分散度
- 衝突の角度
- 車両の変形特性
- 車両と衝突した物体の特性

衝突の発生後に検知される要素は、エアバッグの作動条件とは必ずしも一致しません。また、エアバッグを作動させる基準とはなりません。

エアバッグが作動せずに車両が著しく変形することがあります。変形しやすい衝撃吸収部品のみが衝突の影響を受け、エアバッグを作動させるのに十分な減速度に達していない場合です。反対に車両が軽度のみ変形したにも関わらず、エアバッグが作動することがあります。縦方向のボディメンバーなどの高剛性の部品が衝撃を受けたため、結果として大きな減速度が発生した場合などです。

乗員保護装置のコントロールユニットが側面衝突を検知するか、あるいは車両が横転した場合は、乗員保護装置の適切な構成部品が、事故の形態に応じて相互に独立して作動します。この状況で、作動により乗員保護機能が高まるとシステムが判断した場合は、シートベルトテンショナーも作動します。

- シートベルトテンショナーおよびシートベルトの使用状況に関係なく衝撃が発生した側のサイドバッグおよびペルビスバッグ

チャイルドセーフティシートセンサー
装備車両：助手席（フロント）サイドバッグおよびペルビスバッグは以下の条件で作動します。

- 助手席シートで乗員が検知された、または
- シートベルトのプレートが助手席シートのシートベルトバックルに固定されている
- シートベルトの使用状況および助手席に乗員がいるかどうかに関係なく衝撃が発生した側のウィンドウバッグ
- 特定の状況で車両が横転して、作動がシートベルトの乗員保護機能を高めるとシステムが判断したときの運転席側および助手席側のウィンドウバッグ。

i 事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します。

エアバッグシステムの作動は、検知された事故の大きさ、特に車両の減速度または加速度、および以下のような事故の形態により決定されます。

- 正面衝突
- 側面衝突
- 横転

NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

以下の場合にヘッドレストの機能が損なわれることがあります。

- 例えばコートハンガーのような物をヘッドレストに取り付けている
- 不適切なヘッドレストカバーを使用している

そのような場合は、事故のときにヘッドレストが意図された保護機能を果たすことができません。加えて、ヘッドレストに取り付けられている物が車両の他の乗員を危険にさらすおそれがあります。けがの危険性が高まります。

ヘッドレストに物を取り付けたり、適切なヘッドレストカバー以外を使用しないでください。

適切なシートまたはヘッドレストカバーの入手に関しては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

作動

NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストは、頭部および頸部のけがに対する補助的な保護を行いません。特定の強さの後方衝突のときに、運転席と助手席のNECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレス

トが前方および上方へ移動します。これにより、頭部のより良い支持をもたらします。

事故で NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストが作動した場合は、運転席および助手席の NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストをリセットしてください (p. 56 ページ)。さもないと、次の後方衝突のときに補助的な保護を行いません。前方に傾いて、調整できなくなった場合は、NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストが作動したことがわかります。追突の後は NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

NECK PRO アクティブヘッドレスト/NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストの作動後のリセット

NECK PRO アクティブヘッドレスト

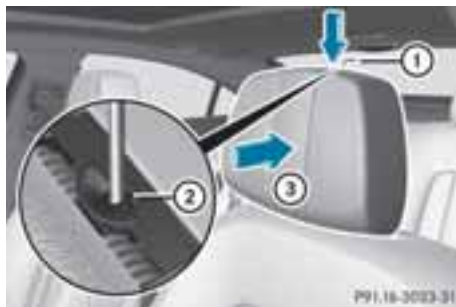


ヘッドレストのクッションとシートの間に指を入れないでください。NECK PRO アクティブヘッドレストのリセットの間は特に注意してください。

- ▶ NECK PRO アクティブヘッドレストのクッション上部を矢印①の方向に前方に傾けます。
- ▶ NECK PRO アクティブヘッドレストのクッションを矢印②の方向に停止するまで押し下げます。
- ▶ 固定されるまで、NECK PRO ヘッドレストのクッションを矢印③の方向に、手のひらで後方にしっかりと押します。
- ▶ もう一方の NECK PRO アクティブヘッドレストでも同様の作業を行ないます。

i NECK PRO アクティブヘッドレストのリセット作業には強い力が必要になります。NECK PRO アクティブヘッドレストのリセット作業が困難な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト



例：Coupé

ヘッドレストのクッションとシートの上に指を入れないでください。NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストのリセットの間は特に注意してください。

- ▶ 車両の書類入れからリセットツール①を取り出します。
- ▶ NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストとヘッドレストのリアカバーの間

にあるガイド②にリセットツール①をスライドします。

- ▶ ヘッドレスト作動機構がカチッと音がしてはまるまで、リセットツール①を押し下げます。
- ▶ リセットツール①を引き抜きます。
- ▶ 固定されるまで、NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストのクッションを、矢印③の方向に手のひらで後方にしっかりと押します。
- ▶ もう一方の NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストでも同様の作業を行ないます。
- ▶ リセットツール①を車両の書類入れに戻します。

i NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストのリセットが困難な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）

はじめに

特定の危険な状況で、PRE-SAFE®は車両乗員を保護するために予防的な措置を行ないます。

重要な安全上の注意事項

! 足元やシートの背後に荷物などが置かれていないことを確認してください。PRE-SAFE®を作動したとき、シートや物を損傷するおそれがあります。

車両に PRE-SAFE®が装備されていても、事故の際のけがの可能性をなくすことはできません。常に実際の道路や天候状況に適するように運転スタイルを合わせ、先行車両との間に十分に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

機能

PRE-SAFE®は以下のときに作動します：

- BAS が作動しているときなど、緊急ブレーキの状況で
- 物理的な限界を超えているときや車両が著しくアンダーステアやオーバーステアになるなど、危機的な走行状況で
- ドライビングアシスタンスパッケージ装備車両：BAS プラスが強力に介入した、またはレーダーセンサーシステムが特定の状況で差し迫った衝突の危険を検知した場合

PRE-SAFE®は検知した危険な状態に応じて、以下のように作動します：

- フロントシートベルトの張力があらかじめ高まります。
- 車両が横滑りした場合は、スライディングルーフおよびサイドウィンドウが少しの隙間のみを残して閉じます。
- メモリー機能付き車両：助手席シートが好ましくない位置にある場合は調整されます。
- マルチコントロールシートバックまたはドライビングダイナミックシート装備車両：バックレストのサイドサポートの空気圧が上がります。

事故につながることなく危険な状況が過ぎた場合は、PRE-SAFE®がシートベルトの張力を緩めます。マルチコントロールシートバック/ドライビングダイナミックシート装備車両では、サイドサポートの空気圧が再び低下します。PRE-SAFE®により行なわれたすべての設定が元に戻ります。

シートベルトの張力が緩まない場合

- ▶ 車両が停止しているときに、シートバックレストまたはシートを後方に少し動かします。
あらかじめ高められていたシートベルトの張力が緩み、ロック機構が解除されます。

シートベルト調整は、PRE-SAFE®コンビニエンス機能の一部です。コンビニエンス機能についての情報は"シートベルト調整"にあります (▶ 49 ページ)。

PRE-SAFE®プラス（予期乗員保護措置プラス）

はじめに

PRE-SAFE®プラスは、レーダーセーフティパッケージ装備車両でのみ作動します。

レーダーセンサーシステムを使用して、PRE-SAFE®プラスは正面衝突または追突が差し迫っていることを検知します。特定の危険な状況では、PRE-SAFE®プラスが乗員を保護するために予防的な措置を行ないます。

重要な安全上の注意事項

PRE-SAFE®プラスの介入により、差し迫った衝突を避けることはできません。運転者は、PRE-SAFE®プラスの介入前は警告されません。

後退するときは、PRE-SAFE®プラスは介入しません。

PRE-SAFE®プラスは、車両が動いているとき、またはパーキングアシストが作動しているときは、ブレーキ操作を行ないません。

機能

差し迫った正面衝突または追突をレーダーセンサーシステムが検知した場合は、PRE-SAFE®プラスは特定の状況で介入します。

PRE-SAFE®プラスは、検知された危険な状況によって以下の措置を行ないます：

- 正面衝突が差し迫っていることをレーダーセンサーシステムが検知した場合は、シートベルトの張力が事前に上がります。
- 追突が差し迫っているとレーダーセンサーシステムが検知した場合：
 - リアの非常点滅灯が作動し、高い頻度で点滅します。
 - 車両が停止しているときに運転者がブレーキを効かせた場合は、ブレーキ圧が増加します。
 - シートベルトの張力が事前に上がります。

PRE-SAFE®プラスのブレーキの適用は、以下の場合に中止されます：

- ギアが入っているときにアクセルペダルが踏まれた場合
- 衝突の危険性が過ぎた、または検知されなくなった場合
- ディストロニック・プラスが発進する意図を示した場合

事故につながることなく危険な状態が過ぎた場合は、元の設定に戻ります。

事故後の自動措置

衝突の種類および大きさによって、事故の後にはただちに以下の措置が行なわれます：

- 非常点滅灯が作動します
- 緊急時点灯機能が作動します
- 車両のドアが解錠されます

- フロントサイドウィンドウが下がります
- メモリー機能装備車両：電動調整式ステアリングが上がります
- エンジンおよび燃料供給が停止します

事故の後で

事故の後で

- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。
- ▶ 非常点滅灯を作動させます。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ 車両から出るときは乗員が危険にさらされていないことを確認してください。
- ▶ 危険な場所の近くに誰もいないことを確認してください。フェンスなどで区切られた安全な場所に乗員を退避させます。
- ▶ 適切な場所に停止表示板を置いてください。

自動車専用道路や高速道路では、停止表示板を使用することにより後続車両に警告を発することが法律で義務付けられています。

車両が動かなくなったとき

- ▶ オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にシフトします。
- ▶ パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 安全な場所まで車両を押してください。必要な場合は、他の人に救援を求めてください。

オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にできない場合、運転者と乗員は危険な範囲からただちに離れてください。

i イグニッションがオンで車輪が回転したときは、車両は自動的に施錠されます。そのため、車両を押すときやダイナモメーターでテストを行なう場合は、閉め出される危険性があります。

i 踏切内で車両が動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。緊急な状況では、非常信号用具も使用してください。

子供を乗せるとき

重要な安全上の注意事項

事故の統計では、リアシートに固定された子供は助手席に固定された子供よりも安全であることが示されています。この理由のため、チャイルドセーフティシートはリアシートに取り付けることを、メルセデス・ベンツは強く推奨します。子供の安全性が高くなります。

年齢が 12 歳以下で、身長が 150 cm 以下の子供が乗車する場合：

- 子供は常に、メルセデス・ベンツ車両に適したチャイルドセーフティシートに固定してください。チャイルドセーフティシートは子供の年齢、体重および体格に適合していません。
- チャイルドセーフティシートメーカーの装着説明に加えて、本項目の説明および安全上の注意事項に従っていることを確認してください。

⚠ 警告

保護者のいない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できる場合があります。

- パーキングブレーキを解除したとき
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンを開始する

加えて、車両装備を操作し、挟み込まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが直射日光または熱にさらされている場合は、部品が高温になることがあります。子供がこれらの部品、特にチャイルドセーフティシートの金属部品で火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。運転者および子供が車両から離れる場合は、チャイルドセーフティシートを直射日光にさらさないように気をつけてください。毛布などで覆ってください。チャイルドセーフティシートが直射日光にさらされた場合は、子供を固定する前に冷ましてください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

すべての車両乗員がシートベルトを正しく着用し、正しく着座していることを常に確認してください。特に子供には注意してください。

シートベルトに関する安全上の注意事項 (p 46 ページ)、およびシートベルトの正しい使用に関する情報 (p 47 ページ) に注意してください。

チャイルドセーフティシート

チャイルドセーフティシートの正しい使用の指示に従ってください (p 69 ページ)。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツにより推奨されたチャイルドセーフティシートのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します (▷ 72 ページ)。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが適切なシート位置に正しく取り付けられていない場合は、意図した保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに子供を保護することができません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用を常に遵守してください。チャイルドセーフティシートの底面全体が常にシートクッションに接触している事を確認してください。チャイルドセーフティシートの下または背面にクッションなどの物を置かないでください。チャイルドセーフティシートには、必ずこのシート専用の純正シートカバーを使用してください。損傷したカバーを取り替えるときは、必ず純正品を使用してください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが正しく取り付けられていない、または固定されていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに外れるおそれがあります。チャイルドセーフティシートが投げ出されて、乗員にぶつかるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

着座していないチャイルドセーフティシートも常に正しく取り付けてください。常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。

物、手荷物および積載物の確実な収納に関するさらなる情報は、「積載のガイドライン」にあります (▷ 226 ページ)。

⚠ 警告

事故で負荷を受けたチャイルドセーフティシートやその固定装置は、意図した保護機能を発揮できないことがあります。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに、子供が保護されません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

事故で損傷したり、または負荷を受けたチャイルドセーフティシートはただちに交換してください。チャイルドセーフティシートを再度取り付けの前に、チャイルドセーフティシートの固定装置をメルセデス・ベンツ指定サービス工場点検してください。

チャイルドセーフティシートの固定装置は以下の通りです。

- シートベルトシステム
- ISOFIX 固定リング
- テザーアンカー

やむを得ず子供を助手席シートに乗車させる必要がある場合は、「助手席シートのチャイルドセーフティシート」にある情報に従っていることを確認してください (▷ 66 ページ)。助手席エアバッグの無効化に関する情報もあります。

車内およびチャイルドセーフティシートにある警告ラベルに注意してください。

i メルセデス・ベンツにより推奨されたチャイルドセーフティシートを清掃するためには、メルセデス・ベンツ純正のカーケア用品を使用することを推奨します。このことに関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置

⚠ 警告

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートは、体重が 22 kg 以上でチャイルドセー

フティシートに内蔵されたセーフティベルトを使用して固定されている子供には十分な保護効果をもたらしません。例えば、事故のときに子供が正しく固定されないなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

子供の体重が 22 kg 以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定される ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーベルトでも固定してください。

チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着および操作指示、およびチャイルドセーフティシートの正しい使用についての指示に従っていることを確認してください (▷ 69 ページ)。各走行前に、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートが両方の ISOFIX 固定リングに正しく固定されていることを確認します。

❗ チャイルドセーフティシートを装着するときは、中央リアシートのシートベルトを挟み込まないように注意してください。シートベルトが損傷するおそれがあります。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着するときは、固定リング ① の保護キャップ ② を内側に倒します。

▶ ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを左右の ISOFIX 固定リング ① に取り付けます。

ISOFIX は、専用設計されたチャイルドセーフティシートのリアシートへの規格化された固定システムです。2 つの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート用の ISOFIX 固定リング ① は、リアシートの左および右に取り付けられています。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に対応していないチャイルドセーフティシートは、車両のシートベルトで固定してください。チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着および操作指示、およびチャイルドセーフティシートの正しい使用についての指示に従っていることを確認してください (▷ 69 ページ)。

テザーアンカー

はじめに

テザーアンカーは、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートと車両の間を補助的に接続します。これにより、けがの危険性をさらに低減する効果を高めます。チャイルドセーフティシートにテザーアンカーベルトが装備されている場合は、常に使用してください。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

リアシートのバックレストが固定されていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに前に倒れるおそれがあります。結果として、チャイルドセーフティシートが意図した保護機能を発揮できません。固定されていないリアシートのバックレストは、事故のときなどにさらなるけがの原因となるおそれもあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

テザーアンカーベルトを取り付けた後は、常にリアシートのバックレストを固定してください。ロック確認インジケーターに注意してください。垂直位置になるようにリアシートのバックレストを調整します。

リアシートバックレストが固定されておらず、ロックされていない場合は、メーターパネル内のマルチファンクション

ディスプレイにこのことが表示されます。警告音も鳴ります。

テザーアンカー

CLS Coupé

テザーアンカーは、後席のヘッドレスト後方に取り付けられています。

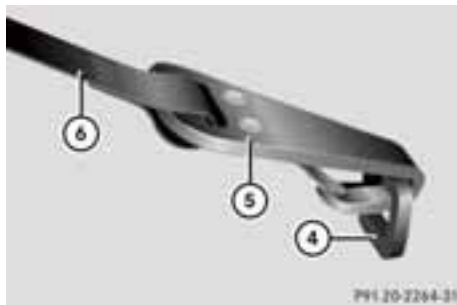


- ▶ ヘッドレスト ① を上方に動かします。
- ▶ テザーアンカー ③ のカバー ② を起こします。
- ▶ テザーアンカーを装備した ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。そうするときは、常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。
- ▶ ヘッドレスト ① 下のヘッドレストの 2 本の支柱の間にテザーアンカーベルト ⑤ を通します。
- ▶ テザーアンカーフック ④ をテザーアンカー ③ に掛けます。

- ▶ テザーアンカーベルト ⑤ にねじれがないことを確認します。
- ▶ テザーアンカーベルト ⑤ を張ります。そうするときはチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に常に従ってください。
- ▶ テザーアンカー ③ のカバー ② を倒します。
- ▶ 必要な場合は、ヘッドレスト ① を再度少し下に動かして戻します (▶ 114 ページ)。
テザーアンカーベルト ⑤ の正しい取り回しを妨げていないことを確認してください。

CLS Shooting Brake

テザーアンカーは、リアシートのバックレスト背面にあります。



- ▶ ヘッドレスト ① を上方に動かします。
- ▶ ラゲッジルームカバー ② を取り外します (▶ 231 ページ)。

- ▶ テザーアンカーを装備した ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。そうするときは、常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。
- ▶ ヘッドレスト ① 下のヘッドレストの 2本の支柱の間にテザーアンカーベルト ⑥ を通します。
- ▶ テザーアンカーフック ⑤ をリアシートバックレスト ③ 背面のテザーアンカー ④ に掛けます。
- ▶ テザーアンカーベルト ⑥ にねじれがないことを確認します。
- ▶ テザーアンカーベルト ⑥ を張ります。そうするときは、常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。
- ▶ 必要な場合は、ヘッドレスト ① を再度少し下に動かして戻します (▶ 114 ページ)。テザーアンカーベルト ⑥ の正しい取り回しを妨げていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジルームカバー ② を取り付けます (▶ 231 ページ)。

助手席チャイルドセーフティシートセンサー

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムのセンサーシステムは、トランスポンダーを内蔵しているメルセデス・ベンツ純正チャイルドセーフティシートが取り付けられているかどうかを検知します。この場合は、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯し、点灯したままになります。助手席エアバッグは無効になります。

① 助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムにより助手席エアバッグが無効になっている場合でも、助手席側では以下が有効になったままです：

- サイドバッグ
- ペルビスバッグ
- ウィンドウバッグ
- シートベルトテンショナー

⚠ 警告

子供を助手席のチャイルドセーフティシートに固定していて、助手席エアバッグオフ表示灯が消灯している場合は、事故のときに助手席フロントエアバッグが作動します。エアバッグにより、子供が衝撃を受けるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席フロントエアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯していなければなりません。

⚠ 警告

助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合は、助手席フロントエアバッグは無効になっています。事故のときに作動せず、意図した保護機能を発揮できません。そして、特にダッシュボードのすぐ近くに乗員が着座している場合は、助手席にいる乗員が車両のインテリアに接触するなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

この場合は、助手席シートを使用しないでください。適切な後ろ向きまたは前向きチャイルドセーフティシートのみを助手席シートに取り付けてください。本取扱説明書ならびにチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にある、チャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報に常に従ってください。

⚠ 警告

子供を助手席の前向きチャイルドセーフティシートに固定して、助手席位置をダッシュボードのすぐ近くした場合は、事故のときに、子供は以下になることがあります。

- 例えば助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合に、車両のインテリアに接触する
- 助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している場合にエアバッグにぶつかる

これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席シートはできるだけ後方に移動してください。シートベルトの肩部分のストラップが、ベルトガイドからチャイルドセーフティシートの肩部分のシートベルトガイドに手向かって、正しく取り回されていることを常に確認してください。シートベルトの肩部分のストラップは、車両のベルトガイドから前方および下方に取り回されていない必要があります。必要な場合は、応じて車両のシートベルトガイドおよび助手席を調整します。本取扱説明書ならびにチャイルドセーフティシートメーカーの装着説明にある、チャイルドセーフティシートの適切な位置に関する情報に常に従ってください。

- ① 車両に助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムが装備されていることを確認します (▷ 66 ページ)。それ以外の場合は、チャイルドセーフティシートは常に、適切なりアシートに取り付けてください (▷ 69 ページ)。



助手席エアバッグオフ表示灯 ① は、助手席エアバッグが無効になっているかどうかを示しています。

- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** または **2** の位置にまわすか、キーレスゴー装備車両ではキーレスゴースイッチを **1** 度または **2** 度押します。システムは自己診断を実行します。

約 6 秒間、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しなければなりません。

システムの自己診断後に助手席エアバッグオフ表示灯が以下の場合：

- **点灯している**、助手席エアバッグは無効です。その場合は、事故のときに作動しません。
- **点灯していない**、助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム用トランスポンダーを装備しているチャイルドセーフティシートをセンサーシステムが検知していません。すべての作動基準が満たされている場合は、事故のときに助手席エアバッグが作動します。

⚠ 警告

例えば以下のような助手席シートの上にある電子機器が、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能に影響を与えるおそれがあります。

- ノートパソコン
- 携帯電話
- スキーパスまたはアクセスパスのような電波を送受信するカード

助手席フロントエアバッグが不意に作動したり、事故の間に意図されたように機能しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

上記に記載された機器または類似の機器を助手席シートに置かないでください。走行前および走行中のいずれのときも、助手席エアバッグの状況に注意してください。

助手席のチャイルドセーフティシート

全体的な注意事項

事故の統計では、リアシートに固定された子供は助手席に固定された子供よりも安全であることが示されています。この理由のため、チャイルドセーフティシートはリアシートに取り付けることを、メルセデス・ベンツは強く推奨します。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム装備車両：どうしても助手席シートにチャイルドセーフティシートを取り付けなければならない場合は常に、「助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム」にある情報に従ってください（▶ 64 ページ）。

このようにして、以下のために発生するおそれのある危険性を防ぐことができます：

- 助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムのセンサーシステムによって検知されないチャイルドセーフティシート
- 助手席エアバッグの意図しない無効化
- ダッシュボードのすぐ近くなど、チャイルドセーフティシートの不適切な位置



助手席側サンバイザーの警告ステッカーに従ってください。イラストを参照してください。

▲ 警告

子供を助手席のチャイルドセーフティシートに固定して、助手席エアバッグオフ表示灯が消灯している場合は、事故のときに助手席フロントエアバッグが作動します。エアバッグにより、子供が衝撃を受けるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

助手席フロントエアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯していなければなりません。

有効になっているフロントエアバッグで保護されているシートでは、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。子供に致命的な、または重大なけがを引き起こすことがあります。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム非装備車両



車両の助手席シートに助手席チャイルドセーフティシート自動検知システムがない場合は、専用のステッカーによって示されます。ステッカーは、助手席側ダッシュボードの側面に貼付されています。助手席ドアを開いたときに、このステッカーが見えます。

エンジンスイッチのキーを2の位置にまわした場合は、助手席エアバッグオフ表示灯が短時間点灯します。ただし機能はなく、助手席シートに助手席チャイルド

セーフティシート自動検知システムがあることは示していません。

この場合は常に、後ろ向きチャイルドセーフティシートは適切なリアシートに取り付けてください (▷ 69 ページ)。

"後ろ向きチャイルドセーフティシート" および "前向きチャイルドセーフティシート" にある情報、ならびにチャイルドセーフティシートの適切な位置についての情報に注意してください (▷ 69 ページ)。

後ろ向きチャイルドセーフティシート



後ろ向きチャイルドセーフティシートの警告マーク

どうしても助手席に後ろ向きチャイルドセーフティシートを取り付けなければならない場合は、助手席エアバッグが無効になっていることを確認してください。助手席エアバッグオフ表示灯が常に点灯している場合にのみ (▷ 45 ページ)、助手席エアバッグは無効になっています。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着および取扱指示に加えて、チャイルドセーフティシートの適切な位置についての情報に常に従ってください (▷ 69 ページ)。


前向きチャイルドセーフティシート

どうしても前向きチャイルドセーフティシートを助手席シートに取り付けなければならない場合は、助手席シートをできるだけ後方の位置に動かしてください。

チャイルドセーフティシートの底面全体が常に助手席シートクッションに接触していなければなりません。チャイルドセーフティシートのバックレストは、助手席バックレストにできるだけ均一に接触していなければなりません。チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっている状態ではいけません。それに応じて、シートバックレストの角度およびヘッドレストの位置を調整してください。肩部分のシートベルトが、車両のベルト引き出し口からチャイルドセーフティシートの肩ベルトのガイドに向けて正しく取り回されていることを必ず確認してください。肩部分のシートベルトは、車両のベルト引き出し口から前方および下方に取り回されていなければなりません。必要な場合は、車両のベルト引き出し口と助手席シートを適切に調整します。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着および取扱指示に加えて、チャイルドセーフティシートの適切な位置についての情報に常に従ってください (▷ 69 ページ)。

チャイルドセーフティシート検知機能のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している。	<p>チャイルドセーフティシートセンサー用トランスポンダーを装備している、特別なメルセデス・ベンツチャイルドセーフティシートが助手席シートに取り付けられている。そのため、希望通りに助手席エアバッグが無効になっている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>助手席シートにチャイルドセーフティシートが装着されていない。例えば、助手席シートにある電子機器により、チャイルドセーフティシートセンサーに不具合がある。けがのおそれがあります。</p> <p>▶ 助手席シートから以下のような電子機器を取り除いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ノートパソコン • 携帯電話 • IC カードまたは磁気カードのようなトランスポンダー付カード <p>助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合は、助手席シートは使用できません。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>
イグニッションをオンにしたときに、乗員保護装置警告灯  が点灯し、さらに/または助手席エアバッグオフ表示灯が短時間点灯しない。	<p>⚠ 警告</p> <p>チャイルドセーフティシートセンサーが故障している。助手席シートにチャイルドセーフティシートを取り付けないでください。</p> <p>チャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着することを推奨します。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p> <p>▶ 乗員保護装置警告灯に関する注意事項も参照してください (p 191 ページ)。</p>

チャイルドセーフティシートの適切な装着位置

はじめに

車両には、欧州経済共同体基準 ECE R44 により承認されたチャイルドセーフティシートのみを装着してください。

体重カテゴリー II または III のいくつかのチャイルドセーフティシートでは、このことにより使用範囲が制限されることがあります。ルーフへの接触の可能性により、チャイルドセーフティシートを最大サイズに設定することができません。

"ユニバーサル" カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、オレンジ色の認証ラベルと "universal" の文字で判別できます。



例：チャイルドセーフティシートの認証ラベル

"ユニバーサル" カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、"ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"または"ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"の表に従って、U、UF または IUF と表示されたシートで使用できます。

セミユニバーサルチャイルドセーフティシートは、認可ラベルの "semi universal" の文字で示されています。これらは、車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合に使用できます。

さらなる情報は、チャイルドセーフティシートメーカーにご連絡いただくか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

助手席シートのチャイルドセーフティシート - 助手席シートのチャイルドセーフティシートにやむを得ず子供を固定する必要がありますの場合：

▶ "助手席でのチャイルドセーフティシート"にある指示に常に注意してください (▷ 66 ページ)。

そこには、肩部分のシートベルトを車両のベルト引き出し口からチャイルドセーフティシートの肩ベルトのガイドに向けて正しく取り回す方法についての説明があります (▷ 67 ページ)。

▶ 助手席シートはできるだけ後方に移動してください。

▶ シートベルトの高さ調整を最も低い位置に動かします。

▶ バックレストをほぼ垂直の位置に動かします。

チャイルドセーフティシートの底面全体が常に助手席シートクッションに接触していなければなりません。前向きチャイルドセーフティシートのバックレストは、できるだけ助手席シートのバックレストに接していなければなりません。チャイルドセーフティシートがルーフに触れたり、ヘッドレストにより負荷がかかっているはいけません。それに応じて、シートバックレストの角度およびヘッドレストの位置を調整してください。チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示にも注意してください。

ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

リアシートでカテゴリー 0 または 0+ のベビーカーシート、または後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、シートがチャイルドセーフティシー

トに接触しないように、運転席および助手席シートを調整しなければなりません。カテゴリⅠの前向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、可能な場合は、対応するシートのヘッドレストを取り外さなければなりません。チャイルドセーフティシートのバックレストは、シートのバックレストにできるだけ接していなければなりません。

"チャイルドセーフティシート"の項目(▷ 60 ページ) およびチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示にある注意事項に常に従ってください。

チャイルドセーフティシートを取り外したときは、ただちにヘッドレストを再度取り付けなければなりません。走行を開始する前に、すべての乗員はヘッドレストを正しく調整しなければなりません。

表の凡例

- X この体重カテゴリの子供に適合していないシート。
- U この体重カテゴリでの使用が承認された"ユニバーサル"カテゴリのチャイルドセーフティシートに適合。
- UF この体重カテゴリでの使用が承認された"ユニバーサル"カテゴリに属している前向きチャイルドセーフティシートに適合。
- L 推奨チャイルドセーフティシートに適合。"推奨チャイルドセーフティシート"の表をご覧ください(▷ 72 ページ)。車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合、セミユニバーサルのチャイルドセーフティシートに適合。
- (▲) 助手席チャイルドセーフティシート自動検知システム装備車両："ユニバーサル"カテゴリの助手席チャイルドセーフティシート自動検知シ

ステム用のトランスポンダー付きチャイルドセーフティシートが取り付けられていなければなりません。センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しなければなりません。

- (◆) サポートブラケット付きのチャイルドセーフティシートはこのシートには適していません。

助手席シート

体重カテゴリ	助手席エアバッグが有効になっている	助手席エアバッグが無効になっている
カテゴリ0：10 kg 以下	X	U (▲)、L (▲)
カテゴリ0+：13 kg 以下	X	U (▲)、L (▲)
カテゴリⅠ(前向きチャイルドセーフティシートの取り付け)：9～18 kg	UF、L	U、L
カテゴリⅠ(後ろ向きチャイルドセーフティシートの取り付け)：9～18 kg	X	U (▲)、L (▲)

体重カテゴリー	助手席エアバッグが有効になっている	助手席エアバッグが無効になっている
カテゴリー II : 15~25 kg	UF、L	U、L
カテゴリー III : 22~36 kg	UF、L	U、L

リアシート

体重カテゴリー	左、右	中央 (CLS Shooting Brake のみ)
カテゴリー 0 : 10 kg 以下	U、L	U (◆)
カテゴリー 0+ : 13 kg 以下	U、L	U (◆)
カテゴリー I : 9~18 kg	U、L	U (◆)
カテゴリー II : 15~25 kg	U、L	U
カテゴリー III : 22~36 kg	U、L	U

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

リアシートでカテゴリー 0 または 0+ のベビーカーシート、または後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用する場合

は、シートがチャイルドセーフティシートに接触しないように、運転席および助手席シートを調整しなければなりません。カテゴリー I の前向きチャイルドセーフティシートを使用する場合は、可能な場合は、対応するシートのヘッドレストを取り外さなければなりません。チャイルドセーフティシートのバックレストは、シートのバックレストにできるだけ接していなければなりません。

"チャイルドセーフティシート"の項目 (▷ 60 ページ) およびチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示にある注意事項に常に従ってください。

チャイルドセーフティシートを取り外したときは、ただちにヘッドレストを再度取り付けなければなりません。走行を開始する前に、すべての乗員はヘッドレストを正しく調整しなければなりません。

表の凡例

- X この体重カテゴリーおよび/またはサイズカテゴリーで、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合していない ISOFIX の位置。
- IUF この体重カテゴリーでの使用に適合する "ユニバーサル" カテゴリーに属する前向き ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置に適合。
- IL 推奨されているような ISO-FIX 対応チャイルドセーフティシートに適合。以下の表 "推奨チャイルドセーフティシート" をご覧ください (▷ 72 ページ)。

メーカーは、適合している ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートも推奨しています。そのためには、お客様の車両とシートがチャイルドセーフティシートメーカーのモデルリストに掲載されていなければなりません。さらなる情報は、チャイルドセーフティシートメーカーにご連

絡いただくか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

幼児用ベッドの体重カテゴリー

サイズ等級	装備	リアシート左/右
F	ISO/L1	X
G	ISO/L2	X

体重カテゴリー 0：10 kg 以下、約 6 ヶ月以下

サイズ等級	装備	リアシート左/右
E	ISO/R1	IL

体重カテゴリー 0+：13 kg 以下、約 15 ヶ月以下

サイズ等級	装備	リアシート左/右
E	ISO/R1	IL
D	ISO/R2	IL
C	ISO/R3	IL

体重カテゴリー 1：9 ~ 18 kg、約 9 ヶ月 ~ 4 歳

サイズ等級	装備	リアシート左/右
D	ISO/R2	IL
C	ISO/R3	IL
B	ISO/F2	IUF
B1	ISO/F2X	IUF
A	ISO/F3	IUF

チャイルドセーフティシートはルーフが接触しないよう、またはヘッドレストに

よりルーフに負荷がかからないようにしてください。それに応じて、ヘッドレストの位置を調整してください。チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示にも注意してください。

推奨チャイルドセーフティシート

全体的な注意事項

"助手席のチャイルドセーフティシート" (▷ 66 ページ) および"チャイルドセーフティシートの適切な位置" (▷ 69 ページ) の情報に常に注意してください。

適切なチャイルドセーフティシートについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

車両のシートベルトに装着する推奨チャイルドセーフティシート

体重カテゴリー 0：10 kg 以下、約 6 ヶ月以下

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラス
認証番号 (E1 ...)	03 301 146 04 301 146
注文番号 (A 000 ...)	970 10 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフティシートセンサー	対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラス II

認証番号 (E1 ...)	04 301146
注文番号 (A 000 ...)	970 20 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	対応

体重カテゴリー 0+ : 13 kg 以下、約
15 ヶ月以下

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラ ス
認証番号 (E1 ...)	03 301146 04 301146
注文番号 (A 000 ...)	970 10 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラ ス II
認証番号 (E1 ...)	04 301146
注文番号 (A 000 ...)	970 20 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	対応

体重カテゴリー I : 9 ~ 18 kg、約
9 ヶ月 ~ 4 歳

メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	03 301133 04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 11 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	03 301133 04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 16 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	非対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 21 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフ ティシートセン サー	対応

体重カテゴリー II/III： 15 ~ 36 kg、
約 4 ~ 12 歳

メーカー	Britax Römer
タイプ	キッドフィックス
認証番号 (E1 ...)	04 301198
注文番号 (A 000 ...)	970 18 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフティシートセンサー	対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	キッドフィックス
認証番号 (E1 ...)	04 301198
注文番号 (A 000 ...)	970 19 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフティシートセンサー	非対応

メーカー	Britax Römer
タイプ	キッドフィックス
認証番号 (E1 ...)	04 301198
注文番号 (A 000 ...)	970 22 00 カラーコード： 9H95
チャイルドセーフティシートセンサー	対応

KIDFIX チャイルドセーフティシートを車両に装着する前に、必ずチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。これには装着オプションについての注意事項も含まれます。

推奨される"ユニバーサル"/"セミユニバーサル" カテゴリーの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート

幼児用ベッドの体重カテゴリー

サイズ等級	F, G
メーカー	-
タイプ	-
認証番号 (E1 ...)	-
注文番号	-
チャイルドセーフティシートセンサー	-

カテゴリー 0： 10 kg 以下

サイズ等級	E
メーカー	-
タイプ	-
認証番号 (E1 ...)	-
注文番号	-
チャイルドセーフティシートセンサー	-

カテゴリー 0+： 13 kg 以下

サイズ等級	E	D、 C
メーカー	Britax Römer	-
タイプ	ベビーセーフプラス	-

認証番号 (E1 ...)	03 301146 04 301146	-
注文番号	B6 6 86 8224 カラーコード： 9H95	-
チャイルドセーフティシートセンサー	非対応	-

サイズ等級	B1
メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	03 301133 04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 16 00
チャイルドセーフティシートセンサー	非対応

カテゴリール：9～18 kg

サイズ等級	D、 C、 B、A
メーカー	-
タイプ	-
認証番号 (E1 ...)	-
注文番号 (A 000 ...)	-
チャイルドセーフティシートセンサー	-

サイズ等級	B1
メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 21 00
チャイルドセーフティシートセンサー	対応

サイズ等級	B1
メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号 (E1 ...)	03 301133 04 301133
注文番号 (A 000 ...)	970 11 00
チャイルドセーフティシートセンサー	対応

チャイルドブルーロック

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供を車両に乗せて走行している場合は、以下のおそれがあります。

- ドアを開き、それにより他の人または道路使用者を危険にさらす
- 車両から降りて、対向交通にぶつかる
- 例えば、車両装備を操作して挟まれる事故やけがの危険性があります。

子供を車両に乗せて走行する場合は、使用可能なチャイルドブルーロックを常に作動させてください。車両から離れる

ときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

以下のチャイルドブルーロック機能：

- リアドア (▷ 76 ページ)
- リアサイドウィンドウ (▷ 77 ページ)

⚠ 警告

保護者のいない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除したとき
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを開始する

加えて、車両装備を操作し、挟み込まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車内に残さないでください。

⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが直射日光または熱にさらされている場合は、部品が高温になることがあります。子供がこれらの部品、特にチャイルドセーフティシートの金属部品で火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

運転者および子供が車両から離れる場合は、チャイルドセーフティシートを直射日光にさらさないように気をつけてください。毛布などで覆ってください。チャイルドセーフティシートが直射日光にさらされた場合は、子供を固定する前に冷

ましてください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

リアドアのチャイルドブルーロック



リアドアのチャイルドブルーロック (例：CLS Coupé)

リアドアのチャイルドブルーロックで、各ドアを個別にロックできます。チャイルドブルーロックでロックされているドアは、車内から開くことができません。車両が解錠されているときは、車外からドアを開くことができます。

- ▶ **設定する：** チャイルドブルーロックレバーを矢印 ① の方向に押し上げます。
- ▶ チャイルドブルーロックが正常に作動していることを確認します。
- ▶ **解除する：** チャイルドブルーロックレバーを矢印 ② の方向に押し下げます。

リアサイドウィンドウのチャイルドブ ルーロック



- ▶ **設定/解除する**：スイッチ ② を押し
ます。
表示灯 ① が点灯している場合は、リア
サイドウィンドウの操作はできません。
運転席ドアのスイッチを使用するのみ、
操作が可能です。表示灯 ① が消灯して
いる場合は、後席のスイッチを使用し
ての操作が可能です。

ペットを乗せるとき

⚠ 警告

ペットを車内に放置または固定してい
ない場合、ボタンやスイッチを押してしま
う場合があります。

その結果：

- 車両装備を作動させて、挟まれる
- システムをオンまたはオフにして、他
の道路交通者を危険にさらす

さらに、事故の際にステアリングを切っ
たとき、急ブレーキをかけたときに、
ペットが投げ飛ばされ、乗員が負傷する
おそれもあります。事故やけがの危険性
があります。

けっしてペットを車内に放置しないでく
ださい。走行中は、適切なキャリーなど
を使用して、ペットを必ず正しく固定し
てください。

走行安全システム

走行安全システムの概要

この項目には、以下の走行安全システム
についての情報があります：

- ABS (Anti-lock Braking System：アンチロック・ブレーキ
ング・システム) (▶ 78 ページ)
- BAS (Brake Assist System：ブ
レーキアシストシステム) (▶ 78
ページ)
- BAS (Brake Assist System：ブ
レーキアシストシステム) プラス (飛
び出し検知機能付ブレーキアシスト・
プラス) (▶ 79 ページ)
- アダプティブブレーキライト (▶ 81
ページ)
- ESP® (Electronic Stability
Program：エレクトロニック・スタビ
リティ・プログラム) (▶ 81 ページ)
- EBD (Electronic Brake force
Distribution：エレクトロニック・ブ
レーキパワー・ディストリビューショ
ン) (▶ 85 ページ)
- アダプティブブレーキ (▶ 85 ページ)
- PRE-SAFE®ブレーキ (▶ 85 ペ
ージ)

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせなかったり、注意
が散漫になった場合は、走行安全システ
ムは事故の危険性を低減できないだけ
でなく、物理的法則を超えることもでき
ません。走行安全システムは、運転の補助
のために設計された単なる支援にすぎま
せん。先行車両との距離や車両の速度、
適切なブレーキ操作の責任は運転者にあ
ります。常に実際の道路や天候、交通状
況に応じて運転スタイルを合わせ、先行
車両との間に安全な距離を保ってください
。注意して運転してください。


i 記載している走行安全システムは、タイヤと路面との間に十分な接触があるときにのみ、可能な限り効果的に作動します。"タイヤとホイール" (▷ 274 ページ) にあるタイヤ、および推奨されるタイヤトレッドの最小深さなどに関する情報に特に注意してください。

冬の走行状況では常にウィンタータイヤ (M+S タイヤ) を、必要であればスノーチェーンを使用してください。このようにすることでのみ、本章に記載されている走行安全システムが可能な限り効果的に作動します。

ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)

全体的な注意事項

ABS は、ブレーキを効かせたときに車輪がロックしないようにブレーキ圧を制御します。これにより、ブレーキを効かせているときに、ステアリング操作を続けることができます。

イグニッションをオンにしたときは、メーターパネルの黄色の ABS 警告灯  が点灯します。エンジンがかかっているときは消灯します。

重要な安全上の注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

警告

ABS に異常があるときは、ブレーキ時に車輪がロックすることがあります。ステアリングでの操縦性およびブレーキ性能が著しく損なわれることがあります。さらに、他の走行安全装備が解除されます。横滑りや事故の危険が高まります。

注意して運転してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場 ABS の点検をしてください。

ABS が故障している場合は、走行安全装備を含めた他のシステムも作動しません。ABS 警告灯 (▷ 199 ページ) およびメーターパネル (▷ 188 ページ) に表示されるディスプレイメッセージに関する情報に従ってください。

路面の状況に関わらず、ABS は約 8 km/h 以上の速度で作動します。滑りやすい路面では、軽くブレーキを効かせただけでも ABS は作動します。

ブレーキ

▶ **ABS が作動した場合**：ブレーキ操作をしなければならない状況が終わるまで、ブレーキペダルをいっぱい力で踏み続けてください。

▶ **急ブレーキを効かせる**：ブレーキペダルをいっぱい力で踏んでください。

ブレーキ時に ABS が作動した場合は、ブレーキペダルに小刻みな振動を感じます。

ブレーキペダルの小刻みな振動は、危険な路面状況を知らせることができ、走行中に特別な注意を喚起させるものとして機能します。

BAS (ブレーキアシスト)

全体的な注意事項

BAS は、緊急ブレーキ状態で作動します。ブレーキペダルを急に踏んだ場合は、BAS が自動的に制動力を高めて制動距離を短縮します。

重要な安全上の注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

警告

BAS が故障している場合は、緊急ブレーキの状況での制動距離が長くなります。事故の危険性があります。

緊急ブレーキの状況では、ブレーキペダルを思いっきり踏んでください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキ

▶ 緊急ブレーキ状態が終わるまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキペダルから足を放すと、ブレーキは通常の作動状態に戻ります。BAS は解除されます。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）

全体的な注意事項

① "重要な安全上の注意事項"の項目に注意してください (▷ 77 ページ)。

BAS プラスはドライビングアシスタンスパッケージ装備車両でのみ使用できます。走行しているときにBAS プラスが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが作動可能でなければなりません。

センサーシステムおよびカメラシステムの支援で、BAS プラスは以下の障害物を検知できます：

- 長時間車両の進路にある物
- 車両の進路を横切る物

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。

BAS プラスは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特有な特徴を使用して歩行者を検知します。

レーダーセンサーシステムまたはカメラシステムが故障している場合は、BAS プラスの機能は制限されるか、または使用できなくなります。その場合もブレーキ

システムは使用でき、ブレーキの倍力装置および BAS は十分に機能します。

① "重要な安全上の注意事項"に記載されている制限に注意してください (▷ 79 ページ)。

BAS プラスは、車両および歩行者との衝突の危険性を最小限にし、そのような衝突の影響を減少させることができます。BAS プラスが衝突の危険を検知した場合は、ブレーキ操作時に支援されます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

BAS プラスは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。

そのような場合は、BAS プラスは以下のようになります：

- 不必要に介入する
- 介入しない

事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

⚠ 警告

BAS プラスは、以下では反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- カーブを走行するとき

そのため、BAS プラスはすべての危険な状況下で作動するとは限りません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知は困難になるおそれがあります。

レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります：

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 他のレーダー発生源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起きている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車両が他の車線を走行している
- レーダーセンサーシステムの検知範囲内に急に車両が入り込んだ

カメラシステムによる検知は、以下のときも困難になります：

- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている
- 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑がある
- 周囲が暗い
- 以下の場合：
 - 車両の進路に入り込むなど、歩行者が急に動いた
 - 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなった
 - 歩行者が他の障害物により隠れている
 - 人特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではレーダーセンサーの設定と作動の点検を行なってください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではカメラシステムの設定と作動の点検を行なってください。

機能

衝突を避けるために、BAS プラスは以下の場合に必要な制動力を計算します：

- 障害物に接近している
- BAS プラスが衝突の危険を検知している

30 km/h 以下の速度で走行しているとき： ブレーキペダルを踏んだ場合は、BAS プラスが作動します。BAS プラスからのブレーキ操作の支援は、できる限り最後の瞬間に行なわれます。

30 km/h 以上の速度で走行しているとき： ブレーキペダルを急に踏んだ場合は、BAS プラスは交通状況に適した度合いにブレーキ圧を自動的に高めます。

BAS プラスは、7 km/h ~ 250 km/h の間の速度域内で、先行車両との状態が危険なときにブレーキ操作の支援を行ないます。

約 70 km/h の速度までは、BAS プラスは以下に反応することがあります：

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者
- センサーの検知範囲内に移動し、検知された、進路を横切る障害物

i BAS プラスが特に強力な制動力を要求している場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

▶ 緊急ブレーキの状況が終わるまで、ブレーキペダルを踏み続けてください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

以下の状況では、BAS プラスは解除され、ブレーキは通常通り作動します：

- ブレーキペダルを放した
- 衝突の危険性がなくなった
- 車両前方に検知される障害物がなくなった

- アクセルペダルを踏んだ
- キックダウンを作動させた

アダプティブブレーキライト

i "重要な安全上の注意"に従ってください (▷ 77 ページ)。

アダプティブブレーキライトは緊急ブレーキの状況で以下のように後続の車両に警告します。

- ブレーキライトを点滅させることにより
- 非常点滅灯が作動します

70 km/h 以上の速度から停止するまで急ブレーキを効かせた場合は、非常点滅灯が自動で作動します。再度ブレーキを効かせた場合は、ブレーキランプは点灯し続けます。10 km/h 以上で走行した場合は、非常点滅灯は自動的に解除されます。非常点滅灯スイッチを使用して非常点滅灯を解除することもできます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

ESP® (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)

全体的な注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

ESP®は走行安定性、およびタイヤと路面の間の駆動系部品であるトラクションをモニターします。

車両の走行ラインが運転者の望む進行方向から外れていると ESP®が判断した場合は、1 本または複数の車輪にブレーキを効かせ、車両を安定させます。また、エンジン出力を調整して、物理的な限界で望む方向に車両の向きを保つように作動します。ESP®は、濡れた路面や滑りやすい路面での発進操作を支援します。

ESP®は、ブレーキ時の車両を安定させることもできます。

ETS/4ETS (エレクトロニック・トラクション・サポート)

i "重要な安全上の注意事項"の項目に注意してください (▷ 77 ページ)。

ETS トラクションコントロールは、ESP®の一部です。4MATIC 装備車両では、4ETS は ESP®の一部です。

トラクションコントロールは、駆動輪が空転した場合に、駆動輪に個別にブレーキを効かせます。これにより、片側が滑りやすい路面などでの発進や加速を可能にします。さらに、1 本または複数の駆動力のかかる車輪にさらなる駆動トルクが伝達されます。

ESP®を解除した場合でも、トラクションコントロールは設定されたままになります。

重要な安全上の注意事項

i "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

⚠ 警告

ESP®が故障している場合は、ESP®は車両を安定させることはできません。さらに、他の走行安全装備はオフになります。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。


注意して運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で ESP®の点検を受けてください。



! 4MATIC 装備車両： ブレーキテスター上でパーキングブレーキを点検するときは、イグニッションをオフにしてください。

ESP®のアクティブなブレーキ介入により、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。

■ 4MATIC 装備車：機能または性能テストは 2 軸ダイナモメーターでのみ実行します。そのようなダイナモメーターで車両を操作する前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。駆動系またはブレーキシステムが損傷するおそれがあります。

4MATIC 非装備車両：リアアクスルを上げた状態で車両をけん引するときは、ESP®の注意事項に従うことが重要です (▶ 268 ページ)。

エンジンがかかっているときにメーターパネルの警告灯  が点灯し続けている場合は、ESP® が解除されています。




警告灯  および警告灯  が点灯し続ける場合は、故障により ESP® は作動しません。

警告灯 (▶ 201 ページ) とメーターパネル (▶ 188 ページ) に表示されるディスプレイメッセージに関する情報に従ってください。

以下の場合、マルチファンクションディスプレイに故障および警告のメッセージが表示されることがあります。

- エンジンをかけた状態で立体駐車場などのターンテーブルで車両を回転させた、または
- 立体駐車場に進入するときなど、長く狭いらせん状の走行路を走行した

以下のような警告灯も点灯することがあります。

- ESP®警告灯 
- ESP®解除警告灯 
- ABS 警告灯 


- ▶ 道路や交通状況に注意しながら、車両を停止します。
- ▶ エンジンを停止します。


- ▶ イグニッションをオフにします。
- ▶ エンジンを再始動してください。しばらくすると、メッセージが消え、警告灯が消灯します。そうでない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で原因を調査してください。

① 推奨されたタイヤサイズの車輪のみを使用してください。そのときにのみ、ESP®は正しく機能します。

ESP®の特性

全体的な注意事項

走行を開始する前に ESP 警告灯  が消灯している場合は、ESP®が自動的に設定されています。

ESP®が作動した場合は、メーターパネルの ESP®警告灯  が点滅します。

ESP®が作動した場合：

- ▶ どのような状況でも ESP®を解除しないでください。
- ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- ▶ 実際の道路や天候の状況に適するように運転スタイルを合わせてください。

ECO スタートストップ機能

ECO スタートストップ機能は、車両が停止すると、自動的にエンジンを停止します。再度発進するときに、自動的にエンジンが始動します。ESP®は、以前の設定状況のままになります。例：エンジンを停止する前に ESP®が解除されていた場合は、エンジンを再度始動したときに ESP®は解除されたままになります。

ESP®の解除/設定 (AMG 車両を除く)

重要な安全上の注意事項

① "重要な安全上の注意事項" の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

以下の ESP® の状態を選択することができます：

- ESP® を設定する
- ESP® を解除する

⚠ 警告

ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。


以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。


以下の状況では、ESP® を解除したほうが良いことがあります。

- スノーチェーンを使用しているとき
- 深い雪道で
- 砂地または砂利道で


① 上記に記載されている状況でなくなったら、ただちに ESP® を設定してください。さもないと、車両が横滑りしたり車輪が空転し始めたときに、ESP® が車両を安定させることができません。

ESP®の解除/設定

▶ **解除する：** (▷ 186 ページ)
メーターパネルの ESP® 解除警告灯  が点灯します。

▶ **作動させる：** (▷ 186 ページ)
メーターパネルの ESP® 解除警告灯  が消灯します。

ESP®が解除されているときの特性

ESP® が解除されている場合、1 本または複数の車輪が空転し始めると、メーターパネルの ESP® 警告灯  が点滅

します。このような状況では、ESP® は車両を安定させません。

ESP® を解除した場合は：

- ESP® が走行安全性を高めなくなりま
- す。
- エンジントルクの制御は行なわれなくなり、駆動輪が空転することがあります。
- やわらかい路面では、掘る動作につながる車輪の空転により、駆動力が向上します。
- トラクションコントロールは引き続き作動します
- ブレーキを踏むと、ESP® は自動的に作動します。

ESP®の解除/設定 (AMG 車両)

重要な安全上の注意事項

① "重要な安全上の注意事項" の項目に注意してください (▷ 77 ページ)。

以下の ESP® の状態を選択することができます：

- ESP® を設定する
- スポーツハンドリングモードを設定する
- ESP® を解除する

⚠ 警告

スポーツモードが作動しているときは、横滑りおよび事故の危険が高まります。以下に記載されている状況でのみスポーツモードを作動してください。

⚠ 警告

ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。

次のような状況では、スポーツハンドリングモードを設定した方が良いことがあります。

- スノーチェーンを使用しているとき
- 深い雪道で
- 砂地または砂利道で
- 車両のオーバーステアやアンダーステア特性が求められる特別に設計された道路で





スポーツハンドリングモードでの、またはESP[®]なしでの走行は、非常に熟練した、経験豊富な運転者を必要とします。

i 上記に記載されているような状況が適用されなくなったら、ただちにESP[®]を設定してください。さもないと、車両が横滑りしたり車輪が空転し始めたりしたときに、ESP[®]が車両を安定させることができません。


ESP[®]の解除/設定



- ▶ **スポーツハンドリングモードに設定する**：スイッチ ① を軽く押します。メーターパネルのスポーツハンドリングモード警告灯 **SPORT** が点灯します。マルチファンクションディスプレイに **SPORT handling mode** というメッセージが表示されます。
- ▶ **スポーツハンドリングモードを解除する**：スイッチ ① を軽く押します。メーターパネルのスポーツハンドリングモード警告灯 **SPORT** が消灯します。

- ▶ **ESP[®]を解除する**：メーターパネルのESP[®]解除警告灯  が点灯するまで、スイッチ ① を押します。マルチファンクションディスプレイに  **OFF** というメッセージが表示されます。
- ▶ **ESP[®]を設定する**：スイッチ ① を軽く押します。メーターパネルのESP[®]解除警告灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイに  **ESP[®] ON** というメッセージが表示されます。


スポーツハンドリングモードに設定しているときの特性

スポーツハンドリングモードが設定されている場合、1本以上の車輪が空転し始めた場合は、メーターパネルのESP[®]警告灯  が点滅します。ESP[®]は限られた程度までのみ車両を安定させます。

スポーツハンドリングモードに設定しているとき：

- ESP[®]は限界の範囲内で走行安定性を向上させます
 - トラクションコントロールは作動したままになります
 - 限界の段階でエンジントルクが制限されるため、駆動輪が空転することがあります
- やわらかい路面では、車輪の空転による掘る動作により、より良い駆動力につながります
- ブレーキを効かせたときも、ESP[®]は支援を行ないます

ESP[®]が解除されているときの特性

ESP[®]が解除されていて、1本以上の車輪が空転し始めた場合は、メーターパネルのESP[®]警告灯  は点滅しません。このような状況では、ESP[®]は車両を安定させません。

ESP®を解除した場合は：

- ESP®は走行安全性を向上させなくなります
- 限界の段階でエンジントルクが制限されるため、駆動輪が空転することがあります
やわらかい路面では、車輪の空転による掘る動作により、より良い駆動力につながります
- トラクションコントロールは作動したままになります
- PRE-SAFE®は作動しなくなります。ESP®の支援とともにブレーキを強く効かせた場合でも作動しません。
- PRE-SAFE®ブレーキは作動しなくなります。ESP®の支援とともにブレーキを強く効かせた場合でも作動しません。
- ブレーキを効かせたときも、ESP®は支援を行ないます

EBD (エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション)

全体的な注意事項

EBD は、後輪のブレーキ圧をモニターしてコントロールを行ない、ブレーキ時の走行安全性を高めます。

重要な安全上の注意事項

① 走行安全システムの"重要な安全上の注意事項"の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

⚠ 警告

EBD が故障した場合には、急ブレーキ時などには後輪がロックすることがあります。これにより、横滑りして事故が起きる危険性が高くなります。
操縦性の変化に応じて慎重に運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービ

ス工場でブレーキシステムの点検を受けてください。

表示および警告灯 (▷ 199 ページ) およびディスプレイメッセージ (▷ 190 ページ) に関する情報に従ってください。

アダプティブブレーキ

① "重要な安全上の注意事項"の項目に従ってください (▷ 77 ページ)。

アダプティブブレーキは、ブレーキ時の安全性を高めるとともに、さらに快適なブレーキ操作をもたらします。ブレーキ機能に加えて、アダプティブブレーキはホールド機能 (▷ 163 ページ) およびヒルスタートアシスト機能 (▷ 138 ページ) も備えています。

PRE-SAFE®ブレーキ

全体的な注意事項

① "重要な安全上の注意事項" の項目に注意してください (▷ 77 ページ)。

PRE-SAFE®ブレーキはドライビングアシスタントパッケージ装備車両でのみ使用できます。

走行時に PRE-SAFE®ブレーキが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが設定されていて、作動可能でなければなりません。

レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムの支援で、PRE-SAFE®ブレーキは車両の前方に長時間ある障害物を検知することができます。

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。

PRE-SAFE®ブレーキは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特徴により歩行者を検知します。

❶ "重要な安全上の注意事項"に記載されている制限に注意してください (▷ 86 ページ)。

PRE-SAFE®ブレーキは、先行車両または歩行者との衝突の危険性を最小限にし、そのような衝突の影響を低減させることで運転者を支援します。PRE-SAFE®ブレーキが衝突の危険を検知した場合は、自動的にブレーキを効かせるとともに、視覚的および聴覚的な警告を行ないます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

衝突の危険を検知すると、PRE-SAFE®ブレーキはまず部分的にブレーキをかけて車両を制動します。運転者がブレーキを効かせない場合は衝突することがあります。続いてブレーキをいっぱいに加えた後であっても、特に非常に速い速度で接近しているときは、必ずしも衝突を避けられるとは限りません。事故の危険性があります。

常にブレーキをご自身で効かせ、安全確認をしながら、危険回避の操作を行なってください。

⚠ 警告

PRE-SAFE®ブレーキは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。

その場合、PRE-SAFE®ブレーキは以下のように作動することがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。

PRE-SAFE®ブレーキが警告を行なったときは、必ず交通状況に十分注意を払いながら、ブレーキをかける準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

先行車両との車間距離を十分に維持して衝突を防ぐためには、適切にブレーキ操作を行なう必要があります。

⚠ 警告

PRE-SAFE®ブレーキは、以下のものには反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- 交差交通
- カーブを走行するとき

この結果、すべての危険な状況では、PRE-SAFE®ブレーキは警告や作動を行なわない場合があります。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知は困難になるおそれがあります。


レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
 - 他のレーダー発生源による干渉がある
 - 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
 - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
 - 先行車両が他の車線を走行している
- カメラシステムによる検知は、以下のときも困難になります：
- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている場合
 - 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑がある場合



- 周囲が暗い
- 以下の場合：
 - 車両の進路に入り込むなど、歩行者が急に動いた
 - 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなった
 - 歩行者が他の障害物により隠れている
 - 人特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷したときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を行ってください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラシステムの設定と作動の点検を行ってください。

機能

- ▶ **設定/解除する：** マルチファンクションディスプレイで PRE-SAFE® ブレーキを設定または解除します (▶ 186 ページ)。
PRE-SAFE® ブレーキが設定されていない場合は、マルチファンクションディスプレイに  マークが表示されます。

この機能は、以下の場合に警告を発します：

- 約 30 km/h またはそれ以上の速度で、先行車両との間に保たれている距離が数秒間十分である。
メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。
- 約 7 km/h またはそれ以上の速度で、先行車両に急速に接近している。
断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。

- ▶ ただちにブレーキを効かせ、状況を回避してください。

または

- ▶ 安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。

PRE-SAFE® ブレーキは、以下の条件下で車両に自動的にブレーキを効かせることができます。

- 運転者および助手席乗員がシートベルトを着用している
および
- 車両速度が約 7 km/h~200 km/h の間である

約 70 km/h までの速度では、PRE-SAFE® ブレーキは以下を検知することもできます：

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者

i 衝突の危険性が高まった場合は、PRE-SAFE® (予期乗員保護措置) が作動します。

先行車両との衝突の危険性がそのまま、ブレーキを効かせる、回避操作をとる、または著しく加速することを運転者が行なわなかった場合は、フルブレーキを適用する度合いまで、車両が自動緊急ブレーキを効かせることがあります。自動緊急ブレーキは、切迫した事故の直前までは作動しません。

PRE-SAFE® ブレーキの介入は、以下によりいつでも解除することができます：

- アクセルペダルをさらに踏む
- キックダウンを作動させる
- ブレーキペダルを放す

以下では、PRE-SAFE® ブレーキのブレーキ操作は自動的に解除されます：

- ・障害物を回避する操作を行なった
- ・衝突の危険性がなくなった
- ・車両前方に検知されている障害物がなくなった

盗難防止

イモビライザー

イモビライザーにより、正規のキー以外で車両を始動することを防止します。

- ▶ **キーで待機状態にする：** エンジンスイッチからキーを取り外します。
- ▶ **キーレスゴーで待機状態にする：** イグニッションをオフにして、運転席ドアを開きます。
- ▶ **解除する：** イグニッションをオンにします。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。有効なキーが車内に残されている場合は、誰でもエンジンを始動することができます。

i イモビライザーは、エンジンを始動すると必ず解除されます。

ATA (盗難防止警報システム)





- ▶ **待機状態にする：** キー、またはキーレスゴーで車両を施錠します。表示灯 ① が点滅します。警報システムが約 15 秒後に待機状態になります。
- ▶ **解除する：** キーまたはキーレスゴーで車両を解錠します。

または

- ▶ キーをエンジンスイッチに差し込みます。

システムが待機状態で以下を開いた場合は、視覚的および聴覚的な警報が発せられます：

- ・ドア
- ・エマージェンシーキーでの車両
- ・トランクリッド/テールゲート
- ・ボンネット

- ▶ **キーで警報を停止する：** キーの  または  スイッチを押します。警報が停止します。

または

- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。
- ▶ キーをエンジンスイッチに差し込みます。警報が停止します。

- ▶ **キーレスゴーを使用して警報を停止する：** 車外のドアハンドルを握ります。キーは車外にある必要があります。警報が停止します。

または

- ▶ ダッシュボードのキーレスゴースイッチを押します。キーは車内にある必要があります。警報が停止します。

例えば、警報を作動させた開いたドアを閉じて、警報は解除されません。

けん引防止機能

機能

けん引防止機能が待機状態のときに車両の傾きが変化した場合は、聴覚的および視覚的な警報が発せられます。例えば、車両の片側がジャッキアップされた場合に、このことが起こります。

待機状態にする

- ▶ 以下のことを確認してください：
 - ドアが閉じている
 - トランクリッド/テールゲートが閉じている
 この後にのみ、けん引防止機能が待機状態になります。
- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。
約 30 秒後にけん引防止機能は待機状態になります。

解除する

- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を解錠します。
または
- ▶ キーをエンジンスイッチに差し込みます。
けん引防止機能は自動的に解除されず。

解除する



- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ スイッチ ① を押します。
表示灯 ② が短時間点灯します。
- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。
けん引防止機能が解除されます。

けん引防止機能は、以下のときまで解除されたままになります：

- 車両を再度解錠し、
 - ドアを再度開いて閉じ、
 - 車両が再度施錠されます
- 誤った警告を防止するため、以下のような状況で車両を施錠する場合は、けん引防止機能を解除してください：
- けん引される
 - カーフェリーまたは車両運搬車などに積載する
 - 立体駐車場などの可動面に駐車する

室内センサー

機能

室内センサーが待機状態のときに車内で動きが検知された場合は、視覚的および聴覚的な警報が発せられます。例えば、誰かが車内に手を伸ばした場合などに起こります。

待機状態にする

- ▶ 以下を確認してください：
 - サイドウィンドウが閉じている
 - スライディングルーフが閉じている
 - ルームミラーやルーフトリムのグリップハンドルにマスコットなどの物が掛かっていない
 このことは、警報の誤作動を防ぎます。
- ▶ 以下を確認してください：

- ドアが閉じている
- スライディングルーフが閉じている
- トランクリッド/テールゲートが閉じている

この場合のみ、室内センサーは待機状態になります。

- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。
約 30 秒後に、室内センサーは待機状態になります。

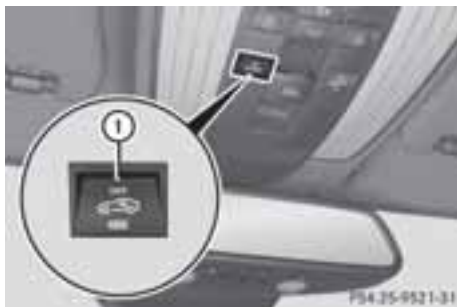
解除する

- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を解錠します。

または

- ▶ キーをエンジンスイッチに差し込みます。
室内センサーが自動的に解除されます。

解除する



- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ スイッチ ① を押します。
表示灯 ② が短時間点滅します。
- ▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。
室内センサーが解除されます。

室内センサーは以下のときまで解除されずのままになります：

- 車両を再度解錠し、
 - ドアを再度開いて閉じ、
 - 車両が再度施錠されます
- 誤った警報を防止するため、以下のような状況で車両を施錠する場合は、室内センサーを解除してください：
- 車内に人や動物が残ったままである
 - スライディングルーフが開いたままである
 - サイドウィンドウが開いたままである

役に立つ情報	92
キー	92
ドア	98
トランク/ラゲッジルーム	100
サイドウインドウ	105
スライディングルーフ	107

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 28 ページ)

キー

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

キーに、重い物や大きなアクセサリ等を付けていると、エンジンスイッチのキーが不意にまわるおそれがあります。

そのため、エンジンが停止するおそれがあります。事故の危険性があります。

キーには重い物や大きなアクセサリ等を付けしないでください。操作の邪魔になるアクセサリ等は、エンジンスイッチにキーを差し込む前に取り外してください。

! 強い磁場を発生する物の近くにキーを保管しないでください。磁場の影響で、リモコン機能が正常に機能しなくなるおそれがあります。

強い磁場は、強力な電気設備の近くで発生します。

以下にはキーを近づけないでください：

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器
 - 硬貨や金属片などの金属物
 - 金属ケースなどの金属物の内部
- キーの機能に影響を与えるおそれがあります。

キーの機能



- ① 車両の施錠
- ② トランクリッド/テールゲートの解錠
- ③ 車両の解錠

▶ **集中施錠する：** スイッチを押します。

キーにより、以下が集中施錠/解錠されます：

- ドア
- トランクリッド/テールゲート
- 燃料給油口フラップ

解錠したときは、方向指示灯が 1 回点滅します。施錠したときは、3 回点滅します。

車両が施錠されたことを確認できる、確認音を設定することもできます。確認音は、マルチファンクションディスプレイを使用して、設定および解除することができます (▶ 186 ページ)。

マルチファンクションディスプレイで設定している場合は、暗いときにロケイターライティングも点灯します (▶ 186 ページ)。

キーレスゴー

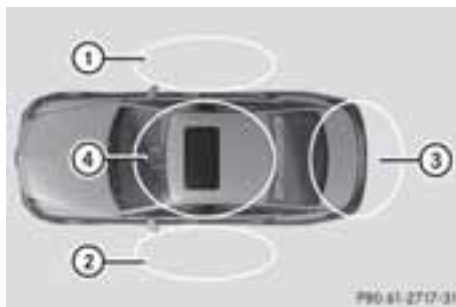
重要な安全上の注意事項

危険

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：

キーレスゴーを使用するときは、キーと車両の間で電波の交信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。致命的なけがをすることがあります。

車両を操作する前に、医師や医療用電子機器メーカーにキーレスゴーの電波の影響を確認してください。



キーレスゴーアンテナの検知範囲 例：CLS クーペ

- ① 右側外部アンテナの検知範囲
- ② 左側外部アンテナの検知範囲
- ③ リアアンテナの検知範囲
- ④ 車内アンテナの検知範囲

キーレスゴーキーが車内にある場合は、車両乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

集中施錠および解錠

キーレスゴーを使用して、車両の始動、施錠または解錠ができます。この操作に必要なのはキーを携帯することのみです。キーレスゴー機能と従来のキーの機能を組み合わせることができます。たとえば、キーレスゴー操作で車両を解錠し、キーの スイッチで施錠することができます。

キーレスゴーで施錠または解錠するときは、キーと対応するドアハンドルの間の距離が 1 m 以上になってはいけません。車両とキーとの間で定期的に行なわれる無線通信によるチェックにより、車内に有効なキーがあるかどうかを確認します。例えば、以下のときに行なわれます：

- 車外のドアハンドルに触れたとき
- エンジン始動時
- 走行している間



- ▶ **車両を解錠する**：ドアハンドルの内側面に触れます。
- ▶ **車両を施錠する**：センサー面 ① に触れます。
- ▶ **コンビニエンスクロー징機能**：センサー面の凹部 ② に一定時間触れます。
コンビニエンスクロー징機能に関するさらなる情報は、キーワード"コンビニエンスクロー징機能"で、デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ **トランクリッド/テールゲートを解錠する**：トランクリッド/テールゲートのハンドルを引きます。
車両はトランクリッド/テールゲートのみを解錠します。

ロックシステムの設定変更

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。



エマージェンシーキー

全体的な注意事項

キーで車両を施錠または解錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

エマージェンシーキーを使用して、運転席ドアやトランクリッド/テールゲートを解錠して開いた場合は、盗難防止警報システムが作動します (▷ 88 ページ)。

警報を停止するためには、いくつかの方法があります：

- ▶ **キーで警報を停止する**：キーの  または  スイッチを押します。
または
- ▶ **キーをエンジンスイッチに差し込みます**。
または
- ▶ **キーレスゴーで警報を停止する**：キーレスゴースイッチを押します。キーは車内にある必要があります。
または
- ▶ **キーレスゴーで車両を施錠または解錠します**。キーは車外にある必要があります。

エマージェンシーキーを使用して車両を解錠した場合は、燃料給油口フラップは自動的に解錠されません。

- ▶ **燃料給油口フラップを解錠する**：エンジンスイッチにキーを差し込みます。

エマージェンシーキーの取り外し



- ▶ **ロック解除キャッチ①**を矢印の方向に押しながら、エマージェンシーキー②をキーから取り外します。

さらなる情報：

- 運転席ドアの解錠 (▷ 99 ページ)
- トランクの解錠 (▷ 104 ページ)

- テールゲートの解錠 (▷ 104 ページ)
- 車両の施錠 (▷ 99 ページ)

エマージェンシーキーの挿入

- ▶ 固定されて、ロック解除スイッチ ① が基本位置に戻るまで、エマージェンシーキー ② をキーに完全に押し込みます。

キーの電池

電池の点検



- ▶ または スイッチを押します。バッテリーチェックランプ ① が短時間点灯した場合は、電池は正常です。バッテリーチェックランプ ① が短時間点灯しない場合は、電池が放電しています。
- ▶ 電池を交換してください (▷ 95 ページ)。

i または スイッチを押して、車両の信号受信範囲内でキーの電池を点検した場合は、以下になります：

- 施錠されます、または
- 車両が解錠されます

i 電池はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入することができます。

電池の交換

CR 2025 3V の電池が必要です。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り出します (▷ 94 ページ)。



- ▶ 電池収納部カバー ① が開くまで、キーの開口部にエマージェンシーキー ② を押し込みます。このときは、電池収納部カバー ① を押えないようにしてください。
- ▶ 電池収納部カバー ① を取り外します。



- ▶ 電池 ③ が落ちるまで、手のひらでキーを繰り返したたきます。
- ▶ プラス面が上を向くようにして、新しい電池を差し込みます。そうするときは、毛羽立ちのない布を使用してください。
- ▶ 電池の表面に糸くず、脂分、他の汚れがないことを確認してください。
- ▶ 電池収納部カバー ① の前側にある凸部を本体に差し込み、押して閉じます。

- ▶ エマージェンシーキー ② をキーに差し込みます。
- ▶ 車両で、キーのすべてのスイッチの機能を確認します。

キーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>キーを使用して、車両を施錠または解錠できなくなった。</p>	<p>キーの電池が放電している、またはほぼ放電している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの電池 (▷ 95 ページ) を点検し、必要な場合は交換してください (▷ 95 ページ)。 <p>作動しない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーで車両を施錠 (▷ 99 ページ) または解錠 (▷ 99 ページ) してください。 <p>キーが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を施錠 (▷ 99 ページ) または解錠 (▷ 99 ページ) してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。
<p>キーレスゴーを使用して、車両を施錠または解錠できなくなった。</p>	<p>キーの電池が放電している、またはほぼ放電している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの電池 (▷ 95 ページ) を点検し、必要な場合は交換してください (▷ 95 ページ)。 <p>作動しない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を施錠 (▷ 99 ページ) または解錠 (▷ 99 ページ) してください。 <p>強い電波源からの干渉を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を施錠 (▷ 99 ページ) または解錠 (▷ 99 ページ) してください。 <p>キーレスゴーが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーのリモコン機能を使用して、車両を施錠/解錠してください。 ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検してください。 <p>リモコン機能を使用しても車両を施錠/解錠できない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エマージェンシーキーを使用して、車両を施錠 (▷ 99 ページ) または解錠 (▷ 99 ページ) してください。 ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検してください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でキーを無効にしてください。 ▶ ただちに自動車保険会社へ紛失を報告してください。 ▶ 必要な場合は、ロックも交換してください。
エマージェンシーキーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちに自動車保険会社へ紛失を報告してください。 ▶ 必要な場合は、ロックも交換してください。
キーを使用してエンジンを始動することができない。	<p>バッテリーの電圧が非常に下がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ シートヒーター、ルームライトなどの必要としない電気装備を停止してから、再度エンジン始動操作を行なってください。 <p>作動しない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スターターバッテリーを点検し、必要な場合は充電してください (▶ 261 ページ)。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ジャンプスタートを行なってください (▶ 263 ページ)。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
キーレスゴーを使用して、エンジンを始動することができない。キーが車内にある。	<p>車両が施錠されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を解錠して、再度車両を始動するよう試みてください。 <p>強い電波源からの干渉を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジンスイッチのキーで、車両を始動してください。

ドア

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さな

いでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

手荷物や積載物は、なるべくトランク/ラゲッジルームに収納してください。積載のガイドライン (▶ 226 ページ) を守ってください。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- 車内からドアを解錠して開く
- 車内からの車両の集中施錠および解錠
- 車速感応ドアロック

運転席ドアの解錠 (エマージェンシーキー)

キーで車両を解錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▶ 94 ページ)。
- ▶ 運転席ドアのキーシリンダーに、エマージェンシーキーをいっぱいまで差し込みます。



- ▶ エマージェンシーキーを [1] の位置まで反時計回りにまわします。ドアが解錠されます。

i 右ハンドル車両では、エマージェンシーキーを時計回りにまわします。

- ▶ エマージェンシーキーをまわして戻し、抜きます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。

エマージェンシーキーを使用して運転席ドアを解錠して開いた場合は、盗難防止警報システムが作動します (▶ 88 ページ)。

車両の施錠 (エマージェンシーキー)

キーで車両を施錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

- ▶ 運転席ドアを開きます。
- ▶ 助手席ドアとリアドア、トランクリッド/テールゲートを閉じます。
- ▶ 施錠スイッチ (▶ 99 ページ) を押しします。
- ▶ 助手席ドアとリアドアのロックノブが見えていないことを確認します。必要な場合は、ロックノブを手で押し込みます。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▶ 94 ページ)。
- ▶ 運転席ドアのキーシリンダーに、エマージェンシーキーをいっぱいまで差し込みます。



- ▶ ①の位置まで、エマージェンシーキーを時計回りにまわします。
- ▶ エマージェンシーキーを①の位置まで時計回りにまわします。ドアが解錠されます。
- ❶ 右ハンドル車両は、エマージェンシーキーを反時計回りにまわします。
- ▶ エマージェンシーキーをまわして戻し、抜きます。
- ▶ ドアとトランクリッド/テールゲートが施錠されていることを確認します。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。

トランク/ラゲッジルーム

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッド/テールゲートが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッド/テールゲートを開く前に、必ずエンジンをオフにしてください。トランクリッド/テールゲートを開いたまま走行しないでください。

- ❶ トランク/テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク/テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

- ❶ トランクリッド/テールゲートを開いたときの寸法 (▶ 310 ページ)。

手荷物や積載物は、なるべくトランク/ラゲッジルームに収納してください。積載時のガイドラインに従ってください (▶ 226 ページ)。

トランク/ラゲッジルーム内にキーを残さないようにしてください。さもないと、閉め出されるおそれがあります。

自動開閉トランクリッド非装備車両： トランクリッドは以下のことができます：

- 車外から手動で開く、および閉じる
- 車外から自動で開く
- 車内から自動で開く
- エマージェンシーキーで解錠する

自動開閉トランクリッド装備車両： トランクリッドは以下のことができます：

- 車外から手動で開く、および閉じる
- 車外から自動で開く、および閉じる
- 車内から自動で開く、および閉じる
- エマージェンシーキーで解錠する

CLS Shooting Brake： 以下のことができます：

- 車外からテールゲートを手動で開く、および閉じる
- 車外からテールゲートを自動で開く、および閉じる
- 車内からテールゲートを自動で開く、および閉じる
- テールゲートの開口角度を制限する
- エマージェンシーキーを使用してテールゲートを解錠する

トランクリッド/テールゲートのリバース機能

トランクリッド/テールゲートには、自動リバース機能が装備されています。閉じる動作中にたかい障害物がトランクリッド/テールゲートに挟まれた、または妨げた場合に反応します。トランクリッド/テールゲートが再度自動的に開きます。自動リバース機能は単なる補助に過ぎず、トランクリッド/テールゲートが閉じている間の注意の代わりになるものではありません。

⚠ 警告


以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じる動作の最後の 8 mm を超えている

リバース機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉動作の間は、身体を閉じる部分に近づけないようにしてください。

挟み込まれたとき：


- キーの  スイッチを押してください、または
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押してください、または
- トランクリッド/テールゲートのクローズまたはロックスイッチを押してください、または
- トランクリッド/テールゲートのハンドルを引いてください

車外からの開閉

開く



ハンドル (例：CLS Coupé)


- ▶ キーの  スイッチを押します。
- ▶ **CLS Coupé**：ハンドル ① を引きます。
- ▶ トランクリッドを上げます。

CLS Shooting Brake：ハンドル ① を引いたままの位置で保持した場合は、テールゲートを手で開くことができます。ハンドルを放した場合は、テールゲートは自動的に開きます。

閉じる



凹部 (例：CLS Coupé)

- ▶ 凹部 ① を使用して、トランクリッド/テールゲートを引き下げます。
- ▶ **CLS Shooting Brake**：ロック部にテールゲートを下げます。
- ▶ 必要な場合は、キーの  スイッチ (▷ 92 ページ) またはキーレスゴー (▷ 93 ページ) で車両を施錠します。

i キーレスゴーキーがトランク/ラゲッジルーム内で検知された場合は、トランクリッド/テールゲートは施錠されません。

トランクリッド/テールゲートは再度開きます。

車外からの自動開閉

重要な安全上の注意事項


⚠ 警告

トランクリッド/テールゲートが自動で閉じている間に身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、お子様などが閉動作中に、閉じる場所に立っていたり、

入り込んだりする可能性があります。けがの危険性があります。

閉動作中は、閉じる場所に誰もいないことを確認してください。

閉動作を停止させるため、以下のオプションのうちのひとつを使用してください：


- キーの  ボタンを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押します。
- トランクリッド/テールゲートのクローズングまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッド/テールゲートのハンドルを引きます。

! トランク/テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク/テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッド/テールゲートを開いたときの寸法 (p. 310 ページ)。

開く

キー、またはトランクリッド/テールゲートのハンドルで、トランクリッド/テールゲートを自動的に開くことができます。

▶ トランクリッド/テールゲートが開くまで、キーの  スwitchを押して保持します。

または

▶ トランクリッド/テールゲートが解錠されている場合は、トランクリッド/テールゲートのハンドルを引いて、ただちに再度放します (p. 101 ページ)。

閉じる



クローザーおよびロックスイッチ (例：CLS Coupé)

▶ **閉じる**： トランクリッド/テールゲートのクローザースイッチ ① を押します。

自動開閉トランクリッドおよびキーレスゴー装備の CLS Coupé： トランクリッドを閉じて、同時に車両を施錠できます。キーレスゴーのキーが車両後方の検知範囲になければなりません。

▶ トランクリッドのロックスイッチ ② を押します。
すべてのドアが閉じている場合に、車両が施錠されます。

CLS Shooting Brake： テールゲートを閉じて、同時に車両を施錠できます。キーレスゴーのキーが車両後方の検知範囲になければなりません。

▶ テールゲートのロックスイッチ ② を押します。
すべてのドアが閉じている場合に、車両が施錠されます。

i キーレスゴーがトランク/ラゲッジルーム内でキーを検知した場合は、トランクリッド/テールゲートは閉じた後に再度開きます。

キーレスゴーが車両の外側で 2 番目のキーを検知した場合は、トランクリッド/テールゲートは閉じたままになります。

車内からの自動開閉


重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

トランクリッド/テールゲートが自動で閉じている間に身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、お子様などが閉動作中に、閉じる場所に立っていたり、入り込んだりする可能性があります。けがの危険性があります。

閉動作中は、閉じる場所に誰もいないことを確認してください。

閉動作を停止させるため、以下のオプションのうちのひとつを使用してください：

- キーの  ボタンを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押します。
- トランクリッド/テールゲートのクロー징ングまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッド/テールゲートのハンドルを引きます。

! トランク/テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク/テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッド/テールゲートを開いたときの寸法 (p. 310 ページ)。

開閉



▶ **開く**：トランクリッド/テールゲートが開くまで、トランクリッド/テールゲート用のリモート操作スイッチ ① を引きます。

▶ **閉じる (CLS Coupé)**：トランクリッドが完全に閉じるまで、トランクリッド用のリモート操作スイッチ ① を押します。

▶ **閉じる (CLS Shooting Brake)**：エンジンスイッチのキーを **1** または **2** の位置にまわします。

▶ テールゲートが完全に閉じるまで、テールゲート用のリモート操作スイッチ ① を押します。
閉じている動作中は、警告音が聞こえます。

車両が停止していて、解錠されているときに、運転席からトランクリッド/テールゲートを開閉することができます。

テールゲート開口角度の制限 (CLS Shooting Brake)

重要な安全上の注意事項

! 開度を設定するときは、テールゲートを全開するのに十分なスペースがあることを確認してください。テールゲートが損傷する原因になります。開度の設定は屋外で行なうことをお勧めします。

設定する

テールゲートの開口角度を制限することができます。開口範囲の上半分で、停止する前の約 20 cm まで可能です。

▶ **テールゲートを開く**：テールゲートのハンドルを引きます。

▶ **開く動作を希望の位置で中止する**：テールゲート内のクローザースイッチ

(▷ 101 ページ) を押すか、テールゲート外側のハンドルを再度引きます。

- ▶ **位置を記憶させる**：確認音が短時間聞こえるまで、テールゲート内のクローザースイッチを押して保持します。開口角度制限が設定されます。開いたときは、テールゲートは記憶させた位置で停止します。



解除する

- ▶ 確認音が 2 回、短時間聞こえるまで、テールゲート内のクローザースイッチ (▷ 101 ページ) を押して保持します。

トランクの解錠 (CLS Coupé)

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

キーまたはキーレスゴー操作でトランクを解錠できない場合は、エマージェンシーキーを使用します。

エマージェンシーキーを使用してトランクリッドを解錠して開いた場合は、盗難防止警報システムが作動します (▷ 88 ページ)。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▷ 94 ページ)。
- ▶ エマージェンシーキーをトランクリッドのキーシリンダーにいっぱいまで差し込みます。

- ▶ エマージェンシーキーを位置 **1** から位置 **2** まで、いっぱいまで反時計回りにまわします。トランクが解錠されます。
- ▶ エマージェンシーキーを位置 **1** に戻して、抜きます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。

i 車両を施錠したときは (▷ 99 ページ)、トランクも施錠されます。

非常時のテールゲートの解錠 (CLS Shooting Brake)

全体的な注意事項

! テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

i テールゲートを開いたときの寸法 (▷ 310 ページ)

車外からテールゲートを開くことができなくなった場合は、テールゲート内側のエマージェンシーリリースを使用してください。

開く



- ▶ ラゲッジルームカバーを取り外します (▷ 231 ページ)。
- ▶ リアシートのバックレストを前方に倒します (▷ 229 ページ)。
- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▷ 94 ページ)。
- ▶ エマージェンシーキー ② をトリム ① の開口部に差し込みます。
- ▶ エマージェンシーキー ② を時計回りに 90° まわします。
- ▶ エマージェンシーキー ② を矢印の方向に押して、テールゲートを開きます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに差し込みます。

① 車両を施錠した場合は (▷ 99 ページ)、ラゲッジルームも施錠されます。

サイドウィンドウ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サイドウィンドウを開けているときに、サイドウィンドウが動くにつれて、体の一部がサイドウィンドウとドアフレームの間に引き込まれて挟まるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

開けている最中は、誰もサイドウィンドウに触れないようにしてください。誰かが挟まれてしまった場合は、スイッチを

放すか、あるいはスイッチを引いてもう一度サイドウィンドウを閉じます。

⚠ 警告

閉じる部分に身体を近づけていると、サイドウィンドウを閉じる際に挟まれるおそれがあります。けがをする危険があります。

閉じる手順の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。誰かが挟まれたら、スイッチを放すか、あるいはスイッチを押してサイドウィンドウをもう一度開きます。

⚠ 警告

とくに保護者のいない状態で子供を車内に残すと、サイドウィンドウを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

リアサイドウィンドウのチャイルドブルーロックを作動させます。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

サイドウィンドウのリバース機能

サイドウィンドウには自動リバース機能が装備されています。閉じている動作中に、かたい障害物がサイドウィンドウをブロックした、または妨げた場合は、サイドウィンドウは再度自動的に開きます。ただし、自動リバース機能は単なる補助に過ぎず、サイドウィンドウを閉じるときの注意に代わるものではありません。

⚠ 警告

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 4 mm 以下となったとき

- リセット中
- リバース機能作動のすぐあとに再度手動でサイドウインドウを閉じるとき
リバース機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。
閉動作の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。挟み込まれたら、スイッチを押して、サイドウインドウを再度開きます。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- サイドウインドウの開閉
- コンビニエンスオープニング機能
- コンビニエンスクロージング機能
- サイドウインドウのリセット

サイドウィンドウのトラブル

⚠ 警告

サイドウィンドウをブロックされたまたはリセットされた後すぐに再度閉じる場合、サイドウィンドウはより大きなまたは最大の力で閉じます。リバーズ機能は作動しません。この手順のとき、身体の一部を閉じる部分に挟み込まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉じている間は、身体の一部を閉じる部分に近づけないようにしてください。閉動作を止めるには、スイッチを放すか、サイドウィンドウを再度開くためにスイッチをもう一度押します。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ガイドレールなどに葉などの障害物が挟まっているため、サイドウィンドウが閉じない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障害物を取り除いてください。 ▶ サイドウィンドウを閉じます。
サイドウィンドウが閉じず、原因がわからない。	<p>閉じているときにサイドウィンドウが妨げられ、再度少し開いた場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウが妨げられた後ただちに、サイドウィンドウが閉じるまで対応するスイッチを再度引きます。より強い力でサイドウィンドウが閉じます。 <p>閉じているときにサイドウィンドウが再度妨げられ、再度少し開いた場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウが妨げられた後ただちに、サイドウィンドウが閉じるまで対応するスイッチを再度引きます。挟み込み防止機能が作動しない状態でサイドウィンドウが閉じます。

スライディンググループ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

スライディンググループを開閉するときに、ルーフの移動範囲に身体を近づけると、はさまれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

開閉操作中は身体を近づけすぎないようにしてください。

はさまれた場合：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動操作中に、どの方向でもスイッチを短時間押します。

開閉手順が中断されます。

⚠ 警告

とくに保護者のいない状態で子供を車内に残すと、スライディンググループを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

! パノラミックスライディンググループに雪や氷が付着した状態で操作しないでください。スライディンググループが故障する原因になります。

スライディンググループの開口部から物を出さないようにしてください。スライディンググループのシール部が損傷するおそれがあります。

i スライディンググループが開いているときは、通常の風切り音に加えて共振音が発生するおそれがあります。これらは、車内の微細な圧力変動によるものです。これらのノイズを減少させる、またはなくすためには以下のことを行ないます。

- スライディンググループの位置を変更する
- サイドウィンドウを開く
- スライディンググループを快適な設定まで開く

スライディンググループのリバー機能

スライディンググループには自動リバー機能が装備されています。閉じている動作中に障害物がスライディンググループをブロックした、または妨げた場合は、スライディンググループは自動的に再度開きます。ただし、自動リバー機能は単なる補助にすぎず、スライディンググループを閉じるときの注意に代わるものではありません。

⚠ 警告

以下のとき、リバー機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 4 mm 以下となったとき
- リセット中
- リバー機能作動のすぐあとに再度手動でスライディンググループを閉じるとき

リバー機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉動作の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。

挟み込まれたとき：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動閉動作中に、どの方向でもスイッチを押します。

閉動作が停止します。


スライディンググループの操作


開閉



オーバーヘッドコントロールパネル

- ① 上げる
- ② 開く
- ③ 閉じる/下げる

- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** または **2** の位置にまわします。
- ▶  スイッチを対応する方向へ押す、または引きます。

i 手応えがあるところを越えるまで  スイッチを押すか引いた場合は、対応する方向への自動操作が開始されます。スライディンググループが開くときは、最初に快適な設定まで自動的に動きます。再度押した/引いた場合は、スライディンググループがいったいに開きます。再度押すか引くことにより、自動作動を停止できます。

サンシェードは、スライディンググループと連動して自動的に開きます。サンシェードは、スライディンググループがチルトアップしているか、閉じているときに手動で開閉できます。

i エンジンを停止するかキーを抜いた後も、スライディンググループの操作を続けることができます。この機能は 5 分間、またはフロントドアを開くまで作動したままになります。

レインクローズ機能

キーがエンジンスイッチの **0** の位置にあるか、または取り外されている場合は、以下のときにスライディンググループが自動で閉じます：

- 雨が降り始めた場合
- 極端な外気温度で
- 6 時間後
- 電力供給に故障がある場合

車内を換気するため、パノラミックスライディンググループの後部がチルトアップした状態に保たれます。

i レインクローズ機能により閉じられたときにスライディンググループが妨げられた場合は、再び少し開きます。そして、レインクローズ機能が解除されます。


以下の場合、スライディンググループは閉じません：

- 後部が上がっている
- ブロックされた
- レインセンサーによりモニターされているフロントウインドウの範囲に雨が落ちていない。例えば車両が橋の下にあったり、またはカーポートの中にいる場合は、センサーの範囲が覆われていることがあります。

リセット

! リセット操作を行っても、まだスライディンググループが開閉しないときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

スライディンググループがスムーズに作動しないときは、リセットを行なってください。

- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** または **2** の位置にまわします。
- ▶ スライディンググループの後部をいったいに上げます。(▶ 108 ページ)
- ▶  スイッチをそのまま数秒間押し続けます。
- ▶ スライディンググループが再度全開閉できることを確認します(▶ 108 ページ)。
- ▶ そうでない場合は、上の手順を繰り返してください。

スライディンググループのトラブル

 警告

スライディンググループをブロックされたまたはリセットされた後すぐに再度閉じる場合、スライディンググループはより大きなまたは最大の力で閉じます。リバー機能は作動しません。この手順のとき、身体を閉じる部分に挟み込まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉動作の間は、身体を閉じる部分に近づけないようにしてください。

挟み込まれたとき：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動開閉動作中に、どの方向でもよいのでスイッチを押します。


閉動作が停止します。

トラブル

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法


スライディンググループを閉じることができず、原因が分からない。

スライディンググループが閉じているときに挟み込みの抵抗を検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ スライディンググループがブロックされたらただちに、スライディンググループが閉じるまでオーバーヘッドコンソールの  スイッチを抵抗があるところまで引き下げて保持します。

スライディンググループは、より強い力で閉じます。

スライディンググループが再度抵抗を挟み込みの検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ スライディンググループがブロックされたらただちに、スライディンググループが閉じるまでオーバーヘッドコンソールの  スイッチを抵抗があるところまで引き下げて保持します。

挟み込み防止機能が作動しない状態でスライディンググループが閉じます。

役に立つ情報	112
運転席の適切なシートポジション	112
シート	113
ステアリング	115
ミラー	115
メモリー機能	115

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(p.28 ページ)

運転席の適切なシートポジション

⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。



▶ シート調整に関する安全上のガイドラインに従ってください (p.113 ページ)。

▶ シート ③ が正しく調整されていることを確認してください。

電動式シートの調整 (p.114 ページ)

シートを調整するときは、以下を確認してください：

- 運転席エアバッグからできるだけ離れている
- 通常の起こした位置で着座している
- シートベルトを正しく装着できる
- ほぼ垂直の位置になるようにバックレストを調整している
- 大腿部が軽く支えられるようにシートの角度を調整している

• ペダルを正しく踏むことができる

▶ ヘッドレストが適切に調整されていることを確認してください。

そのときは、ヘッドレストの中央部によって、後頭部が目の高さで支えられていることを確認してください。

▶ ステアリング調整に関する安全上のガイドラインを守ってください (p.115 ページ)。

▶ ステアリング ① が正しく調整されていることを確認してください。

電動式ステアリング調整 (p.115 ページ)

ステアリングを調整するときは、以下を確認してください：

- 腕を軽く曲げた状態で、ステアリングを握ることができる
 - 足を自由に動かすことができる
 - メーターパネル内のすべての表示がはっきり確認できる
- ▶ シートベルトに関する安全上のガイドラインを守ってください (p.46 ページ)。

▶ シートベルト ② を正しく着用していることを確認します。(▶ 48 ページ)
シートベルトが以下になるようにしてください：

- 身体に密着させる
 - 肩の中央にかかるように通っている
 - 骨盤部分の腰にかかるように通っている
- ▶ 走行を開始する前に、道路および交通状況がよく見えるように、ルームミラーおよびドアミラーを調整してください(▶ 115 ページ)。
- ▶ **メモリー機能装備車両**：メモリー機能でシート、ステアリング、ドアミラーの設定を保存します(▶ 115 ページ)。

シート

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

保護者のいない状態で、お子様がシートを調整すると、挟み込まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

エンジンスイッチにキーがないときでも、シートを調整することができます。

⚠ 警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

"エアバッグ" (▶ 50 ページ) および"子供をのせるとき" (▶ 60 ページ) に関する注意事項に従ってください。

⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する

- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。

⚠ 警告

シートの高さは慎重に調整しないと、挟み込まれて負傷するおそれがあります。とくに子供は、電動シート調整スイッチを誤って押ししまい、挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートが動いている間は、シート調整システムのレバー部分の下に手や身体などを入れないでください。

⚠ 警告

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないということを確認してください。

! シートとシートヒーターの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

- シートに液体をこぼさないでください。シートに液体をこぼしたときは、すみやかに乾燥させてください。
- シートカバーが濡れたときは、シートヒーターを使用しないでください。シートを乾燥させるためにシートヒーターを使用しないでください。

- シートカバーを清掃してください。"日常の手入れ"をご覧ください。
- シートの上に重い物を載せないでください。また、シートクッションの上にナイフやくぎ、工具などの鋭利な物を置かないでください。シートはできるだけ人を乗せるためだけに使用してください。
- シートヒーターの使用中は、ブランケットやコート、バッグ、シートカバー、チャイルドセーフティシート、補助シートなどにより、シートを覆わないでください。

! シートの前後位置を調整するときは、足元やシートの下または後方に物が無いことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

i フロントシートには、NECK PRO アクティブヘッドレスト (p. 56 ページ) が装備されています。この理由のため、フロントシートのヘッドレストは取り外すことができません。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります：

- シートの調整
- ヘッドレストの調整
- マルチコントロールシートバックの調整
- マルチコントロールシートバックの調整
- 電動ランバーサポートの調整
- シートベンチレーター の作動/停止

シートヒーターの作動/停止

作動/停止

⚠ 警告

シートヒーターを連続して使用すると、シートクッションおよびバックレストが異常に過熱する原因となります。高温により、温度変化を感知できにくい乗員や、異常な高温に対処できない乗員の健康に悪影響を与えたり、低温火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

したがって、シートヒーターを連続して使用しないでください。



運転席および助手席シート

スイッチの3つの赤い表示灯は、選択したヒーターレベルを表しています。

約8分後に、レベル**3**からレベル**2**へ、システムが自動的に切り替わります。

約10分後に、レベル**2**からレベル**1**へ、システムが自動的に切り替わります。レベル**1**に設定した約20分後に、システムが自動的に停止します。

▶ エンジンスイッチのキーを**1**または**2**の位置にまわします (p. 134 ページ)。

▶ **作動させる**：希望のヒーターレベルが設定されるまで、スイッチ**①**を繰り返し押しします。

▶ **停止する**：すべての表示灯が消灯するまで、スイッチ**①**を繰り返し押しします。

i バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートヒーターが停止することがあります。

シートヒーターのトラブル

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

ステアリング

重要な安全上の注意事項

警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。

警告

子供がステアリングを調整するとステアリングに挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

エンジンスイッチにキーがないときでも、電動調整式ステアリングを調整することができます。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- ステアリングの調整
- ステアリングヒーター
- イージーエントリー機能

ミラー

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- ルームミラー
- ドアミラー
- 自動防眩ミラー
- 助手席側ドアミラーの駐車時の位置

メモリー機能

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- メモリーの設定
- 記憶した位置を呼び出す

役に立つ情報	118
車外ライト	118
ルームライト	122
電球の交換	122
フロントワイパー	123

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください。(p 28 ページ)

車外ライト

全体的な注意事項

安全のため、昼間でもライトを点灯して運転することをお勧めします。そのため、車両には特別なデイタイムドライビングライトが装備されています。国により、ヘッドライトの操作は法令や自己責任によって異なります。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります：

- 非常点滅灯
- ヘッドライト内側の曇り

車外ライトの設定

設定オプション

以下によって車外ライトを設定できます：

- ライトスイッチを使用して
- コンビネーションスイッチを使用して (p 119 ページ)
- マルチファンクションディスプレイを使用して (p 186 ページ)

ライトスイッチ

操作



- 1 左側パーキングランプ
- 2 右側パーキングランプ
- 3 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
- 4 ヘッドライトのオートモード、ライトセンサーによる制御
- 5 ロービーム/ハイビームヘッドライト
- 6 リアフォグランプ

車両から離れるときに警告音が鳴る場合は、ライトが点灯していることがあります。

▶ ライトスイッチを **AUTO** にまわします。

車外ライト（車幅灯/パーキングランプを除く）は、以下を行なった場合に自動的に消灯します：

- エンジンスイッチからキーを抜いた
- キーが **O** の位置のときに運転席ドアを開いた

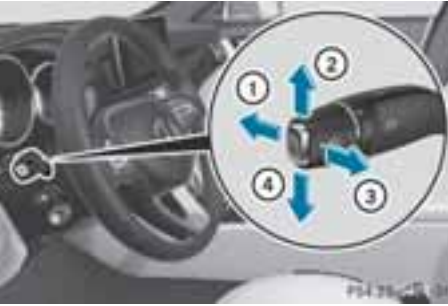
デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります：

- ヘッドライトのオートモード
- ロービームヘッドライト
- リアフォグランプ

- 車幅灯
- パーキングランプ

コンビネーションスイッチ



- ① ハイビームヘッドライト
- ② 方向指示灯、右
- ③ パッシングライト
- ④ 方向指示灯、左

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります：

- 方向指示灯
- ハイビームヘッドライト
- パッシングライト

インテリジェントライトシステム

全体的な注意事項

インテリジェントライトシステムは、実際の走行や天候状況に合わせてヘッドライトを自動的に調整するシステムです。車両速度や天候状況などに応じて路面の照射を向上させる最新機能を提供します。システムには、アクティブライトシステムやコーナリングライト、ハイウェイモード、フォグライト強化機能が含まれます。システムは周囲が暗いときのみ作動します。

マルチファンクションディスプレイを使用して"インテリジェントライトシステ

ム"を作動させたり解除したりできます (▷ 186 ページ)。

アクティブライトシステム



アクティブライトシステムは、前輪の操舵角に応じてヘッドライトを動かすシステムです。そのため、走行中はステアリングを操作した方向が常に照射されます。このシステムにより、歩行者、自転車、動物などを容易に認識することができます。

作動： ライトが点灯しているとき
レーンキーピングアシスト装備車両： アクティブライトシステムは走行している車線のコースを判断し、アクティブライトシステムを前もって制御します。

コーナリングライト機能



コーナリングライトは、コーナリング時に進行方向の路面を広く照射し、急カーブなどで運転者の視界を向上させます。

ロービームヘッドライトが点灯しているときのみ、作動します。

作動：

- 40 km/h 以下の速度で走行していて、方向指示灯を作動させた、またはステアリングをまわした場合。
- 40 km/h ~ 70 km/h の間の速度で走行していて、ステアリングをまわした場合。

コーナリングライトは短時間点灯し続けますが、約 3 分後に自動的に消灯します。

COMAND システム装備車両：車両の現在の GPS 位置の評価により、ロータリーに進入する前にコーナリングライトが両側で作動します。車両がロータリーを離れた後まで、作動したままになります。このようにして、例えば道路を横切る歩行者が、車両により適時照らされません。

ハイウェイモード



作動： 110 km/h 以上の速度で走行していて、少なくとも 1,000 m なんらかの大きなステアリングの動きがない場合、または 130 km/h 以上の速度で走行している場合。

上記はライトの機能の説明です。走行するときは必ず法定速度や制限速度に従ってください。

停止： 作動後に、80 km/h 以下の速度で走行した場合。

フォグランプ強化機能



フォグランプ強化機能は運転者の眩しさを軽減し、道路の端の照射を向上させます。

作動： 70 km/h 以下の速度で走行していて、リアフォグランプを点灯した場合

非作動： 作動後に 100 km/h 以上の速度で走行した場合、またはリアフォグランプを消灯した場合

アダプティブハイビームアシスト・プラス

全体的な注意事項



アダプティブハイビームアシスト・プラスにより、ロービーム、パーシャルハイ

ビームおよびハイビームヘッドライトの間で自動的に切り替えることができます。パーシャルハイビーム照明は、他の道路使用者を避けるようなハイビームの配光になっています。このようにして、他の道路使用者はハイビームの範囲外になります。これにより眩しさを防ぎます。先行車両がある場合は、例えばハイビームヘッドライトはその右または左の範囲を照射し、先行車両はロービームヘッドライトによって照射されます。

このシステムは、他車との車間距離に応じてロービームヘッドライトの照射範囲を自動調整します。他車が検知されなくなると、システムは再びハイビームヘッドライトに切り替えます。

ハイビームまたはパーシャルハイビームヘッドライトが交通標識からの非常に強い反射の原因となっている場合は、ライトは自動的に暗くなり、反射光によって引き起こされる眩しさが避けられます。システムの照度センサーは、フロントウインドウ裏側のオーバーヘッドコントロールパネル付近に装着されています。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

アダプティブハイビームアシスト・プラスは以下の道路使用者を認識しません。

- 歩行者などライトを持っていない人
- 自転車などライトの暗い人
- フェンスなどでライトが遮られている人

ごくまれに、アダプティブハイビームアシスト・プラスはライトを持っていない道路使用者を認識しない、または認識が非常に遅れることがあります。このような場合は、他の道路使用者がいるにもかかわらず、自動ハイビームヘッドライトが解除されなかったり、作動したりします。事故の危険性があります。

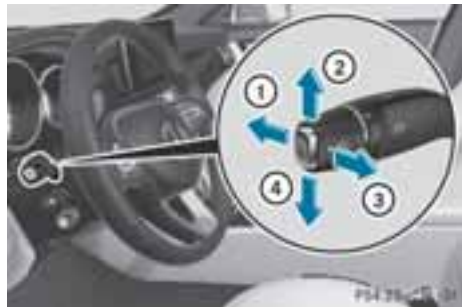
道路や交通事情に常に注意して、適切なタイミングでハイビームヘッドライトをオフにしてください。

アダプティブハイビームアシスト・プラスは、道路、天候または交通状況を考慮に入れることはできません。アダプティブハイビームアシスト・プラスは単なる支援にすぎません。運転者には、そのときの明るさ、視界および交通状況に応じて、車両のライトを調整する責任があります。

特に以下の状況では、障害物の検知が困難になります：

- 霧や激しい雨、雪などで視界が悪い
- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている

アダプティブハイビームアシスト・プラスの作動/停止の切り替え



- ① ハイビームヘッドライト
- ② 方向指示灯、右
- ③ パッシングライト
- ④ 方向指示灯、左

▶ **作動させる**：ライトスイッチを **AUTO** にまわします。

▶ **手応えがあるところを越えるまで**、コンビネーションスイッチを矢印 ① の方向に押します。


周囲が暗く、ライトセンサーによりロービームヘッドライトがオンになっ

たときは、マルチファンクションディスプレイの表示灯  が点灯します。


25km/h以上の速度で走行している場合：

ヘッドライトの照射範囲は、他の車両や他の道路使用者との距離に応じて自動的に設定されます。

約 30 km/h 以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されていない場合：

自動的にハイビームヘッドライトが点灯します。メーターパネルの表示灯  も点灯します。



45 km/h 以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されている場合：


パーシャルハイビームヘッドライトが自動的に作動します。メーターパネルの表示灯  も点灯します。

約 40km/h 以下の速度で走行している場合：

パーシャルハイビームヘッドライトが自動的に停止します。他の道路使用者が検知されていない場合は、ハイビームヘッドライトが作動します。

約 25km/h 以下の速度で走行しているか、または道路が十分に照らされている場合：

自動的にハイビームヘッドライトが消灯します。メーターパネルの表示灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイの表示灯  は点灯したままになります。

- ▶ **停止する：** コンビネーションスイッチを通常の位置に戻す、またはライトスイッチを他の位置に動かします。マルチファンクションディスプレイの表示灯  が消灯します。

ルームライト

ルームライトとオーバーヘッドコントロールユニットの概要は"はじめに"をご覧ください。

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- ルームライトの自動点灯
- ルームライトの手動点灯
- 緊急時点灯機能

電球の交換

車両のフロントおよびリアライトクラスターには、LED ライトバルブが装備されています。お客様自身で電球の交換を行わないでください。必要な専門知識とツールを備えたメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ライトは車両安全性の重要な要素です。そのため、これらの機能が正常であることを常に確認してください。ヘッドライトの設定は、定期的に点検してください。

フロントワイパー

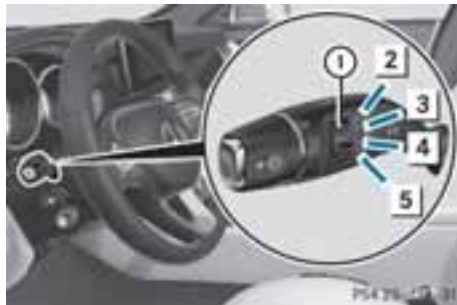
フロントウインドウワイパーの作動/停止の切り替え



- ① フロントウインドウワイパーの停止
- ② 間欠モード、低速（レインセンサーは低感度に設定）
- ③ 間欠モード、高速（レインセンサーは高感度に設定）
- ④ 連続モード、低速
- ⑤ 連続モード、高速
- ⑥ 1 回の拭き取り / ウォッシャー液を使用したのフロントウインドウの拭き取り

ワイパーブレードが摩耗した場合は、フロントウインドウの十分な拭き取りができなくなります。交通状況への注意を妨げるおそれがあります。

リアワイパーの作動/停止の切り替え



- ① スイッチ
 - ② ウォッシャー液を使用した拭き取り
 - ③ 間欠モードの作動
 - ④ 間欠モードの停止
 - ⑤ ウォッシャー液を使用した拭き取り
- ▶ エンジンスイッチのキーを **1** または **2** の位置にまわします。
 - ▶ コンビネーションスイッチのスイッチ **①** を対応する位置にまわします。リアワイパーが作動しているときは、マークがメーターパネルのアシスト一覧に表示されます。

ワイパーブレードの交換

重要な安全上の注意事項

警告

ワイパーブレードを交換中にワイパーが動き出した場合、ワイパーアームに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ワイパーブレードを交換する前に、ワイパーおよびイグニッションのスイッチを必ずオフにしてください。

! ワイパーブレードの損傷を避けるため、ワイパーアーム以外には触れないようにしてください。

■ ワイパーアームがフロントウインドウ/リアウインドウから離れて倒れている場合は、ボンネット/テールゲートを決して開かないでください。

ワイパーブレードのないワイパーアームをフロントウインドウまたはリアウインドウの元の位置に決して戻さないでください。

ワイパーブレードを交換するときは、フロントウインドウのワイパーアームを確実に持ってください。ワイパーブレードのないワイパーアームを放し、フロントウインドウ/リアウインドウの上に落ちた場合は、フロントウインドウ/リアウインドウが衝撃の力で損傷するおそれがあります。

メルセデス・ベンツはワイパーブレードの交換をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードを取り外す

- ▶ エンジンスイッチからキーを抜くか、キーを **0** の位置にまわします (キーレスゴー)。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。



- ▶ ロック解除ノブ ① をしっかりと押し、ワイパーブレードをワイパーアームから矢印の方向に引き上げます。

ワイパーブレードを取り付ける

- ▶ 新しいワイパーブレードをワイパーアームの固定部に合わせ、矢印とは反対の方向へ所定の位置にスライドさせます。
- ▶ 音がして、ワイパーブレードがロックされます。
- ▶ ワイパーブレードが正しく位置していることを確認します。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウに倒して戻します。

リアワイパーブレードの交換

ワイパーブレードを取り外す



- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ ワイパーアームをリアウインドウから起こします。
- ▶ 両方のロック解除クリップ ② を押しします。
- ▶ ワイパーブレード ① を矢印 ③ の方向にワイパーアーム ④ から起こします。
- ▶ ワイパーブレード ① を矢印 ⑤ の方向に取り外します。

ワイパーブレードを取り付ける



- ▶ 新しいワイパーブレード ① のラグ ⑤ の凹部 ⑥ に合わせます。
- ▶ 固定クリップ ② がブラケット ④ に固定されるまで、ワイパーブレード ① を矢印の方向 ③ にワイパーアームに倒します。
- ▶ ワイパーブレード ① が正しく固定されていることを確認します。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウに倒して戻します。

ワイパーのトラブル

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

役に立つ情報	128
エアコンディショナーシステムの 概要	128
エアコンディショナーシステムの 操作	130

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

エアコンディショナーシステムの概要

重要な安全上の注意事項

以下のページで推奨されている設定に従ってください。さもないとウインドウが曇るおそれがあります。

ウインドウを曇りから防ぐためには：

- エアコンディショナーは短時間のみ解除してください
- 内気循環モードは短時間のみ作動させてください
- AC モードを作動させてください
- 必要な場合は、"フロントウインドウデフロスター"機能を短時間作動させてください

エアコンディショナーは温度と車内の湿度を調整して、空気中の汚染物質を取り除きます。

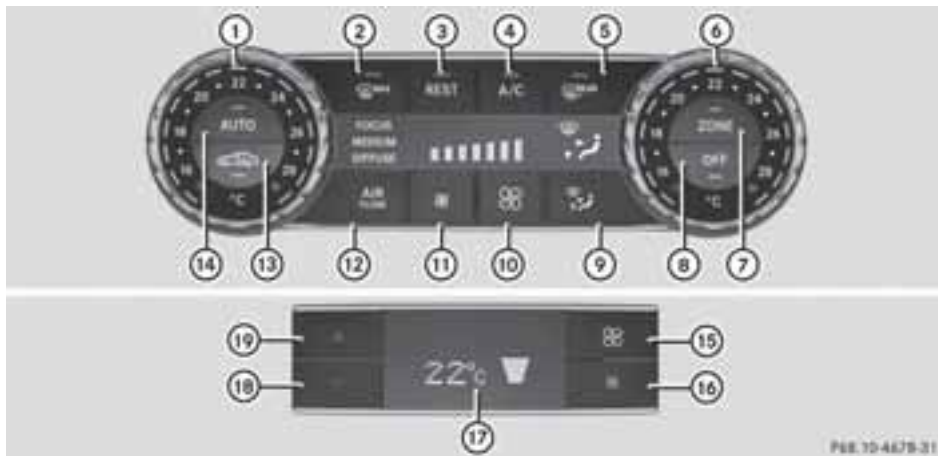
エアコンディショナーは、エンジンが作動中の場合のみ使用可能です。サイドウインドウおよびルーフが閉じているときにのみ、最適な作動が得られます。

余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ作動または停止することができます。キーワード"余熱ヒーター"で、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

i 暖かい気候の間は、例えばコンビニエンスオープニング機能を使用して少しの間車両を換気します。キーワード"コンビニエンスオープニング"で、デジタル版取扱説明書をご覧ください。これにより、冷却処理が速くなり、より速く希望の車内温度に達します。

i 内蔵フィルターにより、ほこりや煤煙の大部分の粒子や、花粉の大部分をろ過することができます。気体状の汚染物質および臭いも減少させます。詰まったフィルターは車内に供給される空気量を減らします。このため、整備手帳で規定されているフィルターの交換間隔に必ず従ってください。重度の大気汚染などの環境状況によっては、間隔は整備手帳に記載されているよりも短くなる場合があります。

クライメートコントロール（後席独立調整）のコントロールパネル



フロントコントロールパネル

- ① 温度の設定、左
- ② フロントウインドウの曇り取り
- ③ 余熱ヒーター機能の作動/停止
- ④ ACモードの作動/停止
- ⑤ リアデフォグガーの作動/停止の切り替え
- ⑥ 温度の設定、右
- ⑦ ゾーン機能の作動/解除の切り替え
- ⑧ エアコンディショナーの作動/停止の切り替え
- ⑨ 送風配分の設定
- ⑩ 送風量を上げる
- ⑪ 送風量を下げる
- ⑫ エアコンディショナーモードの設定
- ⑬ 内気循環モードの作動/停止
- ⑭ エアコンディショナーをAUTOモードに設定

リアコントロールパネル

- ⑮ 送風量を上げる
- ⑯ 送風量を下げる
- ⑰ ディスプレイ
- ⑱ 温度を下げる
- ⑲ 温度を上げる

エアコンディショナーシステムの操作

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- エアコンディショナーの作動/停止の切り替え
- AC モードの作動/停止
- エアコンディショナーの AUTO モードへの設定
- エアコンディショナーモードの設定
- 温度の設定
- 送風配分の設定
- 送風量の設定
- ゾーン機能の作動/停止の切り替え
- フロントウインドウの曇り取り
- ウインドウの曇り取り
- リアデフォグの作動/停止の切り替え
- 内気循環モードの作動/停止
- 内気循環スイッチを使用時のコンビニエンスオープニング/クロージング
- 余熱ヒーター機能の作動/停止
- 送風口の調整

役に立つ情報	132
慣らし運転の注意事項	132
走行	133
オートマチックトランスミッション	139
給油	142
駐車	146
運転のヒント	148
走行システム	149

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(p. 28 ページ)

慣らし運転の注意事項

重要な安全上の注意事項

一部の走行および走行安全システムでは、車両が納車された後、あるいは修理後に一定距離を走行する間に、センサーが自動的に調整されます。この認識手順が終了するまでは、完全なシステムの効果は得られません。

新しい、もしくは交換されたブレーキパッド/ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後に最適な制動効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少した制動効果を補ってください。

最初の 1,500 km

最初から十分な注意を払ってエンジンを取り扱うことにより、エンジンの寿命まで最大限の性能を得ることができます。

- 最初の 1,500 km は、さまざまな車両速度およびエンジン回転数で走行してください。
- フルスロットルで走行するなど、この期間は車両への大きな負担は避けてください。

- タコメーターの針がタコメーターのレッドゾーンの $\frac{2}{3}$ に入る前に、適切なタイミングでギアを変速してください。
- ブレーキを効かせるために、手動でギアをシフトダウンしないでください。
- 踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏むこと（キックダウン）は避けるようにしてください。

AMG 車両の慣らし運転についての追加の注意事項

- 最初の 1,500 km までは、140 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- エンジンをエンジン最高回転数 4,500 rpm にするのは、短時間のみにしてください。

1,500 km 後は、最大負荷およびエンジン回転数まで、車両を徐々に加速することができます。

i 車両のエンジンおよび駆動系部品の交換を行なった場合も、慣らし運転についてのこれらの注意事項に従ってください。

リアアクスルディファレンシャルロック装備の AMG 車両

車両には、セルフロック式ディファレンシャルがリアアクスルに装備されています。

リアアクスルのディファレンシャルの保護を向上させるために、3,000 km の慣らし運転後にオイルを交換してください。このオイル交換により、ディファレンシャルの整備寿命が延びます。オイル交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

走行

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

⚠ 警告

以下のような適していない履物は、ペダルの正しい作動を妨げることがあります。

- 薄いソールの靴
- 高いヒールの靴
- スリッパ

事故の危険性があります。

適した履物を着用し、ペダルの正しい作動を確保します。

⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

⚠ 警告

走行時にパーキングブレーキが完全に解除されていない場合は、パーキングブレーキは以下になることがあります。

- オーバーヒートおよび火災の原因
 - 車両にブレーキを効かせられなくなる
- 火災と事故の危険性があります。発進する前に、パーキングブレーキを完全に解除してください。

! 車両が停止しているときは、エンジンを暖機しないでください。ただちに発進してください。エンジンが作動温度に達するまで、高いエンジン回転数やフルスロットルでの走行は避けてください。

車両が停止しているときにのみ、オートマチックトランスミッションを希望の走行位置にシフトしてください。

滑りやすい路面で発進するときは、可能な場所では駆動輪の空転を避けてください。ドライブトレインが損傷するおそれがあります。

! **AMG 車**：エンジンオイル温度が約 +20 °C 以下のときなどエンジンが暖まっていない場合は、エンジン保護のためにエンジン回転数が制限されることがあります。エンジンを保護し、スムーズに作動させるため、エンジンが冷えているときはアクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。

キーの位置

キー



- 0 キーを抜く
- 1 フロントウインドウワイパーのような電気装備への電力供給
- 2 イグニッション（すべての電気装備への電力供給）および走行位置
- 3 エンジンを始動する

i キーがその車両のものでなくても、エンジンスイッチでまわすことができます。ただし、イグニッションはオンになりません。エンジンの始動はできません。

キーレスゴー

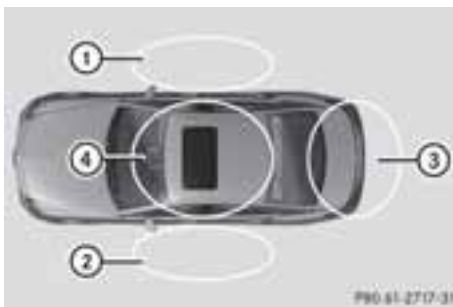
重要な安全上の注意事項

⚠ 危険

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：

キーレスゴースイッチを操作するときは、キーと車両の間で電波の交信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。致命的なけがををするおそれがあります。

車両を操作する前に、そのようなシステムからの放射により起こりうる影響について、医師や医療機器メーカーにお問い合わせください。



キーレスゴーアンテナの検知範囲 例：CLS クーペ

- ① 右側外部アンテナの検知範囲
- ② 左側外部アンテナの検知範囲
- ③ リアアンテナの検知範囲
- ④ 車内アンテナの検知範囲

キーが車内にある場合は、乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

全体的な注意事項

キーレスゴー装備車両には、キーレスゴー機能が内蔵されたキーと脱着可能なキーレスゴースイッチが装備されています。

エンジンスイッチにキーレスゴースイッチが差し込んであり、車内にキーがなければなりません。

キーレスゴースイッチをエンジンスイッチに差し込んだときは、システムは約2秒の認識時間を必要とします。その後にはキーレスゴースイッチを使用することができます。

連続してキーレスゴースイッチを数回押すことは、エンジンスイッチのキーの位置を変更することに相当します。これは、ブレーキペダルを踏んでいない場合のみです。

ブレーキペダルを踏んでキーレスゴースイッチを押した場合は、ただちにエンジンが始動します。

車両とキーとの間で定期的に行なわれる無線通信によるチェックにより、車内に

有効なキーがあるかどうかを確認します。エンジンを始動したときなどに、このことが行なわれます。

キーを操作せずに車両を始動する：

- キーレスゴースイッチがエンジンスイッチに差し込まれていなければなりません。
- キーが車内になければなりません。
- キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されているはいけません。(▶ 93 ページ)

キーレスゴーキーを以下に保管しないでください：

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器
- 硬貨や金属片などの金属物
- 金属ケースなどの金属物の内部

キーレスゴーの機能に影響を与えるおそれがあります。

キーのリモコンで、またはキーレスゴーで車両を施錠した場合は、しばらくすると以下ようになります：

- キーレスゴースイッチでイグニッションをオンにすることができなくなります。
- 車両が再度解錠されるまで、キーレスゴースイッチでエンジンを始動できなくなります。

車両が動いている間にキーレスゴースイッチを約 3 秒間押し続けることにより、エンジンを停止することができます。この機能は、ECO スタートストップ機能のエンジン自動停止機能とは独立して作動します。

キーレスゴーでのキーの位置



- ① キーレスゴースイッチ
- ② エンジンスイッチ

イグニッションをオンにしたときは、メーターパネルのすべての表示灯が点灯します。エンジンを始動した後に表示灯が消灯しない、または走行中に点灯する場合は、(▶ 198 ページ)をご覧ください。

キーレスゴースイッチ ① がまだ押されていない場合は、キーがエンジンスイッチから抜かれていることに相当します。

- ▶ **電力供給を作動させる：** キーレスゴースイッチ ① を 1 回押します。電力供給が作動します。これでフロントウインドウワイパーなどの電気装備を作動させることができます。

以下の場合、電力供給が再度停止します：

- 運転席ドアを開いた、および
- この位置のときにキーレスゴースイッチ ① を 2 回押した

- ▶ **イグニッションをオンにする：** キーレスゴースイッチ ① を 2 回押します。イグニッションがオンになります。

以下の場合、イグニッションがオフになります：

- 運転席ドアを開いた、および
- この位置のときにキーレスゴースイッチ ① を 1 回押した。

キーレスゴースイッチの取り外し

エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外し、通常のようにキーを使用して車両を始動することができます。トランスミッションがポジション **P** のときにのみ、キーレスゴースイッチによる方法とキー操作との間で切り替えることができます。

- ▶ エンジンスイッチ ② からキーレスゴースイッチ ① を取り外します。

車から離れるときでも、エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外す必要はありません。ただし、車両を離れるときは必ずキーを携帯してください。キーが車内にある限りは、以下のことができます：

- キーレスゴースイッチを使用して車両を始動できます
- 電気で作動する装備を操作できます

エンジンの始動

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者の

いない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

エンジンの燃焼は、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。従って、十分な換気がない閉じた空間でエンジンを作動させたままにしないでください。

⚠ 警告

動物または環境の影響によってもたらされた可燃物が熱くなっているエンジンの部品または排気システムに接触すると、発火するおそれがあります。火災のおそれがあります。

定期的な点検を行ない、エンジンルーム、または排気システムに可燃性の異物がなないことを確認してください。

- ❗ エンジンを始動するときは、アクセルを踏まないでください。

全体的な注意事項

- ❗ **ガソリンエンジン装備車両：**冷間始動後は最大 30 秒間、触媒コンバーターが予熱されます。この間は、エンジンの音が変わることがあります。


オートマチックトランスミッション

- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。
マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に **P** が表示されます。
- ❗ シフトポジション **P** および **N** でエンジンを始動できます。

キーでの始動操作

i キーレスゴーの代わりに、キーを使用してエンジンを始動するためには、エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。

▶ **ディーゼルエンジン装備車両：** エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします (▶ 134 ページ)。

メーターパネルの予熱表示灯  が点灯します。

▶ エンジンスイッチのキーを **3** の位置にまわして (▶ 134 ページ)、エンジンが作動したらただちに放します。

i **ディーゼルエンジン装備車両：** エンジンが暖まっている場合は、予熱なしにエンジンを始動することができます。

キーレスゴースイッチを使用してのエンジンの始動

i エンジンスイッチにキーを差し込まずに、キーレスゴースイッチを使用して車両を手動で始動することができます。車内にキーがあり、キーレスゴースイッチがエンジンスイッチに差し込まれていなければなりません。エンジン始動のためのこの手順は、ECO スタートストップ機能のエンジン自動始動機能とは独立して作動します。

▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。

▶ キーレスゴースイッチを 1 回押します (▶ 134 ページ)。

ガソリンエンジン装備車両： エンジンが始動します。

ディーゼルエンジン装備車両： 予熱が作動し、エンジンが始動します。

発進

全体的な注意事項

警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上で、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両は突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時に加速しないでください。

! 警告音が鳴り、**パーキングブレーキ解除してください** というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されている場合には、パーキングブレーキがまだ作動している状態です。パーキングブレーキを解除します。

i 発進するときはアクセルを慎重に踏んでください。

i 発進すると、自動的に車両が施錠されます。ドアのロックノブが下がります。ドアは車内からいつでもロックを解除して開くことができます。

また、車速感応ドアロックを解除することもできます (▶ 186 ページ)。

i ブレーキペダルを踏んでいる場合にも、トランスミッションをポジション **P** から希望のポジションにシフトすることができます。ブレーキペダルが踏まれていない場合も、DIRECT SELECT レバーを動かすことができますが、パーキングロックは効いたままになります。

i エンジンが冷えているときは、より高いエンジン回転数でシフトアップが行なわれます。これにより、触媒コンバーターがより早く作動温度に達する支援になります。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、坂道発進時に車が後退または前進するのを防ぎ、運転者の発進操作を補助します。ブレーキペダルから足を放した後に、短時間車両を停止したままにします。これにより、車が動き出す前に、ブレーキペダルからアクセルペダルへ余裕を持って踏みかえることができます。

⚠ 警告

しばらくすると、ヒルスタートアシストは車両にブレーキを効かせなくなり、動き出すおそれがあります。事故やけがの危険性があります。

従って、すばやくブレーキペダルからアクセルペダルに足を動かします。ヒルスタートアシストで車が停止しているときは、絶対に車から離れないでください。

ヒルスタートアシストは、以下の場合は作動しません：

- 平坦な道路または下り坂で発進する
- トランスミッションがポジション **N** である
- パーキングブレーキが効いている
- ESP®が故障している

ECO スタートストップ機能

はじめに

特定の条件下で車両が停止した場合は、ECO スタートストップ機能はエンジンを自動的に停止します。

再度発進するときは、エンジンは自動的に始動します。それにより、ECO スタートストップ機能は、燃料消費と排出物を低減させる支援を行ないます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジンが自動的にオフになり、車両から出ると、エンジンは自動的に再始動します。車両が動き始めることがあります。事故やけがの危険性があります。

車両から出たい場合は、必ずイグニッションをオフにし、動き出さないように車両を固定します。

全体的な注意事項



① ECO スタートストップ機能表示

マルチファンクションディスプレイに **[ECO]** マークが緑色で表示されている場合は、車両が動きを停止した場合に ECO スタートストップ機能がエンジンを自動的に停止します。

キーまたはキーレスゴースイッチを使用してエンジンを始動させるたびに、ECO スタートストップ機能が設定されます。ECO スタートストップ機能が手動で解除されている (▶ 139 ページ)、または故障が原因でシステムが解除されている場合は、**[ECO]** マークは表示されません。

AMG 車両： マルチファンクションディスプレイの AMG メニューにある、**Stop/Start active** または **Stop/Start inactive** メッセージが消えます。

AMG 車両： ECO スタートストップ機能は、走行モード **C** でのみ作動します。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- エンジン自動停止
- エンジン自動始動
- ECO スタートストップ機能の解除/設定

エンジンのトラブル

これについての情報はデジタル版取扱説明書にあります。

オートマチックトランスミッション

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上で、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両は突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時に加速しないでください。

⚠ 警告

エンジンをオフにすると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンをオフにした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

セレクターレバー (AMG 車両)

シフトポジションの概要



- P パーキングロック付きパーキングポジション
- R リバースギア
- N ニュートラル
- D ドライブ

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- シフトポジションおよび走行モード表示
- パーキングポジション **P** に入れる

DIRECT SELECT レバー

シフトポジションの概要



- ▶ パーキングロック付きパーキングポジション
- ▶ リバースギア
- ▶ ニュートラル
- ▶ ドライブ

DIRECT SELECT レバーは、ステアリングコラムの右側にあります。

i DIRECT SELECT レバーは、常に元の位置に戻ります。そのときのシフトポジション **P**、**R**、**N** または **D** は、マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に表示されます。これについての情報はデジタル版取扱説明書にあります。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- シフトポジションおよび走行モード表示
- パーキングポジション **P** に入れる
- パーキングポジション **P** の自動選択
- リバースギア **R** に入れる
- ドライブポジション **D** に入れる

ニュートラル **N** にシフトする

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

- ▶ トランスミッションがポジション **D** または **R** にある場合：最初に手応えがあるところまで、DIRECT SELECT レバーを上または下に押しします。
- ▶ トランスミッションがポジション **P** にある場合：ブレーキペダルを踏んで、最初に手応えがあるところまで、DIRECT SELECT レバーを上または下に押しします。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- シフトポジション
- 運転のヒント
- 走行モード選択スイッチ
- ステアリングギアシフトパドル

- オートマチック走行モード
- トランスミッションのトラブル

マニュアル走行モード (AMG 車両および AMG スポーツパッケージ装備車両)

全体的な注意事項

この走行モードでは、ステアリングギアシフトパドルを使用して、常に自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションはポジション **D** でなければなりません。

i 連続的な走行モード **M** に加えて、一時的な走行モード **M** を作動させることもできます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

マニュアル走行モードの作動

- ▶ マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、走行モード選択スイッチを押します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ **AMG 車両**： マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、走行モード選択ダイヤルをまわします。デジタル版取扱説明書をご覧ください。走行モード選択ダイヤルの表示灯 **M** が赤色に点灯します。

マニュアル走行モード **M** は、走行モード選択スイッチまたは走行モード選択ダイヤルを使用して選択します。マニュアル走行モード **M** では、トランスミッションがポジション **D** にある場合には、ステアリングギアシフトパドルを使用して自分でギアを変えることができます。

シフトアップ (AMG 車両を除くすべての車両)

- ▶ 右側のステアリングギアシフトパドルを引きます。オートマチックトランスミッションが次のギアにシフトアップします。

シフトアップ (AMG 車両)

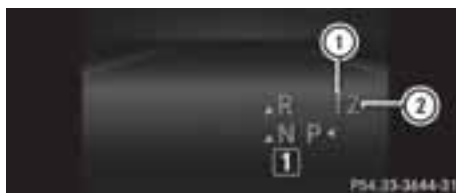
! マニュアルギアシフト **M** では、現在のギアでのエンジン許容回転数に達しても、自動的にシフトアップしません。エンジンの許容回転数に達すると、エンジンの過回転を防ぎエンジンを保護するため、燃料供給が停止します。エンジン回転数が許容回転数を超えて、タコメーターのレッドゾーンに入らないように注意してください。エンジンが損傷するおそれがあります。



- ① シフトインジケータ
- ② シフトアップインジケータ

- ▶ スピードメーターのマルチファンクションディスプレイの色が赤色に変わり、ディスプレイメッセージ **UP** が表示された場合は、ギアをシフトアップしてください。

推奨ギアシフト



経済的な運転スタイルをとることができるよう、推奨ギアシフトは運転者を支援します。推奨ギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ メーターパネルのマルチファンクションディスプレイに対応する推奨ギアシフト ① が表示された場合は、右側のステアリングギアシフトパドルを引きます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。オートマチックトランスミッションが推奨ギア ② にシフトします。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- シフトダウン
- キックダウン
- マニュアル走行モードの解除

給油

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジン、当てはまる場合は補助ヒーターを停止します。

⚠ 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

⚠ 警告

静電気の蓄積により、火花が発生したり、燃料の気体に引火するおそれがあります。火災および爆発の危険性があります。

燃料給油口を開いたり、給油ノズルに触れる前に、必ず車体に触ってください。蓄積されている可能性がある静電気を放電します。

⚠ 警告

ディーゼルエンジン装備車両：

ディーゼル燃料とガソリンを混ぜると、引火点は純粋なディーゼル燃料のものよりも低くなります。エンジンがかかっているときは、排気システムの部品が気付かないうちにオーバーヒートすることがあります。火災の危険性があります。

ガソリンを給油しないで下さい。ガソリンをディーゼル燃料と混ぜないでください。

- ❗ ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、エンジンスイッチをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入るおそれがあります。たとえ少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統から完全に抜き取ってください。

❗ ディーゼルエンジン車両に給油するためにガソリンを使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグニッションをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入っておそれがあります。少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。修理費用が高くなります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統から完全に抜き取ってください。

❗ 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料噴射システムを損傷するおそれがあります。

❗ 給油中に燃料を塗装面にこぼさないよう注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。

❗ 燃料携行缶から燃料を補給するときは、フィルターを使用してください。燃料携行缶に付着した微粒子によって、フューエルラインや燃料噴射システムの部品が詰まるおそれがあります。

給油作業中は車内に戻らないでください。さもないと、再度帯電することがあります。

燃料タンクに給油しすぎた場合は、給油ポンプノズルを外すときに燃料が飛散することがあります。

燃料および燃料品質についてのさらなる情報 (▷ 303 ページ)。

セルフサービスのガソリンスタンド

給油に関する注意事項を遵守してください。(▷ 142 ページ)

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは必ず以下の点を守り、安全に十分注意して作業を行なってください。


- 給油前に必ずエンジンを停止して、ドアやサイドウィンドウなどを閉じてください。
- 燃料給油フラップを開くときから、一連の給油作業を必ずひとりで行なってください。
給油作業を行なう人以外は燃料給油フラップに近づかないでください。
- キャップの開閉は確実に行ってください。火気を近づけないようにしてください。
- 給油ノズルは給油口の奥まで確実に差し込んでください。
- 給油が自動的に停止したら、それ以上は給油しないでください。燃料があふれるおそれがあります。
- 給油の勢いを強くしないでゆっくりと給油してください。燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を遵守してください。

給油

全体的な注意事項

重要な安全上の注意事項に従ってください (▷ 142 ページ)。

キーまたはキーレスゴーで車両を開閉したときは、燃料給油口フラップも自動的に解錠または施錠されます。

燃料給油口キャップの位置  はメーターパネルに表示されています。給油ポンプマークの横の矢印は、燃料給油口キャップのある車両側面を示しています。燃料給油口フラップは車両の右側後方にあります。

燃料給油口フラップを開く



燃料給油口フラップを開く（例：CLS Coupé）

- ① 燃料給油口フラップを開く
- ② 燃料給油口キャップを差し込む
- ③ タイヤ空気圧表
- ④ 給油燃料種類

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。またはキーレスゴー装備車両：

- ▶ 運転席ドアを開きます。車両の電気システムが **0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。

運転席ドアを再度閉じることができます。

- ▶ 燃料給油口フラップを矢印 ① の方向に押します。燃料給油口フラップが少し開きます。
- ▶ 燃料給油口フラップを完全に開きます。
- ▶ 燃料給油口キャップを反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ **CLS クーペ**：燃料給油口キャップを燃料給油口フラップ ② 内側のホルダーに差し込みます。

または

- ▶ **CLS Shooting Brake**：燃料給油口キャップを水平な位置に保ち、燃料給油口フラップのヒンジアームの凹部に上方から差し込みます。

- ▶ タンクの補給口に給油ポンプノズルを完全に差し込んで掛け、給油します。
- ▶ ポンプノズルが停止するまでのみ給油してください。

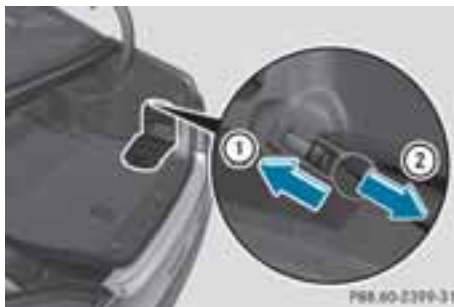
① 最初にポンプが給油を停止した後は、それ以上燃料を追加しないでください。さもないと、燃料が漏れることがあります。

燃料給油口フラップを閉じる

- ▶ キャップを給油口に取り付け、音がしてロックされるまで時計回りにまわします。
- ▶ 燃料給油口フラップを閉じます。

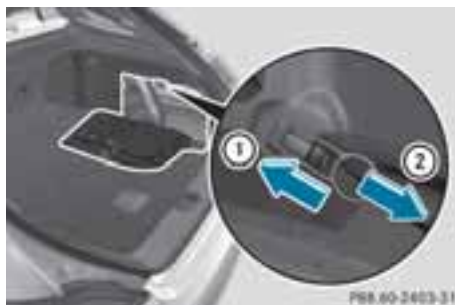
① 車両を施錠する前に燃料給油口フラップを閉じてください。さもないと、セントラルロックシステムのロックピンにより、燃料給油口フラップを閉じることができなくなります。

燃料給油口フラップの非常解錠



- ▶ **CLS クーペ**：トランクリッドを開きます。
- ▶ ラゲッジネットを下げます。
- ▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。
- ▶ 救急セット（▶ 251 ページ）を取り出します。
- ▶ エマージェンシーリリースを固定部 ① から外します。

- ▶ エマージェンシーリリースを矢印 ② の方向に引きます。
燃料給油口フラップが解錠されます。
- ▶ 燃料給油口フラップを開きます。



- ▶ **CLS Shooting Brake** : テールゲートを開きます。
- ▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。
- ▶ トリムを引き出します。
- ▶ エマージェンシーリリース ① を矢印の方向に引きます。
燃料給油口フラップが解錠されます。
- ▶ エマージェンシーリリースを固定部 ① から外します。
- ▶ エマージェンシーリリースを矢印 ② の方向に引きます。
燃料給油口フラップが解錠されます。
- ▶ 燃料給油口フラップを開きます。

燃料および燃料タンクのトラブル

この項目では、安全性に関わるトラブルの内容と対応方法について説明しています。さらなるトラブルの内容および対応方法は、デジタル版取扱説明書にあります。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
燃料が漏れている。	<p>フューエルラインまたは燃料タンクに問題がある。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>火災または爆発の危険性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちにエンジンスイッチのキーを 0 の位置にまわして、キーを抜いてください(▶ 134 ページ)。 ▶ 状況を問わず、エンジンを始動しないでください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

駐車

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

葉、草または小枝のような可燃性の素材は、排気システムの高温部品または排気ガスの排気に長時間触れると発火することがあります。火災の危険性があります。

可燃性の素材が車両の熱い部品に触れないように車両を駐車してください。特に、乾燥した草原、または収穫した穀物畑に駐車しないでください。

⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

⚠ 警告

保護者のいない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除したとき
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟み込まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

! 車両が動き出さないように、必ず適切な方法で固定してください。車体または駆動系を損傷するおそれがあります。

車両が不意に動き出さないためには、以下のようにしてください。

- パーキングブレーキを効かせなければなりません。
- トランスミッションはポジション **P** にして、キーをエンジンスイッチから抜かなければなりません
- 上り坂または下り坂勾配では、前輪を縁石方向に向けなければなりません

エンジンの停止

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジンをオフにすると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンをオフにした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、エンジンを停止する方法が記載されています。

パーキングブレーキ

⚠ 警告

パーキングブレーキで車両にブレーキを効かせなければならない場合は、制動距離が著しく長くなり、車輪がロックすることがあります。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。

サービスブレーキが故障しているときのみ、パーキングブレーキを使用して車両にブレーキを効かせてください。パーキングブレーキを強く効かせないでください。車輪がロックした場合は、車輪が再

度回転し始めるまでパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 警告

保護者のいない状態で子供を車内に残すと、たとえば以下のようにして車両を動かすように設定できることがあります。

- パーキングブレーキを解除したとき
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

加えて、車両装備を操作し、挟み込まれる場合があります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。



パーキングブレーキで車両にブレーキを効かせているときは、ブレーキライトは点灯しません。

- ▶ **効かせる**： パーキングブレーキペダル ② をいっぱいまで踏みます。
エンジンがかかっている場合は、メーターパネルの [P] 表示灯が点灯します。
- ▶ **解除する**： ブレーキペダルを踏んで、踏んだままにします。
- ▶ **解除ハンドル ① を引き**ます。
メーターパネルの [P] 表示灯が消灯します。

長期間の車両の駐車

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

運転のヒント

全体的な注意事項

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

繊細な運転 - 燃料の節約

燃料を節約するために以下のヒントに注意してください。

- ▶ タイヤは常に推奨タイヤ空気圧に充填されている必要があります。
- ▶ 必要のない荷物は取り出してください。
- ▶ 必要でないときはルーフラックを取り外してください。
- ▶ 低いエンジン回転数でエンジンを暖機してください。
- ▶ 頻繁な加速やブレーキ操作は避けてください。
- ▶ 整備手帳のメンテナンス間隔、またはサービスインターバル表示で示されたとおりに、メンテナンス作業を実行してください。

寒い気候、交通渋滞、短距離の走行および丘陵地を走行する場合も、燃料消費量は増加します。

ECO 表示

これについての情報はデジタル版取扱説明書にあります。

ブレーキ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

下り坂勾配

これについての情報はデジタル版取扱説明書にあります。

高い、および低い負荷

⚠ 警告

走行中にブレーキペダルの上に足を置くと、ブレーキシステムがオーバーヒートすることがあります。これにより制動距離が増加して、ブレーキシステムが故障する原因になるおそれもあります。事故の危険性があります。

ブレーキペダルをフットレストとして使用しないでください。ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏まないでください。

さらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

濡れた路面

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

塩化物が散布された道路でのブレーキ性能の制約

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

新品のブレーキパッド/ライニング

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

AMG セラミック強化ブレーキシステム

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

濡れた路面の走行

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- ハイドロブレーキング現象
- 冠水路の走行

寒冷時の走行

⚠ 警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

⚠ 危険

マフラーが遮られ、適切な換気が可能でない場合は、一酸化炭素 (CO) のような有毒ガスが車内に入り込んでくる可能性があります。車両が雪にはまった場合などがあてはまります。致命的なけがの危険性があります。

エンジンまたは補助ヒーターを作動させたままにする場合は、マフラーや車両周辺に雪がないことを確認してください。新鮮な空気の適切な供給を確保するために、風のほうを向いていない車両側のウインドウを開きます。

さらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

走行システム

メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブ

メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブは、快適性を高め、危険な状況で運転者を支援する、革新的な運転者支援および安全システムです。一体化されたこれらの優れたシステムにより、メルセデス・ベンツは自動走行に向けた画期的な一段階を得ることができました。

車両乗員および他の道路使用者の安全のため、メルセデス・ベンツ・インテリジェントドライブは、アクティブそしてパッシブセーフティのすべての要素を1つのシステムと想定して統合しています。走行安全システムに関するさらなる情報 (▷ 77 ページ)。

クルーズコントロール

全体的な注意事項

クルーズコントロールは一定の走行速度を維持します。設定速度を超えないようにするために自動的にブレーキを効かせます。長い急な下り坂勾配で、特に車両に荷物を積載している場合は、適時低いギアにシフトしてください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

道路や交通状況が長時間の一定速度の維持に適している場合にのみ、クルーズコントロールを使用してください。30 km/h 以上の走行速度を記憶させることができます。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、クルーズコントロールは事故の危険性を軽減できないだけでなく、物理的限界を超えることもできません。クルーズコントロールは道路、天気、交通事情を考慮することはできません。クルーズコントロールは単なる支援に過ぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時ブレーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

次のような場合にはクルーズコントロールを使用しないでください。

- 一定の速度を維持できないような道路および交通状況（例：混雑している交通状況、または曲がりくねっている道路）
- 滑りやすい路面ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。
- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき

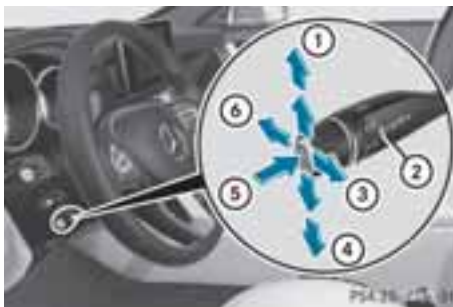
運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている設定速度を伝えてください。

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキがかかることがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

クルーズコントロールレバー



- ① 速度を設定する、または上げる
- ② LIM 表示灯
- ③ 現在の速度/最後に記憶させた速度に設定する
- ④ 速度を設定する/下げる
- ⑤ クルーズコントロールと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

- LIM 表示灯が消灯：クルーズコントロールが選択されています。
- LIM 表示灯が点灯：可変スピードリミッターが選択されています。

クルーズコントロールを作動させたときは、記憶させた速度がマルチファンクションディスプレイに 5 秒間表示されません。

クルーズコントロールの選択

- ▶ LIM 表示灯 ② が消灯しているかを確認してください。
消灯している場合は、クルーズコントロールが選択されています。

そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印⑤の方向に押しします。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯②が消灯します。クルーズコントロールが選択されます。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- 作動条件
- 記憶、維持、速度の呼び出し
- 速度の設定
- クルーズコントロールの解除

可変スピードリミッター

重要な安全上の注意事項

設定された速度を超えないように可変スピードリミッターは自動的にブレーキを効かせます。長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。荷物搭載時に車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。さらにブレーキが必要な場合は、継続的ではなく、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

運転スタイルを合わせていない場合は、可変スピードリミッターは事故の危険性を低減させることも、物理的法則を乗り超えることもできません。可変スピードリミッターは道路、天候および交通状況を考慮することはできません。可変スピードリミッターは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

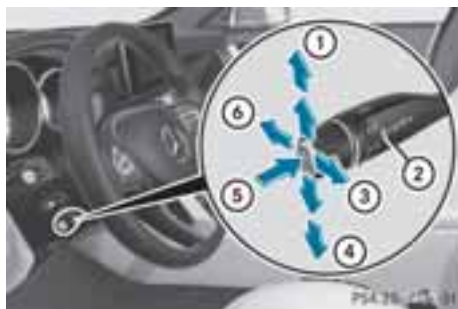
可変スピードリミッターまたはウィンタータイヤスピードリミッターを設定することができます。

- 可変スピードリミッターは市街地などでの速度制限のためのものです。
- ウィンタータイヤウィンタータイヤを装着して走行するときなど、長時間の速度制限のためのものです。

i スピードメーターに表示された速度は記憶させた制限速度と若干異なる場合があります。

可変スピードリミッター

全体的な注意事項



- ① 現在の走行速度、または高い速度を記憶させる
- ② LIM表示灯
- ③ 現在の速度を記憶させる、および最後に記憶させた速度を呼び出す
- ④ 現在の走行速度、または低い速度を記憶させる
- ⑤ クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ 可変スピードリミッターを解除する

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールまたはディストロニック・

プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

- **LIM 表示灯が消灯：**クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されています。
- **LIM 表示灯が点灯：**可変スピードリミッターが選択されています。

可変スピードリミッターの選択

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

- ▶ LIM 表示灯 ② が点灯しているかを確認してください。

点灯している場合は、可変スピードリミッターはすでに選択されています。そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印 ⑤ の方向に押しします。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

現在の速度の記憶

- ▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ④ に軽く押しします。

現在の速度が記憶され、マルチファンクションディスプレイに表示されます。目盛りの最初から記憶させた速度までのマルチファンクションディスプレイのセグメントが点灯します。

エンジンがかかっている間に、クルーズコントロールレバーを使用して、30 km/h 以上の速度に制限することができます。

現在の速度の記憶および最後に記憶させた速度の呼び出し

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

- ▶ クルーズコントロールレバーを手前 ③ に軽く引きます。

速度の設定

- ▶ **設定速度を 10km/h 単位で調整する：**手応えがあるところを越えるまで、高い速度には上 ① に、低い速度には下 ④ に、クルーズコントロールレバーを軽く押しします。

または

- ▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところを越えるまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度には上 ① に、低い速度には下 ④ に、クルーズコントロールレバーを押します。

- ▶ **設定速度を 1 km/h 単位で調整する：**手応えがあるところまで、高い速度には上 ① に、低い速度には下 ④ に、クルーズコントロールレバーを軽く押しします。

または

- ▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度には上 ① に、低い速度には下 ④ に、クルーズコントロールレバーを押します。

可変スピードリミッターを待機状態に切り替える

踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んだ場合は（キックダウン）、可変スピードリミッターは待機モードに切り替わります。マルチファンクションディスプレイに以下のメッセージが表示されます。**可変スピードリミッター 制御待機中**。

この後は、記憶させている速度を超えることができます。可変スピードリミッターは、以下のときに再度作動します。

- キックダウンをせずに、記憶させている速度以下で走行した
- 新たに速度を設定した、または
- 最後に保存された速度を再度呼び出した

マルチファンクションディスプレイのメッセージ **可変スピードリミッター制御待機中** が消えます。

可変スピードリミッターの解除

ブレーキ操作で可変スピードリミッターを解除することはできません。

可変スピードリミッターを解除するためにはいくつかの方法があります：

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方 ④ に軽く押します。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ⑤ の方向に軽く押します。
クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が消灯します。可変スピードリミッターが解除されます。

クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されます。

- ① エンジンを停止したときは、記憶されている速度は消去されます。

スノータイヤスピードリミッター

マルチファンクションディスプレイを使用して、約 160 km/h（例えばウインタータイヤで走行するとき）から最高速度までの間の値に、常に速度を制限できます（▶ 186 ページ）。

記憶させた速度に到達する少し前に、マルチファンクションディスプレイに速度が表示されます。

可変スピードリミッターを解除した場合でも、スノータイヤスピードリミッターは作動したままになります。

踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んだ場合でも（キックダウン）、記憶させた制限速度を超えることはできません。

ディストロニック・プラス

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスは速度を制御し、前方に検知された車両との距離を自動的に維持する支援を行いません。車両はレーダーセンサーシステムの支援で検知されます。ディストロニック・プラスは設定された速度を超えないように自動的にブレーキを効かせます。

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアに変速してください。荷物搭載時の車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ作用を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。ディストロニック・プラスが衝突の危険があることを検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告を行いません。運転者の操作なしでは、ディストロニック・プラスは衝突を回避することはできません。断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯が点灯します。安全な場合

にのみ、ただちにブレーキを効かせて先
行車両との距離を広げ、危険回避の操作
を行なってください。

走行時のディストロニック・プラスの支
援のためには、レーダーセンサーが設定
されていて作動可能でなければなりません。
さくいんにある"レーダーセンサーシ
ステム"をご覧ください。

ディストロニック・プラスは 0 km/h ~
200 km/h の間の速度で作動します。

急な坂道を走行しているときは、ディ
ストロニック・プラスを使用しないでくだ
さい。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは以下のもの
には反応しません。

- 歩行者や動物
- 駐停車している車両など、道路上の静
止している障害物
- 対向車や横切る車両

この場合、ディストロニック・プラスは
警告も介入も行ないません。事故の危険
性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、
ブレーキをかける準備をしてください。

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは、他の道路
使用者および複雑な交通状況を常に明確
に認識できるとは限りません。

そのような場合は、ディストロニック・
プラスは以下になることがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレー
キをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動し
なくなる
- 意図せず加速する、またはブレーキを
かける

事故の危険性があります。

特にディストロニック・プラスが警告し
た場合は、慎重に走行を続け、ブレーキ
を効かせる準備をしてください。

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは最大可能減
速の 50% まで車両にブレーキを効かせ
ます。減速が十分でない場合は、ディ
ストロニック・プラスは視覚的および聴覚
的警告で運転者に警告します。事故の危
険性があります。

これらの状況では自分でブレーキを効か
せ、回避行動を取るよう試みてくださ
い。

❗ ディストロニック・プラスまたはホー
ルド機能が作動すると、特定の状況で車
両に自動的にブレーキがかかります。車
両の損傷を防ぐため、次のような状況で
はディストロニック・プラスおよびホー
ルド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

運転スタイルを合わせていない場合は
ディストロニック・プラスは事故の危険
性を低減することができません。また、
物理的限界を超えることはできません。
ディストロニック・プラスは路面、天候
および交通状況を考慮することはできま
せん。ディストロニック・プラスは単な
る支援に過ぎません。運転者には、先行
車両との距離、車両の速度、適切なブ
レーキ操作、および車線を維持する責任
があります。

以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください：

- 混雑している交通状況またはカーブの多い道路など、一定の速度を保つことができない道路および交通状況
- 滑りやすい路面 ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。
- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき

ディストロニック・プラスは、オートバイなど前方を走行している幅の狭い車両、または異なる車線を走行している車両を検知しないことがあります。

特に以下のときは、障害物の検知が困難になることがあります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発生源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射の可能性がある

ディストロニック・プラスが先行車両を検知なくなると、予期せず設定速度まで加速することがあります。

速度は以下になるおそれがあります。

- 変更される車線や滑りやすい道路で非常に高くなりすぎる
- 右車線を走行しているにも関わらず左車線にいる車両を追い越してしまう程高くなりすぎる（左側走行の国）
- 左車線を走行しているにも関わらず右車線にいる車両を追い越してしまう程高くなりすぎる（右側走行の国）

運転者を交代する場合は、次の運転者に保存した速度を伝えてください。

クルーズコントロールレバー



- ① 現在の走行速度、または高い速度を記憶させる
- ② 設定最短距離を設定する
- ③ LIM 表示灯
- ④ 現在の速度を記憶させる、および最後に記憶させた速度を呼び出す
- ⑤ 現在の走行速度、または低い速度を記憶させる
- ⑥ ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑦ ディストロニック・プラスを解除する

クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

- LIM 表示灯が消灯： ディストロニック・プラスが選択されています。
- LIM 表示灯が点灯： 可変スピードリミッターが選択されています。

ディストロニック・プラスの選択

- ▶ LIM 表示灯 ③ が消灯しているかを確認してください。

消灯している場合は、ディストロニック・プラスがすでに選択されています。

そうでない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印⑥の方向に押し下す。
クルーズコントロールレバーのLIM表示灯③が消灯します。ディストロニック・プラスが選択されます。

ディストロニック・プラスの作動

作動条件

ディストロニック・プラスを作動させるには、以下の条件を満たさなければなりません：

- エンジンがかかっている。ディストロニック・プラスを使用する準備ができるまで、2分程度走行しなければならない。
- パーキングブレーキが解除されている。
- ESP®が設定されているが、介入していない。
- アクティブパーキングアシストが作動していない。
- トランスミッションがポジションDである。
- ボンネットが閉じている。
- PからDにシフトするときに運転席ドアが閉じている、または運転者のシートベルトが着用されている。
- 助手席ドアとリアドアが閉じている。
- 車両が横滑りしていない。
- クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスの機能が選択されている (▷ 155 ページ)。

設定する



- ▶ クルーズコントロールレバーを手前に軽く引く②か、上①または下③に押し下す。
ディストロニック・プラスが作動します。
- ▶ 希望の速度が設定されるまで、クルーズコントロールレバーを上①または下③に繰り返し押し下す。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。
記憶させた希望の速度までのみ、先行車両の速度に自車の速度が合わせられます。

先行車両が停止している場合は、自車が同様に停止しているときにのみ、ディストロニック・プラスを作動させることができます。

i アクセルペダルから完全に足を放していない場合は、マルチファンクションディスプレイに「**ディストロニック 又 制御待機中**」というメッセージが表示されます。このときは、ゆっくり走行している先行車両との設定距離は維持されません。アクセルペダルの位置に応じた速度で走行します。

停止しているときもディストロニック・プラスを作動させることができます。設定できる最低速度は 30 km/h です。

- ▶ クルーズコントロールレバーを手前④、上①または下⑤、に軽く引きます。
ディストロニック・プラスが作動します。

現在の速度/最後に記憶させた速度で作動させる

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキがかかることがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

- ▶ クルーズコントロールレバーを手前④に軽く引きます。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。
ディストロニック・プラスが作動します。初めて作動させたときは、そのときの速度が記憶されます。それ以外の場合は、車両の巡航速度を以前に記憶させた数値に設定します。

ディストロニック・プラスでの運転

発進と走行

- ▶ ディストロニック・プラスで発進したい場合：ブレーキペダルから足を放します。
- ▶ クルーズコントロールレバーを手前④に軽く引きます。

または

- ▶ 軽くアクセルペダルを踏みます。
車両が発進して、走行速度を先行車両の速度に合わせます。

前方に車両を検知していない場合は、車両は設定した速度まで加速します。

- ❶ 未確認の障害物に面しているとき、または他車と異なるラインを走行するときにも、車両は発進できます。その後に、車両は自動的にブレーキを効かせます。事故の危険性があります。いつでもブレーキを効かせる準備をしてください。

先行車両がない場合は、ディストロニック・プラスはクルーズコントロールと同じように作動します。

先行車両が減速したことをディストロニック・プラスが検知した場合は、車両にブレーキを効かせます。このようにして設定した車間距離が維持されます。

前方でより速く走行している車両をディストロニック・プラスが検知した場合は、走行速度が上がります。ただし記憶させた速度までしか車両は加速しません。

走行モードの選択

走行モード **S** または **M** (AMG 車両：**S**、**S+** または **M**) を選択しているときは、ディストロニック・プラスはスポーティーな走行スタイルをサポートします (▶ 140 ページ)。先行車両の後方まで、または設定した速度まで非常にダイナミックに加速します。走行モード **E** (AMG 車両：**C**) を選択している場合は、車両はさらに穏やかに加速します。この設定は交通渋滞で推奨されます。

車線変更

以下のときに追い越し車線に移る場合はディストロニック・プラスが運転者を支援します：

- 70km/h 以上で走行している
- ディストロニック・プラスが先行車両との距離を維持している
- 対応する方向指示灯を作動させた
- ディストロニック・プラスが衝突の危険を検知していない

これらの条件を満たした場合は、車両は加速します。車線変更に時間がかかりすぎたり、車両と先行車両との距離が短すぎる場合は、加速は中断されます。

① 車線を変更するとき、ディストロニック・プラスは左の車線（左ハンドル車両）または右の車線（右ハンドル車両）をモニターします。

停止

⚠ 警告

車から離れるときは、ディストロニック・プラスによりブレーキがかかっても以下の場合は車両が動き出すことがあります。

- システムまたは電源供給に異常があるとき
- 乗員または車外の誰かがクルーズコントロールレバーを操作して、ディストロニック・プラスが解除されたとき
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造されたとき
- バッテリーの接続を外したとき
- 同乗者などがアクセルペダルを踏んだとき

事故の危険性があります。

車から離れるときは、必ずディストロニック・プラスをオフにして車両が動き出さないように固定します。

ディストロニック・プラスの解除についてのさらなる情報（p 158 ページ）。

先行車両が停止したことをディストロニック・プラスが検知した場合は、車両が停止するまでブレーキを効かせます。

一度車両が停止すると、停車したままになり、ブレーキを踏む必要はありません。

設定最短距離によっては、車両は先行車両の後方に十分な距離があるところで停止することがあります。設定最短距離はクルーズコントロールレバーを使用して設定します。

ディストロニック・プラスが作動しているときは、以下になるとトランスミッションは自動的にポジション P にシフトされます：

- 運転席ドアが開いていて、運転席のシートベルトが着用されていない
- ECO スタートストップ機能による自動停止以外の方法でエンジンを停止した
- システムに異常が発生した
- 電力供給が不十分である

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- 速度の設定
- 指定の最小車間距離の設定
- メーターパネルのディストロニック・プラスディスプレイ

ディストロニック・プラスの解除



ディストロニック・プラスを解除するためにはいくつかの方法があります：

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方 ① に軽く押します。

または

- ▶ 車両が停止していないときにブレーキを効かせます。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ③ の方向に軽く押します。
可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が点灯します。

ディストロニック・プラスを解除したときは、マルチファンクションディスプレイに **ディストロニックプラス オフ** というメッセージが約 5 秒間表示されます。

i エンジンを停止するまでは、最後に記憶させた速度が記憶されたままになります。

i アクセルペダルを踏んだ場合でも、ディストロニック・プラスは解除されません。

以下の場合、ディストロニック・プラスが自動的に解除されます：

- パーキングブレーキを効かせる
- ESP®が介入した、または ESP®を解除した
- トランスミッションがポジション **P**、**R**、または **N** にある
- 発進するためにクルーズコントロールレバーを運転者の方向に引き、助手席ドアまたはいずれかのリアドアが開いている
- 車が横滑りしている
- アクティブパーキングアシストを作動させた

ディストロニック・プラスが解除された場合は、警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに **ディストロニック・プラス オフ** というメッセージが約 5 秒間表示されます。

ディストロニック・プラスでの運転のヒント

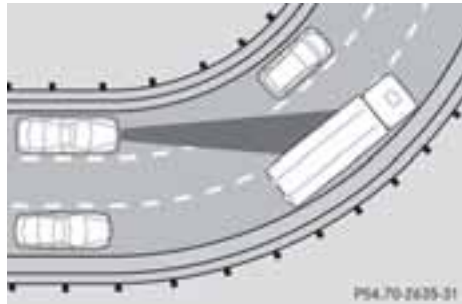
全体的な注意事項

以下の交通状況では特に注意して運転してください：

- カーブの走行/侵入/退出時
- 車線の中央を走行していない車両
- 車線変更している他の車両
- 幅の狭い車両
- 障害物や停止車両
- 横切る車両

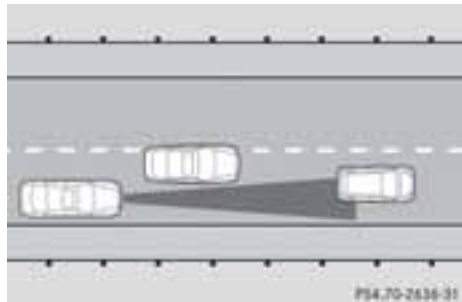
そのような状況では、必要であればブレーキを効かせてください。ディストロニック・プラスは解除されます。

カーブの走行/侵入/退出時



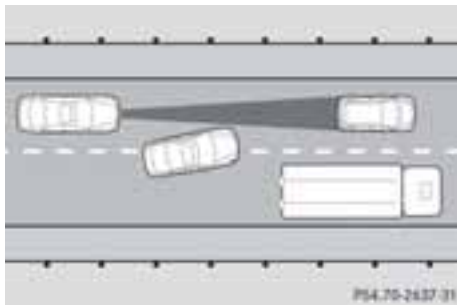
カーブではディストロニック・プラスの車両を検知する能力には限界があります。予期せず、または遅れてブレーキを効かせることがあります。

車線の中央を走行していない車両



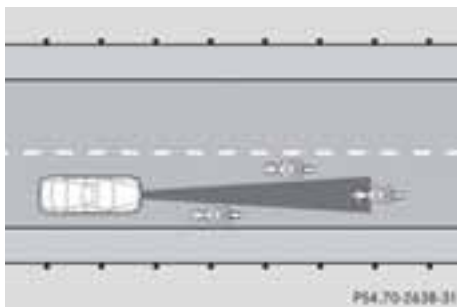
ディストロニック・プラスは、車線の中央を走行していない車両を認識することができません。先行車両との距離は非常に短くなる場合があります。

車線変更する他の車両



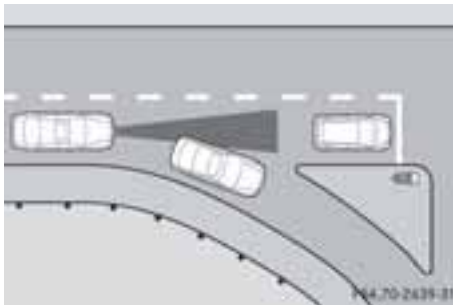
ディストロニック・プラスは、割り込んでくる車両を検知しません。この車両との距離は非常に短くなる場合があります。

幅の狭い車両



ディストロニック・プラスは、道路の端の幅の狭い車両を検知しないことがあります。交差点の信号でディストロニック・プラスを作動させると、例えば不意に車両が発進することがあります。

障害物や停止車両



ディストロニック・プラスは、障害物や停止車両に対してブレーキを効かせないことがあります。例えば、検知していた車両がカーブを曲がり、障害物や停止車両が現れたときは、ディストロニック・プラスはこれらに対してブレーキを効かせないことがあります。

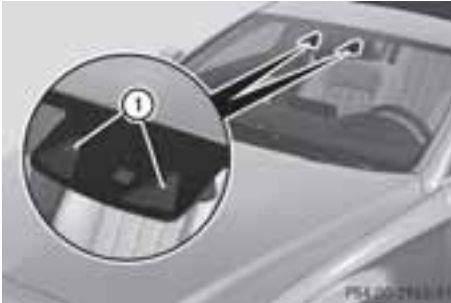
横切る車両



ディストロニック・プラスは、車線を横切る車両を誤って検知することがあります。交差点の信号でディストロニック・プラスを作動させると、例えば不意に車両が発進することがあります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラス

全体的な注意事項



ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスは、0~200km/hの速度域で、緩やかなステアリングの介入により、車両を走行車線の中央に保つ支援をします。フロントウインドウ上部のマルチファンクションカメラ①により車両前方エリアをモニターします。

0~60km/hの速度域では、ストップ&ゴーパイロットは、交通渋滞で車両に追従しているときなどに車線マークを考慮に入れながら先行車両に目標を合わせます。

60km/h以上の速度では、ステアリングアシストは検知された車線マーク（左および右）に、検知された車線マークがない場合にのみ先行車両に目標を合わせます。

これらの条件を満たしていない場合は、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは作動しません。

機能が作動できるようにするためには、ディストロニック・プラスが作動してなければなりません。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、ステアリングアシストおよびストップ&

ゴーパイロット付きディストロニック・プラスは事故の危険性を低減することができません。また、物理的限界を超えることはできません。道路、天候および交通状況を考慮することはできません。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付きディストロニック・プラスは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付きディストロニック・プラスは、道路および交通状況を検知するものでもなければ、すべての道路使用者を検知するものでもありません。道路の端に向かって走行している車両を追従している場合は、お客様の車両が縁石または他の道路境界線に接触するおそれがあります。車両のすぐ隣のサイクリストなど、他の道路使用者には特に気をつけてください。

車線上にあるコーンや車線内にはみ出した障害物は検知されません。

車線マークの上を故意に走行した後などの不適切なステアリングの介入は、反対方向に軽くステアリングを操作した場合にいつでも修正することができます。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付きディストロニック・プラスは、車両を車線内に保ち続けることはできません。場合によっては、ステアリングの介入は車両を車線内に戻すのに十分でない場合があります。このような場合は、ご自身で車両のステアリング操作を行ない、車線を外れないようにしてください。

以下の場合、システムにより行なわれている支援が困難になることがあります：

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や霧雨などにより、視界が悪い
- 対向交通、太陽または他の車両からの反射光などで眩惑がある（路面が濡れている場合など）
- フロントウィンドウが汚れていたり、曇っている、またはカメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 工事エリアなどで 1 車線の車線マークがまったくないか、または複数ある、不明瞭である
- 車線マークが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しくさまざまな日陰の状況がある

以下の場合、システムが待機状態に切り替わり、ステアリング介入の実行による支援を行なわなくなります：

- 頻繁に車線を変更している
- 方向指示灯を作動させる
- 長時間ステアリングから手を放している、またはステアリング操作をしていない

i 車線変更後にステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは再び自動的に作動します。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、以下の場合支援を行ないません：

- 非常にきついカーブで
- タイヤの空気圧の減少またはタイヤの不具合が検知され表示された

ディストロニック・プラスの重要な安全上の注意事項にも注意してください（▶ 154 ページ）。

ステアリング操作の介入は、限られたステアリング操舵力で行なわれます。ステアリングに手を置いたまま、ご自身でステアリング操作をするようにシステムは運転者に要求します。

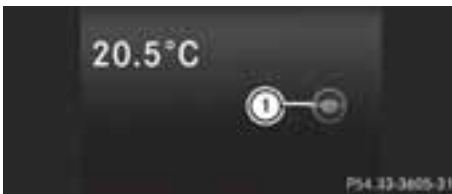
ステアリング操作をご自身で行なわない場合、または長時間ステアリングから手を放している場合は、システムはまず視覚的な警告で警告します。マルチファンクションディスプレイにステアリングのマークが表示されます。遅くとも 5 秒後にステアリング操作をまだ開始しておらず、ステアリングを握っていない場合は、車両を操作するように気付かせるために警告音も鳴ります。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットは待機モードに切り替わります。ディストロニック・プラスは作動したままになります。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの作動

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスを設定します（▶ 186 ページ）。

マルチファンクションディスプレイに **DTR+: ステアリングアシスト オン** というメッセージが表示されます。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが設定されます。

マルチファンクションディスプレイの情報



ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが設定されているが、ステアリング介入の準備ができていない場合は、ステアリングのマーク①が灰色で表示されます。システムがステアリング介入によって支援を行なう場合は、マーク①が緑色で表示されます。

ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットの解除

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロット付ディストロニック・プラスを解除します (p. 186 ページ)。

マルチファンクションディスプレイに **DTR+: ステアリングアシスト オン** というメッセージが表示されます。ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが解除されます。

ディストロニック・プラスが解除されている、または使用できないときは、ステアリングアシストおよびストップ&ゴーパイロットが自動的に解除されます。

ホールド機能

全体的な注意事項

以下のような状況で、ホールド機能は運転者を支援します：

- 特に急な坂道で発進するとき
- 急な坂道で車を動かすとき
- 発進待ちをしているとき

運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止した状態を保ちます。

発進するためにアクセルペダルを踏んだときは、ブレーキ効果が解除されホールド機能は解除されます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を離れるときは、ホールド機能によりブレーキを効かせているにも関わらず、以下のときに発進するおそれがあります。

- システムまたは電圧の供給に不具合がある
- 例えば車両乗員によってアクセルペダルが踏まれることによりホールド機能が解除される
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造される
- バッテリーの接続が外された

事故の危険性があります。車両を離れる前には常にホールド機能を解除し、発進しないように車両を固定してください。

❗ ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

作動条件

ホールド機能は以下のときに作動させることができます：

- 車両が停止している
- エンジンがかかっている、またはECOスタートストップ機能によってエンジンが自動的に停止している

- 運転席ドアを閉じている、または運転者がシートベルトを着用している
- パーキングブレーキを解除している
- トランスミッションがポジション **D**、**R**、**N** である
- ディストロニック・プラスが解除されている

ホールド機能を作動させる



- ▶ 作動条件が満たされていることを確認します。
- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに **HOLD** というメッセージ **i** が表示されるまで、ブレーキペダルを素早く踏みます。ホールド機能が作動します。ブレーキペダルから足を放すことができます。

i 最初にブレーキペダルを踏んだときにホールド機能が作動しない場合には、少し待った後に再度試してください。

ホールド機能を解除する

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます：

- アクセルペダルを踏んで、トランスミッションがポジション **D** または **R** である。
- トランスミッションをポジション **P** にシフトした。

- マルチファンクションディスプレイから **HOLD** が消えるまで、ブレーキペダルを再度一定の強さで踏んだ。
- ディストロニック・プラスを作動させた

ホールド機能を作動させているときは、以下の場合にトランスミッションは自動的にポジション **P** にシフトします：

- 運転席ドアが開いていて、運転席のシートベルトが着用されていない
- ECO スタートストップ機能による自動停止以外の方法でエンジンを停止した
- ボンネットが開いている
- システムに異常が発生した
- 電力供給が不十分である

レーススタート

重要な安全上の注意事項

i スポーツハンドリングモードに関する安全上の注意事項に従ってください (▷ 83 ページ)。

レーススタートはレースサーキットでのみ使用してください。

レーススタートは停車状態からの最適な加速を可能にします。このためには、作動に適した高いグリップの路面であることが前提条件になります。

i レーススタートは、AMG 車両でのみ作動します。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- 作動条件
- レーススタートの作動

AIR マティックサスペンション

車高

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を下げるときに、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

⚠ 警告

レベルコントロール装備車

以下のとき、車高が少し下がります：

- コンフォートサスペンション制御を選択した、および
- エンジンをオフにしてから約 60 秒以内に車両を施錠する

ホイールハウスの周辺および車体の下の人が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を施錠するときはホイールハウスの周辺および車体の下に人がいないことを確認してください。

! 以下の場合に、車高が約 15 mm 下がります：

- "コンフォートモード"を選択したとき
- エンジンを停止したとき
- 約 60 秒以内に車両を施錠したとき

駐車するときは、車高が下がって縁石に接触しないように車両の位置を確認してください。車両が損傷するおそれがあります。

コンフォートモードが選択されているときは、エンジンを停止してから 60 秒以内に車両を解錠した場合は、車高は少し低くなります。

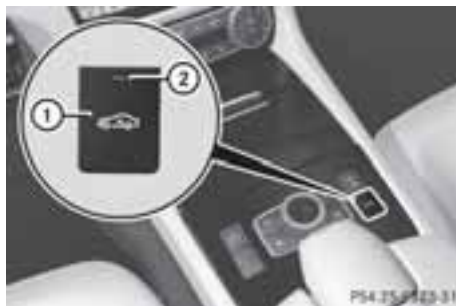
車高は自動的に調整されます。レベルコントロール機能は、サスペンションを最

適にして、積載時でも地上高を一定に保ちます。車高に関するさらなる全般的な情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

車高を設定する

通常の路面では"標準"設定を、スノーチェーンを装着して走行するときや路面が特に悪いときは"高い"を選択してください。選択した内容は、エンジンスイッチからキーを抜いても記憶されます。

高い車高に調整する



▶ エンジンを始動します。

表示灯 ② が点灯していない場合：

▶ スイッチ ① を押します。
表示灯 ② が点灯します。車高が高い車高に調整されます。

ディスプレイに**車高があがります**というメッセージが表示されます。

"高い車高"の設定は、以下のときに解除されます：

- 約 120km/h 以上の速度で走行した
- 80 km/h 以上の速度で約 3 分間走行した

これらの速度域内で走行していないときは、"高い車高"が保たれたままになります。

標準の車高に調整する

▶ エンジンを始動します。

表示灯 ② が点灯している場合

- ▶ スイッチ ① を押します。
表示灯 ② が消灯します。車高が標準の車高に調整されます。

サスペンション制御

全体的な注意事項

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

AMG RIDE CONTROL のスポーツサスペンション

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- 車高
- リアアクスルのレベルコントロール
- サスペンション制御

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を下げるときに、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

⚠ 警告

レベルコントロール装備車

以下のとき、車高が少し下がります：

- コンフォートサスペンション制御を選択した、および
- エンジンをオフにしてから約 60 秒以内に車両を施錠する

ホイールハウスの周辺および車体の下の人が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を施錠するときはホイールハウスの周辺および車体の下に人がいないことを確認してください。

❗ 以下の場合、車両は約 20 mm 下がります。

- "コンフォートモード"を選択したとき
- エンジンを停止したとき
- 約 60 秒以内に車両を施錠する

駐車するときは、車高が下がって縁石に接触しないように車両の位置を確認してください。車両が損傷するおそれがあります。

車高

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車両を下げるときに、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

サスペンション制御選択スイッチ、または AMG スイッチを押した場合、車両が下がることがあります。車両は停止している場合でも下がります。

❗ スポーツまたはスポーツ + サスペンション制御が選択されている場合は、車両の地上高は減少します。挟まれているものがないこと、および例えば縁石などで車両が損傷していないことを確認してください。

❗ 車両を駐車して、外気温度が変化した場合は、リアアクスルの車高が変化することがあります。気温が下がると車高が下がり、気温が上がるにつれて車高も上がります。

4MATIC (フルタイム 4 輪駆動システム)

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、4MATIC は事故被害を軽減したり、物理的限界を超えて運転を支援することはできません。4MATIC は路面、天候および交通状況を考慮することはできません。4MATIC はあくまでも運転を支援するシステムです。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

不十分なグリップのため駆動輪が空転する場合

- 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- 走行時は加速を少なくしてください

! 片方のアクスルを持ち上げた状態で車両をけん引しないでください。トランスファークースを損傷するおそれがあります。このような損傷はメルセデス・ベンツの一般保証では保証されません。全ての車輪が接地しているか、完全に持ち上がっていないければなりません。車輪全てが完全に接地している状態で車両をけん引するときは、取扱説明書に従ってください。

i 冬に走行するときには、ウィンタータイヤ (M+S タイヤ) や必要であればスノーチェーンを装着すると 4MATIC の効果が最大限に発揮されます。

4MATIC は 4 輪全てが常に駆動しています。不十分な接地力によって車輪が空転したときは、ESP® (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム) によって車両の駆動力が改善されます。

パークトロニック

重要な安全上の注意事項

パークトロニックは超音波センサーによる、電子的な駐車支援です。フロントバンパーの 6 個のセンサーとリアバンパーの 6 個のセンサーを使用して、車両周辺のエリアをモニターします。パークトロニックは、車両と物体との距離を視覚的、聴覚的に示します。

パークトロニックは単なる支援に過ぎません。周囲に対する運転者の注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なっている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

! 駐車するときは、鉢植えやトレーラーけん引部などセンサーの上下にあるものに十分注意をしてください。パークトロニックはこれらが車両の至近距離にあるときは感知できません。車両や物を損傷するおそれがあります。

センサーは雪やその他の超音波を吸収しやすいものを感知しないことがあります。自動洗車機やトラックの圧縮空気ブレーキ、空気ドリルなどが発生する超音波によりパークトロニックが機能しないことがあります。

不整地などではパークトロニックが正しく作動しないことがあります。

以下のときに、パークトロニックは自動的に作動します：

- イグニッションをオンにした
- トランスミッションをポジション **D**、**R** または **N** にシフトした
- パーキングブレーキを解除した

パークトロニックは 18 km/h 以上の速度で解除されます。それより低い速度で再作動します。

センサーの範囲

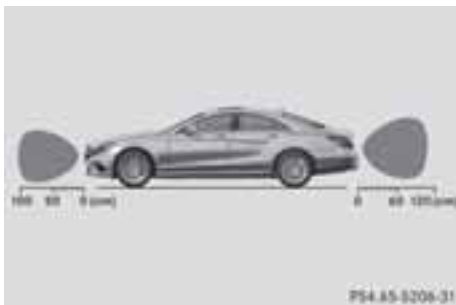
全体的な注意事項

以下の場所にある障害物は、パークトロナックは考慮に入れません：

- 人や動物、障害物などが検知範囲の下にある
- 突き出た荷物、車両後部、または積載用スロープなどが検知範囲の上にある



① 例：左側フロントバンパーのセンサー
センサーに汚れ、氷および泥がないようにしてください。さもないと、適切に機能しないことがあります。センサーに損傷を与えないように注意して、定期的に清掃してください。(p. 248 ページ)



フロントセンサー

センター	約 100cm
コーナー	約 60cm

リアセンサー

センター	約 120cm
コーナー	約 80cm

最短距離

センター	約 20cm
コーナー	約 15cm

この範囲内に障害物がある場合は、対応する警告表示が点灯して警告音が鳴ります。距離が最短以下になった場合は、距離が表示されなくなることがあります。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- 警告表示
- パークトロナックの解除/作動
- パークトロナックのトラブル

アクティブパーキングアシスト

全体的な注意事項

アクティブパーキングアシストは、超音波により駐車を支援するシステムです。

車両の両側の道路を測定します。駐車マークは、適切な駐車スペースを示します。駐車している間は、自動的なステアリングの介入およびブレーキの適用により運転者を支援します。パークトロンニックも利用できます(▶ 167 ページ)。

重要な安全上の注意事項

アクティブパーキングアシストは単なる支援にすぎません。周囲に対する運転者の注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。操作範囲に人や動物や物がないことを確認してください。

パークトロンニックが解除されているときは、アクティブパーキングアシストも使用できません。

⚠ 警告

検知範囲上に障害物がある場合:

- 作動中のパーキングアシストのステアリング操作が早すぎる場合があります。
- 車両が障害物の前で停車しないことがあります。

衝突する原因となる可能性があります。事故の危険性があります。

検知範囲上に障害物があるときは、停止してアクティブパーキングアシストをオフにしてください。

⚠ 警告

駐車するときや駐車スペースから出るとき、車両がはみ出し、対向車線に入ることがあります。他の道路使用者とぶつかる可能性があります。事故の危険性があります。

他の道路利用者に注意してください。必要な場合は停車して、アクティブパーキングアシストの作動を解除してください。

! 避けられないときは、ゆっくりと鋭角でない角度で縁石などの障害物を乗り越

えてください。ホイールやタイヤを損傷するおそれがあります。

アクティブパーキングアシストは、以下のような駐車するのに適さないスペースを表示することがあります。

- 駐車または停車が禁止されている
- 私道の手前または建物の出入り口
- 路面が駐車するのに適していない場所

駐車のコツ:

- 狭い道路では、できるだけ駐車スペースの近くを通過して走行してください。
- ゴミが散らかっていたり、草が茂っている駐車スペースは、確認や測定が不正確になることがあります。
- トレーラーけん引部が一部を占有している駐車スペースを識別できなかったり、測定が不正確になることがあります。
- 雪や激しい雨により、正しく計測されていない駐車スペースに誘導されることがあります。
- 駐車操作を行なっている間は、パークトロンニック(▶ 168 ページ)の警告メッセージに注意してください。
- 運転者はいつでもステアリング操作に介入して修正できます。その場合はアクティブパーキングアシストが解除されます。
- 車両からはみ出している荷物を運んでいるときは、アクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- スノーチェーンを装着しているときは、アクティブパーキングアシストを絶対に使用しないでください。
- タイヤ空気圧が常に適正であることを確認してください。これは車両の駐車動作に直接影響を与えます。

アクティブパーキングアシストは以下のような駐車スペースで使用してください。

- 進行方向と平行または直角である
- カーブしていないまっすぐな道にある
- 歩道などでなく、道路と同じ高さにある

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- 駐車スペースの検知
- 駐車
- 駐車スペースからの退出
- アクティブパーキングアシストの中止

リアビューカメラ

全体的な注意事項



リアビューカメラ（例：CLS Coupé）

リアビューカメラ ① は、トランクリッド/テールゲートのハンドルにあります。リアビューカメラは ①、映像によって駐車およびステアリング操作を支援します。Audio 20/COMAND ディスプレイに車両後方のエリアをガイドライン入りで表示します。

車両後方のエリアは、ルームミラーに映るように鏡像で表示されます。

i Audio 20/COMAND ディスプレイに表示される文字は、言語設定により異

なります。以下はリアビューカメラのCOMAND ディスプレイでのメッセージの例です。

重要な安全上の注意事項

リアビューカメラは単なる支援にすぎません。周囲に対する運転者の注意の代わりになるものではありません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なっている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

以下のような環境ではリアビューカメラが機能しなかったり、制限された方法で機能します：

- トランクリッドが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧
- 夜や非常に暗い場所
- カメラが非常に明るい光に照らされている場合
- 周囲が蛍光灯の電球やLEDの光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入ったときなど、急激な温度変化が原因でカメラが曇った場合
- カメラのレンズが汚れている、または遮られている場合 清掃に関する注意事項に従ってください。（p. 248 ページ）
- 車両の後部が損傷している場合 このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください。

車両後部に追加したアクセサリ（ナンバープレートホルダー、自転車ラックなど）により、リアビューカメラの視界および他の機能が制限される可能性があります。

i リアビューカメラは、フラップによって雨やほこりから保護されています。

リアビューカメラの作動中はこのフラップが開きます。

フラップは以下のときに再度閉じます：

- 操作手順を終えた
- エンジンを停止した
- トランクを開いた

清掃に関する注意事項に従ってください（▶ 248 ページ）。

技術的な理由のため、リアビューカメラが停止した後にフラップが短時間開いたままになることがあります。

! 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くにあるように見えることがあります。

- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのトーイングバー
- トレーラーけん引ヒッチのボールヘッドカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。障害物に近付くときは、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。

リアビューカメラは、障害物の歪んだ映像を表示したり、それらを正しく、またはまったく表示しないことがあります。以下のような場所では、障害物はリアビューカメラで表示されません：

- リアバンパーのすぐ近く
- リアバンパーの下
- テールゲートハンドルの上のエリア

リアビューカメラの作動/停止

- ▶ **作動させる：** エンジンスイッチのキーが 2 の位置にあることを確認します。
- ▶ Audio 20/COMAND システムで**リバース運動**機能が選択されていることを確認

します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

- ▶ **リバースギア**に入れます。リアビューカメラのフラップが開きます。車両後方のエリアがガイドライン入りで、Audio 20/COMAND ディスプレイに表示されます。

操作手順中は、リアビューカメラの映像が利用できます。

停止する： トランスミッションを P にシフトした場合、または短距離を前進した後に、リアビューカメラは停止します。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- Audio 20/COMAND ディスプレイのメッセージ
- "後退駐車"機能
- 広角機能
- 障害物検知

360° カメラシステム

全体的な注意事項

360° カメラシステムは 4 つのカメラで構成されるカメラシステムです。

システムは以下のカメラからの映像を評価します：

- リアカメラ
- フロントカメラ
- ドアミラーの 2 つのカメラ

カメラは車両周辺の状況を映し出します。システムは、駐車時や見通しの悪い出口などで運転者を支援します。

360° カメラシステムの映像は、COMAND ディスプレイに全画面モードまたは 6 種類の分割画面表示で表示できます。分割画面表示には車両上面表示も含まれています。この表示は、装着され

ているカメラにより提供されたデータから生成されます（バーチャルカメラ）。6つの分割画面表示は以下のとおりです：

- 車両上面表示とリアカメラからの映像（130°表示角度）
- 車両上面の表示とフロントカメラからの映像（最大ステアリング角度を表示しない130°表示角度）
- 車両上面表示とリア拡大表示
- 車両上面表示とフロント拡大表示
- 車両上面表示と後方ミラーカメラからの映像（後輪表示）
- 車両上面表示と前方ミラーカメラからの映像（前輪表示）

機能が作動していて、トランスミッションを **D** または **R** から **N** にシフトしたときは、可変ガイドラインは非表示になります。

シフトポジションを **D** と **R** の間で切り替えた場合、直前に選択したフロントまたはリア表示が表示されます。

重要な安全上の注意事項

360°カメラは単なる支援に過ぎず、障害物の歪んだ映像を表示したり、それらを不正確に、またはまったく表示しないことがあります。360°カメラシステムは、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なっている間は、周囲に人や動物、障害物がないことを確認してください。

運転者には安全を確保する責任があり、駐車や運転操作を行なうときは、常に周囲の状況に注意しなければなりません。これには、車両の後方、前方および両側面が含まれます。さもないと、運転者や他の人に危険がおよぶおそれがあります。

360°カメラシステムは、以下の場合にまったく機能しなくなるか、制限された方法でのみ機能します：

- ドアが開いている場合
- トランクリッド/テールゲートが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧
- 夜や非常に暗い場所
- カメラに強い光が直接当たっている場合
- 周囲が蛍光灯の電球やLEDの光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入ったときなど、急激な温度変化が原因でカメラが曇った場合
- カメラのレンズが汚れていたり、覆われている場合
- カメラ装着部の車両構成部品が損傷した場合。このようなときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください。


このような場合は、360°カメラシステムを使用しないでください。さもないと、車両駐車時に、他の人にけがをさせたり、物を損傷したりするおそれがあります。ガイドラインは常に路面の高さで表示されます。

作動条件

360°カメラシステムの映像は、以下のときに表示されます：

- 車両に360°カメラシステムが装備されている
- エンジンスイッチのキーが **2** の位置にある。
- COMAND システム/Audio 20 が作動している
- **360° 加** 機能が設定されている


360° カメラシステムを作動させる

- ▶ センターコンソールの  スイッチを 2 秒以上押します。

シフトポジション **D** または **R** のどちらが選択されているかによって、以下の画面が表示されます：

- 車両上面表示とフロントカメラからの映像による分割画面表示、または
- 車両上面表示とリアカメラからの映像による分割画面表示

または

- ▶ センターコンソールのスイッチの  を押します。

車両メニューが表示されます。

- ▶ **360° 加** を選択し、押して  確定します。

シフトポジション **D** または **R** のどちらが選択されているかによって、以下の画面が表示されます：

- 車両上面表示とフロントカメラからの映像による分割画面表示、または
- 車両上面表示とリアカメラからの映像による分割画面表示

リバースギアを使用して、360° カメラシステムを作動させる

リバースギアに入れることで、自動的に 360° カメラシステムの映像が表示されます。


- ▶ エンジンスイッチのキーが **2** の位置にあることを確認します。


- ▶ **リバース連動** 機能が、COMAND システム/Audio 20 で選択されていることを確認します。別冊の COMAND システム/Audio 20 の取扱説明書をご覧ください。



- ▶ **360° カメラシステムの映像を表示する**：リバースギアに入れます。車両の後方エリアが COMAND/Audio 20 ディスプレイに分割画面モードで表示されます。車両上面表示

およびリアカメラからの映像が表示されます。

分割画面または全画面表示の選択

- ▶ **分割画面表示の間で切り替える**：コントローラーをスライドして 、車両アイコンがあるラインに切り替えます。

- ▶ コントローラーをまわして 、車両アイコンの 1 つを選択します。

- ▶ **180° ビューに切り替える**：コントローラーをまわして 、選択し、押して **180° ビュー** 、確定します。

- ▶ **i 180° ビュー オプション**は以下の表示で使用できます：



- リアカメラからの画像と車両上面表示
- フロントカメラからの画像と車両上面表示

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- COMAND/Audio 20 ディスプレイの表示
- 広角機能
- 障害物検知

360° カメラシステムの表示を停止する

機能を作動させていて、車両が 30km/h の速度を超えるとすぐに、機能は停止します。COMAND/Audio 20 ディスプレイに以前の表示が表示されます。ディスプレイの  マークを選択し、コントローラーを押して 、確定することでもディスプレイを切り替えることができます。

シフトポジション **P** を選択した場合にも、360° カメラシステムの表示は終了します。

アテンションアシスト

全体的な注意事項

アテンションアシストは高速道路や幹線道路のような道路で、長時間の変化の少ない走行をするときに運転者を支援します。60km/h～200km/hの範囲で作動します。運転者の疲労や集中力欠如の増加の典型的な兆候を検知した場合は、アテンションアシストは休憩を促します。

重要な安全上の注意事項

アテンションアシストは単なる支援にすぎません。疲労や集中力欠如を検知するのが遅すぎたり、まったくしないことがあります。十分な休憩を取り、集中力がある運転者の代わりになるものではありません。

以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります：

- 走行時間が 30 分以下の場合
- 路面が平坦でなかったり、穴があるなど、道路の状態が悪い場合
- 横風が強い場合
- 高いスピードでカーブを曲がっているときや急加速をしているときなど、スポーティな運転を行なっているとき
- 主に 60km/h 以下、または 200km/h 以上の速度で走行している場合
- ディストロニック・プラスのステアリングアシストを作動させて走行している場合
- 時刻が正しく設定されていないとき
- 車線を変更したり走行速度を変えるなどの活発な運転状況のとき

走行を継続するときは、以下のときにアテンションアシストはリセットされ、運転者の疲労の評価を開始します：

- エンジンを停止した
- 運転者を交代したり、休憩を取るために、運転者がシートベルトを外して運転席のドアを開いた

アテンションレベルの表示



マルチファンクションディスプレイのアシストメニュー (▶ 186 ページ) に現在の状況の情報を表示できます。

- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アテンションアシストのアシスト一覧表示を選択します (▶ 186 ページ)。

以下の情報が表示されます：


- 最後の休憩からの走行時間
- アテンションアシストによって判断されるアテンションレベル、「高い」から「低い」まで 5 段階のバー表示で表示されます。
- アテンションアシストがアテンションレベルを算出できず、警告を発することができない場合は、**システム停止**というメッセージが表示されます。60km/h 以下、または 200km/h 以上の速度で走行している場合などは、バー表示の表示が変更されます。

アテンションアシストの設定

▶ マルチファンクションディスプレイを使用してアテンションアシストを設定します (▶ 186 ページ)。

システムは、選択された以下の設定によって運転者のアテンションレベルを判断します：

標準を選択： アテンションレベルを判断するシステムの感度が標準に設定されます。


高感度を選択： 感度がより高く設定されます。それによってアテンションアシストにより検知されるアテンションレベルが合わされ、運転者に早く知らされます。エンジンがかかっているときにアテンションアシストが解除されているときは、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧表示に  マークおよび OFF が表示されます。

アテンションアシストが解除されているときは、エンジンが停止した後に自動的に再作動します。選択される感度は、最後に設定した選択に対応します (標準/高感度)。

マルチファンクションディスプレイの警告

疲労または集中力欠如の増加が検知された場合は、マルチファンクションディスプレイに **アテンションアシスト 休憩しましょう！** という警告が表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示されるメッセージに加えて、警告音が聞こえます。

- ▶ 必要な場合は、休憩を取ってください。
- ▶ ステアリングの  スイッチを押して、メッセージを確定します。

長い走行では、適切な回復のために適時定期的に休憩してください。休憩を取らない場合は、早くて 15 分後に再度警告が行なわれます。これは、アテンション

アシストが疲労または集中力低下の増加の兆候を検知した場合にのみ実行されません。

COMAND システム装備車両： マルチファンクションディスプレイで警告が寄せられた場合は、COMAND システムでガソリンスタンド検索が実行されます。ガソリンスタンドを選択することができ、このガソリンスタンドへのナビゲーションが開始します。この機能は、COMAND システムで設定および解除できます。

アクティブドライビングアシスタンスパッケージ

全体的な注意事項

アクティブドライビングアシスタンスパッケージはディストロニック・プラス (▶ 153 ページ) と、アクティブブラインドスポットアシスト (▶ 175 ページ)、アクティブレーンキーピングアシスト (▶ 178 ページ) で構成されています。

アクティブブラインドスポットアシスト

全体的な注意事項

アクティブブラインドスポットアシストは、左右の後ろ向きの 2 つのレーダーセンサーで、運転者には見えない車両の側方エリアをモニターします。ドアミラーの警告表示によって、モニターしている範囲で検知された車両に運転者の注意が向けられます。車線変更するために該当する方向指示灯を作動させた場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告も寄せられます。側面衝突の危険性が検知された場合は、修正ブレーキが衝突の回避を支援することがあります。車線修正ブレーキの適用前に、アクティブブラインドスポットアシストは進行方向および側方の空いているスペースを測定します。その

ために、アクティブブラインドスポットアシストは前向きのレーダーセンサーを使用します。

アクティブブラインドスポットアシストは、約 30 km/h 以上の速度で支援を行いません。

重要な安全上の注意事項

アクティブブラインドスポットアシストは単なる支援にすぎず、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

アクティブブラインドスポットアシストは以下のような車両には反応しません。

- 追い越してくる際に、側面に近づき過ぎて死角に入った車両
- 接近と追い越しの速度差が非常に大きいとき

この場合、アクティブブラインドスポットアシストは警告も介入も行いません。事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、車両の両側に安全な車間距離を維持してください。

レーダーセンサー

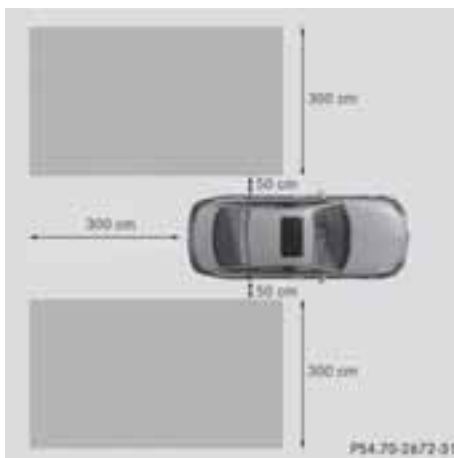
アクティブブラインドスポットアシストのレーダーセンサーは、前後のバンパーおよびラジエタートリムのカバー裏側に内蔵されています。バンパーとラジエタートリムのカバーに、汚れや氷、泥がないことを確認してください。リアセンサーが自転車用ラック、または突き出た荷物などによって覆われないようにしてください。強い衝撃を受けたり、バンパーに損傷を与えたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではレーダーセンサーの機能を点検してください。さもないと、アクティブブラインドスポットアシストが正しく機能しなくなることがあります。

モニター範囲

⚠ 警告

アクティブブラインドスポットアシストはすべての交通状況と道路使用者を検知するわけではありません。事故の危険性があります。

他の交通や障害物との距離が十分であることを常に確認してください。



例：CLS クーペ

アクティブブラインドスポットアシストは、図に示すように車両後方および車両すぐ脇の 3.0m までの範囲をモニターします。

以下のときは、車両の検知が困難になることがあります：

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雨、雪または霧雨などのため視界が悪い

モニター範囲の車両が遅れて表示されたり、まったく表示されなくなります。

アクティブブラインドスポットアシストはオートバイや自転車のような幅の狭い車両を検知しなかったり、非常に遅れてからのみ検知することがあります。

車線が狭い場合、特に車両が車線の中央を走行していない場合は、お客様の車両

の隣車線の次の車線の車両を検知することがあります。これは、お客様の車両寄りの車線端部に車両がいる場合などです。以下は、システムの特性に起因するものです：

- ガードレール、または類似の連続している車線境界の近くを走行しているときに、誤って警告が発せられることがあります。
- トレーラーなどの長い車両と長時間並走しているときに、警告が中断されることがあります。

警告表示



① 警告表示

アクティブブラインドスポットアシストは約 30 km/h 以下の速度では作動しません。このときは、モニター範囲にある車両は示されません。

アクティブブラインドスポットアシストが設定されているときは、30 km/h までの速度では、ドアミラーの表示灯 ① が黄色に点灯します。30 km/h 以上の速度では、表示灯は消灯し、アクティブブラインドスポットアシストは作動可能になります。

30km/h 以上の速度で、ブラインドスポットアシストのモニター範囲内で車両が検知された場合は、該当する側の警告灯 ① が赤色に点灯します。警告は、後方から、または側方から車両がブラインドスポットのモニター範囲内に入ったとき

に常に発せられます。車両を追い越すときは、速度差が 12 km/h 以下の場合にのみ警告が行なわれます。

リバースギアに入れた場合は、黄色の表示灯は消灯します。アクティブブラインドスポットアシストは作動しません。

警告灯の明るさは、周囲の明るさに自動的に合わせられます。

視覚的および聴覚的な衝突警告

運転者が車線変更のために方向指示灯を作動させ、側方のモニター範囲で車両が検知された場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告が発せられます。そのときは、警告音が 2 回聞こえ、赤色の警告灯 ① が点滅します。方向指示灯がそのままの場合は、赤色の警告灯 ① の点滅により検知された車両が示されます。警告音はそれ以上鳴りません。

車線修正ブレーキの適用

モニター範囲でアクティブブラインドスポットアシストが側面衝突の危険性を検知した場合は、車線修正ブレーキの適用が行なわれます。これは、運転者の衝突回避を支援するために設計されています。

⚠ 警告

車線修正ブレーキの適用は、常に衝突を防ぐわけではありません。事故の危険性があります。

特に、アクティブブラインドスポットアシストが警告するまたは車線修正ブレーキの適用をする場合、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行ってください。常に両側との安全な車間距離を維持してください



車線修正ブレーキが適用された場合は、ドアミラーの赤色の警告灯 ① が点滅して、警告音が 2 回鳴ります。加えて、側面衝突の危険性を強調した表示 ② がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

まれに、システムが適切でないブレーキの適用を行なうことがあります。ステアリングを反対方向に軽く操作するか、または加速した場合は、いつでも車線修正ブレーキの適用が中断されます。

車線修正ブレーキの適用は 30km/h～200km/h の速度域で行なわれます。

以下の場合、走行状況に合った、またはまったく合わない車線修正ブレーキの適用が行なわれます：

- 車両の両側に、車両やガードレールなどの障害物がある
- 側方すぐのところにも車両が接近している
- 高いコーナリング速度のスポーティーな走行スタイルをとっている
- 明確にブレーキ操作またはアクセル操作を行なっている

- ESP[®]または PRE-SAFE[®]ブレーキのような走行安全システムが適用されている
- ESP[®]が解除されている
- タイヤ空気圧の低下やタイヤの不具合が検知されている

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- アクティブブラインドスポットアシストの作動

アクティブレーンキーピングアシスト

全体的な注意事項



アクティブレーンキーピングアシストは、フロントウィンドウ上部に装着された多機能カメラ ① で車両前方をモニターします。レーダーセンサーシステムの支援により、車両の前方、後方および側方の他の様々なエリアもモニターされます。アクティブレーンキーピングアシストは道路の車線マークを検知し、意図せずに車線から外れる前に警告を発します。警告に反応しない場合は、車線修正ブレーキを適用することにより、車両を元の車線に戻すことができます。

この機能は、60 km/h～200 km/h の間の速度域内で作動します。

走行時のアクティブレーンキーピングアシストの支援のためには、レーダーセン

サーシステムが作動可能でなければなりません。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、アクティブレーンキーピングアシストは事故の危険性を軽減することはできず、物理的限界を超えることもできません。アクティブレーンキーピングアシストは道路および天候の状況を考慮することはできません。交通状況を検知しないことがあります。アクティブレーンキーピングアシストは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との距離、車両の速度、適切なブレーキ操作、および車線を維持する責任があります。

アクティブレーンキーピングアシストは車両を車線内に保ち続けることはできません。

⚠ 警告

アクティブレーンキーピングアシストは必ずしも明確に車線ラインを検知することはできません。

このような場合、アクティブレーンキーピングアシストは以下を行うことがあります

- 不要な警告を行ない、車両に車線修正ブレーキをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。

特にアクティブレーンキーピングアシストが警告しているときは、必ず交通状況に注意を払い車線内に保つようにしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

以下のときは、システムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります：

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や霧雨などにより、視界が悪い
- 対向交通、太陽または他の車両からの反射光などで眩惑がある（路面が濡れている場合など）
- フロントウィンドウが汚れていたり、曇っている、またはカメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 雪で覆われているなど、フロントまたはリアバンパー、またはラジエーターリムのレーダーセンサーが汚れている
- 工事エリアなどで1車線分の車線マークがまったくないか、または複数ある、不明瞭である
- 車線マークが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しくさまざまな日陰の状況がある

隣接する車線で車両が検知されず、破線の車線マークが検知されている場合は、車線修正ブレーキの適用はされません。

ステアリングの警告振動

前輪が車線マークを越えた場合は警告が行なわれます。警告はステアリングを1.5秒以内で振動させることにより行なわれます。

車線修正ブレーキの適用

⚠ 警告

車線修正ブレーキを適用しても車両が元の車線に戻るとは限りません。事故の危険性があります。

特に、アクティブレーンキーピングアシストが警告する、または車線修正ブレーキが適用される場合、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行ってください。

⚠ 警告

アクティブレーンキーピングアシストは、限られた範囲でしか交通状況および他の道路使用者を検知しません。まれに、実線の車線マークの上を故意に走行した後などにシステムによって適切でないブレーキが適用されることがあります。事故の危険性があります。

ステアリングを反対方向に軽く操作すると、適切でないブレーキの適用を中断できます。他の交通や障害物との距離が十分であることを常に確認してください。



特定の状況で車線から外れた場合には、車両の片側にブレーキが軽く効きます。これは、車両を元の車線に戻すように支援するためのものです。

車線修正ブレーキの適用が行なわれた場合は、マルチファクションディスプレイに表示 ① が表示されます。

実線または破線と検知された車線マークを越えて走行した後に、車線修正ブレーキの適用は行なわれます。これには、その前にステアリングの断続的な振動による警告が出されている必要があります。さらに、両側に車線マークのある車線が検知されていなければなりません。

破線の車線マークが検知されている場合は、隣接する車線で車両が検知された場合のみ車線修正ブレーキの適用が行なわれます。以下の車両はブレーキの適用に影響を与えることがあります：対向車

両、追い越そうとしている車両、およびお客様の車両と平行に走行している車両。

① 車両が元の車線に戻った後にのみ、次の車線修正ブレーキの適用が行なわれます。

以下の場合、車線修正ブレーキの適用は行なわれません：

- 明確に、および活発にステアリング操作、ブレーキ操作または加速を行なっている
- きついカーブの内側をまたいだ
- 高いコーナリング速度、または高い加速のスポーティーな走行を行なっている
- 方向指示灯を作動させた
- ESP[®]、PRE-SAFE[®]ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシストのような走行安全システムが介入した
- ESP[®]が解除されている
- トランスミッションがポジション D でない
- 走行している車線で障害物が検知された
- タイヤの空気圧の減少またはタイヤの不具合が検知され表示された

アクティブレーンキーピングアシストは、そのときの交通状況の判断を誤る可能性があります。以下の場合はいつでも、不適切なブレーキの適用は中断されます：

- ステアリングを反対方向に軽く操作する
- 方向指示灯を作動させる
- 明確にブレーキ操作またはアクセル操作を行なう

以下の場合、車線修正ブレーキの適用は自動的に中断されます：

- ESP[®]、PRE-SAFE[®]ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシス

トのような走行安全システムが介入した

- 車線マークが検知されなくなった

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- アクティブレーンキーピングアシストの作動

役に立つ情報	184
重要な安全上の注意事項	184
表示および操作	184
メニューおよびサブメニュー	186
ディスプレイメッセージ	187
メーターパネルの警告および表示 灯	196

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場
で情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

マルチファンクションディスプレイを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

⚠ 警告

メーターパネルに故障や異常がある場合は、安全性に関わる機能を認識することができません。走行安全性が損なわれる可能性があります。事故の危険性があります。

注意して運転してください。すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場
で点検を受けてください。

マルチファンクションディスプレイは、特定のシステムからのメッセージや警告のみを表示します。そのため、車両が安

全に作動していることを常に確認ください。

車両の走行安全性が損なわれている場合は、できるだけ早く車両を安全に駐車します。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

概要については、メーターパネルのイラストをご覧ください (▷ 34 ページ)。

表示および操作

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- エンジン冷却水温度計
- タコメーター
- セグメント付きスピードメーター
- マルチファンクションディスプレイ
- 外気温度計

マルチファンクションディスプレイの
操作

概要






- ① マルチファンクションディスプレイ
- ② 右側コントロールパネル
- ③ 左側コントロールパネル

▶ **マルチファンクションディスプレイを
作動させる：** エンジンスイッチのキー
を 1 の位置にまわします。

マルチファンクションステアリングのスイ
ッチを使用して、マルチファンクショ
ンディスプレイの表示と設定を操作する
ことができます。

左側コントロールパネル

- | | |
|---|--|
| ◀ | <ul style="list-style-type: none"> • メニューやメニューバーの呼
び出し |
| ▶ | |
| ▲ | <p>軽く押す：</p> <ul style="list-style-type: none"> • リストのスクロール • サブメニューや機能の選択 • Audio 20 装備車両：オーディオ
メニュー：プリセットリスト/
放送局リストが作動してい
るときの前/次の放送局、または
音楽トラックの選択 • COMAND システム装備車
両：オーディオメニュー：プリ
セットリスト/放送局リストが
作動しているときの前/次の放
送局、または音楽トラックま
たは画像シーンの選択 • TEL（電話）メニュー：電話
帳の表示、名前や電話番号の
選択 |
| ▼ | |
| ▲ | <p>押し続けて保持する：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Audio 20 装備車両：オーディオ
メニュー：高速スクロールを
使用しての、プリセットリス
ト/放送局リストが作動してい
るときの前/次の放送局リス
ト、または音楽トラックまた
は画像シーンの選択 • COMAND システム装備車
両：オーディオメニュー：高速ス
クロールを使用しての、希望
の周波数バンドでのプリセッ
トリストまたは放送局リスト、
または音楽トラックまたは画
像シーンの選択 • TEL（電話）メニュー：電
話帳を開いている場合は、高
速スクロールの開始 |
| ▼ | |







	<ul style="list-style-type: none"> • 選択/ディスプレイメッセージの確定 • TEL (電話) メニュー：電話帳への切り替えと発信の開始
	<p>軽く押す：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 戻る • 音声認識機能の停止（別冊の取扱説明書をご覧ください）。 • ディスプレイメッセージの消去/最後に使用した トリップ メニュー機能の呼び出し • 電話帳/発信履歴の終了
	<p>押して保持する：</p> <ul style="list-style-type: none"> • トリップ メニューの基本画面の呼び出し

デジタル版取扱説明書には、それぞれのメニューについてのさらなる情報が記載されています。

車両に装着されている装備に応じて、以下のメニューを呼び出すことができます：



- **トリップ** メニュー
- **ナビ** メニュー（ナビゲーションのメッセージ）
- **オーディオ** メニュー
- **TEL** メニュー（電話）
- **アシスト** メニュー（アシスタンス）
- **メンテナンス** メニュー
- **設定** メニュー（設定）
- AMG 車両の **AMG** メニュー

右側コントロールパネル

	<ul style="list-style-type: none"> • 通話の拒否、または終了 • 電話帳/発信履歴の終了
	<ul style="list-style-type: none"> • 発信、または受話 • 発信履歴への切り替え
	<ul style="list-style-type: none"> • 音量の調整
	
	<ul style="list-style-type: none"> • ミュート
	<ul style="list-style-type: none"> • 音声認識機能の作動（別冊の取扱説明書をご覧ください）

メニューおよびサブメニュー

メニュー概要

ステアリングの  または  スイッチを押してメニューバーを呼び出し、メニューを選択します。

マルチファンクションディスプレイの操作 (▷ 185 ページ)。

ディスプレイメッセージ

はじめに

全体的な注意事項

本項目では、安全に関わるディスプレイメッセージおよびその対応方法などについて記載しています。他のメッセージおよびその対応方法の記載については、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイメッセージは、マルチファンクションディスプレイに表示されます。取扱説明書では記号マークを伴うディスプレイメッセージを簡略化しているため、マルチファンクションディスプレイのマークと異なる場合があります。



ディスプレイメッセージの指示に従って対応し、この取扱説明書の追加の注意事項にも従ってください。

いくつかのディスプレイメッセージは、警告音、または連続音が伴います。

イグニッションをオフにしたときは、重要度の高い一部のメッセージを除いて、メッセージがすべて削除されます。重要度の高いディスプレイメッセージの原因が修正されると、同様にこれらのディスプレイメッセージも削除されます。

車両を駐停車するときは、ホールド機能 (▷ 163 ページ) および駐車 (▷ 146 ページ) についての注意事項に従ってください。

ディスプレイメッセージの非表示








- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、ディスプレイメッセージを非表示にします。

ディスプレイメッセージが消えます。

マルチファンクションディスプレイには、重要度の高いメッセージが赤色で表示されます。一部の重要度の高いディスプレイメッセージは非表示にはできません。これらのメッセージは、故障や異常の原因が解決するまでマルチファンクションディスプレイに常時表示されます。

メッセージメモリー

マルチファンクションディスプレイは特定のディスプレイメッセージを **メッセージメモリー** に保存します。ディスプレイメッセージを呼び出すことができます。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、マルチファンクションディスプレイのメニューから **メッセージ** を選択します。
メッセージがある場合は、ディスプレイに **メッセージ 2** のように故障の件数が表示されます。
- ▶  または  スイッチを押して、**メッセージ 2** を選択します。
- ▶ 押して  確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、ディスプレイメッセージをスクロールします。

安全システム

ディスプレイメッセージ


考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



現在 使用できません
取扱説明書を参照

ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)、ESP[®] (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)、BAS (ブレーキアシスト)、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルススタートアシストが一時的に作動しない。

アダプティブブレーキライト、BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス) および PRE-SAFE[®] ブレーキも故障している。

メーターパネルの警告灯 、、 も点灯している。

アテンションアシストが解除されている。

例えば、バッテリーの電圧が不十分なことがある。

⚠ 警告

ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。

ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。

ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

▶ 注意して運転してください。

ディスプレイメッセージが消えた場合は、上記の機能が再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージが表示され続ける場合：

▶ 注意して運転してください。





▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。






作動できません 取扱
説明書を参照

故障のため、ABS、ESP[®]、BAS、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルススタートアシストが作動しない。

アダプティブブレーキライト、BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス) および PRE-SAFE[®] ブレーキも故障している。

さらに、メーターパネルの 、、、 警告灯も点灯している。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>アテンションアシストが解除されている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。</p> <p>ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。</p> <p>ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 注意して運転してください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
<p> 作動できません 取扱説明書を参照</p>	<p>故障のため、ESP[®]、BAS、PRE-SAFE[®]、ホールド機能、ヒルスタートアシストが作動しない。</p> <p>アダプティブブレーキライト、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）および PRE-SAFE[®] ブレーキも故障している。</p> <p>さらに、メーターパネルの警告灯  と  も点灯している。</p> <p>例えば、自己診断がまだ完了していないことがある。</p> <p>アテンションアシストが解除されている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。</p> <p>緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。</p> <p>ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ




考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



作動できません 取扱
説明書を参照

故障のため、EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）ABS、ESP[®]、BAS、PRE-SAFE[®]、ホールド機能およびヒルスタートアシストが作動しない。

アダプティブブレーキライト、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）および PRE-SAFE[®] ブレーキも故障している。

さらに、メーターパネルの警告灯  と 、 も点灯し、警告音が鳴った。

⚠ 警告




ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。







ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。


ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<div data-bbox="120 212 199 252" data-label="Image"></div> <p data-bbox="115 260 352 323">ブレーキ液レベル 点検してください</p>	<p data-bbox="370 209 1031 309">ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。さらに、メーターパネルの赤色の  警告灯も点灯し、警告音も鳴った。</p> <p data-bbox="370 328 477 357">▲ 警告</p> <p data-bbox="370 371 865 435">ブレーキ性能が損なわれることがあります。事故の危険性があります。</p> <ul data-bbox="370 451 1031 719" style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けないでください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。 ▶ ブレーキ液を補給しないでください。これを行っても問題は解消しません。
<div data-bbox="120 754 199 802" data-label="Image"></div> <p data-bbox="115 810 352 866">SRS システム 故障 工場点検</p>	<p data-bbox="370 751 1031 815">乗員保護装置が故障している。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p data-bbox="370 834 477 863">▲ 警告</p> <p data-bbox="370 877 1031 978">エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <ul data-bbox="370 994 1031 1090" style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。乗員保護補助装置についての追加情報に注意してください (▶ 44 ページ)。
<div data-bbox="120 1121 199 1169" data-label="Image"></div> <p data-bbox="115 1177 352 1329">フロント左 SRS システム故障 工場点検またはフロント右 SRS システム故障 工場点検</p>	<p data-bbox="370 1118 1031 1182">フロント左側またはフロント右側の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p data-bbox="370 1201 477 1230">▲ 警告</p> <p data-bbox="370 1244 1031 1345">エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <ul data-bbox="370 1361 1031 1385" style="list-style-type: none"> ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>リア左 SRS システム故障 工場で点検またはリア右 SRS システム故障 工場で点検</p>	<p>リア左側またはリア右側の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>リア中央 SRS システム故障 工場で点検</p>	<p>リア中央の乗員保護装置に異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>
 <p>左ウインドウバッグ故障 工場で点検または右ウインドウバッグ故障 工場で点検</p>	<p>左側または右側のウインドウバッグに故障がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>左側または右側のウインドウバッグが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。</p>

エンジン	
ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>冷却水が減少 停車して エンジンを停止</p>	<p>冷却水が熱すぎる。 警告音も鳴った。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンがオーバーヒートしているときに走行すると、エンジンルームにフルード類が漏れて、引火するおそれがあります。</p> <p>ボンネットを開くことにより、オーバーヒートしたエンジンからの蒸気により重度の火傷を負うおそれがあります。けがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ エンジンが冷えるまで待ってください。 ▶ 凍った泥などにより、ラジエターへの送風が遮られていないことを確認してください。 ▶ ディスプレイメッセージが消え、冷却水温度が 120 °C 以下になるまではエンジンを再始動しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。 ▶ 冷却水温度表示に注意してください。 ▶ 冷却水温度が再び上昇する場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。 <p>通常の使用条件下で指定の冷却水レベルでは、冷却水温度が 120 °C まで上がる可能性があります。</p>

タイヤ

ディスプレイメッセージ

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

タイヤ空気圧
タイヤを点検してく
ださい

タイヤ空気圧警告システムがタイヤからの急激な空気の漏れを検知した。

警告音も鳴った。

考えられる原因：

- ホイールおよびタイヤの位置を変更した、または新しいホイールおよびタイヤを取り付けた
- 1本または複数のタイヤ空気圧が正しくない




△ 警告




空気圧不足のタイヤは以下のような危険をもたらします：

- 負荷や車両の速度が上昇すると特に、タイヤがバーストすることがあります。
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が著しく損なわれることがあります。
- 走行特性、およびステアリング操作やブレーキ操作が著しく損なわれることがあります。

事故の危険性があります。

- ▶ 急ハンドルや急ブレーキを避けて停車してください。そのときは、交通状況に注意してください。
- ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。
- ▶ タイヤを点検し、必要な場合は、パンクしたときの指示に従ってください (▶ 253 ページ)。
- ▶ タイヤ空気圧を点検し、必要な場合は、タイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 適正なタイヤ空気圧に調整した後に、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください (▶ 279 ページ)。

車両	
ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シフトポジションが P ではないため 車が動く恐れがあります	<p>運転席ドアが開いている/完全に閉じていない、およびトランスミッションがポジション R、N または D にある。 警告音も鳴った。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>車両が動き出すおそれがあります。 事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ トランスミッションをポジション P にシフトしてください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ 運転席ドアを完全に閉じてください。
	<p>CLS Shooting Brake : テールゲートが開いている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>テールゲートが開いている場合は、エンジンがかかっているときに排気ガスが車内に入るおそれがあります。 中毒の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ テールゲートを閉じてください。
 また は 	<p>ボンネットが開いている。警告音も鳴った。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>車両が動いているときは、開いたボンネットで視界が遮られることがあります。 事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ ボンネットを閉じてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 左リアバックレストロックされています または右リアバックレストロックされていません	左側または右側の後席のバックレストがロックされていない。警告音も鳴った。 ▶ ロックされるまで、バックレストを後方に押ししてください。
 左フロントバックレストロックしてください または右フロントバックレストロックしてください	運転席または助手席のバックレストがロックされていない。警告音も鳴った。 ▶ ロックされるまで、バックレストを後方に押ししてください。
 パワーステアリング故障 取扱説明書を参照	パワーステアリングのアシストが故障している。警告音も鳴った。 ▲ 警告 ステアリング操作に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。 ▶ 必要とされる大きな力を加えることができるかどうかを確認してください。 ▶ 安全にステアリング操作ができる場合 ：慎重にメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。 ▶ 安全にステアリング操作ができない場合 ：走行を続けしないでください。最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。



メーターパネルの警告および表示灯

全体的な注意事項

この章では、メーターパネルに表示される安全に関わる表示灯と警告灯および対応方法について説明しています。メーターパネルに表示される他の表示灯と警告灯の概要および対応方法については、デジタル版取扱説明書をご覧ください。



安全性


シートベルト



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> エンジンを始動した後、運転席ドアまたは助手席ドアを閉じるとすぐに、赤色のシートベルト警告灯が点灯する。</p>	<p>運転者または助手席乗員がシートベルトを着用していない。</p> <p>▶ シートベルトを着用してください (p 48 ページ)。 警告灯が消灯します。</p> <p>助手席シートの上に荷物を置いている。</p> <p>▶ 助手席シートから物を取り除き、安全な場所に収納してください。 警告灯が消灯します。</p>
<p> 赤色のシートベルト警告灯が点滅し、断続的な警告音も鳴った。</p>	<p>運転者または助手席乗員がシートベルトを着用していない。同時に、25 km/h 以上の速度で走行しているか、または速度が一時的に 25 km/h を超えた。</p> <p>▶ シートベルトを着用してください (p 48 ページ)。 警告灯が消灯し、警告音も停止します。</p> <p>助手席シートの上に荷物を置いている。同時に、25 km/h 以上の速度で走行しているか、または速度が一時的に 25 km/h を超えた。</p> <p>▶ 助手席シートから物を取り除き、安全な場所に収納してください。 警告灯が消灯し、警告音も停止します。</p>



安全システム



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>㊦</p> <p>エンジンがかかっている間に黄色のブレーキシステム警告灯が点灯する。</p>	<p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキシステムが故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えることがあります。事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されているときは、そのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
<p>㊦</p> <p>エンジンがかかっているときに赤色のブレーキ警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキの倍力装置が故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えることがあります。事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けないでください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。 ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
<p>㊦</p> <p>エンジンがかかっているときに赤色のブレーキ警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキ性能が損なわれることがあります。事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行を続けないでください。 ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。 ▶ ブレーキ液を補給しないでください。補給しても問題は解消しません。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。 ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> エンジンがかかっているときに黄色のABS 警告灯が点灯する。</p>	<p>ABS (アンチロック・ブレーキング・システム) に異常があるため、機能が解除されている。そのため、例えば BAS (ブレーキアシスト)、BAS プラス (飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)、ESP[®] (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトも解除されている。 アテンションアシストが解除されている。</p> <p> 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがあります。</p> <p>ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。</p> <p>ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。 <p>ABS コントロールユニットが故障している場合は、ナビゲーションシステム、オートマチックトランスミッションのような他のシステムも作動しなくなることがあります。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色のABS警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>故障のため、EBDが作動しない。そのため、例えばABS、BAS、BASプラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、ESP[®]、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトも作動しない。 アテンションアシストが解除されている。</p> <p>▲ 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。 ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。</p> <p>ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに赤色のブレーキ警告灯、黄色のESP[®]およびESP[®]解除警告灯、黄色のABS 警告灯が点灯する。</p>	<p>故障のため、ABS および ESP[®]が作動しない。そのため、例えばBAS、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、EBD、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトも作動しない。アテンションアシストが解除されている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがあります。</p> <p>ステアリング操作やブレーキ特性が著しく影響を受けることがあります。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。</p> <p>ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 <p>走行中に黄色のESP[®]警告灯が点滅する。</p>	<p>車両が横滑りをする危険性があるか、少なくとも1つの車輪が空転し始めているため、ESP[®]やトラクションコントロールが作動している。</p> <p>クルーズコントロールやディストロニック・プラスは解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。 ▶ 走行中は緩やかに加速してください。 ▶ 路面と天候の状態に運転スタイルを合わせてください。 ▶ ESP[®]を解除しないでください。 <p>まれな場合に(▶ 186 ページ)(▶ 186 ページ)、ESP[®]を解除した方がよいこともあります。</p> <p>ESP[®]についての重要な安全上の注意事項に従ってください(▶ 81 ページ)。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色のESP[®]解除警告灯が点灯する。</p>	<p>ESP[®]が解除されている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ESP[®]が解除されている場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <p>▶ ESP[®]を再度設定してください。 まれな場合に(▶ 186 ページ)(▶ 186 ページ)、ESP[®]を解除した方がよいこともあります。 ESP[®]についての重要な安全上の注意事項に従ってください (▶ 81 ページ)。</p> <p>▶ 路面と天候の状態に運転スタイルを合わせてください。 ESP[®]を設定することができない場合：</p> <p>▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのESP[®]の点検を受けてください。</p>
 <p>AMG 車両のみ： エンジンがかかっているときに黄色のスポーツハンドリングモード警告灯が点灯する。</p>	<p>スポーツハンドリングモードになっている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>スポーツハンドリングモードが作動しているときは、ESP[®]は車両を安定させることができません。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <p>▶ "スポーツハンドリングモードの設定/解除"の項目に記載されている条件に従っているときにのみ、スポーツハンドリングモードに設定してください (▶ 83 ページ)。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色のESP[®]およびESP[®]解除警告灯が点灯する。</p>	<p>故障のため、ESP[®]、BAS、BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）、PRE-SAFE[®]、PRE-SAFE[®] ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトが作動しない。アテンションアシストが解除されている。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>ブレーキは通常通り作動しますが、上記の機能は作動しません。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがあります。ESP[®]が作動しない場合は、ESP[®]が車両を安定させることができません。横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場をお訪ねください。
 <p>エンジンがかかっているときに赤色の乗員保護装置警告灯が点灯する。</p>	<p>乗員保護装置が故障している。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しないことがあります。けがの危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ ただちに乗員保護補助装置をメルセデス・ベンツ指定サービス工場点検してください。 <p>乗員保護補助装置についての追加情報に注意してください (▷ 44 ページ)。</p>

エンジン

トラブル



エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。警告音も鳴った。

考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

冷却水温度が 120 °C を超えている。エンジンラジエターへの送風が遮られているか、冷却水レベルが低すぎることもある。

⚠ 警告



エンジンが十分に冷却されないため、エンジンが損傷するおそれがある。

エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンがオーバーヒートしているときに走行すると、エンジンルームにフルード類が漏れて、引火するおそれがあります。

さらに、ボンネットを開くことにより、オーバーヒートしたエンジンからの蒸気により重度の火傷を負うおそれがあります。

けがのおそれがあります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイの追加のディスプレイメッセージに従ってください。
- ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。
- ▶ 車両から降り、エンジンが冷えるまで車両から安全な距離を確保してください。
- ▶ 注意事項に従って、冷却水レベルを点検し、冷却水を補給してください (▶ 243 ページ)。
- ▶ 頻繁に冷却水を補給する必要がある場合は、エンジン冷却システムの点検を受けてください。
- ▶ 凍った泥などにより、ラジエターへの送風が遮られていないことを確認してください。
- ▶ 冷却水温度が 120 °C 以下の場合は、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行を続けることができます。
- ▶ そのときは、山道の走行や発進/停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

走行システム	
トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 車両が動いている間に赤色の距離警告灯が点灯する。	選択された速度に対し、先行車両との距離が近すぎる。 ▶ 距離を広げてください。
 車両が動いている間に赤色の距離警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	同じ走行車線にいる車両または静止している障害物に急速に接近している。 ▶ ただちにブレーキをかける準備をしてください。 ▶ 交通状況に注意して運転してください。ブレーキ操作や危険回避操作が必要となることがあります。 PRE-SAFE® ブレーキについての追加情報に注意してください (p. 85 ページ)。

全体的な注意事項	208
重要な安全上の注意事項	208
機能の制限	208
Audio 20/COMAND システム 操作システム	209

全体的な注意事項

本取扱説明書の COMAND システムの項目には、COMAND システムを操作するための基本的な概要が記載されています。さらなる情報はデジタル版取扱説明書をご覧ください。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMAND システムを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

COMAND システムは、例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します：

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他、道路や交通ルール、規則

COMAND システムは地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、道が変更されたり、または一方通行の方向が変更になったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則に常に従ってください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

わずか 50 km/h の速度でも、車両は 1 秒あたり約 14 m の距離を進むことを念頭においてください。

機能の制限

安全上の理由のため、車両が動いている間はいくつかの機能が制限されたり、利用できません。このことは、例えば、いくつかのメニュー項目が選択できなかったり、このことに関してのメッセージが表示されることで、確認できます。

Audio 20/COMAND システム操作システム

概要

構成部品



- ① ディスプレイ
- ② Audio 20/COMAND コントロールパネル
- ③ コントローラーおよびスイッチ

COMAND システムは、以下のもので構成されています：

- ディスプレイ
 - シングルディスクドライブ付き COMAND コントロールパネル
 - コントローラーおよびスイッチ
 - センターコンソールの USB またはメディアインターフェース用の 2 つの接続オプション
- iPod® は USB ケーブル経由で接続されます。

機能

- **FM ラジオ/AM ラジオ (交通情報)**
インターネットラジオ。通信をご覧ください。
- **メディア**
 - COMAND システムのメディアサポート：オーディオ CD、MP3 CD、DVD ビデオ、USB またはメディアインターフェース (例：iPod®) 用の 2 つの接続オプション、SD カード、Bluetooth オーディオ

Audio 20 のメディアサポート：シングルディスクドライブが使用可能な場合：オーディオ CD および MP3 CD、USB またはメディアインターフェース (例：iPod®) 用の 2 つの接続オプション、SD カード、Bluetooth オーディオ

メディアインターフェースが使用可能な場合は、iPod®を USB に直接接続することができます。

- 電子番組ガイド (EPG)、放送局切り替え、BML データ受信、字幕、追加情報 (字幕スーパー) および言語選択オプション、放送メール、緊急警告システムのあるテレビおよびラジオ放送局のデジタルテレビ受信
- すべてのメディアを使用したミュージックサーチ

• サウンドシステム

以下の 2 つのサウンドシステムから選択できます：

- harman/kardon® Logic 7® サウンドサウンドシステム
- Bang & Olufsen BeoSound AMG サウンドシステム (COMAND システム)

• ナビゲーションシステム

- ハードドライブによるナビゲーション (COMAND システム)
- キーワード検索 (COMAND システム) を使用しての目的地入力
- 都市モデルを再現したリアルな 3D 地図
- 目的地入力またはブラウザーを使用するのトラベルガイド (COMAND システム)
- コンパス表示などのナビゲーション機能 (COMAND システム)
- VICS/DSRC での渋滞回避探 (COMAND システム)
- ETC 経由での料金収受

• 通信

- 文字メッセージを読む (Audio 20)
- アドレス帳 (COMAND システム)
- インターネットブラウザー
- Google™ ローカル検索、目的地/ルートダウンロード、天気、

Facebook、Google™ ストリートビュー、インターネットラジオ、株価、ニュースなどのある Mercedes-Benz Apps

- メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト
- スマートフォンを COMAND システムに接続するための WiFi インターフェース
- お客様の携帯電話を使用してインターネットにアクセスできるようにするための、タブレット PC またはラップトップ接続用 WiFi ホットスポット機能

• 車両機能 (COMAND システム)

- アンビエントライトおよびロケイターライトなどの車両設定
- 360° カメラシステム (使用可能な場合)
- リアビューカメラ (使用可能な場合)
- 空気清浄機能
- ランバー、マッサージ機能およびドライビングダイナミックシートのようなシート機能 (使用可能な場合)

• 車両機能 (Audio 20、使用可能な場合)

- アンビエントライトおよびロケイターライトなどの車両設定
- 360° カメラシステム
- リアビューカメラ
- 空気清浄機能
- ランバー、マッサージ機能およびドライビングダイナミックシートのようなシート機能

• お気に入りスイッチ (使用可能な場合)

コントローラーのお気に入りスイッチを使用して、お気に入り機能に素早くアクセスします。

ディスプレイ

全体的な注意事項

! 収納のためにディスプレイの前のスペースを使用しないでください。ここに置かれたものにより、ディスプレイを損傷したり、機能が損なわれることがあります。ディスプレイの表面に直接触れないようにしてください。ディスプレイの表面にかかる力で、復元できないような損傷をディスプレイに与えるおそれがあります。

偏光サングラスを着用するとディスプレイの視認性が損なわれることがあります。ディスプレイは温度制御による自動スイッチオフの機能があります。気温が高すぎると、明るさは自動的に低下します。少しの間ディスプレイが完全にオフになることがあります。

概要



例は、COMAND システムの SD メモリーカードモードでの表示を示しています。

画面の一番上のステータスバーには、設定に応じて時計や他の表示が表示されます。

その下に、基本表示欄が表示されます。

エアコンディショナーを操作した場合は、エアコンディショナーのステータス表示が短時間表示されます。

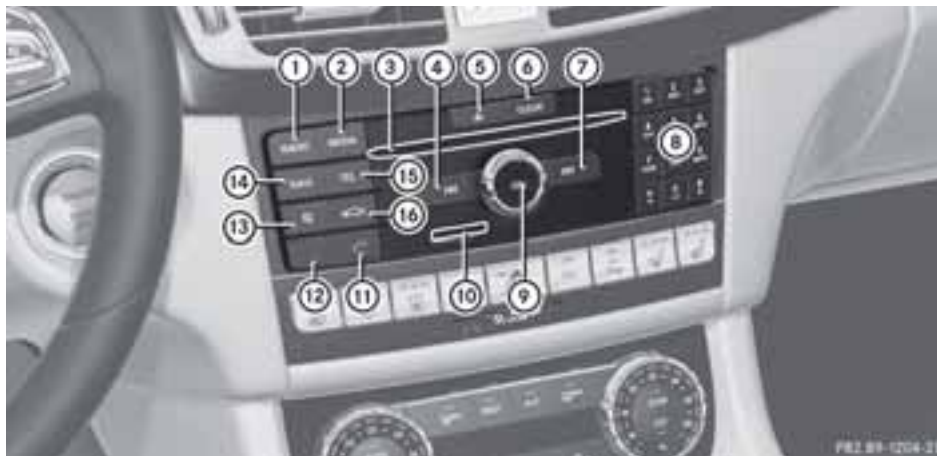
手入れの説明











! ディスプレイには触れないでください。ディスプレイはとても繊細な高光沢の表面のため、損傷するおそれがあります。画面をきれいにする場合には、中性洗剤と柔らかく毛羽の立たない布を使用してください。















清掃を始める前に、ディスプレイをオフにして、冷ましてください。必要なときは市販のマイクロファイバークロスと TFT/LCD ディスプレイ用の洗剤でディスプレイ画面を清掃してください。ディスプレイの復元不可能な損傷の原因になるおそれがあるため、清掃するときはディスプレイ表面に力を加えないでください。そして乾いたマイクロファイバーの布で表面を拭き取ってください。










アルコール性シンナーや、ガソリン、研磨洗剤を使用しないでください。ディスプレイの表面を損傷するおそれがあります。







COMAND コントロールパネル



機能	ページ
① ラジオモードに切り替える ラジオメニューの呼び出し	 
② 最後に選択したメディアモードの作動 メディアメニューの呼び出し	 
③ シングル CD/DVD ドライブへのディスクの挿入および取り出し	
④ 放送局リストから以前の放送局を選択する トラックを後にスキップする 早戻しする	  
⑤ CD/DVD の格納/排出  シングルディスクドライブ	
⑥ クリアスイッチ ・文字を削除する ・項目を削除する	214

機能	ページ
⑦ 放送局リストから次の放送局を選択する トラックを前にスキップする 早送り	  
⑧ テンキー ・放送局の保存 ・携帯電話の認証 ・電話番号を入力する ・連絡先の検索 ・文字を入力する  現在再生されているトラックの表示 (データキャリアのトラック情報がサポートされている場合)  周波数を手動で入力して放送局を選択する  トラックを選択する	       

機能	ページ
⑨ COMAND システムの作動/停止の切り替え 音量の調整	 
⑩ SD メモリーカードの挿入/取り出し	
⑪ 通話を受ける 電話を発信する リダイヤル 既存の通話中に通話を受ける（応答保留）	   
⑫ 通話を拒否する 通話を終える	 

機能	ページ
⑬ サウンドのオン/オフを切り替える ナビゲーションの音声案内を停止する	 
⑭ ナビゲーションモードに切り替える ナビゲーションシステムメニューの呼び出し	 
⑮ 電話メニューの呼び出し	
⑯ 車両設定の呼び出し	

スイッチおよびコントローラー

概要



- ① クリアスイッチ
- ② ディスプレイのオン/オフ
- ③ お気に入りスイッチ（使用可能な場合）
- ④ リターンスイッチ
- ⑤ コントローラー

車両によっては、②の位置にシート機能スイッチが装備されていることがあります。






AMG 車両：コントローラーにスイッチ ① および ④ が装備されています。

コントローラー


センターコンソールのコントローラーにより、以下を行なうことができます：



- ディスプレイのメニュー項目を選択する
- 文字を入力する
- 地図で目的地を選択する
- 入力を保存する

コントローラーでは、以下のことができません：



- まわす 
- 左右にスライドする 
- 前後にスライドする 
- 斜めにスライドする 
- 軽く押す、または押して保持する 

リターンスイッチ


 スイッチを使用してメニューを終了したり、現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

- ▶ **メニューを終了する**： スイッチを軽く押します。
Audio 20/COMAND システムは現在の操作モードの中で1つ上のメニューレベルに切り替わります。
- ▶ **基本画面を呼び出す**：2秒以上  スイッチを押します。
Audio 20/COMAND システムは現在の操作モードの基本画面に切り替わります。

クリアスイッチ

- ▶ **個々の文字を削除する**： スイッチを軽く押します。
- ▶ **入力全体を削除する**： スイッチを押して保持します。

お気に入りスイッチ


あらかじめ設定されている機能をお気に入りスイッチ  に指定して、スイッチを押すことにより、それらを呼び出すことができます。

ディスプレイオフスイッチ


このスイッチで、ディスプレイのオン/オフを切り替えることができます。

車両設定の呼び出し



車両設定の呼び出し

- ▶ センターコンソールの  スイッチを押します。
または
- ▶ 基本機能バーで **車両** を押します。
車両メニューが表示されます。
- ▶ **車両設定** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
車両設定 メニューが作動します。
- ▶ 希望する車両設定を選択する：コントローラーをまわして、押します。
設定項目のあるメインエリアが作動します。

他の車両設定の選択：

- ▶ 車両設定を選択するためのメニューを作動させる：コントローラーをスライドします 。

車両設定の終了：

- ▶ ディスプレイで  を選択する：コントローラーをスライドして  を押します。

ナビゲーション

はじめに

重要な安全上の注意事項

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時のみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

ナビゲーションシステムを操作するとき、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

全体的な注意事項

COMAND システムを使用しているナビゲーションについてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

GPSを受信することにより、ナビゲーションシステムは正しく機能します。トンネル内や立体駐車場にいるときなど、いくつかの状況では、GPSの受信に障害が生じたり、干渉があったり、またはまったく受信できないことがあります。5 km/h 以上の車両速度では、データ入力は制限されます。

i ルーフラックが使用されている場合は、ルーフアンテナ（電話、GPS）の機能が損なわれることがあります。

ナビゲーションモードへの切り替え

- ▶ **[NAVI]** スイッチを押します。
地図に現在の車両位置が表示されます。

メニューの表示/非表示

- ▶ 表示する：地図が表示されているときに、コントローラーをスライドします
⊙↓。
- ▶ 非表示にする：**[←]** スイッチを押します。

目的地の検索

目的地検索オプション

住所検索
施設（ガソリンスタンド、レストランなど）の検索
さまざまな地点の施設（ガソリンスタンド、レストランなど）の検索
電話番号を使用して検索する
アルファベットまたはかな検索（設定されているシステム言語によります）
郵便番号を使用して検索する
メモリ地点での検索
以前の目的地を検索する
連絡先の検索
Mercedes-Benz Apps 条件：データパッケージ付き携帯電話がCOMANDシステムに接続されている。

- ▶ ステップ 1：オプションの 1 つを使用して目的地を検索します。
- ▶ ステップ 2：**設定**を使用して、クロスカーソルのある地図で目的地を選択します。
目的地が設定されます。ルートが検索されます。
- ▶ ステップ 3：全ルート図でルート案内を開始します。

ルート案内



COMAND システムは、ナビゲーションの案内およびルート案内表示で目的地まで案内します。

i 実際の道路/交通状況がデジタル地図のデータと一致しない場合は、COMAND システムは適切でないナビゲーション案内を行なうことがあります。道路や交通ルール、規則は常に、システムの推奨走行に優先します。



進路変更の前および間は、ディスプレイ左側に地図が、分岐点表示または 3D 画像が右に表示されます。複数車線道路の表示の下に、推奨車線（白色の矢印）が表示されることがあります。

ナビゲーションの音声案内

- ▶ 音量を調整する：ナビゲーションの音声案内中にコントロールノブ  をまわします。
- ▶ オフにする：ナビゲーションの音声案内中に、COMAND コントロールパネルの  スイッチを押します。
- ▶ オンにする：コントローラーを押します。
- ▶ 特別なナビゲーションの音声案内のオン/オフを切り替える：メニューを表示します。(▷ 215 ページ)
- ▶ **ナビゲーション** を選択します。
- ▶ **設定** を選択します。
- ▶ **音声** を選択します。
以前の設定によって、機能がオン またはオフ のいずれかに切り替わります。
例えばカーブまたは危険な交差点の前、または学校に接近しているときにナビゲーションの音声案内が聞こえます。

ルート情報

- ▶ メニューを表示します (▷ 215 ページ)。
- ▶ **ルート** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **ルート情報** を選択します。


ルート案内の中止/継続

- ▶ コントローラーを押します。
- ▶ **目的地** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **案内中止** または **ルート案内を継続** を選択します。

VICS/DSRC での渋滞回避探索

車両に適切な装備がある場合は、COMAND システムは VICS データを受信して表示し、ルート案内に考慮することができます。

渋滞回避探索のオン/オフを切り替える

- ▶ ナビゲーションモードに切り替える：
NAVI スイッチを押します。
- ▶ メニューを表示する：コントローラーをスライドします  ↓。
- ▶ **ナビゲーション** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **設定** を選択します。
- ▶ **渋滞回避探索** を選択します。
以前の設定によって、機能がオン またはオフ のいずれかに切り替わります。

地図の表示をオンにする

- ▶ メニューを表示します (▷ 215 ページ)。
- ▶ **ナビゲーション** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **VICS 表示** を選択します。
- ▶ 例えば **VICS 高速道** を選択します。
VICS 表示のオン またはオフ を切り替えます。



VICS 交通案内を表示する

- ▶ メニューを表示します (▷ 215 ページ)。
- ▶ **VICS** を選択する：コントローラーをまわして、押します。

- ▶ 例えば、VICS 光ビ-ジョン を選択します。受信した VICS 交通情報を表示することができます。
- ▶ VICS 交通情報を表示する：メニュー項目を選択します。

地図機能






地図の縮尺を設定する

条件：地図が全画面モードになっていて、メニューが非表示になっている (▶ 215 ページ)。

- ▶ 希望の縮尺が設定されるまで、コントローラーをまわします。

地図を動かす

条件：地図が全画面モードになっていて、メニューが非表示になっている (▶ 215 ページ)。

- ▶ コントローラーをスライドします
 、  または 。
 クロスカーソルが表示されます。クロスカーソルの下で、対応する方向に地図が動きます。



地図縮尺によっては、地図が動いたときに隣接している区または都道府県が表示されます。

- i** コントローラーを押すと、地図上の目的地が選択されます。

地図向きの選択

- ▶ メニューを表示します (▶ 215 ページ)。
- ▶ **ナビ** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **地図表示切替** を選択します。
 ドット・は、現在の設定を示しています。
- ▶ コントローラーをまわして、押します。
 地図の向きが設定されます。

日本語と英語の地図を切り替える



- ▶  スイッチを押します。
- ▶ **設定** を選択する：コントローラーをスライドしてから 、まわして、押して確定します。
- ▶ **言語 / Language** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **英語** または **日本語** を選択します。

携帯電話の接続/切断

条件

Bluetooth®インターフェース経由での電話機能には、Bluetooth®対応の携帯電話が必要です。携帯電話は、ハンズフリープロファイル 1.0 以上に対応している必要があります。

COMAND システムで Bluetooth®を作動させる

- ▶ センターコンソールの  スイッチを押します。
車両 メニューが表示されます。
- ▶ **設定** を選択する：コントローラーをスライドしてから 、まわして、押して確定します。
- ▶ **Bluetooth 切** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
 これにより、Bluetooth®が作動 、または解除 に切り替わります。

携帯電話上で

- ▶ そうするように促されたときは、携帯電話をオンにして、PIN を入力します (メーカーの取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ Bluetooth®を、そして必要な場合は他の機器の Bluetooth®探索を作動させます (メーカーの取扱説明書をご覧ください)。

一部の携帯電話では、この探索に時間の制限があります（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。

- ▶ 必要な場合は携帯電話の Bluetooth® 機器名を設定します。

1 つのメーカーの製品のすべての Bluetooth® 機器名が同じであることがあります。お客様の携帯電話を明確に特定できるようにするためには、機器名を変更してください（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。名前は自由に選択できます。

携帯電話が PBAP（Phone Book Access Profile）および MAP（Message Access Profile）Bluetooth® プロファイルをサポートしている場合は、接続した後に以下の情報が転送されます：

- 電話帳
- 通話リスト
- メッセージ

誤作動を防ぐため、携帯電話の電池は常に十分に充電しておく必要があります。

i 市販の携帯電話がすべて適合するわけではありません。適合する携帯電話についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

i 一部の表示（電波の強度など）は、対応するハンズフリープロファイルのバージョンによって異なります。

手順および一般的な情報

携帯電話の検索および認証（接続）

初めて携帯電話を COMAND システムで使用する前に、携帯電話を検索して（▶ 218 ページ）、それを認証する必要があります（▶ 219 ページ）。携帯電話によって、セキュアシンプルペアリングによって、またはパスキーを入力する事によって認証が行なわれます。使用可能な

携帯電話に応じて、COMAND システムは自動的に処理を行いません。携帯電話と COMAND システムにコードが表示されることによりセキュアシンプルペアリングを認識することができます。携帯電話および COMAND システムにコードを入力しなければならないという事実によりパスキーのシステムを認識できます。認証後に携帯電話は常に自動的に接続されます。

COMAND システムが携帯電話を検知しない場合は、携帯電話の特別なセキュリティの設定によるものかもしれません。携帯電話で検索処理および認証を開始することもできます（▶ 220 ページ）。

Bluetooth® 対応携帯電話の認証および接続についての機器ごとの情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

最大 15 台の携帯電話を認証できます。一度に 1 台のみの携帯電話を COMAND システムに接続できます。


携帯電話の認証の解除（切断）

COMAND システムの受信範囲から離れる、または携帯電話で Bluetooth® を解除した場合は、接続は自動的に終了します。


Bluetooth® 接続を自動的に確立したくない場合は、携帯電話の認証を解除（切断）しなければなりません（▶ 221 ページ）。

携帯電話を検索する



- ▶ 電話メニューを呼び出す：[TEL] スイッチを押します。
- ▶ 電話メニューでメニューバーに切り替える：コントローラーをスライドします 。
- ▶ **接続デバイス** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。デバイスリストが表示されます。
- ▶ **電話検索** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
携帯電話で Bluetooth® が作動していて、他の機器に探索できるようにしなければならないというメッセージが表示されます。
- ▶ **検索開始** を選択する：コントローラーを押します。
使用可能な携帯電話がデバイスリストに表示されます。



検索にかかる時間は、通信可能距離内にある Bluetooth® 対応携帯電話の台数とその特性によって異なります。

新しい電話が見つかった場合は、デバイスリストに  マークで表示されます。ここで、見つかった携帯電話を認証（接続）できます（▶ 219 ページ）。

デバイスリストがすでにいっぱいの場合には、携帯電話の認証を解除するように要求されます（▶ 221 ページ）。

デバイスリストを再度呼び出すときは、認証を解除された機器はリストから外されます。デバイスリストを更新するためには、検索を再度開始します。

デバイスリストのマーク

マーク	説明
	検索されているが、まだ認証されていない新しい携帯電話。
	認証されているが、接続されていない携帯電話。
•	認証されていて、接続されている携帯電話。

携帯電話の認証（接続）

セキュアシンプルペアリングを使用しての認証

COMAND システムがおお客様の携帯電話を見つけた場合は、認証（接続）することができます。

- ▶ 携帯電話をデバイスリストから選択するためには、コントローラーをまわして、押して確定します。
COMAND システムと携帯電話にコードが表示されます。

コードが同一である

- ▶ **COMAND システム**： **はい** を選択します。
- ▶ **携帯電話**： コードを確定します。使用している携帯電話によって、COMAND システムへの、および PBAP や MAP Bluetooth® プロファイル用の接続の確定を行なわなければならないことがあります。確認メッセージが表示されるまでは、表示されるのに最大で 2 分かかることがあります。携帯電話の確認を保存することもできます（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。
携帯電話が認証され、COMAND システムに接続されます。ハンズフリーシステムを使用して会話することができます。

携帯電話の送受信の音量についてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

コードが異なる

- ▶ **COMAND システム**： **いいえ** を選択します。
処理が中止されます。認証を繰り返します。

パスキー（パスコード）を入力することによる認証

COMAND システムがお客様の携帯電話を見つけた場合は、認証（接続）することができます。

- ▶ 希望する携帯電話の Bluetooth® 名をデバイスリストで選択する：コントローラーをまわして、押します。
パスキーの入力メニューが表示されます。

パスキーは、任意で選択できる 1～16 桁の数字の組み合わせです。

- ▶ **COMAND システム**： 文字バーを使用してパスキーを入力します。
- ▶ すべての数字を入力した後に、 **[ok]** を選択します。
- ▶ **携帯電話**： 同じパスキーを入力し、入力を確定します。使用している携帯電話によって、COMAND システムへの、および PBAP や MAP Bluetooth® プロファイル用の接続の確定を行わなければならないことがあります。確認メッセージが表示されるまでは、表示されるのに最大で 2 分かかることがあります。携帯電話の認証を保存することもできます（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。携帯電話が認証され、COMAND システムに接続されます。ハンズフリーシステムを使用して会話することができます。

携帯電話の送受信の音量についてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

認証できませんでした というメッセージが表示された場合は、異なるパスキーを入力したか、または規定された時間制限を超えています。手順を繰り返してください。

i 携帯電話によっては 4 桁以上のパスキーを要求されることがあります。

i 認証を解除した後に携帯電話を再認証したい場合は、別のパスキーを選択することができます。

携帯電話から接続を確立する

COMAND システムの Bluetooth® 機器名は MB Bluetooth です。

- ▶ **COMAND システム**： 電話メニューを呼び出します。
- ▶ メニューバーに切り替える：コントローラーをスライドします **☺**。
- ▶ **接続デバイス** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。
デバイスリストが表示されます。
- ▶ **携帯電話から接続** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
携帯電話で検索を開始できる旨のメッセージが表示されます。
- ▶ **携帯電話**： Bluetooth® 機器の検索を開始します（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。
携帯電話のデバイスリストに、"MB Bluetooth" という名前とともに COMAND システムが表示されます。
- ▶ "MB Bluetooth" を選択します。
携帯電話を認証するかどうかをたずねる確認が COMAND システムに表示されます。
- ▶ **COMAND システム**： **はい** を選択します。

いいえ を選択した場合は、処理が中止されます。

携帯電話がセキュアシンプルペアリングをサポートしている場合は、両方の機器にコードが表示されます。

コードが同一である

- ▶ **COMAND システム**： はい を選択します。
- ▶ **携帯電話**： コードを確定します。使用している携帯電話によって、COMAND システムへの、および PBAP や MAP Bluetooth® プロファイル用の接続の確定を行なわなければならないことがあります。確認メッセージが表示されるまでは、表示されるのに最大で 2 分かかることがあります。携帯電話の確認を保存することもできます（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。携帯電話が認証され、COMAND システムに接続されます。ハンズフリーシステムを使用して会話することができます。

コードが異なる

- ▶ **COMAND システム**： いいえ を選択します。処理が中止されます。手順を繰り返してください。

携帯電話がセキュアシンプルペアリングをサポートしていない場合、携帯電話の接続についてのさらなる情報はデジタル版取扱説明書にあります。

自動的に再接続する

COMAND システムは常に最後に接続された携帯電話を検索します。

直前に接続された携帯電話に接続できない場合は、もう一つ前に接続された携帯電話が検索されます。

携帯電話間の切り替え

複数の携帯電話が登録されているときは、使用する電話を切り替えることができます。

- ▶ 電話メニューを呼び出す： **[TEL]** スイッチを押します。
- ▶ メニューバーを表示する：コントローラーをスライドします ◎↓。
- ▶ **接続デバイス** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。デバイスリストが表示されます。
- ▶ 希望の携帯電話を選択する：コントローラーをまわして、押します。選択した携帯電話が Bluetooth® の通信可能距離内にあり、Bluetooth® が作動しているときは、選択した携帯電話を検索して接続します。



一度に 1 台の携帯電話のみを接続できません。現在接続されている携帯電話は、デバイスリストにドット ● で示されます。

i 通話中でないときに限り、別の認証済み携帯電話に切り替えることができます。

携帯電話の認証の解除（切断）

COMAND システムと携帯電話で認証を解除することを、メルセデス・ベンツは推奨します。さもないと、その後の認証が失敗することがあります。


- ▶ 電話メニューを呼び出す： **[TEL]** スイッチを押します。
- ▶ メニューバーを表示する：コントローラーをスライドします ◎↓。
- ▶ **接続デバイス** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。
- ▶ 希望の携帯電話をデバイスリストから選択する：コントローラーをまわします。

- ▶  を選択する：コントローラーをスライドします 。
- ▶ **認証取消し** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
この機器の認証を本当に解除したいかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- ▶ **はい** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
携帯電話の認証が解除されます。

i 携帯電話を再登録する前に、携帯電話の Bluetooth®リストから機器名 **MB Bluetooth** も削除します。

電話操作

通話を受ける

- ▶ **通話** を選択する：コントローラーを押します。
- または
- ▶ マルチファンクションステアリングの  を押します。
通話が受けられます。

通話時に使用できる機能についてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

i 発信者の電話番号が送信されている場合は、ディスプレイに表示されます。電話帳に電話番号が保存されている場合は、連絡先の名前も表示されます。電話番号が通知されていない場合は、**非通知** がディスプレイに表示されます。


通話を拒否する

使用している携帯電話によっては、通話を拒否したときの動作が異なることがあります（メーカーの取扱説明書をご覧ください）。

携帯電話が保留機能をサポートしている


- ▶ **保留** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。


または

- ▶ マルチファンクションステアリングの  を押します。
通話が保留されます。



- ▶ **着信拒否** を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。

または

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを再度押します。
通話が拒否されます。


携帯電話が保留機能をサポートしていない：**保留** を選択する、またはマルチファンクションステアリングの  スイッチを押した後に、通話が拒否されます。

通話を終える

- ▶ 電話メニューで  を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- または
- ▶ マルチファンクションステアリングの  を押します。
作動している通話が終了します。

発信する

電話メニューを使用して

- ▶ 電話メニューを呼び出す：**[TEL]** スイッチを押します。
- ▶ 電話メニューですべての番号を 1 つずつ選択する：その都度コントローラーをまわして、押します。
- ▶ 電話メニューで  を選択する：コントローラーをまわして、押します。
電話が発信されます。

通話リストを使用して

- ▶ 電話メニューを呼び出す：[TEL] スイッチを押します。
- ▶ メニューバーに切り替える：コントローラーをスライド ◎↓します。
- ▶ **発信履歴** を選択する：コントローラーをまわして、押します。
- ▶ **着信履歴** または **発信履歴** を選択する：コントローラーをまわして、押します。対応するリストが表示されます。
- ▶ 項目を選択し、電話を発信する：コントローラーをまわして、押します。

マルチファンクションステアリングを使用して選択し、発信します。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

電話帳を使用して

- ▶ 電話メニューを呼び出す：[TEL] スイッチを押します。
- ▶ 電話メニューで **名前** を選択する：コントローラーをまわして、押します。電話帳は作動された文字バーとともに表示されます。
- ▶ 文字を選択する：コントローラーをまわし、押して確定します。選択した先頭文字の最初の連絡先が、電話帳で強調されます。
- ▶ その都度コントローラーをまわしてから押して、検索する連絡先の文字を1つずつ選択します。
- ▶ 検索を終了する：[ok] を選択します。電話帳の連絡先が表示されます。
- ▶ 連絡先を選択する：コントローラーをまわして、押します。

連絡先に1つ以上の電話番号が含まれている場合

- ▶ 電話番号を選択する：コントローラーをまわして、押します。

電話帳についてのさらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

ラジオモード

設定する

- ▶ [RADIO] スイッチを押します。ラジオ画面が表示されます。最後に選択した周波数バンドで再生していた最後の放送局が聞こえます。

概要



例：COMAND システム

- ① 基本機能バー
- ② ステータスバー
- ③ 利用可能な放送局および関連情報のある基本画面欄
- ④ 選択したラジオ放送局の表示
- ⑤ ラジオメニューバー

基本機能バーの選択

- ▶ コントローラーをスライドします ↑◎。

メニューバーの選択

- ▶ コントローラーをスライドします ◎↓。

"オプション" メニュー

- ▶ **オプション** を選択する：コントローラーをまわして、押します。

以下の設定オプションが使用できます。

- **周波数入力**：周波数の手動入力
- **現在の放送局以外**：利用可能な放送局のリスト
- **プリセット編集**：放送局プリセットの選択および編集

周波数バンドの設定

- **スイッチを使用する**： **RADIO** を押します。
- **基本機能バーを使用する**： ラジオモードでコントローラーをスライドします **↑** **◎**。
- **ラジオメニューバーを使用する**： ラジオモードでコントローラーをスライドします **◎** **↓**。

放送局の設定

- **基本画面欄により**： ラジオモードで、希望の放送局が中央になるまでコントローラーをまわします。
- **"オプション" メニューにより**： **現在の放送局リスト** または **周波数入力** を使用して、希望の放送局を選択または入力します。

交通情報 (AM ラジオ)

交通情報の放送局を選択する

- ▶ ラジオモードでコントローラーをスライドします **◎** **↓**。
- ▶ **交通情報** を選択します。

1620 kHz または 1629 kHz の2つの交通情報の放送局の間で選択できます。COMAND システム はより良い受信の放送局を自動的に選択します。

それぞれの地域の交通情報は、道路管理者や所轄の警察署が放送しています。交通情報は、受信地域以外で受信することはできません。

放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AM ラジオ画面に戻る

- ▶ ラジオモードでコントローラーをスライドします **◎** **↓**。
- ▶ **AM に戻る** を選択します。

役に立つ情報	226
収納エリア	226
機能	237

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

収納エリア

積載のガイドライン

⚠ 警告

荷物や重い荷物が固定されていない、または十分に固定されていないと、すべったり、放り出されて乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作時や急な進路変更時にけがをする可能性があります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。走行前に、荷物や積載物などがすべったりひっくり返ったりしないように固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッド / テールゲートが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッド / テールゲートを開く前に、必ずエンジンをオフにしてください。トランクリッド / テールゲートを開いたまま走行しないでください。

⚠ 警告

マフラーのテールパイプおよびテールエンドが非常に熱くなることがあります。車両のこれらの部品に触れた場合は、やけどするおそれがあります。けがのおそれがあります。

特にマフラーのテールパイプおよびテールエンド周辺には常に注意してください。これらの構成部品に触れる前には冷ましてください。

荷物を積載した車両のハンドリング特性は、車両への荷物の配置に影響を受けません。そのため、荷物を運搬するときは、以下の点に注意してください。

- 最高許容車両総重量および車両の許容軸重を超えないようにしてください（乗員を含む）。
- 荷物はトランク/ラゲッジルームに収納することをお勧めします。
- 重い物はトランク/ラゲッジルーム内のできるだけ前方に、そしてできるだけ低く配置してください。
- 荷物がシートのバックレストの上端よりも高くないようにしてください。
- 必ずリアまたはフロントシートのバックレストに接するように置いてください。シートのバックレストが、所定の位置に確実に固定されていることを確認してください。
- 可能な場合は、着座していないシートの後方に常に荷物を置くようにしてください。
- 荷物や手荷物を運搬するために、固定用リングおよびラゲッジネットを使用してください。
- 荷物の大きさと重さに適した荷物固定用リングおよび固定具のみを使用してください。
- ラゲッジルーム内で荷物を運搬するときは、ネット一体型ラゲッジルームカバーを必ず取り付けてください（ラ

ゲッジルームカバーとセーフティネット)。

- 十分な強度および耐摩耗性のある固定具で荷物を固定してください。保護のため鋭い角にはパッドを当ててください。

i 荷物の固定具は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

小物入れ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車内の荷物が適切に積載されていないと、荷物がすれたり投げ出されたりして乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な方向転換をすると、けがの恐れがあります。

- このような状況でも荷物が投げ出されないように積載してください。
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようにしてください。
- 走行中は、ロック可能な小物入れを閉じてください。
- 重たいもの、硬いもの、とがっているもの、鋭利なもの、壊れやすいもの、大きなものは必ずトランク / ラゲッジルームに積載してください。

積載のガイドラインを守ってください (▷ 226 ページ)。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- グローブボックス
- サングラスホルダー
- センターコンソール内の小物入れ
- アームレスト下の小物入れ

- フロントシート下の小物入れ
- リアシートアームレスト内の小物入れ

収納ネット

収納ネットは、助手席足元およびトランク左側 (Coupé) またはラゲッジルーム左および右側 (Shooting Brake) にあります。

積載のガイドライン (▷ 226 ページ) および収納用スペースに関する安全上の注意事項 (▷ 227 ページ) に従ってください。

後席分割可倒式シート (CLS Coupé)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

リアベンチシート / リアシートとシートバックレストが固定されていない場合、急なブレーキ操作や事故のときに、前に倒れる可能性があります。

- これにより、乗員は、リアベンチシート / リアシートまたはシートバックレストによってシートベルトに押さえ込まれます。シートベルトは、十分な保護効果を発揮することができず、さらにけがををするおそれがあります。
- トランクの荷物や重い荷物はシートバックレストで固定することはできません。

けがををするおそれが高まります。

走行前に、必ずシートバックレストおよびリアベンチシート / リアシートが固定されていることを確認してください。

荷物の積み方 (▷ 226 ページ) をお守りください。

左右リアシートのバックレストを別々に倒して、トランク容量を拡大することができます。

シートのバックレストを前方に倒す



i メモリー機能装備車両：リアシートのバックレストの一方または両方を倒したときは、接触を防ぐために対応する側のフロントシートが必要に応じて少し前方に移動します。

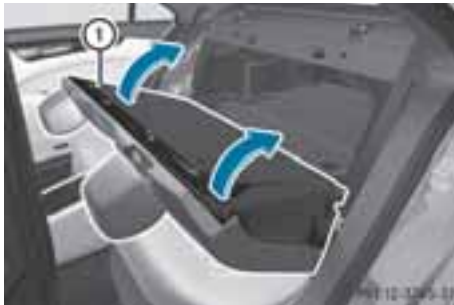
- ▶ メモリー機能非装備車両：必要な場合は、運転席または助手席シートを前方に動かしてください。
- ▶ トランクを開きます。
- ▶ 左右いずれかのリアシートバックレストのロック解除ハンドル①を手前に引きます。
対応する側のリアシートバックレストのロックが解除されます。



- ▶ リアシートのバックレスト②を前方に倒します。
- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席シートを前方に動かします。

シートのバックレストを起こす

! リアシートバックレストを起こすときは、シートベルトが挟まれていないことを確認してください。損傷するおそれがあります。



- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席シートを前方に動かします。
- ▶ リアシートバックレスト①を起こしてロックします。
リアシートバックレストが固定されておらず、ロックされていない場合は、メーターパネル内のマルチファンクションディスプレイにこのことが表示されます。警告音も鳴ります。
- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席シートのバックレストを動かします。

i 分割可倒式シートが必要でない場合は、リアシートのバックレストを必ずロックしてください。車内からトランクへの意図しないアクセスを防ぎます。

後席分割可倒式シート（CLS Shooting Brake）

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

リアベンチシート/後部座席と座席の背もたれが固定されていない場合、急なブレーキ操作や事故のときに、前に倒れる可能性があります。

- これにより、乗員は、リアベンチシート/後部座席または座席の背もたれによってシートベルトに押さえ込まれます。シートベルトは、十分な保護効果を発揮することができず、さらにけがをするおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物や重い荷物はシートバックレストで固定することはできません。

けがをするおそれが高まります。

走行前に、必ずシートバックレストおよびリアベンチシート/後部座席が固定されていることを確認してください。

荷物の積み方 (p. 226 ページ) をお守りください。

シートのバックレストを前方に倒す

! リアシートバックレストを前方に倒すときは、シートクッションの上に荷物が置かれていないことを確認します。荷物やリアシートが損傷するおそれがあります。



ラゲッジルーム容量を拡大するため、左右リアシートバックレストは別々に倒すことができます。

i リアシートバックレストの一方または両方を前方に倒すときは、必要な場合はヘッドレストも下げてください。メモリー機能装備車両の場合は、後方のシートとの接触を防ぐために、対応するフロントシートが少し前方に移動します。

- ▶ メモリー機能非装備車両：必要な場合は、運転席または助手席シートを前方に動かしてください。
- ▶ ラゲッジルーム ① 後部の左側または右側のロック解除ハンドルを引きます。対応するバックレストが、前方に倒れます。
- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席側シートのバックレストを後方に動かします。

シートのバックレストを起こす

! リアシートバックレストを起こすときは、シートベルトが挟まれていないことを確認してください。損傷するおそれがあります。



- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席シートを前方に動かします。
- ▶ シートバックレスト ① を起こしてロックします。リアシートバックレストが固定されおらず、ロックされていない場合は、メーターパネル内のマルチファンクションディスプレイにこのことが表示されます。警告音も鳴ります。
- ▶ 必要な場合は、ヘッドレストを調整します (p. 114 ページ)。
- ▶ 必要な場合は、運転席または助手席側シートのバックレストを後方に動かします。

荷物の固定

荷物固定用リング

全体的な注意事項

荷物の固定に関する、以下の注意事項に従ってください：

- 積載時のガイドラインに従ってください (▷ 226 ページ)。
- 荷物固定用リングを使用して、荷物を固定してください。
- 荷物固定用リングには均等に力がかかるようにしてください。
- 伸縮性のあるストラップまたはネットを使用して荷物を固定しないでください。これらは軽い荷物の滑り止め防止としてのみ想定されています。
- 固定用具が荷物のとがった部分や角に当たらないようにしてください。
- 保護のため鋭い角にはパッドを当ててください。

トランク/ラゲッジルーム



固定用リング ① (CLS Coupé)



固定用リング ① (CLS Shooting Brake)

テールゲートのコークフック (CLS Shooting Brake)



① コートフック

ラゲッジルームカバー (CLS Shooting Brake)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ラゲッジルームカバーには、荷物や重い荷物などを固定することはできません。固定されていない荷物や重い荷物が、急な進路変更やブレーキ操作または事故のときなどにぶつかる可能性があります。けがや致命的なけがをするおそれが高まります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。ラゲッジルームカバーを使用しているも、荷物や重い荷物がすべったり、放り出されることを防ぐために、荷物固定用ストラップなどで固定してください。

❗ 荷物を車内に積むときは、ラゲッジルーム内の荷物をサイドウィンドウ下端より高く積み上げないでください。ラゲッジルームカバーの上に重い物を載せないでください。

ラゲッジルームカバーはリアベンチシートのバックレストの後方にあります。

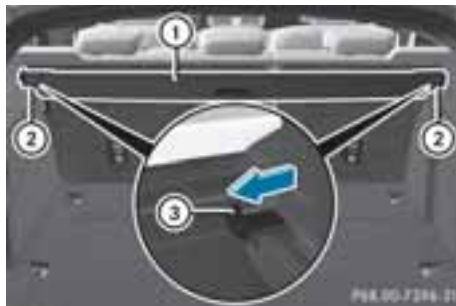
ラゲッジルームカバーの展開/収納



▶ **展開する**： 固定するまで、グリップハンドル②でラゲッジルームカバー①を手前に引きます。

▶ **収納する**： ラゲッジルームカバー①の後端を下方に押しします。ラゲッジルームカバー①が自動的に前方に動きます。

ラゲッジルームカバーの取り付け/取り外し



- ▶ **取り外す**： ラゲッジルームカバーが巻き取られていることを確認します。
- ▶ **グリップ③**を使用して、ラゲッジルームカバー①のエンドキャップを矢印の方向に右または左側に押し込みます。
- ▶ ラゲッジルームカバー①を反対側の固定部②に押し込みます。
- ▶ ラゲッジルームカバー①を上方向に取り外します。
- ▶ **取り付け**： 右または左側の固定部②にラゲッジルームカバー①を合わせます。
- ▶ ラゲッジルームカバー①の反対側のエンドキャップを矢印の方向に押し、ラゲッジルームカバー①を反対側の固定部②に差し込みます。

ラゲッジカバーの取り付け / 取り外し

積み下ろしを容易にするために、脱着可能なスモークプレートがテールゲートにあります。



- ▶ **取り外す**：スイッチ ① を同時に押し、スモークプレート ② を矢印の方向に引きます。
- ▶ **取り付け**：スモークプレート ② を差し込み、固定されるまで矢印の方向に押し付けます。

セーフティネット (CLS Shooting Brake)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

セーフティネットには、荷物や重い荷物などを固定することはできません。固定されていない荷物や重い荷物が、急な進路変更やブレーキ操作または事故のときなどにぶつかる可能性があります。けがや致命的なけがをするおそれが高まります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。セーフティネットを使用しても、荷物や重い荷物がすべったり、放り出されることを防ぐために、荷物固定用ストラップなどで固定してください。

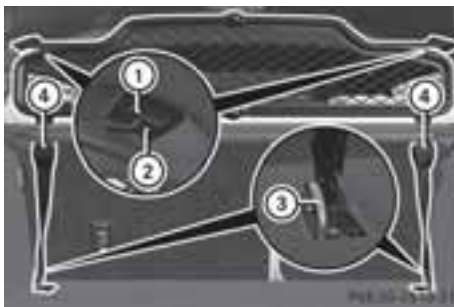
シートのバックレストの高さを超える小物を車両に積載する場合は、セーフティネットを使用することが特に重要になります。安全上の理由で、荷物を運搬するときは常にセーフティネットを使用してください。

セーフティネットはラゲッジルームフロア下の収納スペースにあります。(▶ 236 ページ)

- ▶ 両方のベルクロファスナーを開き、セーフティネットを取り外します。
- ▶ セーフティネットをほどいて、広げます。
上および下のガイドロッドの接続部を音が聞こえるまで固定します。

セーフティネットの締め付けに対応した固定用リングはリアベンチシート前方のラゲッジルーム内にあります。(▶ 230 ページ)

セーフティネットの装着と締め付け



- ▶ **装着し、締め付ける**：ガイドロッド ① をアタッチメント ② に差し込みます。
- ▶ 固定スプリングフック ③ を固定用リングまたはブラケット (EASY-PACK フィックスキット装備車両(▶ 234 ページ)) に装着し、セーフティネットが張るまで固定用ストラップの結ばれていない端部をひき下ろします。
- ▶ 短距離を走行した後で、セーフティネットの張りを点検し、必要な場合は再度締め付けます。
- ▶ **ゆるめ、取り外す**：ベルトクランプ ④ を引き上げて、固定用ストラップの張りをゆるめます。
- ▶ 固定スプリングフック ③ を、固定用リングまたはブラケット (EASY-PACK

フィックスキット装備車両 (p. 234 ページ)) から取り外します。

- ▶ ガイドロッド ① をアタッチメント ② から取り外します。
- ▶ **収納する**：上および下のガイドロッドの赤いスイッチを押します。
- ▶ セーフティネットを折りたたんで巻き取ります。
- ▶ セーフティネットホルダーの 2 つのベルクロファスナーを閉じます。

EASY-PACK コンビニエンスボックス (CLS Coupé)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

積載面が上に動くときに、EASY-PACK コンビニエンスボックスのフレームに手が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

積載面が上に動くときは、積載面の作動範囲内に手がいないことを確認してください。誰かが挟まれた場合は、積載面の中央を下方に慎重に押ししてください。

❗ EASY-PACK コンビニエンスボックスを引き出すときは、ボックスのフレームに物が触れていないことを確認してください。また、上からフレームが押されないように注意してください。ボックスが損傷するおそれがあります。

❗ 鋭利な形状、先の尖った、または壊れやすい物は、EASY-PACK コンビニエンスボックスを損傷し、そして投げ出されることがあります。けがの危険性があります。

EASY-PACK コンビニエンスボックスでは、鋭利な形状、先の尖った、または壊れやすい物は運搬しないでください。これらの、または類似の物は常に、EASY-PACK コンビニエンスボックス

の外側のトランクに収納し、固定してください。

❗ EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大許容荷重を超えた場合は、物が EASY-PACK コンビニエンスボックスから投げ出され、車両乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な方向転換をすると、けがの恐れがあります。

常に EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大許容荷重を遵守してください。重い物は常に、EASY-PACK コンビニエンスボックスの外側のトランクに収納し、固定してください。

EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大許容積載量は 10 kg です。約 5 kg 以上の重量の荷物では、トランクフロアのマットに接するまでボックスの底面を下方に動かします。そのようにして、ボックスの過荷重を防ぎます。

様々な位置への高さ調整



- ▶ 停止するまで、矢印の方向にハンドル①でボックスを引き出します。
- ▶ **積載面を下げる**：積載面②が希望の位置になり、ボックスが希望の大きさになるまで、矢印の方向に手で積載面②を押し下げます。

- ▶ **積載面を上げる**：スイッチ ③ を押します。
ボックスの積載面 ② が自動的に上がります。
- ▶ **ボックスを収納する**：停止するまでハンドル①でボックスを押しします。

取り外しおよび取り付け



- ▶ **取り付ける**：ボックス ① のリテーナー ② をスロット ③ に差し込みます。



- ▶ ボックス ① を持ち上げて、フック ⑤ を固定部 ④ にいっぱいまで差し込みます。
- ▶ 左側のノブ ⑥ を時計回りに、右側のノブ ⑥ を反時計回りに 90° まわします。
- ▶ **取り外す**：左側の回転ノブ ⑥ を反時計回りに、右側の回転ノブ ⑥ を時計回りに 90° まわします。
- ▶ ボックス ① を下げ、手前に引いて固定部 ④ から外します。

❶ 取り外した EASY-PACK コンビニエンスボックスは、棚などの平らな場所に保管してください。

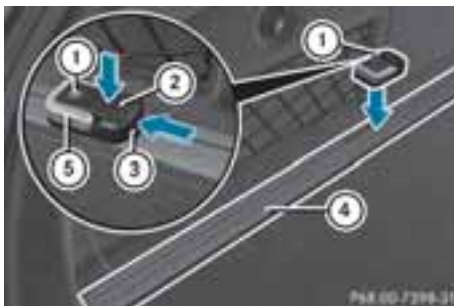
EASY-PACK フィックスキット (CLS Shooting Brake)

構成部品および収納

EASY-PACK フィックスキットにより、ラゲッジルームを多彩な目的に使用できます。以下のアクセサリ部品は、ラゲッジルームフロアの下に収納されています。

- 伸縮式ロッド (ラゲッジルームフロアの下側)
- ブラケットおよびラゲッジホルダーの入ったバッグ (ラゲッジルームフロア下またはラゲッジルーム側面の収納ネットのいずれかの中)

ローディングレールへのブラケットの挿入

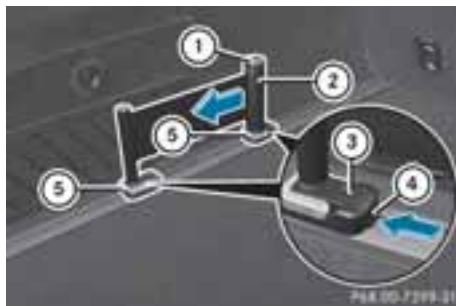


- ▶ ブラケット ① をローディングレール ④ に差し込みます。
- ▶ ノブ ② を押して、ブラケット ① をローディングレール ④ の希望の位置に押し込みます。
- ▶ ノブ ② を離します。

- ▶ ロックスイッチ ③ を押します。
ブラケット ① がローディングレール ④ に固定されます。
- ▶ 必要な場合は、固定用リング ⑤ を引き上げます。

伸縮式ベルト

■ 伸縮式ベルトは、重量が約 7 kg までの物のみを固定してください。伸縮式ベルトで安全で確実に固定できないようなサイズの荷物には、使用しないでください。

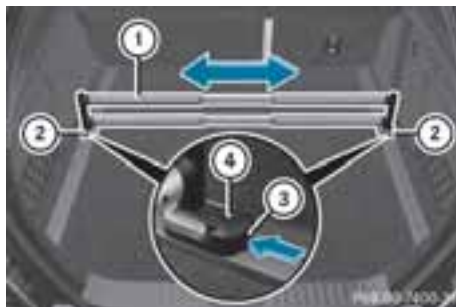


伸縮式ベルトで軽い荷物をラゲッジルームの側面に固定して、荷物が移動することを防ぐことができます。

- ▶ **取り付け**： 2 個のアタッチメント ⑤ を左または右のローディングレールに差し込みます (▶ 234 ページ)。
- ▶ 伸縮式ベルトのロック解除スイッチ ① を押し、ストラップを少し引き出します。
- ▶ 伸縮式ベルト ② をアタッチメント ⑤ に差し込みながら、ロック解除スイッチ ③ を押して伸縮式ベルトをロックさせます。
- ▶ 伸縮式ベルトのロック解除スイッチ ① を押して、矢印の方向にストラップを引き出します。
- ▶ ストラップとラゲッジルーム側面の間に荷物を置きます。

- ▶ 片手で伸縮式ベルトのロックスイッチ ① を押します。
- ▶ もう一方の手で、ストラップをゆっくり引き伸ばし固定させます。
- ▶ アタッチメント ⑤ のロックスイッチ ④ が押されていることを確認します。
これにより、アタッチメント ⑤ をローディングレールに確実に固定できます。
- ▶ **取り外す**： 各アタッチメント ⑤ のロック解除スイッチ ③ を押して、伸縮式ベルト ② を引き上げて取り外します。

伸縮式バー



伸縮式ポールで荷物をリアシートに固定して、荷物が移動することを防ぐことができます。

- ▶ **取り付け**： 1 個のアタッチメント ② を左右両方のローディングレールに差し込み、好みの位置にスライドさせます (▶ 234 ページ)。
- ▶ 伸縮式ベルト ① をアタッチメント ② に差し込みながら、ロック解除スイッチ ④ を押してベルトをロックさせます。

- ▶ アタッチメント ② のロックスイッチ ③ が押されていることを確認します。これにより、アタッチメント ② をローディングレールに確実に固定できます。
- ▶ **取り外す**： 各アタッチメント ② のロック解除スイッチ ④ を押し、伸縮式ポール ① を引き上げて取り外します。

トランクフロア下の収納スペース (CLS Coupé)

❗ トランクリッドを閉じる前にハンドルを外し、ハンドルがはみ出さないように確実に戻します。ハンドルが損傷するおそれがあります。



トランクフロアボード下の収納スペースには、タイヤフィットキット、車載工具キットなどが収納されています。

- ▶ **開く**： ハンドル ① を上に引きます。



- ▶ ハンドル ① を雨用の溝 ② に掛けます。

ラゲッジルームフロア下の収納スペース (CLS Shooting Brake)

⚠ 警告

ラゲッジルームフロアを開いて走行すると、荷物が放り出され、乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作や急な進路変更を行ったときは、けがをすおそれがあります。

走行する前に、必ずラゲッジルームフロアを閉じてください。



EASY-PACK フィックスキット、タイヤフィット、車載工具キットなどはラゲッジルームフロアの下にあります。

- ▶ **開く**： テールゲートを開きます。
- ▶ 凹凸を押さえながら、ハンドル ① を下方に押します。
ハンドル ① が起き上がります。
- ▶ 垂直に立つまで、ハンドル ① を使用してラゲッジルームフロアを引き上げます。
- ▶ **閉じる**： ラゲッジルームフロアを下に倒します。
- ▶ ハンドル ① を使用して、固定されるまでラゲッジルームフロアを下に押し戻します。

ルーフラック

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ルーフに荷物を積むと、車両の重心位置が上がり、走行特性が変化します。ルーフの最大積載量を越える場合、走行特性や、ステアリング操作やブレーキ操作が大幅に損なわれるおそれがあります。事故の危険性があります。

運転スタイルを調整し、ルーフの最大積載量を決して超えないでください。

! ルーフラックは、メルセデス・ベンツ車用に認定された推奨品の使用をお勧めします。推奨品以外の製品を取り付けると車両を損傷するおそれがあります。ルーフラックに荷物を積むときは、走行中に車両を損傷しないように確実に固定してください。

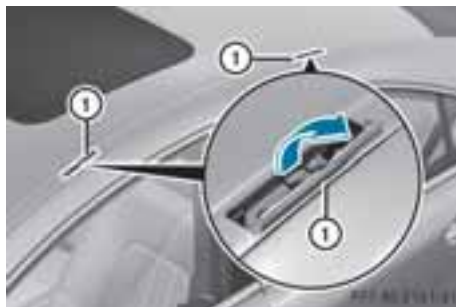
車両の装備に応じて、ルーフラックを装着するときはスライディングルーフをいっばいに上げることができ、トランクリッドまたはテールゲートをいっばいに開くことができることを確認してください。

! カバーやルーフの損傷を防ぐため、カバーを開くのに金属製の物やかたい物を使用しないでください。

ルーフの最大積載量に関する情報は「サービスデータ」の項目にあります(▶ 310ページ)。

不適切に固定されたルーフラック、またはルーフ上の荷物は、車両から落下することがあります。そのため、ルーフラックメーカーの装着方法に従ってください。

ルーフラックの取り付け



- ▶ カバー ① を矢印の方向に注意して開きます。
- ▶ ルーフラックはカバー ① の下のマウント部のみに装着してください。
- ▶ 製品の取扱説明書に従ってください。

機能

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- カップホルダー
- ボトルホルダー
- 電動ブラインド（リアウィンドウ）（CLS クーペ）
- 灰皿
- ライター
- 12V 電源ソケット

サンバイザー

概要



- ① ミラー照明
- ② 固定部
- ③ 駐車場チケットなどのための固定クリップ
- ④ バニティミラー
- ⑤ ミラーカバー

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目についての情報があります：

- ・サンバイザーのバニティミラー
- ・横方向からの眩しさを防ぐ

フロアマット

⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルを妨害することがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。フロアマットは指示にしたがって必ず確実に固定し、ペダル操作の妨げにならないようにペダルとの間に十分な空間があることを確認してください。緩んだフロアマットを使用したり、

フロアマットを重ねて置かないでください。



- ▶ 対応するシートを後ろにスライドします。
- ▶ **取り付ける**：フロアマットを足元に敷きます。
- ▶ 凹部 ① を固定部 ② に押し込みます。
- ▶ **取り外す**：固定部 ② からフロアマットを引いて取り外します。
- ▶ フロアマットを取り外します。

後付けした防眩フィルム

ウインドウの内側に遮光フィルムなどを貼り付けると、携帯電話やラジオなどの電波受信に影響を与えるおそれがあります。導電性フィルムや金属コーティングが施されたフィルムを貼り付けた場合は、特に電波受信への影響が懸念されます。遮光フィルムについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

役に立つ情報	240
エンジンルーム	240
メンテナンス	246
手入れ	246

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場
で情報をご覧ください。(p. 28 ページ)

エンジンルーム

ボンネット

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

解除すると、走行中にボンネットが開いて視界の妨げとなり危険です。事故の危険性があります。

走行中にボンネットを解除しないでください。

⚠ 警告

開閉中、ボンネットが急に下がる場合があります。ボンネットの動作範囲では、けがの危険性があります。

ボンネットの動作範囲に誰もいないことを確認して、ボンネットを開閉してください。

⚠ 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

⚠ 警告

エンジンルームには可動部品があります。ラジエーターファンなどの特定の構成部品は、イグニッションをオフにした後も動き続けたり、再度突然動くことがあります。けがの危険性があります。

エンジンルームの作業を行わなければならない場合は：

- イグニッションをオフにしてください。
- ファンの回転範囲など、可動部品周囲の危険な範囲には決して触れないでください。
- 宝飾品や時計は外してください。
- 衣服や髪の毛などの物は、動いている部品から離してください。

⚠ 警告

イグニッションシステムおよび燃料噴射システムは高電圧下で作動しています。高電圧を含んだ構成部品に接触すると、感電するおそれがあります。けがの危険性があります。

イグニッションをオンにしたら、イグニッションシステムまたは燃料噴射システムの構成部品に決して触れないでください。

ボンネットを開く

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイパーリンクageでけがをすることがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

! ワイパーアームを起こしたままでボンネットを開かないでください。ボンネットとワイパーが接触して、損傷するおそれがあります。



- ▶ フロントウインドウワイパーが停止していることを確認します。
- ▶ ボンネットのロック解除レバー①を引きます。
ボンネットのロックが解除されます。



- ▶ 隙間に手を入れ、ボンネットのレバー②を引き上げながらボンネットを持ち上げます。
ボンネットを約 40 cm 持ち上げた場合は、ガス封入式の支柱によりボンネットは自動的に開き、開いたまま保持されます。

ボンネットを閉じる

- ▶ ボンネットを下げ、約 20 cm の高さから下ろします。
- ▶ ボンネットが確実に固定されていることを確認します。
ボンネットがわずかに上がる場合は、確実に固定されていません。再度開き、少し力を入れて閉じます。

エンジンオイル

全体的な注意事項

! エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

! エンジンオイルは使用している間に汚れたり劣化するだけでなく、消費され減少します。定期的にエンジンオイル量を点検し、必要に応じて補給または交換してください。

運転スタイルによって、車両は 1000 km 当たり最大 0.8 L のオイルを消費します。新車のときや頻繁にエンジン回転数を上げて走行する場合は、オイル消費量はこれより増加します。

エンジンによっては、オイルレベルゲージは異なる位置に装着されています。エンジンオイル量を点検するときは、以下の点に注意してください。

- 車両を水平な場所に停めます。
- エンジンが通常の作動温度の場合は、約 5 分後にエンジンを停止してください。
- エンジンを短時間のみ始動した場合など、エンジンが通常の作動温度にない場合は、計測を行なう前に約 30 分待ってください。

オイルレベルゲージを使用してオイルレベルの点検

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。



例

- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① をオイルレベルゲージチューブから引き抜きます。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① を拭きます。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージ ① をガイドチューブにいっぱいまでゆっくり差し込んで、再度引き抜きます。レベルが MIN マーク ③ と MAX マーク ② の間にある場合は、オイルレベルは適正です。
- ▶ オイルレベルが MIN マーク ③、またはそれ以下まで下がっている場合は、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。

エンジンオイルの追加

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

エンジンオイルがエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

エンジンオイルが補給口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを冷やし、エンジンを始動する前に、エンジンオイルで汚れた構成部品を清掃してください。

⊕ 環境

エンジンオイルを補給するときは、こぼさないように注意してください。エンジンオイルが地面や排水溝に流れると、環境に悪影響を与えます。

! サービスシステム装備車両のために承認されているエンジンオイルとオイルフィルターのみを使用してください。サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で見えます。

エンジンまたは排気システムの損傷は以下のことに起因します。

- サービスシステムで承認されていない仕様のエンジンオイルやオイルフィルターの使用
- サービスシステムで要求される交換期間を過ぎた後のエンジンオイルやオイルフィルターの交換
- エンジンオイル添加剤の使用

! オイルを過剰に補給しないでください。エンジンオイルを過剰に補給すると、エンジンまたは触媒が損傷する可能性があります。余分なエンジンオイルを抜き取ってください。



例

- ▶ キャップ ① を反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ エンジンオイルを補充します。オイルレベルがオイルレベルゲージのMIN マーク、またはそれ以下の場合、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。
- ▶ キャップ ① を補給口に合わせ、時計回りにまわします。キャップが元の場所に確実にロックされていることを確認します。
- ▶ エンジンオイルレベルゲージを使用してオイルレベルを再度点検します (▶ 242 ページ)。

エンジンオイルについてのさらなる情報は、(▶ 307 ページ) をご覧ください。

定期的なオイルの交換

エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは定期的に交換することをお勧めします。アシストプラスのメンテナンスインジケータ表示により、標準的な交換時期が定められています。ただし、交換時期は使用状況に左右されます。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

冷却水

冷却水レベルの点検

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。けがの危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。



- ▶ 車両を水平な場所に停めます。
車両が水平な場所にあり、エンジンが冷えている場合にのみ、冷却水量を点検してください。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします(▶ 134 ページ)。
キーレスゴー装備車両では、キーレスゴースイッチを 2 度押します(▶ 134 ページ)。
- ▶ メーターパネルのエンジン冷却水温度表示を確認します。
冷却水温度は 70 °C 以下でなければなりません。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわします(▶ 134 ページ)。
- ▶ キャップ **①** を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ **①** をさらに反時計回りにまわして取り外します。
冷えているときに冷却水が補給口内のマーカーバー **③** のレベルにある場合は、冷却水リザーブタンク **②** 内に十分な冷却水があります。
温かいときに冷却水レベルが補給口内のマーカーバー **③** から約 1.5 cm 上にある場合は、冷却水リザーブタンク **②** 内に十分な冷却水があります。
- ▶ キャップ **①** を取り付け、時計回りにいっぱいまでまわします。

冷却水についてのさらなる情報は、(▶ 308 ページ)をご覧ください。

冷却水の補給

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

不凍液を充填する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

! 冷却水が塗装面に付着しないように注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。



例

冷却水リザーブタンク **②** 内の冷却水レベルが低すぎる場合は、水平な場所に停止し、エンジンが冷えているときに冷却水を補給してください。

- ▶ キャップ ① を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ ① をさらに反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ 冷却水をマーカーパー ③ まで補給してください。
使用状況に適した水および不凍液/腐食剤の混合液を使用します (▶ 308 ページ)。
- ▶ キャップ ① を取り付け、時計回りにいっぱいまでまわします。
- ▶ エンジンを始動し、約 5 分後に再度停止して冷まします。
- ▶ 冷却水レベル (▶ 243 ページ) を点検し、必要な場合は補給します。

定期的な冷却水の交換

冷却水の品質は時間とともに劣化します。整備手帳の指示に従い、定期的に冷却水を交換してください。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

エンジンのオーバーヒート

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エン


ジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

⚠ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。けがの危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

オーバーヒートしたときは：

- メーターパネルに 120 °C 以上の冷却水温度が表示されます。
- マルチファンクションディスプレイに冷却水が減少 停車して エンジンを停止 というメッセージが表示されている。
- エンジンがかかっているときに、メーターパネルに赤色の  冷却水警告灯が表示される。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

他のサービスプロダクト

ウインドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャーの補給

⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

ウインドウウォッシャー液が熱いエンジン部品または排気システムに触れた場合、発火するおそれがあります。火災およびけがの危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。



- ▶ **開く**：タブを持ってキャップ ① を引き上げます。
- ▶ あらかじめ混合しておいたウォッシャー液を補充します。
- ▶ **閉じる**：キャップ ① を補充口に押し付けて、固定します。

ウォッシャー液レベルが推奨される最小の 1 ℓ 以下に下がった場合は、ウォッシャー液を補充するように促すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ウインドウウォッシャー液/不凍液についてのさらなる情報 (p. 309 ページ)。

ブレーキ液レベル**⚠ 警告**

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

! ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液レベルが MIN マークまたはそれ以下まで低下しているときは、ただちにブレーキシステムの漏れを点検してください。ブレーキパッド / ライニングの厚みも点検してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

絶対にブレーキ液を補充しないでください。これを行っても問題は解消しません。

ブレーキ液レベルの点検は、必ず水平な場所に停車した状態で行なってください。レベルがブレーキ液リザーブタンクの MIN マークと MAX マークの間にある場合は、ブレーキ液レベルは適正です。

メンテナンス**アシストプラス**

デジタル版取扱説明書には、以下の情報があります：

- アシストプラスメンテナンスインジケーター画面
- AdBlue[®]サービスインジケーター

手入れ**全体的な注意事項****🌿 環境**

空の容器や使用済みのクリーニングクロスは、環境に配慮した方法で廃棄してください。

! お車の手入れをされる場合は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 乾いた布や目の粗い布、硬めの布など
 - 研磨剤を含む洗剤
 - 溶剤
 - 溶剤を含む洗剤
- 強く擦らないでください。

リングやスクレーパーなどのかたい物が、塗装面や保護膜に触れないようにしてください。塗装面や保護膜が損傷するおそれがあります。

! 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングを、ブレーキ制動により加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

定期的な車の手入れにより、長い期間品質を保つことができます。

メルセデス・ベンツが推奨し、承認した手入れ用品およびクリーナーを使用してください。

外装の手入れ

自動洗車機

⚠ 警告

自動洗車機で洗車した直後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。事故の危険性があります。

車両を洗車した後は、完全にブレーキの性能が元に戻るまでは道路状況に注意して慎重にブレーキ操作を行ってください。

! ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引される時
- 洗車時

! 注意：

- サイドウィンドウおよびスライディングルーフが完全に閉じていること
- ベンチレーション / ヒーターの送風が停止していること（OFF スイッチが押されていること）
- ワイパースイッチが **O** の位置になっていること

車両を損傷するおそれがあります。

! けん引装置付きの洗車機では、オートマチック車の場合シフトポジションを **N** にしてください。車両が損傷するおそれがあります。

- キーレスゴー非装備車：

エンジンスイッチからキーを抜かないでください。エンジンを停止しているときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開かないでください。オートマチックトランスミッションが自動的に **P** にシフトされ、ホイールがロックします。オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にすることにより、ホイールのロックを防ぐことができます。

- キーレスゴー装備車：

エンジンを停止しているときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開かないでください。オートマチックトランスミッションが自動的に **P** にシフトされ、ホイールがロックします。

オートマチックトランスミッションをポジション **N** にしたままにするために、以下に従ってください。

- ▶ 車両が停止していて、イグニッションがオフになっていることを確認してください。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします(▶ 134 ページ)。キーレスゴー装備車両では、キーレスゴースイッチの代わりにキーを使用します。

- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを解除します。
- ▶ イグニッションをオフにして、エンジンスイッチにキーを残したままにします。

最初から自動洗車機で洗車することができます。

ひどい汚れは、自動洗車機で洗車をする前に洗ってください。

自動洗車機を使用した後は、フロントウインドウやワイパーブレードのワックスを拭いてください。フロントウインドウの残留物に起因する汚れを防ぎ、ワイパーのノイズを低減します。

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります。

- 手洗い
- 高圧洗浄機器
- 塗装面の清掃
- マットペイントの手入れと取り扱い
- 車輪の清掃
- ウインドウの清掃
- ワイパーブレードの清掃
- 車外ライトの清掃
- ドアミラー方向指示灯の清掃
- センサーの清掃
- パーキングアシストリアビューカメラの清掃
- マフラーの清掃

車内の手入れ

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報があります：

- ディスプレイの清掃
- プラスチックトリムの清掃
- ステアリングおよびギアまたはセレクターレバーの清掃
- ウッド/トリムストリップの清掃
- シート表皮の清掃
- シートベルトの清掃
- ルーフライニングとカーペットの清掃
- designo ウッドラゲッジルームフロアの清掃 (CLS Shooting Brake)

役に立つ情報	250
車載品の収納場所	250
パンク	253
バッテリー（車両）	258
ジャンプスタート	263
けん引とけん引始動	266
ヒューズ	269

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

車載品の収納場所

非常信号用具

車内には懐中電灯が装備されています。運転席ドアまたは助手席ドアのいずれかの小物入れに収納されています。

i 新品の懐中電灯には電池の自然放電を防ぐため、電池の間に紙片が挟まれています。初めて使用する前に、紙片を取り除きます。

i 懐中電灯が十分な明るさで点灯することを定期的に点検してください。電池が切れたら交換してください。

停止表示板

停止表示板の取り外し



- ▶ **CLS Coupé** : トランクリッドを開きます。
- ▶ キャッチを矢印の方向に 90° まわして、停止表示板 ① を取り外します。



- ▶ **CLS Shooting Brake** : テールゲートを開きます。
- ▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。
- ▶ 停止表示板 ① を取り外します。

停止表示板の組み立て



- ▶ 脚部 ③ を側方外側に出します。
- ▶ 側方の反射板 ② を上方に起こして三角形を作り、押し込み式スタッド ① を使用して、上部で固定します。

救急セット



- ▶ **CLS Coupé**：トランクリッドを開きます。
- ▶ 収納ネットを下にスライドします。
- ▶ 小物入れを開きます。
- ▶ 救急セット ① を取り出します。



例：ラゲッジルーム内の救急セット

CLS Shooting Brake：車両装備によって、救急セットは収納ネット内またはサイドトリムパネル内にあります。

- ▶ テールゲートを開きます。
- ▶ 救急セットがある場合は、左側サイドトリムパネルを開きます。
- ▶ 救急セット ① を取り出します。

i 最低1年に1度、救急セットの使用期限を点検してください。必要な場合は、内容物を交換し、なくなった物は補充してください。

車載工具

全体的な注意事項

車載工具はトランクフロア/ラゲッジルームフロア下の収納スペースにあります（p. 236 ページ）。車両装備によって、車載工具はトランクフロア/ラゲッジルームフロア下の収納スペースの左側または右側にあります。

i 国ごとの仕様違いを除き、通常車両にはタイヤ交換工具は装備されていません。タイヤ交換用工具の中には、その車両専用のものが含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。タイヤ交換に必要な工具は、以下のものなどが含まれます：

- ジャッキ
- 輪止め
- ホイールレンチ

タイヤフィットキット装備車両



(例：CLS Coupé、装備および国別仕様による違いがあります)

- ① けん引フック
- ② タイヤフィット充填ボトル
- ③ タイヤ充填コンプレッサー
- ④ ヒューズ配置表

▶ トランクリッド/テールゲートを開きます。

▶ トランク/ラゲッジルームフロアを上方に上げます (▷ 236 ページ) または (▷ 236 ページ)。

- ▶ トランクリッド/テールゲートを開きます。
- ▶ トランク/ラゲッジルームフロアを上方に上げます (▷ 236 ページ) または (▷ 236 ページ)。

車載工具には、以下が含まれています：

- 折りたたみ式輪止め
- ヒューズ配置表
- ジャッキ
- ガイドボルト
- 手袋
- ホイールレンチ
- けん引フック

コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両 (AMG 車両)



(例：CLS Coupé、装備および国別仕様による違いがあります)

- ① けん引フック
- ② 手袋
- ③ ジャッキ
- ④ 折りたたみ式輪止め
- ⑤ ガイドボルト
- ⑥ 不具合があるタイヤ用のシート
- ⑦ タイヤ充填コンプレッサー
- ⑧ ホイールレンチ
- ⑨ ヒューズ配置表

応急用ミニスペアタイヤ装備車両



(例：装備および国別仕様による違いがあります)

- ① 車載工具トレイ
- ② 収納トレイ
- ③ 応急用ミニスペアタイヤ

- ▶ トランクリッド/テールゲートを開きます。
- ▶ トランク/ラゲッジルームフロアを上方に上げます (▶ 236 ページ) または (▶ 236 ページ)。

軽合金ホイールおよびハブキャップ装備車両

軽合金ホイールおよびハブキャップ装備車両では、ソケットもあります。

パンク

車両の準備

お客様の車両には、以下が装備されていることがあります：

- MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) (▶ 253 ページ)
MOExtended タイヤ装備車両では、車両の準備作業は必要ありません。
- タイヤフィットキット (▶ 251 ページ)
- 応急用スペアタイヤ (一部の国のみ) (▶ 295 ページ)

車輪の交換/装着についての情報 (▶ 280 ページ)。

- ▶ 交通の妨げにならず、かたく滑らない水平な場所に車両を停車します。
- ▶ 非常点滅灯を作動させます。
- ▶ 発進しないように車両を固定してください (▶ 146 ページ)。
- ▶ 可能な場合は、前輪を直進位置にしてください。
- ▶ AIR マテックサスペンション装備車両：標準の車高レベルが選択されていることを確認します (▶ 165 ページ)。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。またはキーレスゴー装備車両：

- ▶ 運転席ドアを開きます。
車両の電気システムが **0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。
- ▶ エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します (▶ 134 ページ)。
- ▶ 乗員全員を車両から降ろします。そのときは、乗員が危険にさらされないことを確認してください。
- ▶ 車輪交換をするときは、危険なエリアの近くに誰もいないことを確認してください。車輪交換を直接補助しない人は、ガードレールの向こう側に立つなどしてください。
- ▶ 車両から降りてください。そのときは交通状況に注意してください。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ 適切な距離に停止表示板を置いてください (▶ 250 ページ)。法規に従ってください。

i 自動車専用道路や高速道路では、停止表示板を使用することにより後続車両に警告を発することが法律で義務付けられています。

MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ)

全体的な注意事項

MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) により、1 本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。影響を受けたタイヤに明らかに目に見える損傷があるとは限りません。

タイヤウォールの MOExtended マークで、MOExtended タイヤを識別できます。このマークはタイヤサイズ表示、耐荷重性能、速度指数の横に表示されています。

MOExtended タイヤは、作動しているタイヤ空気圧警告システムとの組み合わせでのみ使用することができます。

マルチファンクションディスプレイに空気圧警告メッセージが表示された場合：

- ディスプレイメッセージの指示に従ってください。(▶ 194 ページ)
- タイヤの損傷を点検してください。
- 運転する場合は、以下の注意事項に従ってください：

最長走行距離は、車両に部分的に積載しているときは 80 km、車両にいっぱいまで積載をしているときは 30 km です。積載する荷物に加えて、走行可能な距離は以下によって異なります：

- 速度
- 道路状況
- 外気温度

ランフラットモードで走行可能な距離は、極端な走行状況/操作によって短くなったり、穏やかな運転スタイルによって長くなることがあります。

走行可能な距離は、タイヤ空気圧警告システムの警告メッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されたときが起点になります。

最高速度が 80 km/h を超えないようにしてください。

i 1 本または 4 本すべてのタイヤを交換するときは、必ず以下のみを使用していることを確認してください：

- 車両に指定されたタイヤサイズ
- "MOExtended"マーク付きタイヤ

タイヤがパンクし、MOExtended タイヤと交換できない場合は、一時的な措置として標準タイヤを使用してください。必ず適正なサイズと適正な種類（サマータイヤまたはウィンタータイヤ）を使用してください。

i MOExtended タイヤ装備車両は、出荷時にタイヤフィットキットを装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットキットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で購入できます。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エマージェンシーモードで運転すると、コーナリングや急加速、ブレーキ時などに走行特性が低下します。事故の危険性があります。

規定の最高速度を超えないでください。急激なステアリング操作、運転操作、障害物(縁石、穴、オフロード)を超える運転を避けてください。これは特に荷物積載時にあてはまります。

以下の場合、エマージェンシーモードでの運転は中止してください。

- 大きい異音聞こえるとき
- 車に振動が発生するとき
- 煙やタイヤの焦げる臭いが発生するとき
- ESP®が常時作動するとき
- タイヤのサイドウォールに裂け目があるとき

エマージェンシーモードでの運転のあとは、さらに使用できるかの確認のためにホイールリムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場点検してください。不具合のあるタイヤは新品と交換してください。

タイヤフィットキット

重要な安全上の注意事項

タイヤフィットはタイヤシーラント剤です。

タイヤフィットを使用して、4 mm 以下のパンク、特にタイヤトレッドにあるものをふさぐことができます。タイヤフィットは、-20 °Cまでの外気温度で使用できます。

⚠ 警告

以下の状況のときは、タイヤフィットが十分に機能しないため、タイヤを適切に修理することはできません。

- 上記に記した以上のタイヤの裂け目や穴
- ホイールリムが損傷しているとき
- 非常に低い空気圧、またはパンクした状態で走行したとき

事故の危険性があります。

それ以上走行しないでください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

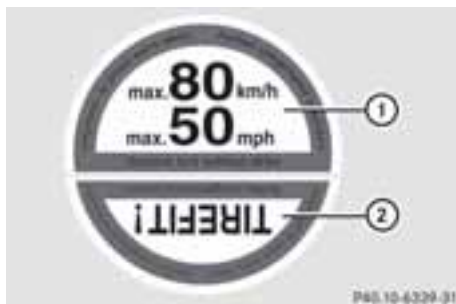
タイヤフィットは有害で、炎症を起こす原因となります。皮膚、眼、服に付着させたり、吸い込んだりしないようにしてください。タイヤフィットの臭気を吸い込まないでください。タイヤフィットは子供の手の届かないところに保管してください。負傷するおそれがあります。タイヤフィットが付着した場合は、以下の指示にしたがってください。

- タイヤフィットをただちに水道水で皮膚から洗い流してください。
- タイヤフィットが眼に付着した場合は、ただちに水道水で十分に洗い流してください。
- 万一、タイヤフィットを飲み込んだ場合は、ただちに水道水で口を十分すすぎ、水道水を大量に飲ませてください。無理に吐かせないでください。ただちに専門医の診断を受けてください。
- タイヤフィットが付着した衣類は、ただちに着替えてください。
- アレルギー反応が生じた場合は、ただちに専門医の診断を受けてください。

❗ 電動エアポンプは、一度に約 8 分以上連続して作動させると、ポンプがオーバーヒートするおそれがあります。電動エアポンプが冷えたら、再び作動させることができます。

タイヤ充填コンプレッサーのステッカーにあるメーカーの安全上の指示に従ってください。

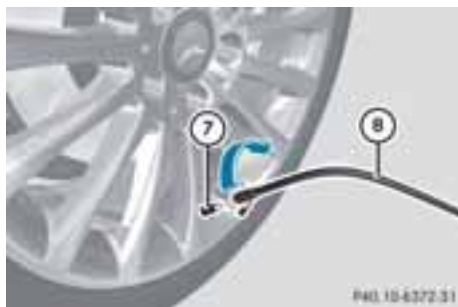
タイヤフィットキットの使用



- ▶ タイヤに刺さったクギやネジなどは取り除かないでください。
- ▶ トランクフロアボード/ラゲッジルームフロアボード下の収納スペースからタイヤフィットのボトル、付属のタイヤフィットステッカーおよびタイヤ充填コンプレッサーを取り出します (▶ 251 ページ)。
- ▶ タイヤフィットステッカーの ① 部分を運転者に視界内に貼付します。
- ▶ タイヤフィットステッカーの ② 部分を不具合のあるタイヤのホイールのバルブ付近に貼ります。



- ▶ ケーブル付き電源プラグ ④ とホース ⑤ をハウジングから取り出します。
- ▶ ホース ⑤ をタイヤフィットのボトル ① のフランジ ⑥ にしっかり取り付けます。
- ▶ タイヤフィットのボトル ① の頭部を下にしてタイヤ充填コンプレッサーの凹部 ② にはめます。



- ▶ パンクしたタイヤのバルブ ⑦ からキャップを取り外します。
- ▶ タイヤフィットのホース ⑧ をパンクしたタイヤのバルブ ⑦ に締め付けます。
- ▶ コネクター④を車両の 12 V 電源ソケット(▷ 237 ページ)に差し込みます。
- ▶ エンジンスイッチのキーを 1 の位置にまわします (▷ 134 ページ)。
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーの電源スイッチ ③ を押し I の位置にします。タイヤ充填コンプレッサーが作動します。タイヤに空気が注入されます。

最初に、タイヤにタイヤフィットが送り込まれます。空気圧が一時的に約 500 kPa (5 bar/73 psi) まで上がることがあります。

この間は、タイヤ充填コンプレッサーを停止しないでください。

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを 5 分間作動させます。その後にはタイヤは 180 kPa (1.8 bar/26 psi) 以上の圧力になっていなければなりません。

約 5 分後に、空気圧が 180 kPa (1.8 bar/26 psi) に達している場合は、「十分なタイヤ空気圧」(▷ 257 ページ) をご覧ください。

約 5 分後に、空気圧が 180 kPa (1.8 bar/26 psi) に達していない場合は、「不十分なタイヤ空気圧」(▷ 256 ページ) をご覧ください。

タイヤフィットが漏れ出た場合は、そのまま乾燥させてください。フィルム状になり、取り除くことができます。

衣類にタイヤフィットが付着した場合は、できるだけ早くパークロロエチレンでクリーニングしてください。

不十分なタイヤ空気圧

5 分後に空気圧が 180 kPa (1.8 bar/26 psi) に達していない場合：

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを停止します。
- ▶ 不具合のあるタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ ごく低速で約 10 m 前進または後退します。
- ▶ 再度、タイヤに空気を注入します。5 分後までには、タイヤ空気圧は 180 kPa (1.8 bar/26 psi) 以上になっていなければなりません。

⚠ 警告

規定の時間が経過したのに、必要十分なタイヤ空気圧に達しない場合は、タイヤは致命的に損傷しており、タイヤフィットによるタイヤ修理はできません。損傷したタイヤや非常に低下したタイヤ空気圧により、車両のブレーキや走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

それ以上走行を続けしないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

十分なタイヤ空気圧**⚠ 警告**

タイヤフィットで一時的に修理したタイヤは車両操縦性が損なわれてしまい、高速走行には適しません。事故の危険性があります。

そのため、状況に応じて運転スタイルを調整し慎重に走行してください。タイヤフィットで修理したタイヤで走行する場合は、指定された最高速度を超過しないでください。

タイヤフィットで修理されたタイヤの最高速度は 80 km/h です。運転者が容易に視認できるメーターパネル内に、タイヤフィットステッカーの上部を貼付してください。

■ 使用後は、ホースから余分なタイヤフィットが漏れ出ることがあります。タイヤフィットが付着すると、シミの原因になります。

したがって、ホースはタイヤフィットが収納されていた専用袋に収納してください。

🌀 環境保護に関する注意

使用済みのタイヤフィットのボトルを廃棄処分する場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご依頼ください。

5 分後にタイヤ空気圧が 180 kPa (1.8 bar/26 psi) に達している場合

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを停止します。
- ▶ 不具合のあるタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ タイヤフィットのボトル、タイヤ充填コンプレッサーおよび停止表示板を収納します。
- ▶ **ただちに発進します。**

▶ 約 10 分間走行した後には停止し、タイヤ充填コンプレッサーでタイヤ空気圧を点検します。

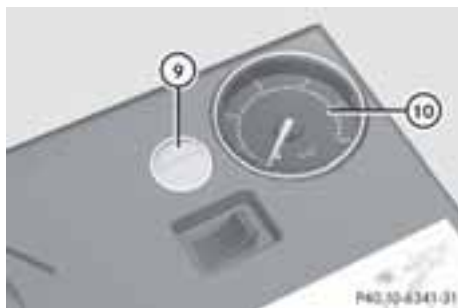
タイヤ空気圧が 130 kPa (1.3 bar/19 psi) 以上でなければなりません。

⚠ 警告

短時間の走行後に規定タイヤ空気圧に達しない場合は、タイヤがひどく損傷しています。この場合は、タイヤフィットでタイヤを修理することができません。タイヤの損傷およびタイヤ空気圧が低すぎることにより、車両のブレーキ操作や操縦性が著しく損なわれるおそれがあります。事故発生の危険性があります。

それ以上走行を続けずに、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

- ▶ タイヤ空気圧がまだ 130 kPa (1.3 bar/19 psi) 以上の場合は修正します。数値は燃料給油口フラップをご覧ください。
- ▶ **タイヤ空気圧を上げる：** タイヤ充填コンプレッサーを作動させます。



- ▶ **タイヤ空気圧を下げる：** 空気圧ゲージ⑩の横にある空気圧リリーススイッチ⑨を押します。
- ▶ タイヤ空気圧が適正になったら、修理したタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ 修理したタイヤのタイヤバルブにバルブキャップを締め付けます。
- ▶ タイヤフィットのボトルをタイヤ充填コンプレッサーから引き出します。充填ホースはタイヤフィットのボトルにとどまったままになります。
- ▶ タイヤフィットのボトル、タイヤ充填コンプレッサーおよび停止表示板を収納します。
- ▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。
- ▶ できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべてのタイヤフィットのボトルを交換してください。
- ▶ タイヤフィットのボトルは4年ごとにメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべてのタイヤフィットのボトルを交換してください。

バッテリー（車両）

重要な安全上の注意事項

バッテリーの取り外し、または取り付けなどの作業は、専門的な知識および専用工具の使用が必要です。そのため、バッ

テリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

バッテリーに不適切な作業を行なうと、例えばショートにつながり、車両の電子部品を損傷します。これにより、ライトシステム、ABS（アンチロック・ブレーキングシステム）またはESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）のような安全に関連したシステムに機能の制限を与えることにつながるおそれがあります。車両の操作安全性が制限されるおそれがあります。例えば、以下のときに車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ブレーキ時
- 急なステアリング操作時、および/または車両速度が道路の状態に合っていないとき

事故の危険性があります。

ショート、または似たような出来事の場合は、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。それ以上走行しないでください。バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

ABS および ESP®に関するさらなる情報は、(▷ 78 ページ) および (▷ 81 ページ) をご覧ください。

⚠ 警告

静電気を帯びていると、火花が発生してバッテリーから発生する高可燃性のガスに引火することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱う前に、車体に触れて身体の静電気を放電させてください。

バッテリー充電時、およびジャンプスタート時は、可燃性の高い混合ガスが発生します。

お客様にも、そしてバッテリーにも静電気が帯電していないことを常に確認してください。静電気は以下のような場合に発生します：

- 合成繊維製の衣服を着用することにより
- 衣服とシートの間で摩擦が起こることにより
- カーペットまたは他の合成繊維の上でバッテリーを引きずった、または押したとき
- バッテリーを布で拭いたとき

⚠ 警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーの接続および切り離しを行なうときは、記載された手順通りにバッテリー端子を接続することが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- プースターケーブルの接続、切り離しを行なうときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子の接続または切り離しを行なわないでください。

⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがをします。おそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バ

テリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

🌿 環境保護に関する注意



電池には環境汚染物質が含まれています。電池を家庭用ゴミとして廃棄することは法律で禁じられています。使用済みの電池は個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。



電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。使用済みの電池は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお持ちいただくか、ボタン電池専用の回収箱に廃棄してください。

! メルセデス・ベンツ指定サービス工場
でバッテリーの点検を定期的に受けてください。

整備手帳のメンテナンスインターバルを確認するか、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

! バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。万が一、例外的な状況では、必ずご自身でバッテリーの接続を外す必要があり、以下のことを遵守してください。

- エンジンを切って、キーを外します。キーレスゴー装備車の場合は、必ずイグニッションがオフになっていることを確認します。メーターパネルのすべての表示灯が消灯していることを確認します。たとえば、オルタネーターの

ような電子部品を損傷するおそれがあります。

- まずマイナス端子をはずして、次にプラス端子をはずします。端子を入れ替えないでください。車両の電子部品を損傷するおそれがあります。
- バッテリーの接続を切った後、トランスミッションは **P** の位置でロックされます。車両は走り出さないように固定されます。車両を動かすことができなくなります。

運転中はバッテリーおよびプラス端子のカバーをしっかりと取り付けてください。

バッテリーを取り扱うときは、安全上の注意事項および防護措置を守ってください。



警告



バッテリーを取り扱うときは火気、裸火および喫煙は禁止です。火花の発生は避けてください。



バッテリー液は腐食性です。皮膚、目または衣服への付着を防いでください。

手袋やエプロン、マスクなど、適切な保護衣を着用してください。

清潔な水で、ただちに飛散した酸を洗い流してください。必要な場合は、医師に相談してください。



保護眼鏡を着用してください。



子供を近づけないでください。



取扱説明書の指示に従ってください。

安全上の理由のため、お客様の車両のためにメルセデス・ベンツによりテストされ、承認されたバッテリーのみを使用することをメルセデス・ベンツは推奨します。これらのバッテリーには、衝撃に対する高い耐性があり、その結果、事故の際にバッテリーが損傷した場合の乗員への酸による火傷の危険性を低減します。バッテリーの性能を長期的にわたって最大限に発揮させるためには、バッテリーが常に十分に充電されていることが必要です。

車両のバッテリーは他のバッテリーと同様に、車両を使用しないと徐々に放電する可能性があります。そのような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのバッテリーの接続を外す作業を依頼してください。純正バッテリー充電器を使用してバッテリーを充電することもできます。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

車両を長期間使用しないときや、短距離、短時間の走行が多い場合は、通常よりも頻りにバッテリー液量や充電状態を点検してください。車両を長期間駐車したままにしたい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談ください。

i 車両を駐車するときに電気装備を必要としない場合は、キーを抜いてください。エンジンスイッチにキーが差し込まれていると、電力をわずかに消費します。

i バッテリーが放電した場合など、電力供給が中断した場合は、以下を行なわなければなりません：

- 時計の設定。時計の設定に関する情報は、デジタル版取扱説明書にあります。COMAND システムおよびナビゲーションシステム装備車両では、時計は自動的に設定されます。
- ミラーを一度展開することによる、ドアミラーの自動展開/格納機能のリセット (▶ 115 ページ)。

バッテリーの充電

⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確認してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがをするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生す

ることがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリー液を解凍してください。

❗ 必ず最大充電電圧が約 14.8 V のバッテリー充電器を使用してください。

❗ バッテリーを充電する場合は、必ずジャンプスタートターミナルを使用してください。

ジャンプスタート端子は、エンジンルーム (▶ 263 ページ)内にあります。

▶ ボンネットを開きます。

▶ ジャンプスタートの手順で救援用バッテリーに接続するときと同じ順序で、バッテリー充電器をプラス端子とアース端子に接続してください。(▶ 263 ページ)

低温時に、表示灯/警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結していることがあります。このような場合は、バッテリーを充電することも車両をジャンプスタートすることもできないことがあります。解凍したバッテリーの寿命は短くなることがあります。特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で解凍したバッテリーの点検を受けてください。

メルセデス・ベンツにより承認されたバッテリー充電器を使用することなく、車両に装着したバッテリーを充電しないでください。メルセデス・ベンツ車両用に特別に適合され、メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたバッテリー充電器ユニットはアクセサリとして入手できます。車両に装着されたバッテリーの充電が許可されています。情報および入手については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。バッテリーを充電する前に、バッテ

リー充電器の取扱説明書をお読みください。

ジャンプスタート

ジャンプスタートには、エンジンルーム内のプラス端子とアースポイントで構成されているジャンプスタート接続端子のみを使用してください。

⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがをするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

⚠ 警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーの接続および切り離しを行なうときは、記載された手順通りにバッテリー端子を接続することが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルの接続、切り離しを行なうときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子の接続または切り離しを行なわないでください。

⚠ 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリー液を解凍してください。

❗ エンジン始動操作を長時間繰り返して行なわないでください。未燃焼燃料によって触媒が損傷するおそれがあります。

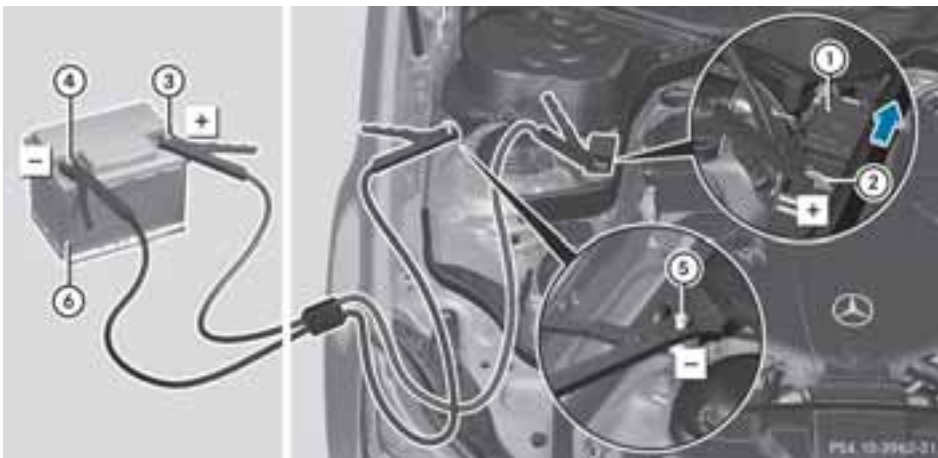
車両の始動のために急速充電器を使用しないでください。車両のバッテリーが放電したときは、ブースターケーブルを使用して他の車両や補助バッテリーからエンジンをジャンプスタートすることができます。以下の点に注意してください：

- すべての車両でバッテリーに手が届くわけではありません。他の車両のバッテリーに手が届かない場合は、補助バッテリーまたはジャンプスタート用機器を使用して、車両をジャンプスタートしてください。
- エンジンおよび排気システムが冷えているときにのみ、車両のジャンプスタートを行ってください。
- バッテリーが凍結している場合は、エンジンを始動しないでください。最初にバッテリーを解凍してください。
- ジャンプスタートは、定格電圧 12 V のバッテリーを使用してのみ行なうことができます。
- 十分な太さがあり、絶縁されたクランプの付いたブースターケーブルのみを使用してください。
- バッテリーが完全に放電した場合は、始動を試みる前に、ジャンプスタートのために接続したバッテリーを数分間接続したままにしてください。これにより、放電したバッテリーに若干充電されます。
- 2 台の車両が接触していないことを確認します。

以下を確認してください：

- ブースターケーブルが損傷していない
 - ブースターケーブルをバッテリーに接続している間、端子クランプの絶縁されていない部分が他の金属部品と接触していない
 - エンジンが回転しているとき、ブースターケーブルが V ベルトプーリーやファンなどの部品に巻き込まれないようにする
- ▶ パーキングブレーキをしっかりと踏みます。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします。
- ▶ リアデフォグラー、ライトなど、すべての電気装備を停止します。
- ▶ ボンネットを開きます。

位置番号 ⑥ は、充電されている他車のバッテリーまたは対応するジャンプスタート装置を示しています。



- ▶ プラス端子 ② のカバー ① を矢印の方向に動かして開きます。
 - ▶ 常に自分の車両のプラス端子 ② が先に始まるように、ブースターケーブルを使用して自分の車両のプラス端子 ② を救援用バッテリー ⑥ のプラス端子 ③ に接続します。
 - ▶ 救援車両のエンジンを始動し、アイドリング回転数で作動させます。
 - ▶ 最初に救援用バッテリー ⑥ にブースターケーブルを接続するように、ブースターケーブルを使用して、救援用バッテリー ⑥ のマイナス端子 ④ を自車のアースポイント ⑤ に接続します。
 - ▶ エンジンを始動します。
 - ▶ ブースターケーブルを外す前に、エンジンを数分間作動させてください。
 - ▶ 最初にブースターケーブルをアース端子 ⑤ とマイナス端子 ④ から、次にプラス端子 ② とプラス端子 ③ から取り外します。いずれの際も、最初に自車の端子から開始してください。
 - ▶ ブースターケーブルを取り外した後に、プラス端子 ② のカバー ① を閉じます。
 - ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではバッテリーの点検を受けてください。
- i** ジャンプスタートは、正常な操作状態とはみなされていません。
- i** ジャンプスタートのケーブル、およびジャンプスタートについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

けん引とけん引始動

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

安全性に関連する機能は以下の場合に制限されるか、または使用できなくなります。

- エンジンが作動しないとき
- ブレーキシステムまたはパワーステアリングに不具合がある
- 電圧供給または車両の電気システムに不具合がある

車両をけん引する場合は、ステアリング操作、またはブレーキ操作により大きな力が必要になることがあります。事故の危険性があります。

そのような場合は、けん引バーを使用してください。けん引する前に、ステアリングが自由に動くことを確認してください。

⚠ 警告

他の車両をけん引する、またはけん引始動するとき、その重量がお客様の車両の許容総重量よりも大きい場合：

- けん引フックがちぎれる可能性があります
- トレーラー連結車両が蛇行し、横転するおそれがあります

事故の危険性があります。

他の車両をけん引する、またはけん引始動するときは、その重量はお客様の車両の許容総重量よりも大きくてはいけません。

❗ ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

❗ けん引ロープやロッドは、けん引フック以外にはかけないでください。車体が損傷するおそれがあります。

❗ けん引ロープを使用してけん引を行なう場合は、必ず以下の点に注意してください。

- ロープは、両車とも同じ側につないでください。
- けん引ロープの長さは5m以内である必要があります。その中間に白い布(30x30cm)を付けて、けん引中であることが周囲から明確にわかるようにしてください。
- けん引フック以外にはロープをかけないでください。
- 走行中は、けん引する車のブレーキランプに注意してください。常に車間距離を維持しつつ、ロープをたるませないように走行してください。
- ワイヤロープや金属製のチェーンは使用しないでください。車体に傷が付くおそれがあります。

❗ 車体の損傷を防ぐために、車両を運搬する際は、けん引フックを使用しないでください。可能であれば、クレーンを使用して、車両を回収してください。

❗ けん引する時は、ゆっくりとスムーズにけん引します。けん引力が大きすぎると、車両が損傷するおそれがあります。

❗ キーレスゴー装備車のけん引を行なう時は、エンジンスイッチを使用せずにキーを操作します。オートマチック車の場合は、運転席ドアまたは助手席ドアを開くとシフトポジションがPになり、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

❗ 車両は最長で約50kmまでけん引できます。けん引する際の速度は、約30km/hを超えないようにしてください。

距離が約 50 km を超える場合は、必ず車両全体をリフトアップして、車両運搬車を利用してください。

! お客様の車両より重い車両のけん引またはけん引始動は絶対に避けてください。けん引を行なうときは、各国の法規制に従ってください。

できるだけけん引は避け、車両を運搬してください。

車両のトランスミッションが損傷した場合は、運搬車またはトレーラーで運搬してください。

車両をけん引するときは、オートマチックトランスミッションがポジション **N** でなければなりません。

バッテリーが接続されていて、充電されていないと、以下ようになります：

- エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすことができない
- オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトできない

! 車両をけん引してもらう前に、車速感応ドアロックを解除してください (▷ 99 ページ)。さもないと、車両を押したり、けん引するときに、閉め出されるおそれがあります。

! 車両をけん引する前に、けん引防止機能を解除してください (▷ 89 ページ)。

けん引フックの取り付け/取り外し

けん引フックの取り付け

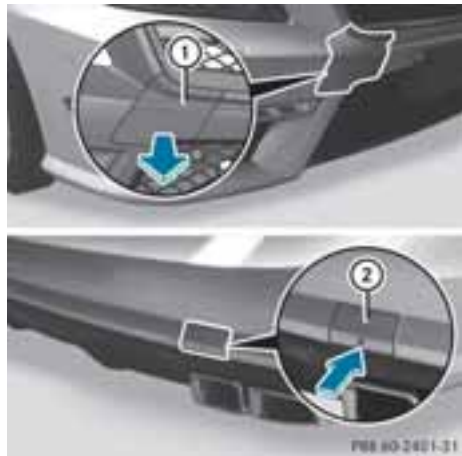
⚠ 警告

マフラーが非常に熱くなることがあります。リアカバーを取り外すときにやけどの危険性があります。

マフラーには触らないでください。リアカバーを取り外すときは特に注意してください。



けん引フックカバー (例：CLS Coupé)



けん引フックカバー (AMG 車両)

脱着式けん引フックの取り付け部はバンパー内にあります。フロントおよびリアのカバー内にあります。

- ▶ 車載工具キット (▷ 251 ページ) からけん引フックを取り出します。
- ▶ 指を凹部に入れて、カバー **①** をバンパーから矢印の方向に引き出します。
- ▶ カバー **②** のマークを矢印の方向に内側に押し込みます。

- ▶ カバー ② を開口部から取り外します。
- ▶ けん引フックを時計回りに止まるまでまわし、締めます。

けん引フックの取り外し

- ▶ けん引フックを緩めて取り外します。
- ▶ カバー ① をバンパーの上部に合わせ、固定されるまで下部を押し込みます。
- ▶ カバー ② をバンパーに取り付け、固定されるまで押します。
- ▶ けん引フックを車載工具キットに収納します。

両アクスルを接地させて車両をけん引する

車両をけん引するときは、安全に関する以下の指示に従うことが重要です(▶ 266 ページ)。

運転席または助手席 ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを抜いたときは、オートマチックトランスミッションは自動的にポジション **P** にシフトします。車両をけん引するときに、オートマチックトランスミッションをポジション **N** のままにするためには、以下の点に従わなければなりません。

- ▶ 停車していること、そしてエンジンスイッチのキーが **0** の位置にあることを確認します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします。
キーレスゴー装備車両では、キーレスゴースイッチ(▶ 134 ページ)の代わりにキーを使用します。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。
- ▶ ブレーキペダルを放します。

- ▶ パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 非常点滅灯を作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします。

! 非常点滅灯を作動させてけん引するとき、進路変更の合図を行なうためには通常通りにコンビネーションスイッチを使用してください。このときは、希望の方向の方向指示灯のみが点滅します。コンビネーションスイッチを元に戻したときは、非常点滅灯が再度点滅し始めます。

リアアクスルを上げて車両をけん引する

! リアをつり上げてけん引を行なうときは、必ずイグニッションをオフにしてください。ESP®の介入によりブレーキが損傷するおそれがあります。

4MATIC 非装備車両のみ

- ▶ 非常点滅灯を作動させます(デジタル版取扱説明書をご覧ください)。
- ▶ 前輪を直進位置にします。
- ▶ キーをエンジンスイッチの **0** の位置にまわして、エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 車両から離れるときは、キーまたはキーレスゴーキーを携帯してください。

後軸を上げて車両をけん引するときは、安全指示に従うことが重要です(▶ 266 ページ)。

車両の運搬

! 車両を固定するときは、アクスルやステアリング構成部品などにかげずに、ホイールにのみかけてください。車体を損傷するおそれがあります。

運搬するために、けん引フックを使用して、トレーラーまたはトランスポーターに車両を引き上げることができます。

運搬するために、けん引フックを使用して、トレーラーまたはトランスポーターに車両を引き上げることができます。

- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。

車両を積載したら、ただちに以下のようにします：

- ▶ 車両が動き出すことを防止するため、パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ オートマチックトランスミッションをポジション **P** にシフトします。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 車両を固定します。

4MATIC 車両に関する注意事項

! 4MATIC 装備車は、フロントまたはリアアクスルを持ち上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

車両のトランスミッションが損傷したり、フロントまたはリアアクスルが損傷した場合は、運搬車またはトレーラーで運搬してください。

電気装備が損傷したとき

バッテリーに不具合がある場合は、オートマチックトランスミッションは **P** の位置でロックされます。オートマチックトランスミッションを **N** の位置にシフトするには、ジャンプスタート時と同じ方法で車両の電気装備に電力を供給しなければなりません(▷ 263 ページ)。

運搬車またはトレーラーで車両を運搬してください。

けん引始動 (エンジンエマージェンシースタート)

! オートマチック車はけん引始動しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

i "ジャンプスタート"に関する情報は(▷ 263 ページ)をご覧ください。

ヒューズ

重要な安全上の注意事項

警告

切れたヒューズを使用したり、ブリッジしたり、またはより高いアンペア数のヒューズと交換すると、ケーブルに過負荷がかかります。火災の原因になります。事故やけがの危険性があります。

切れたヒューズは、必ず正しいアンペア数の指定された新品のヒューズと交換してください。

! ヒューズは必ずメルセデス・ベンツ車両に適合し、該当する電気装備と同じ規定容量を満たすものを使用してください。適切でないヒューズを使用すると、構成部品や電気装備を損傷するおそれがあります。

車両のヒューズは、異常のある回路への接続を遮断する働きをします。ヒューズが切れると、回路上のすべての構成部品とそれらの機能が作動しなくなります。

切れたヒューズを交換するときは、ヒューズの色と数字で確認し、必ず同じ定格のヒューズと交換してください。ヒューズの定格は、ヒューズ配置表に記載されています。

新しいヒューズに交換してもすぐに切れる場合は、メルセデス・ベンツ指定サー

ビス工場で原因究明および修理を行なってください。

ヒューズを交換する前に

重要な安全上の注意事項に注意してください。(▶ 269 ページ)

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。またはキーレスゴー装備車両：
▶ 運転席ドアを開きます。
車両の電気システムが **0** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。
運転席ドアを再度閉じることができません。

メーターパネル内のすべての表示灯が消灯しなければなりません。

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります：

- 進行方向に見たときの車両のエンジンルーム内左側のヒューズボックス
- **CLS クーペ**： 進行方向に見たときのトランク内右側のヒューズボックス
- **CLS Shooting Brake**： 進行方向に見たときのラゲッジルーム内右側のヒューズボックス

CLS クーペ： ヒューズ配置表は、トランクフロア下にある小物入れ内の車載工具にあります (▶ 251 ページ)。

CLS Shooting Brake： ヒューズ配置表は、ラゲッジルームフロア下にある小物入れ内の車載工具にあります (▶ 251 ページ)。

エンジンルーム内のヒューズボックス

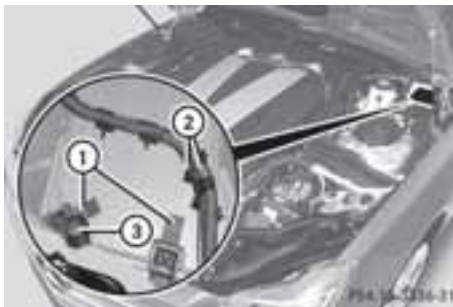
重要な安全上の注意事項に注意してください。(▶ 269 ページ)

⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイパーリンクージでけがをするおそれがあります。けがの危険性があります。ボンネットを開く前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

❗ カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に浸水しないように注意してください。

❗ カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実にハマっていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が浸入すると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



- ▶ フロントウインドウワイパーが停止していることを確認します。
- ▶ ボンネットを開きます。
- ▶ 乾いた布を使用して、ヒューズボックスに付着している水分を取り除きます。

- ▶ **開く**： ホース ② をガイドから取り出します。
- ▶ ホース ② を片側に動かします。そうするためには、接続部 ③ の前方にホースを通します。
- ▶ 固定クランプ ① を開きます。
- ▶ 前方に向けてヒューズボックスカバーを取り外します。
- ▶ **閉じる**： ラバーシールがカバーの正しい位置にあるかどうかを確認してください。
- ▶ カバーを、ヒューズボックス後部の挿入部に差し込みます。
- ▶ カバーを下方に下ろし、クランプ①を閉じます。
- ▶ ホース ② をガイドに取り付けます。
- ▶ ボンネットを閉じてください。

トランク内のヒューズボックス (CLS Coupé)

重要な安全上の注意事項に注意してください。(▶ 269 ページ)

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に浸水しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実にハマっていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が浸入すると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



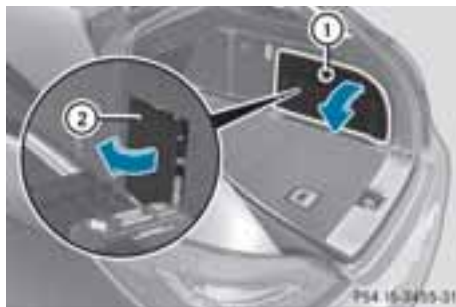
- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ **開く**： 平たい物を使用して、カバー ① 上部の左右を取り外します。
- ▶ カバー ① を矢印の方向に下方に開きます。

ラゲッジルーム内のヒューズボックス (CLS Shooting Brake)

重要な安全上の注意事項に注意してください。(▶ 269 ページ)

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に浸水しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実にハマっていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が浸入すると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



- ▶ テールゲートを開きます。
- ▶ **開く**： カバー上のロータリーキャッチ ① を反時計回りにまわします。
- ▶ カバーを下方に開きます。
- ▶ カバー ② を前方に開きます。

役に立つ情報	274
重要な安全上の注意事項	274
操作	275
寒冷時の取り扱い	277
タイヤ空気圧	277
車輪の交換	280
ホイールとタイヤの組み合わせ ...	286
応急用スペアタイヤ	295

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

誤ったサイズのホイールやタイヤを使用すると、車輪ブレーキまたはサスペンションの部品を損傷することがあります。事故の危険性があります。

純正部品の仕様に適合するホイールやタイヤと必ず交換してください。

ホイールを交換する場合、正しく取り付けるために以下を確認してください：

- 型式
- タイプ

タイヤを交換する場合、正しく取り付けのために以下を確認してください：

- 型式
- メーカー
- タイプ

⚠ 警告

パンクは車両の走行、ステアリング、ブレーキ特性を著しく損なうことがあります。事故の危険性があります。

ランフラット特性のないタイヤ：

- パンクしたタイヤで走行しないでください。
- ただちにパンクしたタイヤを応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤと交換

するか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご相談ください。

ランフラット特性を持つタイヤ：

- MOExtended タイヤ(ランフラット特性を持つタイヤ)に関する情報と警告注意に注意してください。

メルセデス・ベンツにより車両への使用が承認されていないアクセサリを装着したり、アクセサリが正しく使用されていないと、操作安全性を損なうおそれがあります。

承認されていないアクセサリを購入し、ご使用になる前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場以下をご確認ください。

- 適合性
- 合法性
- 推奨品

車両のホイールとタイヤのサイズおよび種類に関する情報は"ホイール／タイヤの組み合わせ"(▷ 286 ページ)に記載されています。

車両のタイヤ空気圧に関する情報は、以下にあります。

- 燃料給油口フラップにあるタイヤ空気圧ラベル
- "タイヤ空気圧" の項目

ブレーキシステムおよびホイールの改造は許可されていません。ホイールスペーサーまたはブレーキダストシールドの使用は許可されていません。これらは車両の一般使用許可を無効にします。

i タイヤとホイールについての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

操作

走行についての情報

車両に重い荷物を積んでいるときは、タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整してください。

走行中は、振動や騒音が発生したり、ステアリングが片側に取られるなど、車両操縦性に変化が現れていないか注意してください。このような症状の原因には、タイヤやホイールの損傷が考えられます。タイヤに異常を感じたら、ただちに速度を落としてください。すみやかに安全な場所に停車して、タイヤとホイールの損傷を点検してください。隠れたタイヤの損傷は、普段と異なるハンドリング特性の原因になるおそれがあります。損傷の兆候が認められない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのホイールとタイヤの点検を受けてください。

車両を駐車するときは、タイヤが縁石や障害物により変形していないことを確認してください。また、縁石や路面の段差などを乗り越える必要がある場合は、速度を落とし、縁石や段差に対してタイヤをできるだけ直角にして乗り越えてください。さもないと、タイヤ、特にサイドウォールが損傷するおそれがあります。

ホイールとタイヤの定期点検

⚠ 警告

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故発生の危険性があります。

タイヤに損傷がないか定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。

ホイールとタイヤの定期点検は、少なくとも月に1度、またオフロードや凹凸路の走行後にも行ない、タイヤに損傷がないか確認してください。ホイールが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。特に、以下のような損傷にご注意ください：

- タイヤの傷
- 刺し傷などの穴
- タイヤの裂け目
- タイヤの突起
- ホイールの変形や腐食

タイヤ残り溝の深さやタイヤの幅全体にわたるトレッドの状態を定期的に点検してください (▶ 276 ページ)。必要な場合は、タイヤ表面の内側を点検するために、前輪をフルロックまでまわしてください。

ほこりや水分の侵入を防ぎバルブを保護するため、すべてのホイールにバルブキャップを必ず装着してください。純正品または承認された製品以外のバルブキャップをバルブに装着しないでください。純正品以外のバルブキャップまたはタイヤ空気圧モニタリングシステムなどのシステムを装着しないでください。

長距離走行の前は特に、定期的にすべてのタイヤの空気圧を点検してください。必要に応じて、タイヤ空気圧を調整してください (▶ 277 ページ)。

応急用スペアタイヤについての注意事項に従ってください (▶ 295 ページ)。

タイヤの耐用年数は、以下を含むさまざまな要因に左右されます：

- 運転スタイル
- タイヤ空気圧
- 総走行距離

タイヤトレッドについての重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

タイヤのトレッドが不十分であると、タイヤのグリップが低下します。このようなタイヤは水を排出することができなくなり、濡れた路面で、特に走行状況に適していない速度で走行すると、ハイドロプレーニング現象が生じる危険性が高くなります。事故発生の危険性があります。タイヤ空気圧が高すぎたり低すぎたりすると、トレッド面の位置によって偏摩耗が生じることがあります。タイヤの定期点検を行なう時は、タイヤの溝の深さだけでなく、タイヤの内側の摩耗状態も点検してください。

タイヤの溝の深さの最小値：

- サマータイヤ：3mm
- ウィンタータイヤ：4mm

安全保持のために、タイヤの溝の深さが法律で定められた最小値に達する前に、該当するタイヤを新品と交換してください。

タイヤの選択、装着および交換

⚠ 警告

記載されているタイヤ耐荷重性能および承認されている最高速度を超過すると、タイヤが損傷したり、タイヤが破裂したりするおそれがあります。事故の危険性があります。

このため、車両モデルに使用が承認されているタイヤのタイプとサイズのみを使用してください。車両に必要なタイヤ荷重指数と速度記号を確認してください。

タイヤの認証についての国の要件に注意してください。これらの要件には、お客様の車両用に特定の種類のタイヤを使用するよう定められていることがあります。さらに、特定の地域およびエリア内の運転のための特定の種類のタイヤの使用は、非常に有益になることがあります。タイ

ヤについてのさらなる情報は、専門のタイヤ業者またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にあります。

- 同じ種類で同じ銘柄のタイヤおよびホイールのみを装着してください。

例外：パンクした場合は、異なる種類や銘柄の装着が認められています。"MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ)" の項目に従ってください (p. 253 ページ)。

- 適正なサイズのタイヤをホイールに装着してください。
- 新しいタイヤでは最初の 100 km は控えめな速度で走行してください。この距離を走行後にのみ、最高の性能に達します。
- タイヤトレッド部の残り溝が不足したタイヤで走行しないでください。さもないと、濡れた路面ではタイヤのグリップが著しく低下します (ハイドロプレーニング現象)。
- 摩耗の程度にかかわらず、6 年以上経過したタイヤは交換してください。

応急用スペアタイヤについての注意事項に従ってください (p. 295 ページ)。

MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ)

MOExtended タイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) により、1 本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。

MOExtended タイヤは、作動しているタイヤ空気圧警告システム、およびメルセデス・ベンツにより特別にテストされたホイールとの組み合わせでのみ使用することができます。

パンクした MOExtended タイヤで走行する時の注意事項 (p. 253 ページ)

- ① MOExtended タイヤ装備車両は、出荷時にタイヤフィットキットを装備して

いません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットキットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

寒冷時の取り扱い

全体的な注意事項

これに関する情報はデジタル版取扱説明書にあります。

サマータイヤでの走行

+7℃以下の温度では、サマータイヤは弾力性を失い、トラクションおよび制動力が低下します。車両のタイヤをM+Sタイヤに交換してください。非常に低い温度でのサマータイヤの使用は、亀裂が発生し、復元不可能なタイヤの損傷の原因になるおそれがあります。このようなタイヤの損傷は、保証の対象外になります。

⚠ 警告

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故発生の危険性があります。タイヤに損傷がないか定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。

M+S タイヤ

⚠ 警告

ウィンタータイヤの溝の深さが約 4 mm 以下になったときは、冬季用のタイヤとして不適切になり、十分な接地性を確保できなくなります。事故につながるおそれがあります。

ウィンタータイヤの溝の深さが約 4 mm 以下になったときは、必ず新品と交換してください。

さらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

スノーチェーン

⚠ 警告

スノーチェーンが前輪に装着されている場合は、車体またはシャーシの部品に引き込まれることがあります。これにより、車両またはタイヤが損傷するおそれがあります。事故の危険性があります。危険な状態を避けるために

- スノーチェーンを前輪に装着しないでください
- スノーチェーンは必ずペアで後輪に装着してください。

さらなる情報は、デジタル版取扱説明書にあります。

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧基準値

⚠ 警告

タイヤ空気圧が不足または過剰な場合、以下の危険があります。

- 荷重が大きく車両速度が高い場合は特に、タイヤが破裂するおそれがある。
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が損なわれるおそれがある。
- ステアリング操作やブレーキ操作などの車両操縦性が大幅に損なわれるおそれがある。

事故の危険性があります。

指定のタイヤ空気圧を遵守し、以下のときにはスペアタイヤを含むすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

- 走行を開始する前の毎日
- 荷重が変化したとき
- 長距離走行を開始する前
- オフロード走行のように使用状況が変わったとき

必要であれば、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

⚠ 警告

適切でないアクセサリをバルブに取り付けると、バルブに過負荷がかかって誤作動し、タイヤ空気圧が不足する原因となります。設計上、タイヤ空気圧モニターシステムを後装着すると、バルブが開いたままになり、タイヤ空気圧が不足するおそれもあります。事故発生の危険性があります。

標準仕様のバルブキャップまたはメルセデス・ベンツ純正の車両専用バルブキャップのみをバルブに取り付けてください。

⚠ 警告

タイヤ空気圧が何度も低下する場合は、ホイール、バルブまたはタイヤが損傷している可能性があります。タイヤ空気圧が不十分であると、タイヤが破裂するおそれがあります。事故発生の危険性があります。

- タイヤに異物がないか点検します。
- ホイールやバルブからの空気漏れがないか点検します。

損傷を修理できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

🌀 環境保護に関する注意

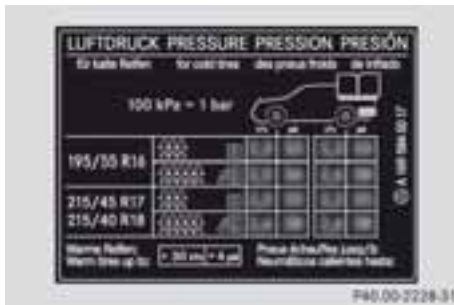
少なくとも2週間に1度、タイヤ空気圧の点検を行なってください。

車両の燃料給油口フラップ内側には、さまざまな使用状況でのタイヤ空気圧の表があります。

応急用スペアタイヤでの操作(▷ 295ページ)

燃料給油口フラップ内側の表には、さまざまな積載状態でのタイヤ空気圧が記載されています。この表には、さまざまな乗員数および積載量のものが指定されています。実際の座席数と異なることがあります。さらなる情報は、車両の登録書類を確認してください。

タイヤサイズの指定がない場合、タイヤ空気圧情報ラベルに記載されているタイヤ空気圧は、車両用に承認されているすべてのタイヤに適用されます。



タイヤサイズが空気圧に優先している場合は、以下の空気圧についての情報は、そのタイヤサイズのみ有効となります。タイヤ空気圧を点検するには、適切な空気圧ゲージを使用してください。タイヤの外観を点検しても空気圧を正しく判断することはできません。

可能であれば、タイヤが冷えているときにのみ、タイヤ空気圧を修正してください。

以下では、タイヤが冷えています：

- タイヤに直射日光が当たらない状態で、最低3時間車両を駐車した場合、および
- 車両が1.6 km以上走行しなかった場合

外気温、走行速度およびタイヤの荷重によって、タイヤの温度およびタイヤ空気圧は 10℃ ごとに約 10 kPa (0.1 bar/1.5 psi) ずつ変化します。温まっているタイヤの空気圧を点検するときは、このことを考慮に入れてください。そのときの使用条件に対して非常に低い場合にのみ、タイヤ空気圧を修正してください。

著しく高い、または著しく低いタイヤ空気圧で走行すると：

- タイヤ寿命が短くなります
- タイヤの損傷が増える原因になります
- ハンドリング特性および走行安全性へ悪影響を与えます (ハイドロプレーニング現象など)

i 低負荷用のタイヤ空気圧値は、快適な乗り心地を得ることができる最低値です。

ただし、高負荷用の数値を使用することもできます。これらは許容値であり、車両の走行に悪影響を与えることはありません。

タイヤ空気圧警告システム

全体的な注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、車両が動いている間に、車輪の回転速度を使用して設定されているタイヤ空気圧をモニターします。これにより、システムはタイヤ空気圧の著しい低下を検知することができます。タイヤ空気圧の低下にともない車輪の回転速度が変化した場合は、マルチファンクションディスプレイに対応する警告メッセージが表示されます。マルチファンクションディスプレイの **メカ** メニューに表示される **タイヤ空気圧警告システム オン OK ボタン** で再始動でタイヤ空気圧警告を認識することができます。メッセージの表示についての情報

は、「タイヤ空気圧警告システムの再起動」の項目にあります (p. 279 ページ)。

重要な安全上の注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、適切でないタイヤ空気圧の設定には警告は行ないません。推奨タイヤ空気圧についての注意事項に従ってください (p. 277 ページ)。

タイヤ空気圧警告は、定期的なタイヤ空気圧点検の必要性に代わるものではありません。同時に複数のタイヤで均等に空気圧が低下した場合、タイヤ空気圧警告システムでは検知されません。

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、タイヤに異物が刺さった場合などの急激な空気圧の低下には、警告を行なうことができません。空気圧が突然低下した場合は、ブレーキを慎重に効かせて車両を停止させます。急激なステアリング操作は避けてください。

以下では、タイヤ空気圧警告システムの機能が制限されたり、遅れることがあります：

- 車両のタイヤにスノーチェーンを装着している
- 冬季の道路状況で
- 砂地や砂利道を走行している
- 非常にスポーティな運転スタイル (高速コーナリング、急加速など) をとっている
- 重い荷物とともに走行している (車内に、またはルーフ上に)






タイヤ空気圧警告システムの再起動

以下の場合、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください：





- タイヤ空気圧を変更した
- ホイールまたはタイヤを変更した
- 新しいホイールまたはタイヤを装着した

- ▶ 再起動の前に、4本すべてのタイヤで、タイヤ空気圧が使用状況に応じて適正に設定されていることを確認してください。推奨タイヤ空気圧は燃料給油口フラップのタイヤ空気圧ラベルに記載されています。





タイヤ空気圧警告システムは、適切なタイヤ空気圧に設定してある場合のみ、信頼性のある警告を行なうことができます。適切でないタイヤ空気圧に設定されている場合は、これらの適切でない数値がモニターされます。

- ▶ タイヤ空気圧の項目にある注意事項に従ってください (p. 277 ページ)。
- ▶ エンジンスイッチのキーが **2** の位置にあることを確認します (p. 134 ページ)。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**メンテナンス** メニューを選択する。
- ▶ ステアリングの  または  を押して、**タイヤ空気圧** メニューを選択します。
- ▶  スイッチを押します。
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧 警告システム オン OK ボタンで再始動** というメッセージが表示されます。

再起動を確定したい場合：

- ▶  スイッチを押します。
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧は正常ですか？** というメッセージが表示されます。
- ▶  または  スイッチを押して、**はい** を選択します。
- ▶  スイッチを押します。
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧 警告システム 再始動しました** というメッセージが表示されます。
読み込み期間後に、4輪すべてのタイヤに設定されたタイヤ空気圧のモニターを行ないます。

再起動をキャンセルしたい場合：

- ▶  スイッチを押します。
または
- ▶ **タイヤ空気圧は正常ですか？** というメッセージが表示されたときは、 または  スイッチを押して、**キャンセル** を選択します。
- ▶  スイッチを押します。
前回の再起動時に保存されたタイヤ空気圧値が引き続きモニターされます。

車輪の交換

パンク

タイヤがパンクしたときの対処方法に関する情報は、「万一のとき」(p. 253 ページ)に記載されています。タイヤがパンクしたときに MOExtended タイヤで走行する際の情報は、「万一のとき」のセクションをご覧ください (p. 253 ページ)。

応急用スペアタイヤ装備車両： タイヤがパンクした場合は、「タイヤの取り付け」(p. 281 ページ)の記載にしたがって応急用スペアタイヤを装着してください。

車輪の入れ替え

警告

ホイールまたはタイヤのサイズが異なる場合に、フロントとリアの車輪を入れ替えると、走行特性が著しく損なわれることがあります。車輪のブレーキまたはサスペンションの部品も損傷することがあります。事故の危険性があります。
ホイールとタイヤが同じサイズの場合にのみ、フロントとリアの車輪を入れ替えてください。

異なるサイズのフロントとリアの車輪を入れ替えると、一般使用許可が無効になることがあります。

"車輪の取り付け"の項目にある説明および安全上の注意事項に従ってください(▶ 281 ページ)。

タイヤは、走行状況によって前輪と後輪で摩耗具合に差が生じ、偏摩耗を起こします。タイヤに明らかな摩耗具合が形成される前に、車輪を入れ替えてください。一般的に、フロントタイヤではショルダー部が、リアタイヤではセンター部がより摩耗します。

前後同じサイズの車輪を持つ車両では、タイヤの摩耗具合に応じて 5,000 ～ 10,000 km ごとに車輪を入れ替えることができます。回転方向が維持されていることを確認してください。

車輪を入れ替えるときは常に、ホイールの接触面とブレーキディスクを十分に清掃してください。タイヤ空気圧を点検し、必要に応じてタイヤ空気圧警告システムを再起動してください(▶ 279 ページ)。

回転方向

タイヤの回転方向が指定されているタイヤは、例えばハイドロブレーキング現象のおそれがある状況などで補助的な効果を発揮します。回転方向が指定されているタイヤは、指定された回転方向になるように装着することで性能を十分発揮できます。

タイヤのサイドウォールにある矢印は、正しい回転方向を示しています。

車輪の保管

タイヤは、乾燥した冷暗所に保管してください。また、タイヤにオイルやグリース、ガソリン、軽油などが付着しないように保護してください。

車輪の清掃

⚠ 警告

円形ジェットノズル(粉塵グラインダー)の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

車輪の取り付け

車両の準備

- ▶ 固くて滑らない水平な地面に車両を停車します。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ 前輪を直進位置にします。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトします。
- ▶ AIR マテックサスペンション装備車両："標準"レベルが選択されていることを確認します(▶ 165 ページ)。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ **キーレスゴー非装備車両**： エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ **キーレスゴー装備車両**： 運転席のドアを開きます。
車両の電気システムが **O** の状態になります。これにより、キーを抜いたときと同様になります。
- ▶ **キーレスゴー装備車両**： エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します(▶ 134 ページ)。

- ▶ 車両装備に含まれている場合は、車両からタイヤ交換工具キットを取り出します (▶ 251 ページ)。
- ▶ 発進しないように車両を固定します。

i 国ごとの仕様違いを除き、通常車両にはタイヤ交換工具は装備されていません。タイヤ交換用工具の中には、その車両専用のものが含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

必要なタイヤ交換工具には、例えば以下が含まれることがあります：

- ジャッキ
- 輪止め
- ホイールレンチ

車両が動き出さないように固定する



車両に輪止めが装備されている場合は、タイヤ交換工具キットの中にあります。(▶ 251 ページ)

折りたたみ式の輪止めは、車輪交換時などに車両が動き出すことを防止するための補助的な保護措置です。

- ▶ 両側のプレートを上方に起こします ①。
- ▶ 下側のプレートを引き出します ②。
- ▶ 下側のプレートの凸部をベースプレートの開口部に差し込みます ③。



水平な地面で車両を固定する (例：CLS Coupé)

- ▶ **水平な場所で：** 交換したい車輪の対角線上にある車輪の前後に、輪止めまたは適切な他の物を置きます。



緩い下り坂勾配で車両を固定する (例：CLS Coupé)

- ▶ **緩い下り坂勾配で：** フロントおよびリアアクスルの車輪の前に、輪止めまたは適切な他の物を置きます。

車両を上げる

⚠ 警告

車両の適切なジャッキポイントに正しくジャッキを設置しないと、車両をジャッキアップした時にジャッキが倒れるおそれがあります。負傷するおそれがあります。

必ず車両の適切なジャッキポイントにジャッキを設置してください。ジャッキの底面は車両のジャッキポイントの真下に来るように設置してください。

車両を上げるときは以下に従ってください：

- 車両を上げるときは、メルセデス・ベンツによりテストされ、承認された車両専用のジャッキのみを使用してください。ジャッキが正しく使用されていない場合は、車両を上げている間に倒れるおそれがあります。
- ジャッキは、車輪交換の間に短時間だけ車両を上げたままにすることを想定し設計されています。車両下部のメンテナンス作業を行なう目的には適していません。
- 上り坂や下り坂の斜面での車輪交換は避けてください。
- 車両を上げる前に、パーキングブレーキを効かせて輪止めをし、車両が発進しないように固定してください。車両を上げている間は、絶対にパーキングブレーキを解除しないでください。
- ジャッキは、固く平坦で滑らない地面の上に置いてください。やわらかい地面の上では、大型で平坦な耐荷重マットを使用してください。滑りやすい地面の上では、ラバーマットなどの滑り止めマットを敷いてください。
- ジャッキの下敷きとして、木製のブロックや類似のものを使用しないでください。さもないと、高さが制限されることにより、ジャッキが耐荷重性能を得られない可能性があります。
- タイヤの下面と地面との間の距離が3cmを超えていないことを確認してください。
- 上げた車両の下には、絶対に手または足を入れないでください。
- 車両の下で横にならないでください。
- 車両を上げているときは、エンジンを始動しないでください。

- 車両を上げているときは、ドアまたはトランクリッド/テールゲートを開閉しないでください。
- 車両を上げているときは、車内に人がいないことを確認してください。

軽合金ホイールおよびハブキャップ装備

車両： ホイールボルトはハブキャップで覆われています。ホイールボルトを緩める前に、ハブキャップを取り外さなければなりません。

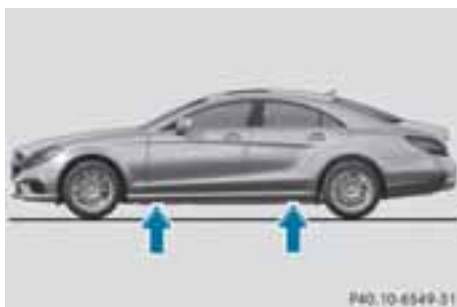


- ▶ **取り外す：** ソケット ② およびホイールレンチ ③ を取りだします (▶ 251 ページ)。
- ▶ ソケット ② をハブキャップ ① に合わせます。
- ▶ ホイールレンチ ③ をソケット ② に取り付け、ハブキャップ ① を反時計回りに緩めます。
- ▶ ハブキャップ ① を取り外します。
- ▶ **取り付ける：** 取り付ける前に、ハブキャップ ① およびホイール部分に汚れがないことを点検し、必要に応じて清掃します。
- ▶ ハブキャップ ① を取り付け位置に合わせ、正しい位置になるまでまわします。
- ▶ ソケット ② をハブキャップ ① に合わせます。
- ▶ ホイールレンチ ③ をソケット ② に取り付け、ハブキャップ ① を締めます。締め付けトルクは **25Nm** でなければなりません。

i ハブキャップが規定のトルク **25Nm** で締められることに**注意**してください。ハブキャップはメルセデス・ベンツ指定サービス工場に取り付けることを、メルセデス・ベンツは推奨します。



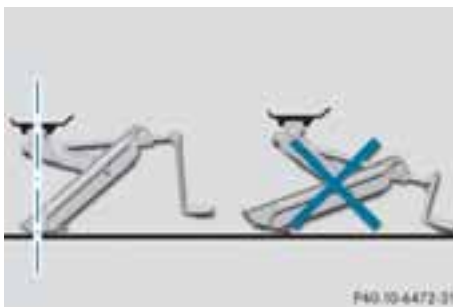
▶ ホイールレンチ ③ を使用して、交換する車輪のボルトを約 1 回転緩めます。ボルトは完全に緩めないでください。



ジャッキポイント (例: CLS Coupé)



▶ ジャッキ ⑥ をジャッキポイント ⑤ の位置に合わせます。



- ▶ ジャッキの底面がジャッキポイントの真下に位置していることを確認してください。
- ▶ ジャッキ ⑥ がジャッキポイント ⑤ に完全にはまり、ジャッキの底面が地面に均一に接地するまで、ジャッキハンドル ⑦ を時計回りにまわします。
- ▶ タイヤが地面から最大で 3cm 上がるまで、ジャッキハンドル ⑦ をまわします。

車輪の取り外し

❗ セラミックブレーキディスク装備の AMG 車両: 車輪の取り外し、および位置合わせをしている間は、ホイールリムがセラミックブレーキディスクに当たり、損傷するおそれがあります。そのため、注意して、他の人に支援してもらってください。あるいは、2 本目のガイドボルトを使用することもできます。

❗ 砂などの異物が付着しないように注意してください。ホイールボルトをねじ込む時に、ボルトやハブのネジ山が損傷するおそれがあります。



- ▶ 最も上にあるホイールボルトを完全に外します。
- ▶ ホイールボルトの代わりに、ネジ山にガイドボルト ① を締め付けます。
- ▶ 残りのホイールボルトを完全に外します。
- ▶ 車輪を取り外します。

新しい車輪の取り付け

⚠ 警告

オイルやグリースが付着したホイールボルトまたは損傷したホイールボルト/ハブのネジ山は、ホイールボルトが緩む原因になります。その結果として、走行中にホイールが緩むおそれがあります。事故発生の危険性があります。

ホイールボルトには、絶対にオイルやグリースを塗布しないでください。ネジ山が損傷している場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。損傷したホイールボルトまたはハブのネジ山を切り直してください。それ以上は走行を続けしないでください。

⚠ 警告

車両をジャッキアップしている時にホイールボルトまたはホイールナットを締め付けると、ジャッキが倒れることがあります。負傷の危険性があります。

車両が接地している場合にのみ、ホイールボルトまたはホイールナットを締め付けてください。

"車輪の交換"にある指示や安全上の注意事項に従ってください (▶ 280 ページ)。

ホイールボルトは、必ずホイールと車両に適合した製品を使用してください。安全上の理由のため、メルセデス・ベンツ車およびそれぞれのホイールのために承認されたホイールボルトのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

■ セラミックブレーキディスク装備の AMG 車両： 車輪の取り外し、および位置合わせをしている間は、ホイールリムがセラミックブレーキディスクに当たり、損傷するおそれがあります。そのため、注意して、他の人に支援してもらってください。あるいは、2 本目のガイドボルトを使用することもできます。



車輪の取り付け (例：応急用スペアタイヤ装備車両)

- ▶ ホイールおよびホイールハブの接合面を清掃します。
- ▶ 装着するホイールをガイドボルトにスライドさせて押し込みます。
- ▶ 指の力で締まるまで、ホイールボルトを締め付けます。
- ▶ ガイドボルトを取り外します。
- ▶ 指の力で締まるまで、最後のホイールボルトを締め付けます。
- ▶ **コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両：** コラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れます (▶ 297 ページ)。その後でのみ、車両を下げてください。

車両を下げる

⚠ 警告

ホイールナットやボルトが規定の締め付けトルクで締め付けられていないと、ホイールが緩むおそれがあります。事故発生の危険性があります。

タイヤを交換した後で、直ちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で、締め付けトルクの点検を受けてください。

■ コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両：車高を下げる前にタイヤ充填コンプレッサーを使用してコラプシブル応急用スペアタイヤを充填してください。さもないと、ホイールリムを損傷するおそれがあります。



ホイールボルトの締め付け（例：応急用スペアタイヤ装備車両）

- ▶ ジャッキハンドルを反時計回りにまわし、車体を下げて再び接地させます。
- ▶ ジャッキを横に置きます。
- ▶ 示されている対角パターンの順番（①～⑤）で、ホイールボルトを均一に締めます。規定の締め付けトルクは**130 Nm**です。
- ▶ ジャッキをまわして元の状態に戻します。
- ▶ ジャッキおよび残りのタイヤ交換工具キットを、トランク/ラゲッジルームに再度収納します。
- ▶ 新しく取り付けられたタイヤの空気圧を点検し、それに応じて調整します。

推奨タイヤ空気圧に従ってください（▷ 277 ページ）。

ホイールとタイヤの組み合わせ

全体的な注意事項

■ 安全に走行するため、タイヤとホイールは必ず純正品および承認されている製品を使用してください。

それらのタイヤは、ABS や ESP[®] などのコントロールシステムに適応しており、以下のマークが付いています。

- MO = Mercedes-Benz Original
- MOE = Mercedes-Benz Original Extended(ランフラット特性を持つタイヤ)
- MO1 = Mercedes-Benz Original(特定の AMG タイヤ)

ランフラット特性を持つタイヤ(MOExtended)は、純正品および承認されたホイールだけに装着できます。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリを使用しないでください。車両操縦性や騒音、排出ガス、燃料消費などに悪影響を与えるおそれがあります。また、乗車人数や荷物が増えた場合などには、タイヤやホイールが車体やサスペンションに接触するおそれがあり、タイヤや車両の損傷につながるおそれがあります。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリを装着した場合は、損傷が生じても保証の対象外になります。

タイヤやホイール、指定された組み合わせなどに関して、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

■ 再生タイヤは、元の損傷状態を確認することが難しいため、使用をお勧めできません。再生タイヤを装着した場合、安

全性の保証はできなくなります。中古タイヤは、過去の使用状況が確認できない場合は装着しないでください。

❗ 大径ホイール：特定のホイールサイズの断面幅が減少すると、悪路での乗り心地が低下します。走行快適性および安定性が低下し、さらに路面の障害物を乗り越える際にホイールやタイヤへの損傷リスクが高くなります。

以下のタイヤ表で使用されている略語の概要

- BA：前後の車輪
- FA：前輪
- RA：後輪

さまざまな使用条件での推奨タイヤ空気圧の表は、車両の燃料給油口フラップの内側にあります。タイヤ空気圧に関するの詳細は（▶ 277 ページ）をご覧ください。タイヤ空気圧は定期的に、タイヤが冷えているときにのみ点検してください。車両装備に関する注意事項 - 車両には常に以下のように装着してください。

- アクスル（左/右）に応じて決められた同じサイズのタイヤ
- サマータイヤ、ウィンタータイヤ、MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）など、異なる種類のタイヤを同時に装着しないでください。

i MOExtended タイヤ装備車両は、出荷時にタイヤフィットキットを装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットキットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

i すべてのホイール/タイヤの組み合わせが、すべての国で工場出荷時に装着されているわけではありません。

タイヤ

CLS 220 BlueTEC (すべての国で入手可能なわけではありません)

サマータイヤ

R 17

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R17 99 Y XL ^{1,2}	BA : 8.0 J x 17 H2 ET 30
BA : 245/45 R17 99 Y XL ^{2,3}	BA : 8.5 J x 17 H2 ET 34.5

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 Y XL ²	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
FA : 255/40 R18 99 Y XL ²	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 Y ^{2,4}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 Y XL ⁵	FA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5
RA : 285/30 R19 98 Y XL ^{4,5}	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 48

オールシーズンタイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 R18 99 H XL M+S	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 H XL M+S ^{4,5}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

1 CLS Shooting Brake を除く。

2 MOExtended タイヤを使用可能。


3 CLS Shooting Brake : スポーツサスペンションコード 486 またはスポーツパッケージコード 950 との組み合わせを除く。

4 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。


5 "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。

ウィンタータイヤ

R 17

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R17 99 H XL M+S  ³	BA : 8.5 J x 17 H2 ET 34.5

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 V XL M+S 	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/35 R19 96 H XL M+S 	BA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5

CLS 400

サマータイヤ

R 17

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R17 99 Y XL ^{2, 3}	BA : 8.5 J x 17 H2 ET 34.5

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 Y XL ²	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
FA : 255/40 R18 99 Y XL ²	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 Y ^{2, 4}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

³ CLS Shooting Brake : スポーツサスペンションコード 486 またはスポーツパッケージコード 950 との組み合わせを除く。

² MOExtended タイヤを使用可能。

⁴ スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 Y XL ⁵	FA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5
RA : 285/30 R19 98 Y XL ^{4,5}	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 48


オールシーズンタイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 R18 99 H XL M+S	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 H XL M+S ^{4,5}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

ウィンタータイヤ

R 17

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 245/45 R17 99 H XL M+S  ³	BA : 8.5 J x 17 H2 ET 34.5

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 V XL M+S 	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/35 R19 96 H XL M+S 	BA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5

- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。
- 4 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。
- 3 CLS Shooting Brake : スポーツサスペンションコード 486 またはスポーツパッケージコード 950 との組み合わせを除く。

CLS 550

サマータイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 Y XL ²	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
FA : 255/40 R18 99 Y XL ²	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 Y ^{2, 4}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 Y XL ⁵	FA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5
RA : 285/30 R19 98 Y XL ^{4, 5}	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 48

オールシーズンタイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 R18 99 H XL M+S	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 H XL M+S ^{4, 5}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

ウィンタータイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 V XL M+S 	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/35 R19 96 H XL M+S 	BA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5

² MOExtended タイヤを使用可能。

⁴ スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。

⁵ "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。

CLS 550 4MATIC

サマータイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 Y XL ²	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
FA : 255/40 R18 99 Y XL ²	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 Y ^{2,4}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 Y XL ⁵	FA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5
RA : 285/30 R19 98 Y XL ^{4,5}	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 48


オールシーズンタイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/40 R18 99 H XL M+S	FA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5
RA : 285/35 R18 97 H XL M+S ^{4,5}	RA : 9.5 J x 18 H2 ET 48

ウィンタータイヤ

R 18

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/40 R18 99 V XL M+S 	BA : 8.5 J x 18 H2 ET 34.5

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
BA : 255/35 R19 96 H XL M+S 	BA : 8.5 J x 19 H2 ET 34.5

² MOExtended タイヤを使用可能。

⁴ スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の項目にある注意事項に従ってください。

⁵ "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある"大径ホイール"の注意事項に従ってください。

CLS 63 AMG




サマータイヤ

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 ZR19 (96 Y) XL ⁵	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 285/30 ZR19 (98 Y) XL ^{4,5}	RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

ウィンタータイヤ

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ⁵	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ⁵	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 52
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ⁵	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 285/30 R19 98 V XL M+S  ^{4,5}	RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

CLS 63 AMG S-Model

サマータイヤ





R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 ZR19 (96 Y) XL ⁵	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 285/30 ZR19 (98 Y) XL ^{4,5}	RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。
- 4 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。

ウィンタータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5, 6	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 9.5 J x 19 H2 ET 52
RA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5, 6, 7	
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47
RA : 285/30 R19 98 V XL M+S  4, 5	

CLS 63 AMG 4MATIC


サマータイヤ

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 ZR19 (96 Y) XL ⁵ RA : 285/30 ZR19 (98 Y) XL ^{4, 5}	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

ウィンタータイヤ

R 19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5	RA : 9.5 J x 19 H2 ET 52
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  5	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37
RA : 285/30 R19 98 V XL M+S  4, 5	RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

- 5 "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。
- 6 CLS Shooting-Brake : 最高許容速度 220 km/h。
- 7 ファインリンクスノーチェーンのみ許可。
- 4 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。

CLS 63 AMG S-Model 4MATIC

サマータイヤ R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 ZR19 (96 Y) XL ⁵ RA : 285/30 ZR19 (98 Y) XL ^{4, 5}	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

ウィンタータイヤ R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ^{5, 6} RA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ^{5, 6, 7}	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 9.5 J x 19 H2 ET 52
FA : 255/35 R19 96 V XL M+S  ⁵ RA : 285/30 R19 98 V XL M+S  ^{4, 5}	FA : 9.0 J x 19 H2 ET 37 RA : 10.0 J x 19 H2 ET 47

ホイールとタイヤ

応急用スペアタイヤ

重要な安全上の注意事項

警告

スペアタイヤまたは応急用スペアタイヤと、交換した車輪のホイールまたはタイヤのサイズやタイヤの種類は異なることがあります。スペアタイヤ/応急用スペアタイヤを装着すると、走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるために

- 適宜運転スタイルを合わせ、慎重に運転してください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤを1つ以上装着しないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは一時的にのみ使用してください
- ESP® をオフにしないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場と交換し

5 "ホイール/タイヤの組み合わせ" の "全体的な注意事項" にある "大径ホイール" の注意事項に従ってください。
 4 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン" の項目にある注意事項に従ってください。
 6 CLS Shooting-Brake : 最高許容速度 220 km/h。
 7 ファインリンクスノーチェーンのみ許可。

てください。ホイールとタイヤのサイズがタイヤの種類とともに正しいことに注意してください。

応急用スペアタイヤ、またはサイズの異なるスペアタイヤを使用するときは、80 km/h の最高速度を超えないようにしてください。

応急用スペアタイヤには、スノーチェーンを装着しないでください。

全体的な注意事項

特に長距離走行の前には、応急用スペアタイヤを含めて、すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要に応じて空気圧を調整してください (▷ 277 ページ)。ホイールにある数値を使用してください。さらに、応急用スペアタイヤのタイヤ空気圧は"サービスデータ"にあります (▷ 299 ページ)。

応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている使用制限時間ならびに制限速度を守って使用してください。

摩耗の程度にかかわらず、6年以上経過したタイヤは交換してください。これは応急用スペアタイヤにも該当します。

i 応急用スペアタイヤを装着して走行する場合は、タイヤ空気圧警告システムが正常に機能しないことがあります。不具合のある車輪を新しい車輪に交換したときにのみ、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

応急用ミニスペアタイヤ/コラプシブル応急用スペアタイヤの取り外し

収納スペースを開く

CLS Coupé : 応急用スペアタイヤはトランクフロア下の収納スペースにあります。

- ▶ トランクフロアボードを上げます (▷ 236 ページ)。



ラゲッジルームフロア下の収納スペース (例 : CLS Shooting Brake)

CLS Shooting Brake : 応急用スペアタイヤはラゲッジルームフロア下の収納スペースにあります。

- ▶ ラゲッジルームフロアを上方に上げます (▷ 236 ページ)。
- ▶ 収納スペース ① を取り外します。

応急用ミニスペアタイヤの取り外し



収納スペース (例 : CLS Coupé)

- ▶ 収納スペース (▷ 296 ページ) を開きます。
- ▶ 収納トレイ ② を反時計回りにまわして、車載工具キットのトレイ ① と一緒に取り外します。
- ▶ 応急用ミニスペアタイヤ ③ を取り外します。

コラプシブル応急用スペアタイヤの取り外し (AMG 車両)



収納スペース (例 : CLS Coupé)

- ▶ 収納スペース (▷ 296 ページ) を開きます。
- ▶ 工具ホルダーの切り込み ① を持ち、上げます。
- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤ ② を取り外します。

"車輪の取り付け"の項目にある説明および安全上の注意事項に従ってください (▷ 281 ページ)。

使用したコラプシブル応急用スペアタイヤの収納

! コラプシブル応急用スペアタイヤは、必ず乾いてから収納してください。車内が湿気を帯びる原因になります。

使用したコラプシブル応急用スペアタイヤを収納するためには、以下の手順を行ないます。さもないと、スペアタイヤのスペースに収納できません。この作業は

メルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

- ▶ バルブキャップをバルブから外します。
- ▶ バルブキャップの後ろ側を使用して、バルブからバルブインサートを外し、空気を抜きます。

! タイヤを完全にしぼませるには数分がかかります。

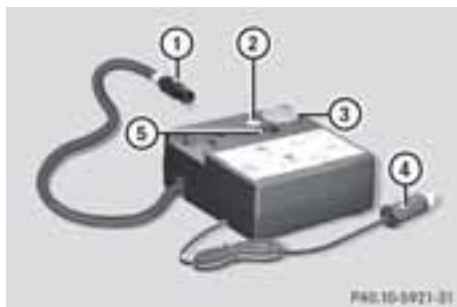
- ▶ 空気が抜けたら、バルブインサートをバルブにねじ込みます。
- ▶ バルブキャップを元通りに取り付けます。
- ▶ 車載工具から保護フィルムを取り出し、コラプシブル応急用スペアタイヤにかぶせます。
- ▶ コラプシブル応急用スペアタイヤをトランク/ラゲッジルーム下の応急用スペアタイヤスペースに収納します。

コラプシブル応急用スペアタイヤの空気注入

! 車両をジャッキダウンする前に、電動エアポンプでコラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れないと、ホイールリムを損傷するおそれがあります。

! 電動エアポンプは、一度に約 8 分以上連続して作動させると、ポンプがオーバーヒートするおそれがあります。

電動エアポンプが冷えたら、再び作動させることができます。



▶ 記載されているように、コラプシブル応急用スペアタイヤを取り付けます (▶ 280 ページ)。

コラプシブル応急用スペアタイヤは、必ず空気を注入する前に取り付けてください。

▶ コネクタ④ およびホースをハウジングから引き出します。

▶ コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを取り外します。

▶ ホースのユニオンナット①をバルブに締め付けます。

▶ タイヤ充填コンプレッサーの電源スイッチ⑤が〇の位置になっていることを確認します。

▶ コネクタ④を車両の 12 V 電源ソケット (▶ 237 ページ) に差し込みます。

▶ エンジンスイッチのキーを 1 の位置にまわします (▶ 134 ページ)。

▶ タイヤ充填コンプレッサーの電源スイッチ⑤を押し I の位置にします。タイヤ充填コンプレッサーが作動します。タイヤに空気が注入されます。タイヤ空気圧は、空気圧ゲージ③に表示されます。

▶ 指定空気圧になるまで、応急用スペアタイヤに空気を入れます。

指定空気圧は、応急用スペアタイヤの黄色のラベルに記載されています。

▶ 指定空気圧に達したら、タイヤ充填コンプレッサーの電源スイッチ⑤を〇の位置にします。

タイヤ充填コンプレッサーが停止します。

▶ エンジンスイッチのキーを〇の位置にします。

▶ タイヤ空気圧が指定の圧力より高い場合は、正しいタイヤ空気圧に達するまで、空気圧調整スイッチ②を押します。

▶ ホースのユニオンナット①をバルブから外します。

▶ コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを元通りに取り付けます。

▶ コネクタ④ およびホースをタイヤ充填コンプレッサーの下部に収納します。

▶ タイヤ充填コンプレッサーを車内に収納します。

サービスデータ

全車両（AMG 車両を除く）

応急用ミニスペアタイヤ

タイヤ	軽合金ホイール
T 155/60 R18 107 M タイヤ空気圧：420 kPa（4.2 bar/61 psi）	4.5 B x 18 H2 ET 36

i BlueTEC 車両には、工場出荷時に応急用スペアタイヤが装備されていません。タイヤがパンクした際は、タイヤフィットキットが使用できます。

AMG 車両

クラブシブル応急用スペアタイヤ

タイヤ	軽合金ホイール
175/50 - 19 97 P タイヤ空気圧：350 kPa（3.5 bar/51 psi）	6.5 B x 19 H2 ET 14

役に立つ情報	302
車両の電子制御部品	302
ビークルプレート	302
サービスプロダクトと容量	303
車両データ	310

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(▷ 28 ページ)

車両の電子制御部品

エンジン電子制御部品の不正改造

! コントロールユニット、センサー、作動構成部品、コネクタケーブルなど、電子制御部品およびその関連部品に関する点検整備や修理などの作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。車両の構成部品が通常より早く摩耗したり、保証を適用できないことがあります。

無線機 (RF 送信機) の後付け

RF 送信機の装着について疑問がある場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ビークルプレート

車台番号 (VIN) のあるビークルプレート



例：ビークルプレート（右ハンドル車両）

- ▶ フロント右側のドアを開きます。
ビークルプレート ① が確認できます。
- ▶ 運転席ドアを開きます。
ビークルプレート ① が確認できます。



例：ビークルプレート

② 車台番号

i 車両のビークルプレートに示されたデータは、データの一部です。このデータは車両ごとに異なりますので、ここに示されたデータとは異なることがあります。お客様の車両に該当するデータは、車両のビークルプレートにあります。

車台番号 (VIN) のあるビークルプレート



- ▶ 右側前席を最も後方の位置までスライドさせます。
- ▶ フロアカバー ① をめくりあげます。車台番号 ② が確認できます。

エンジン番号

エンジン番号はクランクケースに刻印されています。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

サービスプロダクトと容量

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サービスプロダクトは健康に有害で危険です。けがの危険性があります。

サービスプロダクトの使用、保管および廃棄については、それぞれ元の容器のラベルの指示を遵守してください。サービスプロダクトは必ず元の容器に密閉して保管してください。サービスプロダクトは必ず子供の手の届かないところに保管してください。

🌿 環境

燃料および油脂は、環境汚染を配慮して、廃棄処分してください。

サービスプロダクトには以下のものが含まれます：

- 燃料
- AdBlue®などの排気ガス処理装置の添加剤
- 潤滑剤（エンジンオイル、トランスミッションオイルなど）
- 冷却水
- ブレーキ液
- ウインドウウォッシャー液
- エアコンディショナーの冷媒

サービスプロダクトを取り扱ったり、保管および廃棄するときには、関連する法令に従ってください。

メルセデス・ベンツにより承認されたサービスプロダクトは、容器の以下のマークにより識別できます：

- MB-Freigabe（MB-Freigabe 229.51 など）
- MB Approval（MB Approval 229.51 など）

他のマークや推奨は、MB シート番号（MB229.5 など）に準拠した品質レベルまたは仕様を示しています。これらはメルセデス・ベンツによって承認されているとは限りません。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます。

燃料

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジン、当てはまる場合は補助ヒーターを停止します。

△ 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

燃料タンク容量

未記載の数値は、発行時点で確認できなかったものです。車両の装備によって、燃料タンクの全容量は異なることがあります。

モデル	全容量
AMG 車両	
CLS 400	59.0 ℓ または 80.0 ℓ
他の全モデル	80.0 ℓ

モデル	うち予備燃料
全容量 59.0 ℓ のモデル	約 8.0 ℓ
全容量 80.0 ℓ のモデル	約 9.0 ℓ
AMG 車両	約 14.0 ℓ

ガソリン**燃料のグレード**

❗ ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、エンジンスイッチをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入るおそれがあります。たとえ少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料システムから完全に抜き取ってください。

❗ 96 RON 以上の無鉛ガソリンのみを使用して給油してください。

さもないと、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷するおそれがあります。

❗ 必ず指定の燃料を使用してください。その他の燃料で車両を操作すると、エンジンの不具合の原因になります。

❗ 以下の燃料を使用しないでください。

- E 85 (エタノール配合率 85%のガソリン)
- E 100 (エタノール 100%)
- M 15 (メタノール 15%のガソリン)
- M 30 (メタノール 30%のガソリン)
- M 85 (メタノール 85%のガソリン)
- M 100 (メタノール 100%)
- 金属含有添加物を配合したガソリン
- ディーゼル

このような燃料を車両に推奨されている燃料とは決して混合しないでください。添加剤を使用しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。ただし、スラッジの生成を抑制・除去する効果のある添加剤を除きます。ガソリンにはメルセデス・ベンツにより推奨された添加剤のみを混合してください。"添加剤"をご覧ください。さらなる情

報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場です。入手できます。

通常、燃料グレードに関する情報は給油ポンプに表示されています。給油ポンプにラベルがない場合、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。

i E10 燃料には最大 10 %のバイオエタノールが含まれています。お客様の車両は、E10 燃料の使用に適しています。E10 燃料をお客様の車両に給油することができます。

推奨燃料が入手できない場合は、一時的な措置としてオクタン価が 91 RON の無鉛レギュラーガソリンを使用することができます。このような燃料を使用した場合、エンジン性能が低下したり、燃料消費が増加したりすることがあります。フルスロットルでの走行および急加速は避けてください。91RON 以下の燃料を給油しないでください。

給油に関する情報 (▷ 143 ページ)。

AMG 車両

! 96 RON 以上の無鉛プレミアムガソリンのみを使用して給油してください。さもないと、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷するおそれがあります。

! 緊急時で指定燃料が入手できないときに限り、91 RON 無鉛レギュラーガソリンも使用できます。

その結果燃料消費量が著しく増大し、エンジン出力は著しく低下します。アクセルをいっぱい踏み込んで運転するのは避けてください。

91 RON あるいはそれ以下のグレードのガソリン以外の燃料しか入手できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場です。その燃料で走行するために必要な車両の調整を受けてください。

CLS 350

! 93 RON 以上の無鉛プレミアムガソリンのみを使用して給油してください。エンジンの出力が低下したり、排出ガスコントロールシステムが損傷する原因になります。

i 一部の国では、入手できる燃料に含まれる硫黄が十分に低くない場合があります。短い走行では特に、燃料が一時的に異臭を発することがあります。サルファーフリー燃料（硫黄含有量 <10 ppm）を給油に使用すると、ただちに臭いが減少します。

添加剤

! 燃料添加剤を後で加えてエンジンを作動させると、エンジン故障につながるおそれがあります。燃料に燃料添加剤を混ぜないでください。これには、生成堆積物除去および防止のための添加剤は含まれません。ガソリンにはメルセデス・ベンツにより承認された添加物のみを混合してください。製品の容器に記載の使用上の注意をお守りください。推奨添加剤に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。入手できます。

メルセデス・ベンツは、添加剤を含有している燃料ブランドの使用を推奨します。一部の国で入手できる燃料の品質は、十分でないことがあります。結果として、残留物が噴射システムに堆積するおそれがあります。その場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談のうえ、メルセデス・ベンツにより推奨された洗浄添加剤をガソリンに混合してください。容器にある注意事項および規定の配合率に常に従ってください。

ディーゼル

燃料のグレード

⚠ 警告

ディーゼル燃料をガソリンと混ぜると、引火点は純粋なディーゼル燃料のものよりも低くなります。エンジンがかかっているときは、排気システムの部品が気付かないうちにオーバーヒートすることがあります。火災の危険性があります。

ガソリンを給油しないで下さい。ガソリンをディーゼル燃料と混ぜないでください。

❗ 給油には、欧州規格 EN 590 または同等の仕様に適合するディーゼル燃料のみを使用してください。EN 590 に適合しない燃料を給油すると、エンジンや排気ガスシステムの摩耗が進んだり、損傷したりするおそれがあります。

❗ 以下の燃料を使用しないでください。

- 船舶機用ディーゼル燃料
- 暖房用軽油
- バイオディーゼル
- 植物油
- ガソリン
- パラフィン油
- 灯油 / 白灯油

これらの燃料をディーゼル燃料に混ぜたり、いかなる特殊な添加剤も使用しないでください。さもないと、エンジンが損傷することがあります。

❗ **ディーゼルパティキュレートフィルター装備車両：**EU 以外の国では、硫黄分 50 ppm 以下の低硫黄軽油のみを使用してください。指定以外の燃料を給油すると、排気系部品が損傷する原因になります。

❗ **ディーゼルパティキュレートフィルター非装備車：**硫黄含有量が高いディーゼル燃料しか入手できない国では、車両のオイル交換をより短い周期で行なう必

要があります。オイル交換の周期に関する詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

通常、燃料グレードに関する情報は給油ポンプに表示されています。給油ポンプにラベルがない場合、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。

給油に関する情報は (> 143 ページ) をご覧ください。

外気温度が低いとき

冬季の始まりには、車両には冬季用ディーゼルを給油してください。

冬季の間は、低温流動性を改善したディーゼル燃料を入手することができます。欧州では、EN 590 規格によってさまざまな気候に応じた温度のカテゴリーが定められています。EN 590 で定められた気候要件に対応するディーゼル燃料を給油することで故障を防ぐことができます。非常に低い外気温度では、ディーゼル燃料の流動特性が不十分になるおそれがあります。そのため、温暖地域で販売されているディーゼル燃料は、寒冷な気候条件での使用には適していません。

❗ 国特有の燃料特性、および低温抵抗性の燃料種類に関する詳細情報は、ガソリンスタンドなどの石油会社で入手できます。

燃料消費の情報

⊕ 環境に関する注意

CO₂ (二酸化炭素) の排出は、地球温暖化の主な原因となります。車両の CO₂ 排出量は、燃料消費と直接関係があり、以下の条件によって変化します。

- エンジンの燃焼効率
- 走行スタイル
- 環境の影響や道路状況、交通の流れのような、技術的ではない他の要因

緩やかな運転を心がけ、定期的に点検整備を行なうことにより、CO₂ 排出量を最小限に抑えることができます。

以下のような状況では、燃料消費量が増加します：

- 非常に低い外気温で
- 市街地で
- 短距離の走行で
- 山間路で

AdBlue®

重要な安全上の注意事項

AdBlue®を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に注意してください (p. 303 ページ)。

AdBlue®はディーゼルエンジンの排気ガス処理システム用の水溶性の液体です。AdBlue®は：

- 無毒です
- 無色および無臭です
- 不燃性です

AdBlue®タンクを開くと、少量のアンモニアの気体が放出されることがあります。アンモニアの気体には刺激臭があり、特に皮膚、粘膜そして目に刺激を与えます。目、鼻および喉に燃えるような感覚を感じることがあります。咳き込んだり、涙目になる可能性があります。

発生したアンモニアの気体を吸い込まないようにしてください。換気の良い場所でのみ、AdBlue®のタンクへの補給を行なってください。

外気温が低いとき

AdBlue®は約 -11 °C の温度で凍結します。車両には AdBlue®予熱ヒーターが標準装備されています。そのため、-11 °C

以下の温度でも冬季の作動が保証されています。

添加剤

❗ ISO 22241 に準拠した AdBlue®のみを使用してください。添加剤を AdBlue®に加えたり、AdBlue®を水で薄めたりしないでください。BlueTEC 排気ガス処理装置が故障する場合があります。

純度

❗ AdBlue® 内に不純物 (他のサービスプロダクト、クリーナー、ほこりなど) が混入すると、以下のトラブルが起こるおそれがあります。

- 排出ガス値の増加
- 触媒コンバーターの損傷
- エンジンの損傷
- BlueTEC 排気ガス処理装置の故障

BlueTEC 排気ガス処理システムの故障を防ぐためには、AdBlue®の純度が特に重要になります。

補修作業などで AdBlue®を AdBlue®タンクから汲み出したときは、汲み出した AdBlue®をタンクに戻さないでください。液体の純度が保証できなくなります。

容量

モデル	全容量
全モデル	25.5 L

エンジンオイル

全体的な注意事項

エンジンオイルを取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください (p. 303 ページ)。

エンジンオイルの品質は、エンジンの性能や使用寿命に大きな影響を与えます。広範囲にわたるテストの末、メルセデス・ベンツでは最新の技術基準に適合するエンジンオイルのみを承認しています。そのため、メルセデス・ベンツエンジンには、メルセデス・ベンツが承認したエンジンオイルのみを使用してください。

テストされ、承認されたエンジンオイルについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場です。オイル交換はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことを、メルセデス・ベンツは推奨します。

AMG 車両には SAE 0W-40 または SAE 5W-40 のエンジンオイルのみを使用してください。

容量

以下の数値は、オイルフィルターを含むオイル交換時のものです。

モデル	交換容量
AMG 車両	8.5 ℓ
CLS 400	6.5 ℓ
他の全モデル	8.0 ℓ

ブレーキ液

⚠ 警告

ブレーキ液は使用している間に大気中の湿気を吸収して劣化します。ブレーキ液の沸点を下げます。ブレーキ液の沸点が低すぎる場合、ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ液が沸騰して気泡が発生します。ブレーキ液が劣化しベーパーロックが起こると、ブレーキの性能が損なわれます。事故の危険性があります。ブレーキ液は、定期的にメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。

ブレーキ液 (▷ 303 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください。

ブレーキ液の交換時期は、整備手帳で確認してください。

承認されたブレーキ液についての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場です。

❶ ブレーキ液はメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。定期的な交換と点検内容は整備手帳をご確認ください。

冷却水

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

不凍液を充填する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

❷ 冷却水は、必ず弊社指定の不凍液を混合したものを補給してください。エンジンを損傷するおそれがあります。

冷却水についての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

❸ たとえ高温の地域であっても、必ず適切な冷却水を使用してください。

不適切な冷却水を使用すると、エンジン冷却システムの腐食やオーバーヒートを防ぐことができなくなります。

❹ 冷却水はメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。定期的な交換と交換は整備手帳で確認してください。

冷却水 (▷ 303 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください。

冷却水は水と不凍液/防錆剤の混合液です。以下の役割があります。

- 防錆保護
- 凍結防止
- 沸点上昇

不凍液/防錆剤が適切な濃度の場合は、作動中の冷却水の沸点は約 130 °C になります。

エンジン冷却システム内の不凍液/防錆剤の濃度は、

- 50 % 以上にしてください。これにより、約 -37 °C までエンジン冷却システムを凍結から保護します。
- 55 % (-45 °C までの凍結防止保護) を超えないようにしてください。さもないと、熱が効果的に発散されません。

i 車両の納車時には、適切な凍結防止および防錆保護を行なうことができる濃度の冷却水が充填されています。

i 冷却水は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での定期整備ごとに点検が行なわれます。

ウインドウウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャー

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ウインドウウォッシャー液が熱いエンジン部品または排気システムに触れた場合、発火するおそれがあります。火災およびけがの危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。

! 夏季用や冬季用など、ヘッドライトの樹脂製レンズに適したウォッシャー液のみを使用してください。不適切なウォッシャー液を使用すると、ヘッドライトの樹脂製レンズを損傷するおそれがあります。

! 蒸留水や脱イオン水をウォッシャー液リザーブタンクに入れないでください。レベルセンサーを損傷するおそれがあります。

! 夏季用および冬季用の純正ウォッシャー液を混合して使用します。純正品以外のウォッシャー液を使用すると、噴射ノズルが詰まるおそれがあります。

ウォッシャー液 (▷ 303 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください。

気温が氷点より高いとき：

▶ 水と夏用ウォッシャー液の混合液をウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

水の量 100 に対して夏用ウォッシャー液の量 1 を混合します。

気温が氷点より低いとき：

▶ 水と冬用ウォッシャー液の混合液をウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

外気温度に応じて混合比を調整してください。

- -10 °C まで：水の量 2 に対して冬用ウォッシャー液の量 1 を混合します。
- -20 °C まで：水の量 1 に対して冬用ウォッシャー液の量 1 を混合します。
- -29 °C まで：水の量 1 に対して冬用ウォッシャー液の量 2 を混合します。

i 1 年を通して、夏用または冬用ウォッシャー濃縮液をウォッシャー液に追加してください。

車両データ

全体的な注意事項

記載の車両データについては、以下の点に注意してください：

- 記載の車高は、以下に応じて異なります：
 - タイヤ
 - 積載量
 - サスペンションの状態
 - オプション装備
- オプション装備により最大積載量は減少します。

寸法および重量 (CLS Coupé)



未記載の数値は、発行時点で確認できなかったものです。

モデル	開いたときの高さ①
AMG 車両	
CLS 550	1786 mm
他の全モデル	1790 mm

寸法および重量 (CLS Shooting Brake)



未記載の数値は、発行時点で確認できなかったものです。

モデル	① 開いたときの高さ
AMG 車両	
CLS 550 4MATIC	1994 mm
他の全モデル	1974 mm

ルーフとトランクの最大積載量

未記載の数値は、発行時点で確認できなかったものです。

モデル	ルーフの最大積載量
全モデル	100 kg

モデル	トランクの最大積載量
AMG 車両	100 kg
全車種 (CLS Coupé)	100 kg
全車種 (CLS Shooting Brake)	

バッテリー	
全モデル	
バッテリー電圧	12 V
全モデル	バッテリー容量
CLS 550 CLS 550 4MATIC	80 Ah
AMG 車両	95 Ah
他の全モデル	70 Ah

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

<http://www.mercedes-benz.co.jp>

編集オフィス

©Daimler AG: Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複製、翻訳または複製することはできません。

車両メーカー

Daimler AG
Mercedesstrasse 137
70327 Stuttgart
Germany



2185847600

Order no. 6515 1560 20 Part no. 218 584 76 00 Edition ÄJ 2014-Ma